718

WKD 982 05 70 **17**

PORSCHE

718

Good to know – 取扱説明書

「Porsche」、「Porsche Crest」、718、「PCCB」、「PCM」、「PDK」、「PSM」、「PTM」、「Tequipment」および他の商標は。
Printed in Germany.
本書の一部または全部の複製は、ポルシェ社の文書による許可がない限り禁止いたします。
© Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG
Porscheplatz 1
70435 Stuttgart

機器および車載マニュアル

ポルシェ社では絶えず製品の開発と改良を行っており、お客様の車両の装備品や仕様等がこの取扱説明書の内容と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。装備品はオプションである場合や、車両が販売される国によってこの取扱説明書の内容と異なる場合があります。追加装備品の詳細については、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
各国の法律等の違いにより、この取扱説明書の内容が車両の仕様と異なる場合があります。
この取扱説明書に記載されていない装備品等の取り扱いにつきましては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店はすべての装備品の取り扱い方法とメンテナンスについてご説明いたします。
車両に付属のマニュアルは車内に常備してください。車両を売却するときは、次に購入されるお客様にお渡しください。

車両本体または車載マニュアルについてのご質問、ご提案がございましたら、下記までご連絡ください：
Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG
Vertrieb Customer Relations
Porscheplatz 1
70435 Stuttgart

警告およびシンボル

この取扱説明書には様々な警告およびシンボルが使用されています。

⚠ 危険 重傷または致命傷を負う危険があります

「危険」の欄の警告を守らなかった場合、重傷または致命傷を負う危険があります。

⚠ 警告 重傷または致命傷を負う恐れがあります

「警告」の欄の警告を守らなかった場合、重傷または致命傷を負う危険があります。

⚠ 注意 ケガまたは軽傷を負う恐れがあります

「注意」の欄の警告を守らなかった場合、ケガまたは軽傷を負う恐れがあります。

知識

「知識」の欄の警告を守らなかった場合、車両を損傷する恐れがあります。

i インフォメーション

補足情報は「インフォメーション」の表示を使って記載しています。

✓ 機能を使用するために満たす必要のある前提条件
▸ お守りいただく必要のある指示
1. 指示が複数のステップに分かれる場合は、番号が付けられています。

▹ トピックに関する詳しい重要情報が記載されている参照先を示します。

エアバッグ警告ラベル

⚠ 危険 チャイルド・シートの助手席での使用

チャイルド・シートを助手席に取り付けた場合、助手席エアバッグが作動したときに重傷または致命傷を負う危険があります。

▸ 後ろ向きに着座するタイプのチャイルド・シートは**使用しないでください。フロント・エアバッグが作動した場合**、お子様が**重傷または致命傷を負う危険があります。**
▸ 「チャイルド・シート」(153ページ) を参照してください。

台湾のみ：

▹ 台湾の関連法規に則り、「乳幼児や子供を助手席シートに乗せることはできません」。
▹ 「チャイルド・シート」(153ページ) を参照してください。

本書の構成

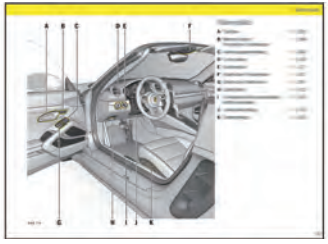
目次

本書の目次から確認したいトピックを探すことができます。
▷ （3ページ）～

安全性とドライビング・プレジャー

安全にドライビング・プレジャーを満喫していただくための方法を記載しています。
▷ （5ページ）～

概観図

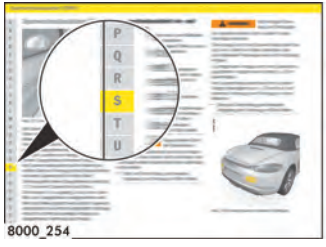


構成部品や操作系について十分にご理解ください。
▷ （18ページ）～

実用的なヒント

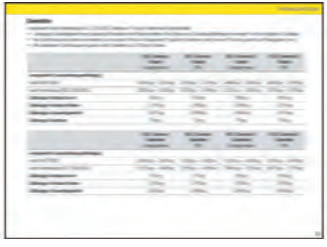
新しい機能に関する補足情報を記載しています。
▷ （28ページ）～

五十音順トピック



構成部品や操作系の機能および操作方法についてお読みください。
▷ （32ページ）～

テクニカル・データ



車両固有データについて記載されています。
▷ （300ページ）～

索引

探したい情報を簡単に見つけることができます。
▷ （318ページ）～

目次

安全性とドライビング・プレジャー 5

概観図
運転席 19
オーバーヘッド・コンソール 23
コントロール・パネル 22
ステアリング・ホイールおよびインストルメント・パネル 20
センター・コンソール 21
テキストおよび文字をPCMに入力する 27
PCMドライブ 25
PCMの各操作部 24
PCMの基本操作 26

実用的なヒント 28

開閉操作とロック
ウィンドウ 47
キー 76
コンバーチブル・トップ 109
セントラル・ロッキング 140
ラゲッジ・コンパートメント・リッド 279

エアコンおよび人間工学
エアコン（2ゾーン オートエアコン） 50
エアコン（マニュアル） 56
エアバッグ・システム 60
サン・バイザー 114
シート 115
シート・ベルト 119
ステアリング・ホイール 125
チャイルド・シート 153
パーソナル設定 198
ミラー 261
リヤ・ウィンドウ・ヒーター / ドア・ミラー・ヒーター 285

運転/ ドライバー・アシスタンス・システム
アダプティブ・クルーズ・コントロール (ACC) 33
インストルメントおよびインテリア・ライト 45
エンジンの始動および停止 64
オート・スタート/ストップ機能 66
クルーズ・コントロール 83
警報システム 105
スポーツ・エキゾースト・システム 126
スポーツ・クロノ・ストップウォッチ 127
スポーツ・クロノ・モード・スイッチ 131
スポーツ・モード 134
盗難を防止するために 177
ドライビング・データの表示（トリップ情報） 178
トランスミッション 179
トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システム 184
パーキング・アシスタント 195
ブレーキ 211
フロント・ワイパー 215
ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント（PASM） 226
ポルシェ・スタビリティ・マネージメント (PSM) 239
ポルシェ・トラック・プレシジョン・アプリ 242
ライト 270
リヤ・スポイラー 286
レーン・チェンジ・アシスト（LCA） 287
ログブック 292
HOLD機能：発進アシスタント、停止制御 298

インストルメント・パネルおよびマルチファンクション・ディスプレイ
インストルメント・パネル 42
警告およびインフォメーション・メッセージ 85
マルチファンクション・ディスプレイ 243
マルチファンクション・ディスプレイを使用した車両設定 253

エンターテイメントおよびコミュニケーション

テレビ 164
電話 168
ボイスコントロール 220
ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント（PCM）の操作 229
メディア 265
ラジオ 282

ナビゲーションおよび接続

接続 136
デバイス・マネージャー 163
ナビゲーション 185
ポルシェ・コネクト・アプリ 227
ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント（PCM）の操作 229
Apple® CarPlay 296

荷物および運搬

カップ・ホルダー 75
収納 123
スモーカーズ・パッケージ 135
電気ソケット 167
ラゲッジ・コンパートメント 275

モビリティおよび軽修理

ウォッシャー液 49
エンジン・オイル 62
お手入れ 69
給油 79
クーラント（冷却水） 81
けん引およびけん引によるエンジンの始動 106
故障診断用ソケット 108
ジャッキおよびリフティング・プラットフォーム 121
ジャンパー・ケーブルによる始動 122
セレクター・レバーの緊急解除 138
タイヤとホイール 147
テスト・スタンドでの測定 162
バッテリー 201
パンク 204
ヒューズ 207
ブレーキ・フルード 214
ヘッドライト 219
ワイパー・ブレード 295

テクニカル・データ 300

索引 318

安全性とドライビング・プレジャー

ポルシェ車は最高のパフォーマンス、最高のスポーツ性を誇り、その心躍る体験を疑う余地はありません。更にはどのような状況でも安全性を提供します。そのためポルシェ社では、安全とは究極の品質であると考えます。

この章では、ポルシェ車に安全にお乗りいただくためにお守りいただきたいことを記載しています。

完璧なテクノロジー、安全性のための前提条件

高品質な材料と優れたワークマンシップにより、この車両は今後何年間もお乗りいただくことができるでしょう。そのため、確かな性能を維持するにはお客様による車両のお手入れと思いやりが不可欠となります。それによって、危険な状況においてもポルシェ車の信頼できる走行性能が保証されます。

損傷および正常な作動状態の点検

技術的な不備のある車両は予期せぬ挙動に陥り、事故を引き起こす恐れがあります。

- 車両を定期的に点検し（少なくとも1カ月に1度および長時間のドライブの前）、良好な状態であることを確認してください。特に、以下の点に注意してください。
  - タイヤに損傷がなく空気圧は適正で、トレッドの残り溝も十分にある
  - ヘッドライト、ブレーキ・ライトおよび方向指示灯がすべて正常に機能している
  - 空力部品に損傷がない
  - ワイパー・ブレードに損傷がない
  - ウィンドウに亀裂や損傷がなく、視界が遮られていない
  - ドア・ミラーおよびルーム・ミラーに損傷がなく、適切な位置に調整されている
  - アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）のレーダー・センサーに亀裂や損傷がない
  - クーリング・エア・ダクト、センサーおよびカメラが（例：フィルム、ストーン・ガード、ナンバー・プレート・ホルダー）覆われていない
- 自動車電話や無線装置は必ず外部アンテナに接続して使用し、車内の電磁波のレベルが限界値を超えないようにしてください。

タイヤの損傷点検

損傷したタイヤは走行中にバースト（破裂）する恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

- 走行頻度や状態に応じて少なくとも1カ月に1度は定期的にタイヤを点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、膨れなどがないか確認してください。タイヤの側面も必ず点検してください。
- 損傷の疑いがある場合は、ポルシェ正規販売店でタイヤおよびホイール全体の点検を受けてください。
- 損傷したタイヤを装着したままで運転を続け**ない**でください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤ空気圧の調整

タイヤ空気圧が低いまたは高いと、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷を与えるばかりか、制動距離が長くなったり、事故を起こす危険が大幅に高まります。タイヤ空気圧が低すぎる場合は、燃費が著しく低下する恐れがあります。

- 装着されているタイヤに合わせてタイヤ空気圧を調整してください。
- ▷ 「タイヤ空気圧」（308ページ）を参照してください。
- マルチファンクション・ディスプレイのタイヤ圧力（TPM）メニューの設定が、車両に装着されているタイヤと一致していることを確認してください。
- ▷ 「TPMメニュー – タイヤ空気圧モニタリングシステム（TPM）」（248ページ）を参照してください。

- マルチファンクション・ディスプレイに赤色のタイヤ空気圧警告が表示された場合は、速やかに適切な場所に停車し、タイヤの損傷を点検してください。損傷したタイヤを装着したままで運転を続けないでください。必要に応じてパンク修理剤で応急処置を行ってください。

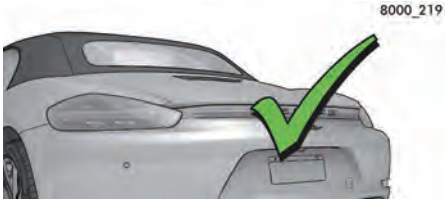
▷ 「パンク」(204ページ)を参照してください。

ライト類の点検

ライトが故障すると、周囲が暗いときに視界を確保できなくなります。他のドライバーがあなたの車両に気づくのが遅れ、事故を引き起こす恐れがあります。

- すべてのライト類が正常に機能していることを確認し、故障したライトは速やかに修理してください。以下のライト類を点検してください：
  - パーキング・ライト、ロービーム、ドライビング・ライト、ハイビーム
  - 方向指示灯、ブレーキ・ライト、リバース・ライト
  - フォグ・ライト

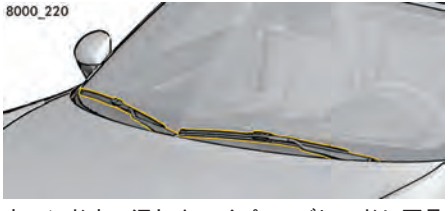
空力部品の点検



空力に影響する部品（リヤ・スポイラーやアンダー・パネルなど）が損傷または欠損すると、走行安定性に悪影響を及ぼす危険性があります。

- 損傷していないか車両を点検してください。
- 構成部品が損傷または欠損している場合は、速やかに交換してください。

ウィンドウおよびワイパー・ブレードの清掃およびメンテナンス



ウィンドウの汚れやワイパー・ブレードに不具合があると、事故を起こす危険が著しく高まります。

- 車両およびウィンドウは常にきれいな状態に維持してください。
- ワイパー・ブレードの凍結を溶かしてから、フロント・ウィンドウから剥がしてください。
- ワイパー・ブレードは定期的に交換してください。特にフロント・ウィンドウに筋が残るようになったら交換が必要です。

▷ 「ワイパー・ブレード」(295ページ)を参照してください。

ポルシェ正規販売店によるメンテナンスおよび仕様変更

車両を改造すると、安全機能に悪影響を与えるばかりでなく、その機能が失われる恐れがあります。保証期間内に不適切なメンテナンス作業を実施すると、保証が適用されないことがあります。

- 車両のすべてのメンテナンスおよび仕様変更は必ずポルシェ正規販売店で行ってください。これにより、車両の信頼性と走行安全性を保証し、損傷を防ぐことができます。

  ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ポルシェ車に使用するスペア・パーツ

- 部品交換やアクセサリーの取り付けには、ポルシェ純正部品、またはポルシェ社が要求する性能、品質基準に適合する同等部品のみを使用してください。これにより、車両の信頼性と走行安全性を保証し、損傷を防ぐことができます。これらの部品は、ポルシェ正規販売店から入手できます。
  ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- アクセサリーを取り付けるときは、Porsche Tequipment製品またはポルシェ社がテストを実施し、承認した部品のみをお選びください。Porsche Tequipmentに関するインフォメーション：
  ポルシェ正規販売店にご相談ください。

インフォメーション

他社製のスペア・パーツまたはアクセサリーを使用し、それにより損傷などが発生した場合、ポルシェ社はいかなる責任も負いかねます。
スペア・パーツやアクセサリーを供給しているメーカーが認定メーカーであっても、車両の安全性が損なわれる恐れがあります。
ポルシェ社の承認していないスペア・パーツまたはアクセサリーを使用すると、車両の保証が適用されないことがあります。

荷物、安全装備、車両に子供をのせるとき：ポルシェ・ドライバーへの注意事項

ポルシェ車は、100km/hまでわずか数秒という加速タイムを誇ります。このパワーを思いのままに操るには、走行前に万全の準備をして安全を確保する必要があります。
このため、走行前の準備にも走行するときと同等の情熱を注いでください。

あなたの命を守るもの：シート・ベルトの適切な着用

シート・ベルトは適切に着用し、正常に機能している場合にのみ乗員保護効果を発揮できます。

インフォメーション

例え30km/h程度での走行中であっても、シート・ベルトを着用していないと重大な傷害を負う恐れがあります。安全装備はシート・ベルトと組み合わせることで乗員を保護します。例えば、エアバッグはシート・ベルトも適切に着用している場合にのみ、適切な保護効果を発揮することができます。

- 短時間の運転であっても、シート・ベルトは必ず着用してください。
- 乗員1名に対して必ず1つのシート・ベルトを使用してください。
- コートなどの厚手の衣類は脱いでください。

- ボールペンや眼鏡など、堅い物や壊れやすい物の上にシート・ベルトがかからないようにしてください。
- シート・ベルトがねじれていないことを確認してください。
- 使用していないシート・ベルトは完全に格納されていることを必ず確認してください。
- 妊娠中の方は、腰部ベルトを腹部を避けて腰骨の低い位置にかけ、肩ベルトは胸部に密着させてください。
- 摩耗または損傷したベルトやバックル、固定具などは交換してください。

▷ 「シート・ベルト」(119ページ) を参照してください。

エアバッグ・システム

すべての乗員がシート・ベルトを着用し、正しいシート位置を維持している場合にのみ、エアバッグ・システムは保護効果を発揮することができます。荷物は必ず安全に収納してください。

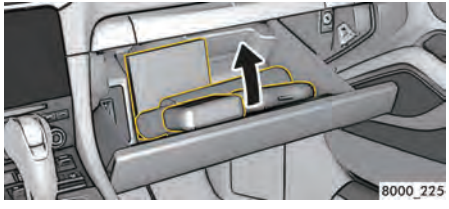
- 乗員とエアバッグが膨らむ空間との間に人や動物を座らせたり、物を置いたりしないでください。
- エアバッグから一定の距離を保ち、ドアの内側にもたれかからないでください。走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシート・クッションの上に足を乗せないでください。

変更を加えたエアバッグ・システムは保護効果を十分に発揮できません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります。エアバッグが不意に作動した場合、重傷を負う危険があります。

- シートに保護カバーを装着しないでください。
- ステアリング・ホイール、助手席エアバッグ付近、サイド・エアバッグ付近、ヘッド・エアバッグ付近にアクセサリーを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- エアバッグの配線の近くには、アクセサリー類の配線を取り付けないでください。
- エアバッグ構成部品 (ステアリング・ホイール、フロント・シート、ヘッドライナーなど) を取り外さないでください。
- エアバッグ・システムの配線や構成部品を改造しないでください。

▷ 「エアバッグ・システム」(60ページ) を参照してください。

車内の荷物はすべて固定



荷物を固定しなかったり不適切な位置に載せると、ブレーキやステアリングを操作したとき、または事故の際に荷物が飛び出すことがあります。これにより、乗員に危害が及んだりケガをする恐れがあります。

インフォメーション

例えば50km/hで走行中に衝突した場合は、固定されていない荷物がその重量の50倍の力で前方に放り出されます。例えば、1.5リットルの水が入っているペットボトルは75kgの力で車内に放り出されます。

- 荷物を載せるときは必ず固定してください。
- ラゲッジ・コンパートメントなどの荷物は必ず固定して積載してください。
- 小物類は小物入れに収納し、確実に閉じてください。必ず小物入れから荷物が飛び出さないようにしてください。
- ダッシュボードの上には絶対に物を置かないでください。
- 重量物を開いたままの小物入れの中に入れて運搬しないでください。
- すべての乗員に安全対策を周知させてください。

荷物の適切な運搬および収納については：

▷ 「荷物の積載」(275ページ) を参照してください。

挟み込みの防止

8000_226

人や動物が以下の車両部品の作動範囲内にいると、挟み込まれたりケガをしたりする恐れがあります。特に以下の部品が挙げられます：

- 調整式フロント・シート
- ドア
- ウィンドウ
- フラップおよびリッド
- 小物入れのフタ

▸ これらの車両部品を操作する際は、人や動物が作動範囲内にいないことを確認してください。

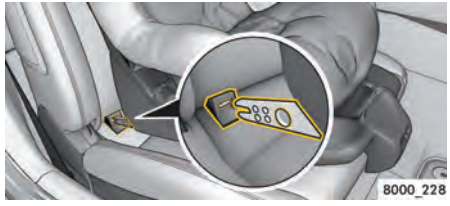
お子様の動きの監視

9000_265

多くの場合、お子様は危険を判断したり、危険な状況で正しく振る舞うことができません。お子様がシート調整などの自動設定を誤って作動させると、ケガをする原因になります。お子様は密閉された車内が高温になった場合など、緊急時に車外に脱出することができません。このような状況では、特に小さいお子様の場合、生命に関わる恐れがあります。

▸ テールパイプなどの高温部品や作動中の部品にお子様を近づけないでください。
▸ タイヤ・シーラントやエンジン・オイルなどの有害物質は、お子様の手の届かない場所に保管してください。
▸ お子様のみを車内に残さないでください。

チャイルド・シートの安全な使用



チャイルド・シートは適切に装着した場合のみ機能します。

▸ ポルシェ社で承認されたチャイルド・シート**のみ**を使用してください。
▸ チャイルド・シートを使用する前に：この取扱説明書に加え、チャイルド・シートに付属の取扱説明書をよく読み、指示に従ってください。
▹ 「チャイルド・シート」(153ページ) を参照してください。

安全で適切な運転：常に正しい判断をする

ポルシェ車はオールラウンダーです。ローンチ・コントロールから緊急ブレーキ機能まで、走り出せばすべてが可能になります。その一方で、最終的にこの能力を常に制御下におく責任はドライバーにあります。

注意力低下の防止

運転中にPCMやその他の装置を操作すると、周囲の交通状況に対する注意力が低下し、危険な状況に素早く反応できなくなる恐れがあります。安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

▸ 走行中は決してミラーやシート、ステアリング・ホイールの位置を調整しないでください。シートやステアリング・ホイールが予期せず大きく移動する恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。ミラーやシート、ステアリング・ホイールは、お出かけ前に適切な位置に設定してください。
▸ マルチファンクション・ステアリング・ホイール、ラジオ、ナビゲーション・システムなどは、交通状況が許す場合に限り操作することができます。安全を確保できない場合は、停車してから操作してください。
▸ 運転中に携帯電話やその他の携帯機器を使用しないでください。
▸ 常にハンズフリー機器を使用してください。

- 運転中にステアリングのスポークの間からボタンを押さないでください。危険な状況に素早く反応することができなくなります。

雨天時や積雪時のブレーキ挙動への注意

激しい降雨時や水たまりを通過したとき、または洗車後などは、ブレーキ表面に水膜が形成されブレーキの効きが悪くなり、ブレーキ・ペダルの踏力が重くなる恐れがあります。

また、凍結防止剤（融雪塩）が撒かれた道路や砂塵の多い道路を長距離にわたって走行すると、ブレーキ・ディスクやパッドが塩や砂で覆われて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。

- 特に駐車する前には何回かブレーキをかけ、ブレーキを乾燥させてください。これにより腐食を防ぐことができます。
- 腐食したブレーキは「振動」が発生しやすくなります。ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ブレーキ・システムの点検を受けてください。

適切なタイヤと適切な運転スタイル

▷ 「タイヤとホイール」(147ページ) を参照してください。

走行中にハンドルをとられたり、振動が発生した場合の適切な反応

走行時にハンドルをとられたり、振動が発生し、タイヤや車両が損傷する恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

- 直ちに減速してください。ただし急ブレーキをかけないでください。
- 停車してタイヤを点検してください。不具合原因がわからないときは、慎重に運転し不具合の修理を受けてください。
  ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤの安全な状態を維持

タイヤが損傷すると、特に高速走行時にタイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。タイヤを保護するように運転し、タイヤの損傷を防いでください。

- 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。
- 段差が大きな縁石や、尖った縁石を乗り越えないでください。

新しいタイヤの慣らし運転

新しいタイヤはグリップ性能を十分に発揮できず、スリップしやすくなります。

- 新品のタイヤを装着してから最初の200 kmは、ゆっくりとした速度で慣らし運転を行ってください。

ウインター・タイヤでの走行

ウインター・タイヤには最高速度が指定されています。最高許容速度を超えると、タイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。

- 装着しているタイヤの許容最高速度を超えて走行しないでください。
- 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。法定速度を遵守してください。
- マルチファンクション・ディスプレイで最高許容速度を制限速度として設定する：

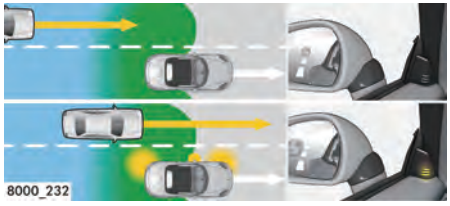
▷ 「制限速度の設定」(247ページ) を参照してください。

サマー・タイヤでの走行

外気温が15 ℃以下のときに駐車操作やステアリング操作を行うと、ノイズが発生する場合があります。

- 外気温が7 ℃を下回った場合、冬用タイヤに交換してください。

アシスタンス・システムとその限界



車両には、安全性と乗り心地を高めるアシスタンス・システムが装備されています。

ただし、これらのシステムのいずれも物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- 走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。アシスタンス・システムは、不適切な運転スタイルによる事故の危険性を低減することはできません。
- アシスタンス・システムを過信せず、安全運転を心がけてください。周囲の交通状況に適切な反応ができるように、常に慎重な運転をしてください。
- 使用する前に、アシスタンス・システムについて十分に理解してください。

アシスタンス・システムの参照先は次の通りです

	ページ
アンチロック・ブレーキ・システム（ABS）	240
HOLD機能	298
ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント（PASM）	226
ポルシェ・スタビリティ・マネージメント（PSM）	239
ポルシェ・トルク・ベクトリング（PTV）	184
PADM	184
タイヤ空気圧モニタリング（TPM）	248
レーン・チェンジ・アシスト（LCA）	287
オートマチック・ヘッドライト、ダイナミック・ハイ・ビーム	270
パーキング・アシスタント、リバース・カメラ	195
クルーズ・コントロール	83
アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）	33
ナビゲーション・システム	185

緊急ブレーキ機能

例えば、フット・ブレーキが故障した場合はエレクトリック・パーキング・ブレーキを使用して急制動をかけることができます。

緊急ブレーキ機能は非常に高い制動力を発揮するため、後続車を危険にさらす場合があります。

- 緊急ブレーキ機能は通常の制動時ではなく、緊急時にのみ使用してください。
- 緊急ブレーキ機能を作動させるには、Ⓟスイッチを押し続けてください。ブレーキを解除するには、スイッチを放してください。

▷「ブレーキ」（211 ページ）を参照してください。

ローンチ・コントロールを使用した発進

発進時にローンチ・コントロールが作動していると車両は非常に早く加速します。特定の状況では（路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど）、車両の制御が失われたり、他のドライバーに危険がおよぶ恐れがあります。

- 路面状況や周囲の交通状況から判断して、安全が確保できる場合に限ってローンチ・コントロールを使用してください。

- ローンチ・コントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険がおよばないようにしてください。

警告シグナルへの適切な反応

センサーが異常や部品の不具合を検出すると、ライトやメッセージを使用して警告を発します。車両の警告シグナルを無視すると、事故やケガを招く危険性が高まります。

- 走行前に警告灯およびメッセージの意味を理解し、警告に対して適切に対処できるようにしてください。必要であれば停車してください。

▷ 「警告灯および表示灯」（43ページ）を参照してください。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（85ページ）を参照してください。

給油時の危険

燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が起こる恐れがあります。また、燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- 燃料を給油するときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙したりしないでください。
- 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。

▷ 「給油」（79ページ）を参照してください。

車両の燃料タンクが事故で損傷した場合は、燃料が流出して発火や爆発を起こす恐れがあります。

- 車両に予備燃料タンクを積載しないでください。

有害な液体類

燃料だけでなく、エンジン・オイル、トランスミッション・オイル、バッテリー液、クーラントおよびブレーキ液も人体に有害です。

- メンテナンス作業は屋外か、または屋内の換気が良い場所でのみ実施してください。
- オイルや液体類の容器には適切なラベルを貼り、お子様の手が届かない所に保管してください。
- 残った液体類は、環境に考慮した方法および条例に遵守して処分してください。

エンジン・オイルは発火することがあります。エンジン・オイルが付着した布を投げ捨てたり、換気せずに保管したりすると自然発火して火災の原因になります。

- 布で飛散したエンジン・オイルを吸い取ってください。
- エンジン・オイルが浸み込んだ布は、廃棄するまで換気された場所で保管してください。

有毒な排気ガス

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす恐れがあります。

- 停車中はエンジンを切ってください。密閉された空間でエンジンを不必要にアイドリングしないでください。
- エンジンを作動させた状態で作業するときは、必ず車両を屋外に駐車させるか、または換気の良い場所で行ってください。

安全な駐車

車両を適切に駐車しなかった場合、不意に動き出し人や物に損傷を与える恐れがあります。

車両から離れる前に、以下の点に注意してください。

- エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。
- PDK装備車：セレクター・レバーを**P**位置に入れてください。
  インストルメント・パネルのセレクター・レバー位置**P**が点滅している場合、パーキング・ロックが正しくかかっていません。この場合は、セレクター・レバーを**R**の位置に動かしてから**P**の位置に入れ直してください。
- マニュアル・トランスミッション装備車：1速またはリバース・ギヤに入れてください。

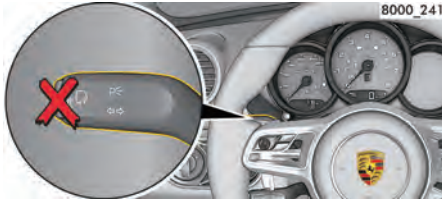
エンジン作動中およびエンジンを停止してからしばらくの間は、エキゾースト・システムが非常に高温になっています。火傷を負ったり、火災に至る恐れがあります。

- 可燃物（乾燥した草や枯れ葉など）が高温のエキゾースト・システムに接触する恐れのある場所に駐車しないでください。
- 車両後方に近づくときは、テールパイプから安全な距離を保ってください。
- お子様がテール・パイプの熱で火傷をしないように注意してください。

万一のときには：故障および緊急時の安全確保

故障した場合は、安全を確保するために次の点に注意してください。

緊急時はボイスコントロールを使用しない



緊急時は緊張のために声が変わり、ボイスコントロールが指示を認識できなくなる恐れがあります。

- 緊急時はボイスコントロールを使用**しない**でください。

エンジン・コンパートメントで作業する際の注意事項

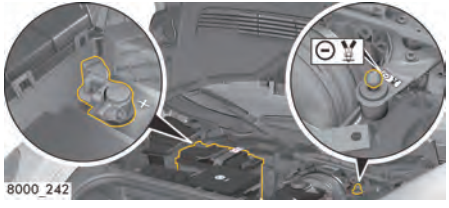
エンジン作動中は、エンジンと周辺の部品、エキゾースト・システム、クーラントなどが非常に熱くなっています。

クーラント・タンクには圧力がかかっています。クーラント・タンクを不用意に開くと、熱いクーラントが突然吹き出す恐れがあります。

- 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾースト・システムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- クーラントの補充はエンジンを停止し、イグニッションをOFFにしてから行ってください。
- エンジンが熱いときは、クーラント・リザーバー・タンクのキャップを**開かない**でください。水温計の表示が60 °Cを下回るまで待ってください。

▷ 「クーラント（冷却水）」（81ページ）を参照してください。

ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動



不適切なジャンパー・ケーブルを使用したり不適切な始動手順を行うと、回路がショートし火災が発生する恐れがあります。ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動中に、爆発性の高い電解質のガスがバッテリー周囲で発生します。

また、エンジン・コンパートメント内でバッテリー液に接触したり、ラジエーター・ファンなどの部品が自動的に作動するとケガをする恐れがあります。

ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動を行う前に：

▷ 「ジャンパー・ケーブルによる始動」（122ページ）を参照してください。

けん引

けん引時は事故を起こす危険が高まります。パワー・アシスト機能が作動しないため、操舵力が増加します。ブレーキ・ブースターが作動しない場合は、ブレーキ操作に大きな踏力が必要となります。

- けん引時にエンジンが停止している場合、またはパワー・アシスト機能またはブレーキ・ブースターが作動しない場合は十分に注意してください。
- ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。
- 地上高が低いため、けん引時または他の車両にけん引されるときは十分に注意してください。

▷ 「けん引およびけん引によるエンジンの始動」（106ページ）を参照してください。

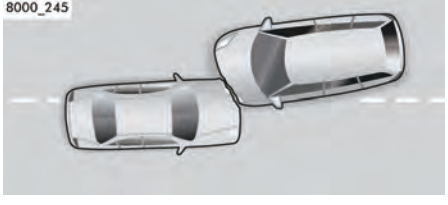
パンクしたとき

損傷したタイヤで走行するときは、速度によっては安全にステアリングを操作できなくなる恐れがあります。

- 決してパンクしたタイヤで走行**しない**でください。
- 安全な場所に正しく停車して、不具合を修理してください。

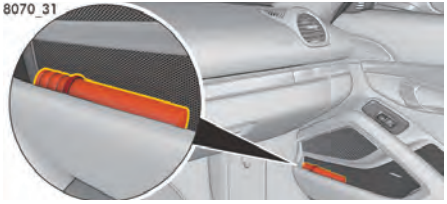
▷ 「パンク」(204ページ)を参照してください。

万一事故が起きたとき



事故の後は、シート・ベルト・プリテンショナーやエアバッグなどの安全装備が作動しなくなる恐れがあります。その場合は、安全装備が乗員保護効果を発揮できなくなります。

- 安全装備が作動しなかった場合でも点検を受けてください。
- 作動した安全装備は交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



発炎筒

発炎筒は、事故や故障で路上に停車したとき、周囲に危険を知らせるために使用します。

発炎筒は、助手席足元前部のドア側に固定してあります。

⚠ 警告 火傷や火災につながる恐れがあります

- 燃料などの可燃物の近くでは使用しないでください。引火する恐れがあります。
- 発炎筒を使用するときは、顔や身体に向けたり、近づけたりしないでください。火傷をする恐れがあります。

お子様がさわらないように注意してください。誤って使用すると火傷をしたり、車両を損傷する恐れがあります。

お出かけの前に車両に関する重要な情報

車両の慣らし運転

新車時は可動部品同士を馴染ませる慣らし運転を行う必要があります。走行距離が3,000kmに達するまでは慣らし運転が必要となります。この期間は、オイルと燃料の消費量が通常よりも若干多くなります。

慣らし運転中は、次の点に注意してください。

- 慣らし運転中はなるべく長距離を運転することを推奨いたします。できるだけ冷間始動と近距離運転の繰り返しは避けてください。
- 自動車レース、スポーツ・ドライビング・スクールなどに参加しないでください。
- エンジン回転数が4,000rpmを超えないようにしてください。エンジン冷間時は低回転域で運転してください。

新しいブレーキ・パッドの慣らし運転

新品のブレーキ・パッドおよびブレーキ・ディスクも、エンジンと同様に慣らし運転が必要です。新しい部品を装着してから最初の数百kmは、ブレーキ性能を完全には発揮できません。多少ブレーキの効きが弱くなるため、強めにブレーキを踏む必要があります。ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクを新品に交換した場合も、同様に慣らし運転が必要です。

地上高に注意する

この車両は地上高が低いため、路面に接触しやすくなります。

- 急な傾斜路での走行は避けてください。
- 以下の状況では注意して運転してください。
  - 立体駐車場など、急勾配の上り坂や下り坂を走行するとき
  - 縁石
  - 凹凸のある路面を走行するとき
  - リフティング・プラットフォーム

サーキット走行の前に

公道走行とくらべ、サーキット走行には過度に大きな車両負荷を伴うため、純粋なレーシング・カーでは短い間隔でのメンテナンスおよび構成部品の整備を行うことでこれに対処しています。これには、サーキット走行後毎の点検の実施および必要な場合の各構成部品の交換、規定期間の経過後のアッセンブリ全体のオーバーホールが含まれます。

- レース・サーキットでの走行前には、最新の規定についてお近くのポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。

ブレーキ・システム

ブレーキ液には吸湿性があり、長期間使用すると大気中の水分を吸収します。水分を吸収すると沸点が低下し、高温時にブレーキの効きが大幅に低下することがあります。

サーキット走行時はブレーキ・パッドおよびブレーキ・ディスクに高負荷がかかります。

- 使用開始から12カ月以上経過したブレーキ・フルード：サーキット走行前に交換してください。
- サーキット走行の前後に、ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクに摩耗がないか点検を受けてください。

タイヤ

サーキット走行時はタイヤにも非常に高い負荷がかかります。

- ▸ サーキット走行の前後に、タイヤに摩耗がないか点検を受けてください。
- ▸ レース用タイヤは装着しないでください。ポルシェ社はレース用タイヤを承認していません。

エンジン・オイル

- ▸ サーキット走行の前後に、エンジン・オイル・レベルを点検してください。
- ▹ 「エンジン・オイル・レベルの測定と表示」（246ページ）を参照してください。
- ▹ 「エンジン・オイルの選択と補充」（62ページ）を参照してください。

国外で走行する前に

すべてのポルシェ・モデルがすべての国で入手可能であるとは限りません。このため、スペア・パーツが入手できない、あるいは、ポルシェ正規販売店で修理作業が行えない場合があります。

国外で走行する前に以下の点を確認してください。

- – 車両が故障した場合、修理は可能ですか？
- – 車両の技術的な調整が必要ではありませんか？
- – 十分なオクタン価の燃料が入手可能ですか？
- – ヘッドライトは左側/右側通行向けに変更する必要はありませんか？
- ▹ その場合は、「左側/右側通行でヘッドライトを切り替える」（257ページ）を参照してください。。

車両データ処理

この車両はECU装備車です。これらの一部は車両の操作安全性に必須で、その他は走行アシスト機能（ドライバー・アシスト・システム）を提供します。また、この車両はECU制御式のコンフォートまたはエンターテインメント機能装備車です。

車両へのテクニカル・データの保存

ECUは、車両の状態、コンポーネント負荷、サービス要件、事象、故障などに関する技術的な情報を一時的、または永久的に保存するデータ・メモリーを備えています。一般的に、この技術的情報には以下のような構成部品、モジュール、システムまたは環境の状態が保存されています：

- – システム構成部品の作動状態（例：充填レベル）
- – 車両または各構成部品に関するステータス・メッセージ（例：ホイール回転数、速度、減速度、横加速度）
- – 重要なシステム構成部品（例：ライトやブレーキ）の作動不良や故障
- – 車両を損傷する恐れのある事象についての情報
- – 特別な走行状況での車両の反応（例：エアバッグの展開、スタビリティ・コントロール・システムの作動）
- – 環境条件（例：温度）

実際のコントロール・ユニットの機能に加えて、このデータを使用して故障の検出および修正を実施し、メーカーにより車両機能を最適化することができます。このデータの大部分は揮発性で、車両自体でのみ処理されます。データのごく一部のみが故障メモリに保存されます。また、この車両はECU制御式のコンフォートまたはエンターテインメント機能装備車です。

テクニカル・データの読み出し

車両の整備時、サービス・ネットワーク作業者（例：ワークショップ、ロードサービス、メーカー）は、車両からこの技術情報を読み出すことができます。整備には修理、サービス点検、保証での作業、品質保証対策などが含まれます。データは車両のOBD（「オンボード診断」）用に法的に規定された接続を使用して読み出されます。製品のモニタリング要件、または品質要件を満足するために、データの収集、処理、および関連サービス・ネットワーク作業員による使用およびポルシェへの送信が実施されます。車両の故障およびイベント・メモリーは修理またはメンテナンス中にサービス・センターによるリセットが可能です。

車両の機能を使用して

選択した機器に応じて、車両のコンフォートおよびインフォテインメント機能のその他の設定に加えて、マルチメディアおよびアドレス・ブック・データ、またはナビゲーション目的地等の情報をご自身で追加することができます。このデータは車両で局所的に保存されたり、車両に接続した機器に保存されます（例：スマートフォン、USBスティックまたはMP3プレーヤー）。車両にデータを保存している場合はいつでも消去可能です。ご要望があった場合のみ、特にオンライン・サービスの使用中にのみデータが第三者に送信されます。これは選択された設定に従ってのみ実施されます。

車両に必要機器が装備されている場合は、車両に内蔵された制御装置を使用して接続したスマートフォンまたは他の携帯機器を制御可能です。スマートフォンからの画像および音はマルチメディア・システムにより出力可能です。特定の情報をスマートフォンに送信することもできます。これは一般的な車両情報または位置データを含みます。装備品のタイプにより異なります。これにより、ナビゲーション・システムの使用または音楽の再生など選択したスマートフォンのアプリを最適に使用できます。スマートフォンを使用して車両データに自動アクセスすることはできません。データ処理のタイプは、ご使用のメーカーにより異なります。

設定可能であるかどうか、またどの設定が設定可能かは、ご使用のスマートフォンのアプリおよびオペレーティング・システムにより異なります。

オンライン・サービスの使用

車両にワイヤレス・ネットワーク接続がある場合は、これを使用して車両と周囲および他のシステム間でデータの交換が可能です。車両の送受信ユニットまたは接続した携帯機器（例：スマートフォン）により、ワイヤレス・ネットワークに接続可能です。ワイヤレス・ネットワーク接続により、オンライン機能を使用できます。これにはポルシェまたは他のプロバイダーによる、利用可能なオンライン・サービスおよびアプリケーション/アプリが含まれます。

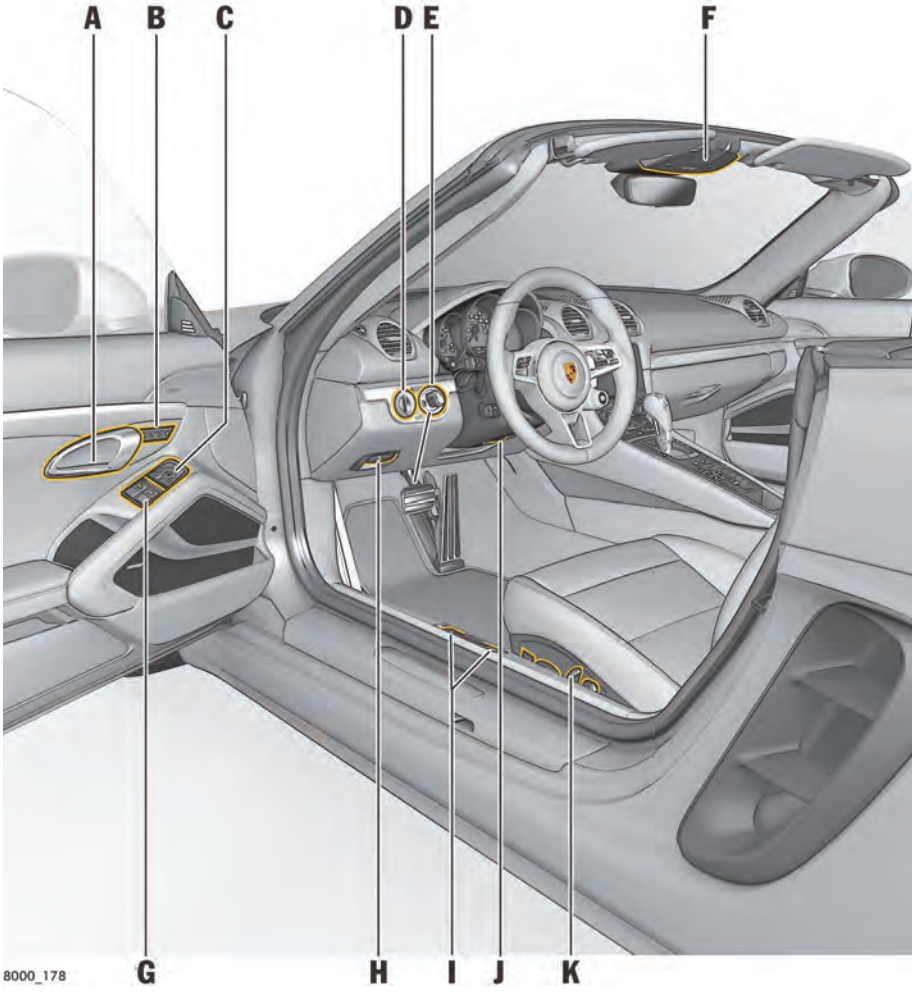
ポルシェ・オンライン・サービスの場合は、各種機能についての説明が適切な場所（例：ポルシェ・コネクト・ウェブサイト）に提供されており、関連のデータ保護法情報も提供されています。個人データはオンライン・サービスの規定に従って使用されます。必要なデータの交換は、保護された接続により実施されます（例：この目的のためのポルシェ ITシステム設定）。サービスの規定以外の目的での個人データの収集、処理および使用は、法律またはお客様の同意に従ってのみ実施されます。

通常、（料金ベース）サービスおよび機能、場合によっては車両の全データ接続を作動または作動解除できます。これは特に、法的要件機能およびサービスには適用されません。

他のプロバイダーからオンライン・サービスを使用する可能性がある場合は、責任は各プロバイダーにあり、各プロバイダーのデータ保護要件および使用規約に従うものとします。ポルシェはこのようなデータ交換については干渉いたしません。第三者サービスの個人データ収集および使用のタイプ、範囲、目的については各サービス・プロバイダーにお問い合わせください。

概観図

以降のページには、車両の全ての部位の概観図が簡略な説明とともに掲載されています。詳細な情報は記載されているページを参照してください。



運転席

A インナー・ドア・ハンドル ▷ P141

B パーソナル設定用メモリー・ボタン ▷ P198

C ドア・ミラーの調整 ▷ P261

D ライト・スイッチ ▷ P270

E イグニッション・ロック ▷ P64

F オーバーヘッド・コンソール ▷ P23

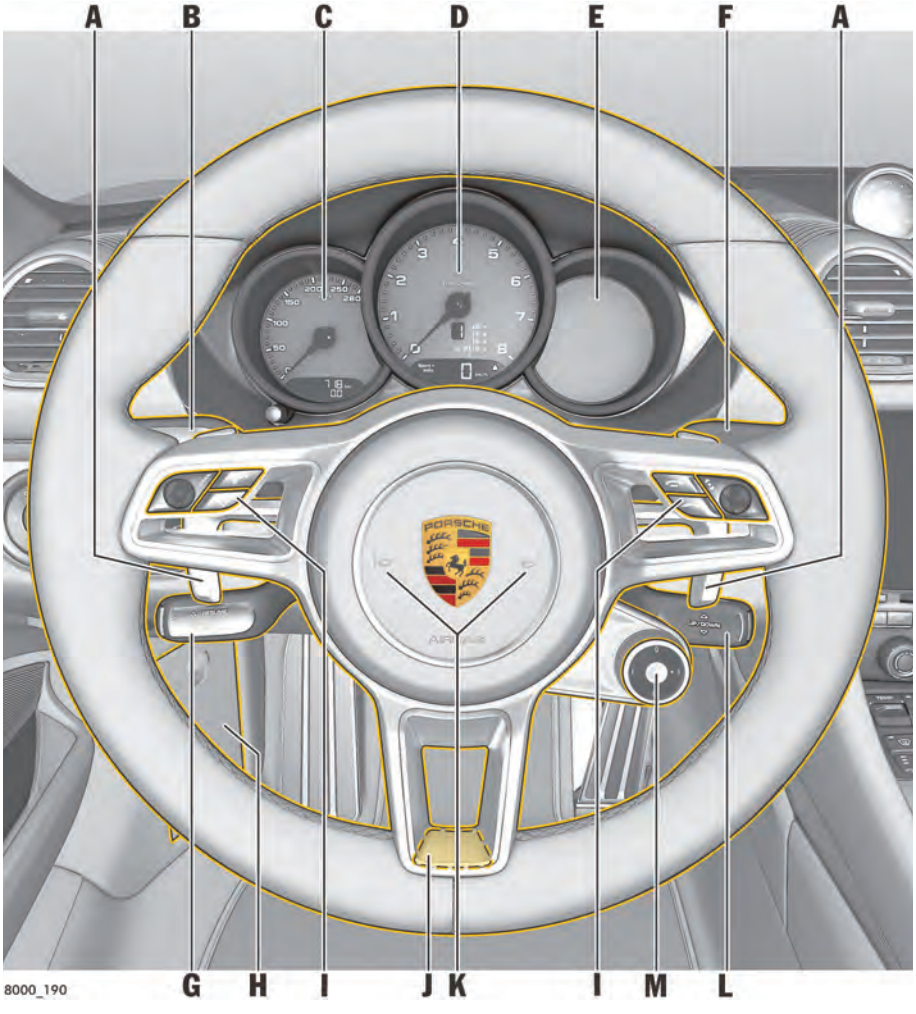
G パワー・ウィンドウ ▷ P47

H エレクトリック・パーキング・ブレーキ ▷ P211

I フロント/リヤ・ラゲッジ・コンパートメント・リッドのリリース ▷ P279

J ステアリング・ホイール調節 ▷ P125

K シート調節 ▷ P115



ステアリング・ホイールおよびインストルメント・パネル

A PDKシフト・パドル ▷ P181

B 方向指示灯およびハイ・ビーム ▷ P273

C スピードメーター ▷ P42
警告灯および表示灯 ▷ P43

D タコメーター（回転計） ▷ P42
警告灯および表示灯 ▷ P43

E マルチファンクション・ディスプレイ ▷ P42 ▷ P85
警告およびインフォメーション・メッセージ

F ワイパー ▷ P215

G クルーズ・コントロール ▷ P83
ACC ▷ P33

H 故障診断用ソケット ▷ P108

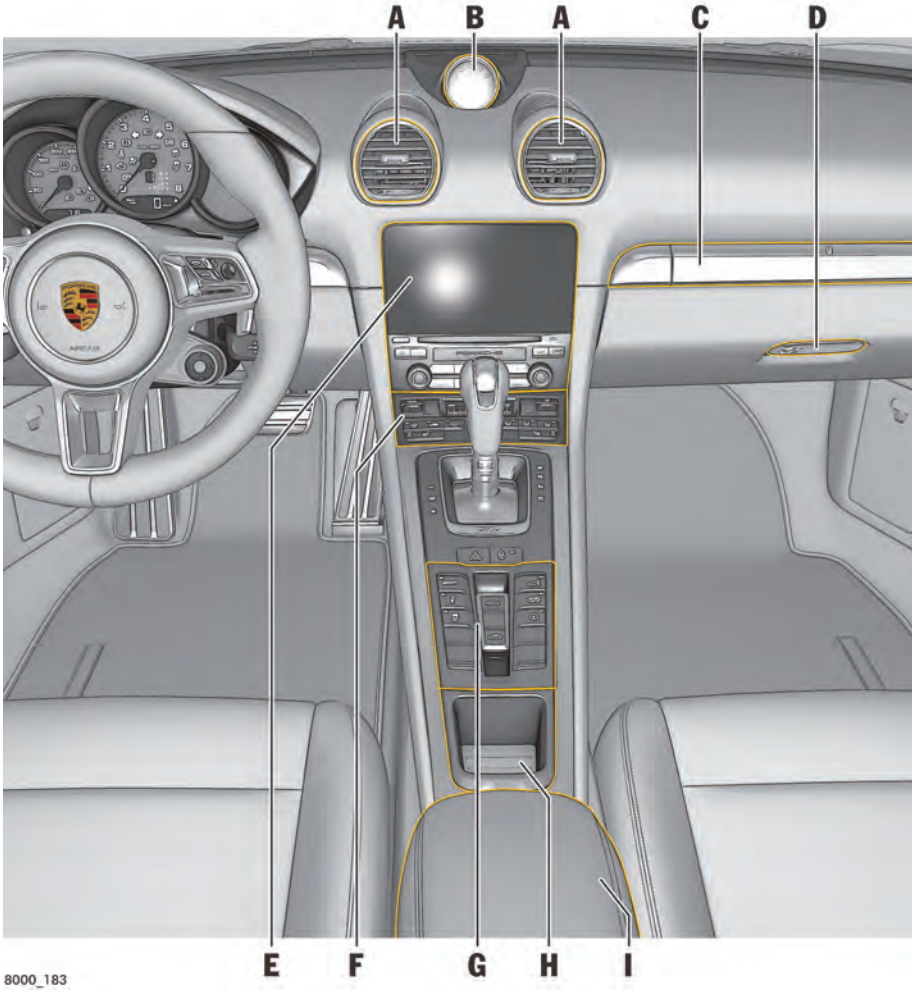
I 電話、ラジオ、マルチファンクション・ディスプレイのマルチファンクション・ボタン ▷ P243

J ステアリング・ホイール・ヒーター ▷ P125

K ホーン

L マルチファンクション・ディスプレイの操作レバー（マルチファンクション・ステアリング・ホイール非装備車） ▷ P243

M モード・スイッチ ▷ P131



センター・コンソール

A エア・ベント ▷ P53

B スポーツ・クロノ・ストップウォッチ ▷ P127

C カップ・ホルダー ▷ P75

D グローブ・ボックス ▷ P123

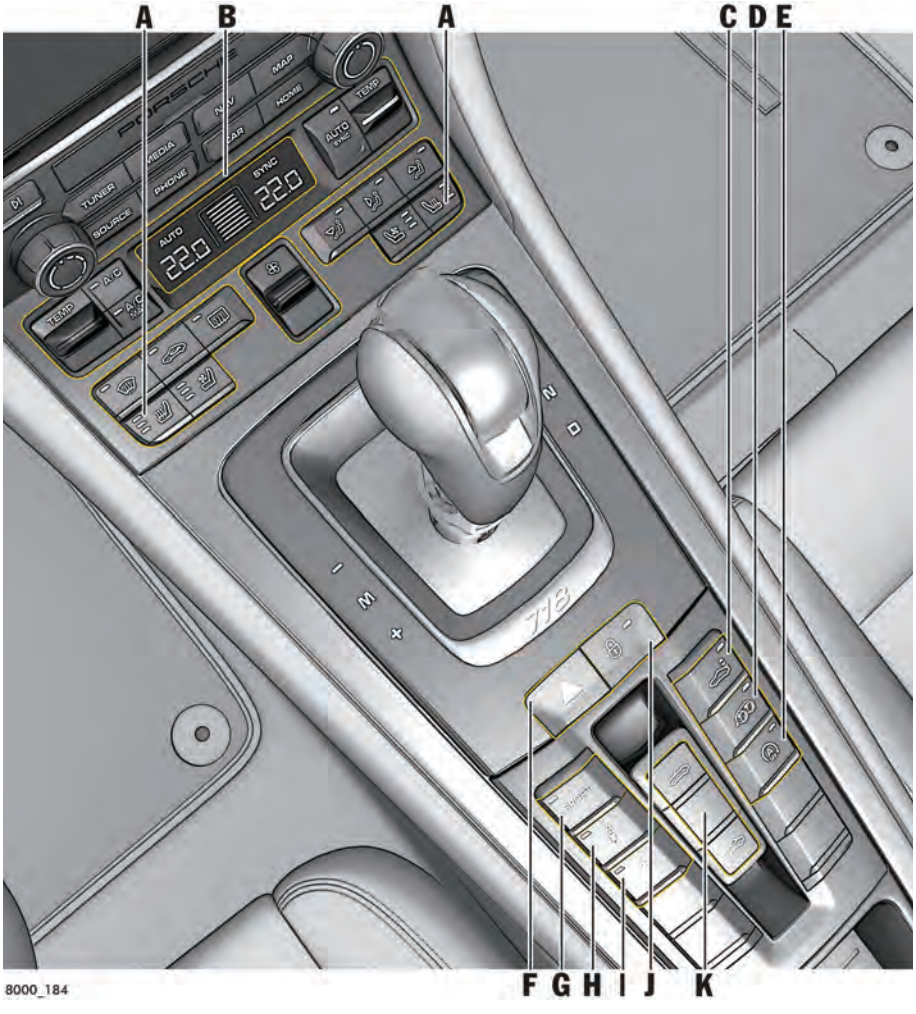
E ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント（PCM） ▷ P24

F エアコン・コントロール・パネル ▷ P21

G コントロール・パネル ▷ P22

H 灰皿、シガー・ライター ▷ P135

I 収納ボックス ▷ P124



コントロール・パネル

A シート・ヒーター /シート・ベンチレーター ▷ P118

B エアコン・コントロール・パネル ▷ P50

C リヤ・スポイラー ▷ P286

D スポーツ・エキゾースト・システム・ボタン ▷ P126

E オート・スタート/ストップ・ボタン ▷ P66

F ハザード・ライト ▷ P274

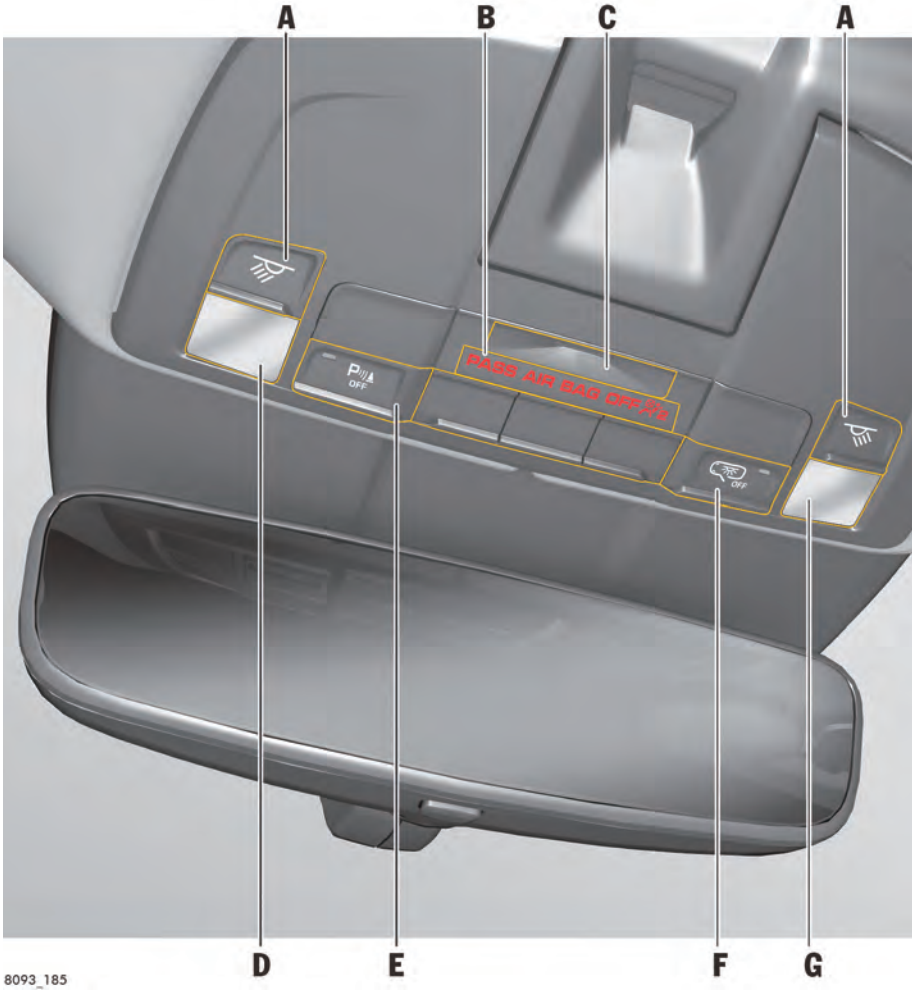
G スポーツ・モード（装備により異なる） ▷ P134

H ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント（PASM）ボタン ▷ P226

I ポルシェ・スタビリティ・マネージメント（PSM） ▷ P239

J セントラル・ロッキング・ボタン ▷ P140

K コンバーチブル・トップ用コントロール・パネル ▷ P109



オーバーヘッド・コンソール

A	インテリア・ライト/読書灯用ボタン	▷ P45
B	助手席エアバッグOFF警告灯	▷ P159
C	インテリア・ライト	▷ P45
D	読書灯	▷ P45
E	パーキング・アシスタント	▷ P195
F	自動インテリア・ライト	▷ P45

PCMの各操作部

A 音量調節、PCM ON/OFFスイッチ ▷ P237
B ラジオ ▷ P282
テレビ ▷ P164
C メディアおよびラジオ音源 ▷ P265
D ミュージックおよびビデオ ▷ P265
E 電話、メッセージおよびEメール ▷ P168
F ナビゲーション ▷ P185
G 車両およびシステムの設定 ▷ P236
H 地図および交通情報 ▷ P190
I メイン・メニュー、サウンド設定 ▷ P237
ポルシェ・コネクト・アプリ、 ▷ P227
ポルシェ・コネクト・サービス ▷ P136
Apple® CarPlay、 ▷ P296
MyScreen ▷ P233
J ロータリー・プッシュ・ボタン（PCMの操作用） ▷ P232
K バック・ボタン：前の操作を取り消す、選択を中止する、または1つ前のメニューに戻る
L メイン・メニュー、サウンド設定に応じた設定
M 時刻の設定 ▷ P230
N タッチスクリーン（PCMの操作用） ▷ P231
O デバイス・マネージャー（電話を接続する、ワイヤレス・インターネット・アクセスを設定する、Bluetooth® 機器を接続する、Apple® CarPlayおよびポルシェ・コネクト・アプリの接続状態を表示する） ▷ P163
P スキップ・ボタン（曲/放送局の設定）

PCMドライブ

A CD/DVDドライブ ▷ P234
B SDカード・リーダー 1 ▷ P235
C SIMカード・リーダー ▷ P136
D SDカード・リーダー 2 ▷ P235
E CD/DVDイジェクト・ボタン ▷ P234

PCMの基本操作

A メイン・メニューを開く ▷ P232
- ボタン（例：TUNER）を押してください。
  または
  メイン・メニュー HOME の機能を選択してください。

B PCMの操作用ロータリー・プッシュ・ボタン ▷ P232
- ロータリー・プッシュ・ボタン**B**を回して機能を選択してください。
- ロータリー・プッシュ・ボタン**B**を押して選択内容を確定してください。

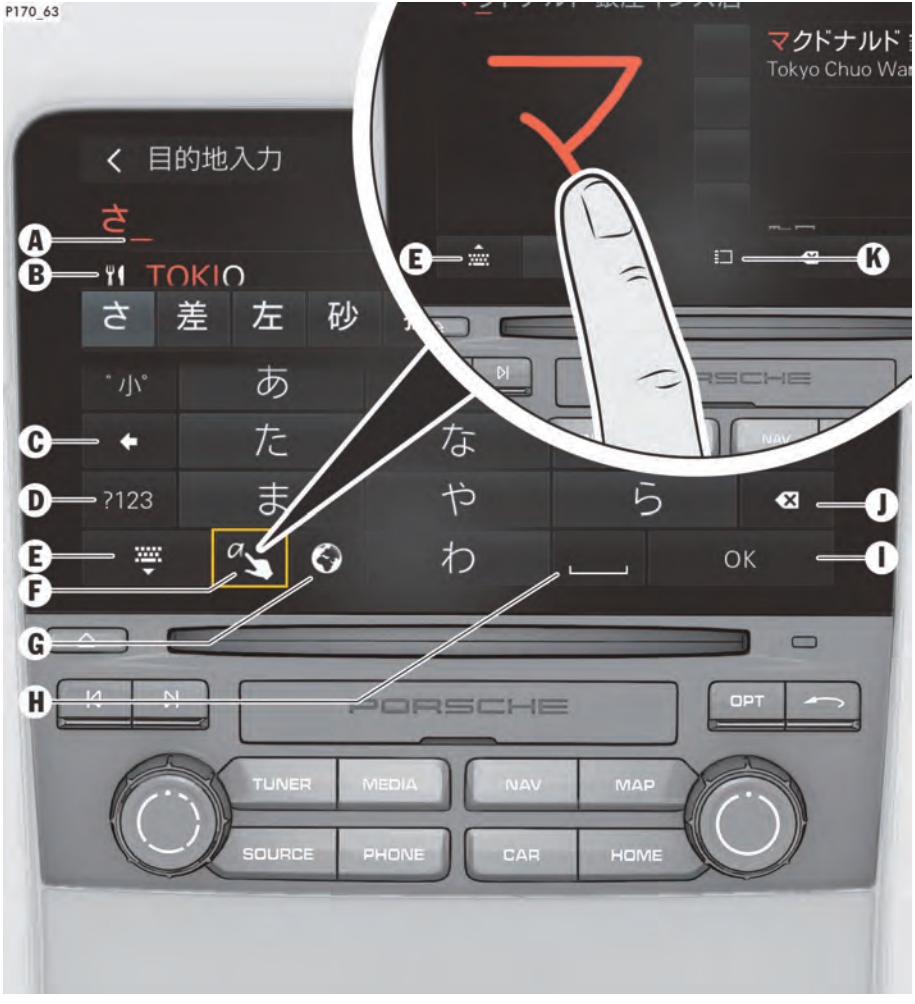
C バック・ボタン：前の操作を取り消す、選択を中止する、または1つ前のメニューに戻る

D メイン・メニュー、サウンド設定に応じた設定 ▷ P232

E コントローラーの機能を開く（近接センサーが作動している場合はPCMに手を近づける） ▷ P232

F PCMの操作用タッチスクリーン ▷ P232
- タップ（指で軽く触れる）
- 長押し（指を押し付けてそのままにする）
- スクロール（上下にスワイプする）
- スワイプ（左右にスワイプする）
- ドラッグ＆ドロップ（項目をタッチして、希望の位置までドラッグして放す）
- ズーム（2本の指をディスプレイに触れたまま広げるまたは狭める）

G 他のページを表示：左右にスワイプして他のページを開く



テキストおよび文字をPCMに入力する

A	現在のカーソル位置	▷ P232
B	候補のリスト	▷ P232
C	大文字と小文字を切り替える	▷ P232
D	文字、数字および特殊文字の入力を切り替える	▷ P232
E	キーボードを表示する/隠す	▷ P232
F	手書き文字認識機能（タッチスクリーンを使用して文字を入力する）	▷ P232
G	キーボードの調整	▷ P232
H	スペースの挿入（手書き文字認識：タッチスクリーン上で指を左から右にスワイプする）	▷ P232
I	入力を決定する	▷ P232
J	項目を削除する（手書き文字認識：タッチスクリーン上で指を右から左にスワイプする）	▷ P232
K	手書き文字認識機能（英語、ひらがな、カタカナ、ローマ字、漢字）代替文字の表示/非表示の切り替え	▷ P232

実用的なヒント

以降のページには、車両の各エリアに関する
実用的なヒントが掲載されています。

実用的なヒント

エアコン

項目	ヒント
アッパー・ベンチレーション・パネルのON/OFF	2ゾーン・エアコン装備車の場合、アッパー・ベンチレーション・パネルは、マルチファンクション・ディスプレイで **車両** ▸ **設定** ▸ **エアコン** ▸ **ベントパネル**の順に選択して、ON/OFFを切り替えることができます。
空気の状態に応じて、外気導入と内気循環を自動的に切り替える	2ゾーン・エアコン装備車の場合、自動内気循環は、マルチファンクション・ディスプレイで **車両** ▸ **設定** ▸ **エアコン** ▸ **自動内気循環**の順に選択して、ON/OFFを切り替えることができます。
ドライバーが1人で乗車するときのエアコン設定	ドライバーが一人で乗車するときは、運転席側のエアコン設定を車両全体に適用します。 ▸ エアコン・コントロール・パネルの AUTO SYNC ボタンを、エアコン・ディスプレイに **SYNC** が表示されるまで押し続けてください。

接続

項目	ヒント
デバイス・マネージャーを開く	デバイス・マネージャーは、機器の接続（例：電話またはBluetooth®オーディオ・プレーヤーの接続、Apple CarPlay®およびポルシェ・コネクト・アプリの使用）を集中管理します。 ▸ PCMのフッターの または のシンボルを選択してください（接続状態により異なる）。 **または** PHONE ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **デバイスマネージャー**

マルチファンクション・ステアリング・ホイール

項目	ヒント
マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールの◊ボタンを割り当てる	マルチファンクション・スポーツ・ステアリング・ホイールの◊ボタンに、マルチファンクション・ディスプレイまたはPCMの任意の機能を個別に割り当てることができます。 マルチファンクション・ディスプレイで希望の機能を選択してください。 **車両** ▸ **設定** ▸ **Steering wheel** ▸ **◊ボタン** ▸ **PCM機能**または**組み合わせ機能**

ナビゲーション

項目	ヒント
目的地の検索または入力	**検索**または**オンライン検索**機能により、希望の目的地を入力または検索することができます。**検索**機能では、PCMに内蔵されたデータベースにアクセスします。インターネットで目的地を検索するには、**オンライン検索**機能を利用してください。 ▸ NAVボタンを押す ▸ **検索**または**オンライン検索** ▸ 検索ワード（都道府県、市区町村など）を入力し、リストから希望する項目を選択して ▸ **Start（開始）**を押します。

ボイスコントロール

項目	ヒント
ボイスコントロールの作動	ステアリング・ホイール左側のレバーにあるボタンを押すと、アプリケーションに応じて様々な機能が起動します。 – 短く押す：PCMのボイスコントロールが有効になります。 – 長押しする：Siri® 音声認識機能が有効になります（Apple®CarPlayを組み合わせた場合のみ）。
乗員による音声操作	ボイスコントロール用のハンズフリー・マイクロフォンはドライバー側に向いています。そのため、ドライバーのみがボイスコントロールを使用してください。

給油

項目	ヒント
フィラー・フラップの位置の表示	燃料計の矢印は、車両のフィラー・フラップの付いている側面を示しています。 ▷ 「インストルメント・パネル」（42ページ）を参照してください。

電話

項目	ヒント
対応しているBluetooth®プロファイル	携帯電話で使用されているプロファイルのリストを表示するには、PHONE ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **PHONE 設定** ▸ **Bluetooth** ▸ **Bluetoothデバイス** ▸ 該当する機器を選択 ▸ **詳細**を選択してください。 また、携帯電話の取扱説明書に記載されている情報にも注意してください。
接続された2つの携帯電話の切り替え	携帯電話が既にPCMに接続されている場合は、もう1つの携帯電話をPCMに接続し、ユーザーが2つの携帯電話を切り替えることも可能です。 ▸ PHONE ボタン ▸ ヘッドラインの または を選択してください。
携帯電話の連絡先をPCMに転送する	どの携帯電話が接続されているか、またはSIMカードを使用しているかに関係なく、PCMの範囲内にある携帯電話からBluetooth®経由で連絡先を転送することができます。 ▸ PHONE ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **PHONE 設定** ▸ **連絡先** ▸ **連絡先をPCMに移動する** ▸ 連絡先の転送に使用する携帯電話を選択してください。

セントラル・ロッキング

項目	ヒント
車両のロックを解除すると、1つのドアのみロックが解除されます。	ドアのロックおよびロック解除の設定が変更されました。 設定内容に関係なくすべてのドアを開くことができます。 ▸ キーのボタンを5秒以内に2回押してください。 設定を変更するには、マルチファンクション・ディスプレイで **車両** ▸ **設定** ▸ **ロック**を選択してください。

トピック

以降のページには、五十音順にトピックが掲載されています。

アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）

✓ PDK装備車

アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）を使用すると、前走車のいない道路を走行する場合に、約30～210km/hの範囲でアクセルペダルを踏まなくても希望する速度を維持したまま走行できます。

アダプティブ・クルーズ・コントロールは自車と同一車線上に、設定した速度よりも遅い前走車を検出すると、あらかじめ設定した車間距離を自動的に維持するように速度を調節します。

アダプティブ・クルーズ・コントロールは前走車との車間距離が短くなると減速し、車間距離が長くなると設定速度の範囲内で加速します。

⚠ 警告 集中力の低下

アダプティブ・クルーズ・コントロールにより快適性は向上しますが、ドライバーは運転に責任を持ち、安全運転を心がけてください。ドライバーは、アダプティブ・クルーズ・コントロールが作動していても、安全な車間距離を保ち、適切なスピードで走行するなどの安全運転に努めてください。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- 十分注意して運転してください。
- アダプティブ・クルーズ・コントロールの減速が不十分な場合は、直ちにフット・ブレーキをかけて車両を減速させてください。
- 常に車両がコントロールできるか確認してください。

⚠ 警告 危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

交通状況により前走車と安全な距離を保って一定の車速で走行できない場合は、アダプティブ・クルーズ・コントロールを使用すると事故を起こす危険があります。

- 激しい渋滞、道路工事区間、市街地、カーブの多い道、路面状態が悪い場合（冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面）などでアダプティブ・クルーズ・コントロールを使用しないでください。

⚠ 警告 アダプティブ・クルーズ・コントロールにより他の車両や障害物を検出できない場合

アダプティブ・クルーズ・コントロールは、停車中または低速走行中の車両、歩行者、路上の障害物、同一車線上の対向車、前方を斜め方向に横切る車両などは検出できません。

- 必要に応じて適切な運転操作をしてください。
- 進行方向の状況に常に気を配ってください。

レーダー・センサー

アダプティブ・クルーズ・コントロールは、フロント・バンパー中央（**矢印**）のレーダー・センサーを使用します。

図1: レーダー・センサーの取り付け位置

i インフォメーション

- システムの正常な機能を維持するために、レーダー・センサーに付着した汚れ、氷、雪などを取り除いてください。

車両のお手入れについて：

▷ 「お手入れ」(69ページ)を参照してください。

⚠ 警告 レーダー・センサーの視界不良

雨水、雪、氷、多量の水しぶきなどでレーダー・センサーの機能が阻害される場合があります。前走車を正しく検出できないことや、全く検出できなくなることがあります。

- 上記のような状況下ではアダプティブ・クルーズ・コンロールを使用しないでください。

例外

レーダー・センサーの汚れが激しい場合や雪などで覆われているとき、豪雨など悪天候のとき、トンネルを通過中などにアダプティブ・クルーズ・コントロールが自動的に作動を停止することがあります。

マルチファンクション・ディスプレイにACCが停止中であることを示すメッセージが表示されます。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（85ページ）を参照してください。

アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）の基本的な作動

前走車がいないとき – 一般道路での運転

アダプティブ・クルーズ・コントロールは車両の速度を調節します。設定された希望の速度が常に維持されます。

前走車を検出したとき – フォロー・モード

アダプティブ・クルーズ・コントロールは、自車と同一車線上に希望した設定速度よりも遅い前走車を検出すると、あらかじめ設定した車間距離を自動的に維持するように速度を調節します。

前走車が停止すると、アダプティブ・クルーズ・コントロールの制御範囲内で減速して停車します。

アダプティブ・クルーズ・コントロールは前走車が発進するまで停車状態を維持します。

前走車が発進すると、アダプティブ・クルーズ・コントロール（自動車速制御および自動車間距離制御）を再開することができます。

追い越し加速

アクセル・ペダルを踏むことにより、いつでも加速することができます。

設定速度よりも高速で走行すると、アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）が解除されます。

マルチファンクション・ディスプレイにACCが停止中であることを示すメッセージが表示されます。設定された希望の速度は保存されています。

アクセル・ペダルを放すと、ACCは、前走車がいない場合は希望の速度まで加速し、前走車がいる場合は車間距離を制御します。

ACCの作動状態に関するインフォメーション：

▷ 「アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）のON時の作動モード」（35ページ）を参照してください。

アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）の操作

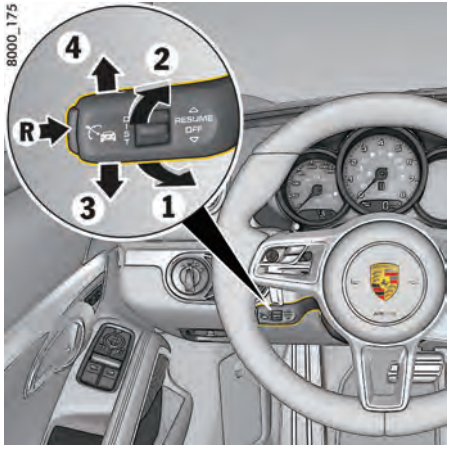


図2: アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）操作レバー

R ACCのON/OFF切り替え
1 設定/希望する速度を上げる
2 減速
3 中断（OFF）
4 クルーズ・コントロールの再開（RESUME）

インフォメーション

ブレーキ・ペダルまたはアクセル・ペダルを操作した場合、いつでもドライバーの意志が優先されます。

アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）の表示

アダプティブ・クルーズ・コントロールに関するすべての重要な情報、メッセージおよび警告はマルチファンクション・ディスプレイの**ACC**メイン・メニューに表示されます。

図3: マルチファンクション・ディスプレイのACC

A 前走車との設定車間距離
B ステータス表示と目標速度
C 先行車両の検知
D 先行車両からの現在の距離
E 先行車両の現在の速度
F 速度制御範囲のバー表示(0～210km/h)
G 実際の速度

アダプティブ・クルーズ・コントロールをONにすると、マルチファンクション・ディスプレイ左下にステータス・ディスプレイ**B**が表示されます。

アダプティブ・クルーズ・コントロールが作動すると、ステータス・ディスプレイ**B**が橙色に変わります。
アダプティブ・クルーズ・コントロールの作動を中断すると、ステータス・ディスプレイ**B**が灰色になります。

アダプティブ・クルーズ・コントロールをONにすると、クルーズ・コントロールのシンボル・マークが表示されます。ただし設定速度を設定するまでは、速度表示が空欄になります。

設定速度を設定した後、前走車を検出していないときは、クルーズ・コントロールのシンボル・マークと設定速度が表示されます。

設定速度を設定した後で前走車を検出した場合、車両のシンボル・マークと設定速度が表示されます。

アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）のON/OFF

アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）をONにする

▸ クルーズ・コントロール操作レバーのボタン**R**を押してください。
マルチファンクション・ディスプレイに灰色のシンボル・マークが表示されます。
アダプティブ・クルーズ・コントロールはスタンバイ状態になります。

アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）をOFFにする

▸ クルーズ・コントロール操作レバーのボタン**R**を押してください。
マルチファンクション・ディスプレイにACCが停止中であることを示すメッセージが表示されます。
保存されていた設定速度が削除されます。
設定車間距離が初期値（デフォルト値）にリセットされます。

アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）のON時の作動モード

アダプティブ・クルーズ・コントロールON時には、3種類の作動モードがあります。

アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）の作動

アダプティブ・クルーズ・コントロールが、速度および前走車との車間距離を自動的に制御します。
ステータス・ディスプレイ**B**が橙色になります。

アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）のスタンバイ

ブレーキ・ペダルを踏んだときや、クルーズ・コントロール操作レバーを下方（**3**の位置、**OFF**）に押したときは、アダプティブ・クルーズ・コントロール（自動車速制御および自動車間距離制御）が解除されます。
設定された希望速度および設定車間距離は保存されたままになります。
ステータス・ディスプレイ**B**が灰色になります。
アダプティブ・クルーズ・コントロール（自動車速制御および自動車間距離制御）の再開に関するインフォメーション：

▷ 「RESUME（自動車速制御と自動車間距離制御の再開）」（38ページ）を参照してください。

アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）の速度超過

アクセル・ペダルを踏むと、クルーズ・コントロールおよび車間距離制御が解除されます。

マルチファンクション・ディスプレイにACCが停止中であることを示すメッセージが表示されます。

設定された希望速度および設定車間距離は保存されたままになります。

ステータス・ディスプレイ**B**が灰色になります。

アクセル・ペダルを放した後、アダプティブ・クルーズ・コントロール（自動車速制御および自動車間距離制御）は再開されます。

速度の設定/設定速度の変更

✓ アダプティブ・クルーズ・コントロールがON
✓ 車両が動いている
✓ 前方に静止した物体を検出していない

速度の設定

1. ステアリング・コラムの操作レバーを前方（34ページ図2の**1**）に押してください。
   そのときの走行速度が希望速度として保存され、自動的に維持されます（約30～210km/hの制御範囲内）。ステータス・ディスプレイ**B**が橙色になります。
   速度制御範囲のバー・グラフの下部に表示されている赤色の▲マーク**G**が、現在の速度を示しています。
2. アクセル・ペダルから足を放してください。
   自車よりも遅い速度の前走車が検出されるまで、設定速度が自動的に維持されます。

インフォメーション

停止中に操作レバーを前方（**1**の位置）に押すと、マルチファンクション・ディスプレイに「ACC cannot be activated when parked（ACC 不可停車中）」のメッセージが表示されます。

前方に静止した物体を検出すると、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

設定速度を上げる

- ステアリング・コラムの操作レバーを前方（34ページ図2の**1**）に短く押してください。
  速度が1km/h単位で上がります。
  または
  ステアリング・コラムの操作レバーを前方（**1**の位置）で保持してください。
  速度が10km/h単位で上がります。
  ステータス・ディスプレイ**B**が新しく設定した速度を表示します。
  速度制御範囲のバー・グラフの下部に表示されている赤色の▲マーク**G**が、現在の速度を示しています。

設定速度を下げる

- ステアリング・コラムの操作レバーを手前（34ページ図2の**2**）に短く引いてください。
  速度が1km/h単位で下がります。
  または
  ステアリング・コラムの操作レバーを希望の速度になるまで手前（**2**の位置）で保持してください。
  速度が10km/h単位で下がります。
  ステータス・ディスプレイ**B**が新しく設定した速度を表示します。
  速度制御範囲のバー・グラフの下部に表示されている赤色の▲マーク**G**が、現在の速度を示しています。

車間距離の設定

前走車との車間距離を4段階に設定できます。

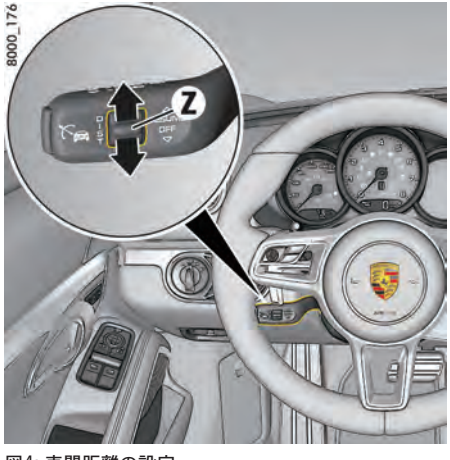


図4: 車間距離の設定

インフォメーション

車間距離を設定すると、マルチファンクション・ディスプレイに「ACC」（アダプティブ・クルーズ・コントロール）のメイン・メニューが一時的に表示されます。
最初にロッカー・スイッチ**Z**を操作すると、設定車間距離を変更することなく、「ACC」メイン・メニューが表示されます。

インフォメーション

実際の車間距離は速度に応じて変化します。速度が低いときは車間距離が短くなり、速度が高くなると車間距離が長くなります。

車間距離を長くする

- スイッチ**Z**を上方向に押してください。
  前走車との設定車間距離を示す橙色のセグメント**A**の数が増えます。

車間距離を短くする

- スイッチ**Z**を下方向に押してください。
  前走車との設定車間距離を示す橙色のセグメント**A**の数が減ります。

前走車との車間距離を表示する

前走車を検出すると、マルチファンクション・ディスプレイまたはステータス・ディスプレイ**B**に車両のシンボル・マーク**C**が表示されます。灰色のゾーン**D**が、前走車との現在の車間距離を示します（35ページ図3）。

走行速度が高い道路での走行に適した車間距離です。前走車との車間距離は1秒です。この場合、120km/hのときに約33mの車間距離になります。

少し余裕のあるドライビングに適した車間距離です。前走車との車間距離は1.3秒です。この場合、120km/hのときに約43mの車間距離になります。

初期設定値
道路運行上の安全基準に即した車間距離です。前走車との車間距離は1.8秒です。この場合、120km/hのときに約60mの車間距離になります。

郊外路を走行するときに適しています。前走車との車間距離は2.3秒です。この場合、120km/hのときに約77mの車間距離になります。

自動ブレーキ制御での停止

アダプティブ・クルーズ・コントロールが作動しているときに前走車が停止すると、制御範囲内で減速して停車します。
インストルメント・パネルの HOLD インジケーター・ライトが点灯します。
車両は前走車が発進するまで停止状態を維持します。
HOLD機能に関するインフォメーション：
▷ 「HOLD機能：発進アシスタント、停止制御」（298ページ）を参照してください。

インフォメーション

周囲の交通の流れによっては（例えば、ゆっくりとした交通の流れの中では）、車両はゆっくりと徐行してから停車します。

インフォメーション

アダプティブ・クルーズ・コントロールが正常に機能している場合や、HOLD機能が作動したときは、ブレーキ・ペダルの感触が変化したり、ブレーキ・システムの油圧作動音が聞こえることがあります。
これはシステムの正常な作動であり、故障ではありません。

再発進

アダプティブ・クルーズ・コントロールの作動モードに応じて、停車後に再発進し、自動車速制御と自動車間距離制御を再開することができます。

アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）の作動

- ステアリング・コラムの操作レバーを上方（**4**の位置、**RESUME**）に押してください。
  または
  アクセル・ペダルを短く踏んでください。
  車両が自動的に再発進します。

インフォメーション

前走車が停止しているときは発進できません。

アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）のスタンバイ

車両が動いているときのみ、自動車速制御および自動車間距離制御を再開することができます。

1. 通常の運転操作で発進してください。
2. ステアリング・コラムの操作レバーを上方（**4**の位置、**RESUME**）に押してください。
   または
   速度を設定する、または設定速度を変更してください。

アダプティブ・クルーズ・コントロール（自動車速制御および自動車間距離制御）の中断と再開

OFF（自動車速制御と自動車間距離制御の中断）

- ブレーキ・ペダルを踏んでください。
  または
  ステアリング・コラムの操作レバーを下方（**3**の位置、**OFF**）に押してください。
  アダプティブ・クルーズ・コントロールの制御が中断されます。
  設定された希望速度および設定車間距離は保存されたままになります。
  ステータス･ディスプレイ**B**が橙色から灰色になります。

RESUME（自動車速制御と自動車間距離制御の再開）

- ステアリング・コラムの操作レバーを上方（**4**の位置、**RESUME**）に押してください。
  自車よりも遅い速度の前走車を検出し、あらかじめ設定した車間距離よりも接近するまでは、車両は設定速度まで加速します。
  ステータス･ディスプレイ**B**が灰色から橙色になります。
  または
  ステアリング・コラムの操作レバーを上方（**4**の位置、**RESUME**）で保持してください。
  車両が設定した希望速度まで加速します。

インフォメーション

操作レバーを**3**の位置（**OFF**）に動かして、自動車速制御および自動車間距離制御を中断した場合、発進後に前方に静止した物体を検出していないときのみ制御を再開できます。

警告メッセージ

図5: マルチファンクション･ディスプレイの警告メッセージ

制御モード（ACC作動中）でのドライバーへの運転操作の要求

アダプティブ・クルーズ・コントロールが作動しているときに、ドライバーのブレーキ操作が必要であると判断された場合、警告音が鳴り、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

⚠ 警告

アダプティブ・クルーズ・コントロールによるオート・ブレーキ時の不十分な制動力

このような場合、アダプティブ・クルーズ・コントロールによる制動力は衝突を回避するには不十分です。

- 直ちにブレーキをかけてください。

アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）の例外

次のような状況では、アダプティブ・クルーズ・コントロールは利用できません。

- イグニッションがOFFのとき
- PSM がOFFのとき
- 運転席ドアが開き、運転席シート・ベルトを着用していないとき
- 駐車時や操舵時など、ステアリング・ホイールをいっぱいに切ったとき
- エレクトリック・パーキング・ブレーキが作動しているとき
- セレクター・レバーが**N**、**R**または**P**の位置にあるとき
- 上り坂や下り坂の傾斜が20 %以上のとき

アダプティブ・クルーズ・コントロールON時に、上記のいずれかの例外状況があてはまる場合、アダプティブ・クルーズ・コントロールはOFFになります。

マルチファンクション・ディスプレイに該当するメッセージが表示されます。

レーダー・センサーが前走車を正常に検出できない状況

アダプティブ・クルーズ・コントロールのレーダー・センサーは、自車正面の比較的狭い範囲を円錐状に監視します。

このため周囲の道路状況や、前走車の大きさによっては、レーダー・センサーが前走車を検知できない、または検知が遅れる場合があります。その結果、アダプティブ・クルーズ・コントロールの制動が遅れたり、ブレーキが突然かかることがあります。

停止中の車両は検出されません。アダプティブ・クルーズ・コントロールは停止中の車両に反応できません。

- ▸ 十分注意して運転してください。
- ▸ 必要に応じて減速してください。

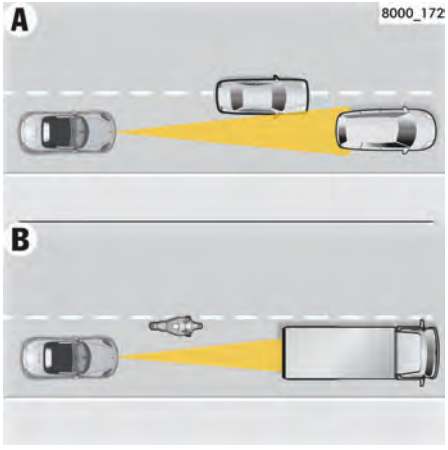


図6: 前方への割り込み、幅の狭い車両

A – 前走車の車線変更/前方への割り込み

他の車両が自車の車線に割り込んだときや離れる場合、自車と同一車線に完全に移動するまでその車両を検出しません。

B – 投影面積が小さな車両/幅の狭い車両

小さな車両や幅の狭い車両は検出できないか、または検出のタイミングが遅れます。

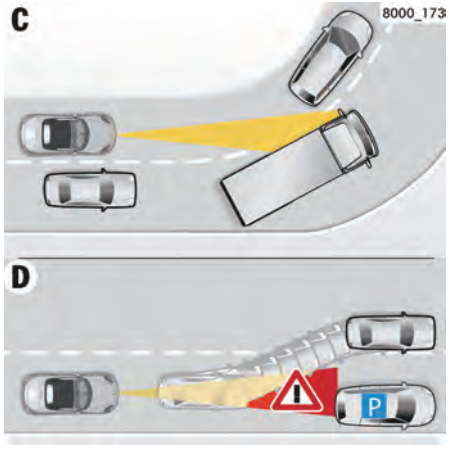


図7: コーナリングおよび停車中の車両

C – コーナーへの進入/脱出

コーナーにさしかかったときは、前走車を検出できなかったり、遅れて検出する場合があります。また、隣の車線を走行する車両に反応する場合もあります。

D – 停止中の車両

レーダー・センサーの監視エリアに突然停車中の車両が現れたとき（前走車が車線変更したときなど）は、アダプティブ・クルーズ・コントロールはその車両を検出しません。

⚠ 警告 アダプティブ・クルーズ・コントロールの停止車両の不検出

アダプティブ・クルーズ・コントロールのレーダー・センサーは停車中の車両を検出しません。

- 十分注意して運転してください。
- 必要に応じて減速してください。

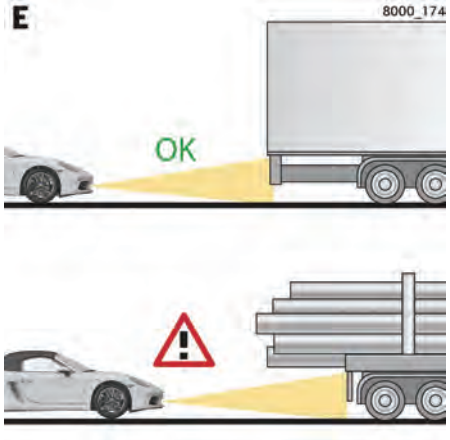


図8: オーバーハングの長い車両

E – オーバーハングの長い車両

木材運搬トラックなどの車両後端部は正しく検出できません。

⚠ 警告 前走車の後端が正しく検出されない

前走車のオーバーハングが長い場合、アダプティブ・クルーズ・コントロールのレーダー・センサーはその車両の後端を検出できない、または距離を正しく検出することができません。

- 十分注意して運転してください。
- 必要に応じて減速してください。

アクティブ・セーフティー – ポルシェ・アクティブ・セーフ (PAS)

アダプティブ・クルーズ・コントロール・センサーは「ポルシェ・アクティブ・セーフ（PAS）」機能に使用されます。

機能内容：

– **ブレーキ・システム・プレフィル**
前走車に危険なほど近づいていることをレーダー・センサーが検出すると、ブレーキ・システムの圧力をあらかじめ僅かに高めて制動時の応答性を向上させます。

– **ブレーキ・アシスト**
急ブレーキ操作時にブレーキ・ペダルを踏む力が弱いと、ブレーキ・アシストが4輪すべてのブレーキ・システムの圧力を高め最大の制動力をかけます。
前走車に危険なほど近づいていることをレーダー・センサーが検出すると、ブレーキ・アシスト機能の作動開始が早まります。ブレーキ・アシストの作動は状況の危険度に応じて3段階で早まります。

– **ターゲット・ブレーキ**
前走車に危険なほど近づいていることをレーダー・センサーが検出し、更にブレーキ制動力が不十分な場合、状況に応じてブレーキ圧力を増加します（必要に応じて最大の制動力まで）。

インフォメーション

すべてのポルシェ・アクティブ・セーフ（PAS）機能は約30km/hを超える速度で作動します。

潜在的な警告（表示）

図9: 潜在的な警告（表示）

車間距離が短い状態で長い時間走行している場合、前走車がブレーキをかけたときに衝突することを防ぐため、マルチファンクション・ディスプレイに潜在的な警告（黄色のマーク）を表示してドライバーに警告します。

- 必要に応じて前走車との車間距離を十分に確保してください。

予期警告（警告音、表示）

図10: 事前警告作動

前走車に危険なほど近づいていて、前走車と衝突しそうなことをレーダー・センサーが検出すると、警告音と表示で予期警告を行います。
この危険な状況では、ドライバーが適切に対応することで衝突を回避できます。

⚠ 警告 車間距離の不足

前走車に追突する恐れがあります。

▸ 直ちにブレーキをかけてください。

緊急警告（警告音、表示、ブレーキ振動）

図11: 事前警告作動

ドライバーが予期警告に対応せず、ブレーキをかけなかった場合、直ちに緊急警告が作動し、警告音と表示に加えてブレーキ振動で知らせます。
ドライバーの注意を交通状況に向けるため、ブレーキ圧を急上昇させてブレーキ振動を発生させます。
この危険な状況では、ドライバーが適切に対応することで衝突を回避できます。

⚠ 警告 車間距離の不足

前走車に追突する恐れがあります。

▸ 直ちにブレーキをかけてください。

インフォメーション

下記の状況ではドライバーは慎重に運転していると想定され、予期警告や緊急警告機能は作動しません：

- 急カーブを走行しているとき
- ブレーキをかけているとき
- 追い越ししようとしている場合などドライバーが急加速したとき

ポルシェ・アクティブ・セーフ（PAS）警告のON/OFF

潜在的および予期警告機能は初期設定ではOFFになっていますが、緊急警告機能は作動状態になっています。マルチファンクション・ディスプレイで潜在的および事前警告機能をONにする：

▹ 「ポルシェ・アクティブ・セーフ（PAS）のON/OFF」（256ページ）を参照してください。

インストルメント・パネル

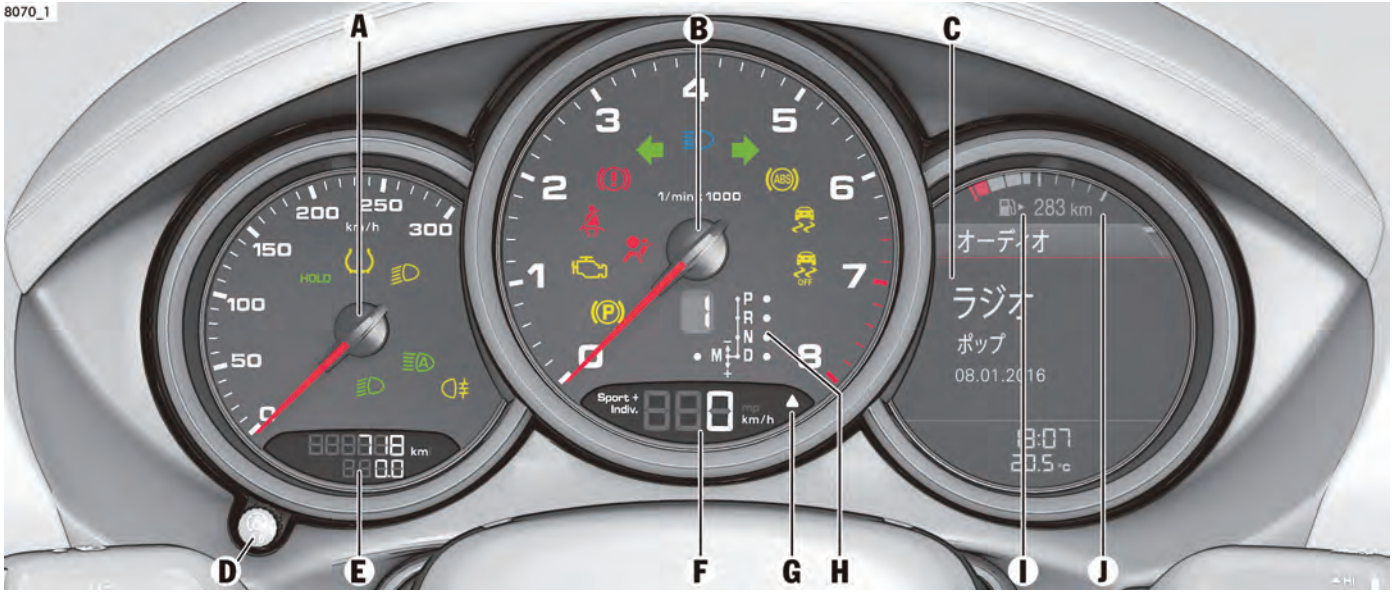


図12: インストルメント・パネルの表示

A – スピードメーター

B – タコメーター （回転計）

タコメーターの目盛りが赤色の部分は、エンジン回転数の許容上限を示しています。

C – マルチファンクション・ディスプレイ

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイ」（243ページ）を参照してください。

D – トリップ・メーター・リセット・ボタン/インストルメント・ライトおよびPCMの明るさ調節ボタン

▷ 「インストルメントおよびインテリア・ライト」（45ページ）を参照してください。

E – 積算距離計/トリップ・メーター

ディスプレイの上段は総走行距離を表示し、下段は区間走行距離を表示しています。
9,999kmを超えると、トリップ・メーターの表示が「0」に戻ります。
トリップ・メーターの手動リセット：

▸ トリップ・メーター・リセット・ボタンDを約1秒間押し続けてください。
トリップ・メーターが「0」に戻ります。

F – デジタル・スピードメーター

G – シフトアップ・インジケーター

経済的な運転を促すシフトアップ・インジケーターは、選択しているギヤ、エンジン回転数およびアクセル・ペダルの踏み込み量に応じて点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。
マニュアル・モードでのみシフトアップ・インジケーターが使用可能です。

- シフトアップ・インジケーターが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

H – セレクターレバー・ポジション・インジケーターおよびギヤ・ポジション・インジケーター

I – フィラー・フラップ位置の表示

矢印は車両のフィラー・フラップの付いている側面を示しています。

J – 燃料計

イグニッションがONのときに燃料の残量を示します。

▷ 「給油」(79ページ) を参照してください。

坂道などで車両の傾きが変化すると、燃料計の表示位置が少し変化することがあります。

燃料残量警告灯

燃料タンクの残量が規定値 (モデルにより異なる) または最小残可走距離を下回り、イグニッションがON、またはエンジン作動している場合、燃料警告メッセージが表示されます。

- 最寄りの給油所で給油してください。

知識

燃料が不足した状態で走行を続けると、エミッション・コントロール・システムに損傷を与える恐れがあります。

- 燃料タンクが空になるまで走行しないでください。
- 警告灯が点灯したり、燃料警告メッセージが表示された場合は、カーブを曲がるときにスピードを出さないようにしてください。

警告灯および表示灯

知識

イグニッションをONにすると、すべての警告灯およびインジケーター・ライトが短時間点灯します。不具合は警告灯により示されます。

次の場合は、必ずポルシェ正規販売店にご相談ください。

- イグニッションをONにしたときに警告灯が点灯しないとき
- エンジン作動中または走行中に、警告灯が点灯または点滅するとき

ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インフォメーション

不具合の原因が解消した場合のみ、該当する警告灯が消灯します。

スピードメーター内

HOLD HOLD機能インジケーター・ライト

タイヤ空気圧警告灯
警告灯が点滅または点灯する原因：

- 新しく装着したホイール (タイヤ空気圧センサー) を学習している、またはホイールを認識できない場合
- タイヤ空気圧モニタリング・システム (TPM) の故障または一時的な不具合
- タイヤ空気圧の低下

- 空気圧が低下した場合：適切な場所に停車してください。運転を続けないでください。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(85ページ) を参照してください。

▷ 「TPMメニュー – タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM)」(248ページ) を参照してください。

PDLS警告灯

ロー・ビーム・インジケーター・ライト

ダイナミック・ハイ・ビーム・インジケーター・ライト

リヤ・フォグ・ライト・インジケーター・ライト

タコメーター内

スポーツ/スポーツ・プラス/パーソナル・インジケーター・ライト

エレクトリック・パーキング・ブレーキ警告灯

エミッション・コントロール警告灯（チェック・エンジン）
警告灯が点滅または点灯する原因：汚染物質の排出量を増加させ、損傷を引き起こす原因となる作動不良（エンジンの失火など）

- 直ちにエンジンの回転数を下げ、エンジンの負荷を軽減してください。
- 必要に応じて、安全な場所に停車してください。可燃物（乾燥した草や枯れ葉など）が高温の排気システムに接触しないよう注意してください。
- 必要な措置を講じて、エミッション・コントロール・システムの不具合を解消してください。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（85ページ）を参照してください。

エアバッグ警告灯

シート・ベルト警告灯

ブレーキ警告灯

方向指示灯、左

ハイ・ビーム・インジケーター・ライト

方向指示灯、右

ABS警告灯

PSM警告灯

PSM OFF警告灯

インストルメントおよびインテリア・ライト

インストルメント・ライトの明るさ調整

図13: 調節ボタン

ライト・センサーにより、周囲の明るさによって照明が自動的に調節されます。

更に、車両のライト・スイッチがONのときはインストルメント・パネルおよびスイッチの照明を手動で調節することができます。

- 調節ボタン**A**を、希望の明るさになるまで左右どちらかに回して保持してください。

⚠ 警告 走行中の輝度の調節

運転中に明るさ調節を行うと、車両のコントロールを失う恐れがあります。

- 運転中は、ステアリング・ホイールのスポークの間に手を入れないでください。

インテリア・ライトの点灯/消灯

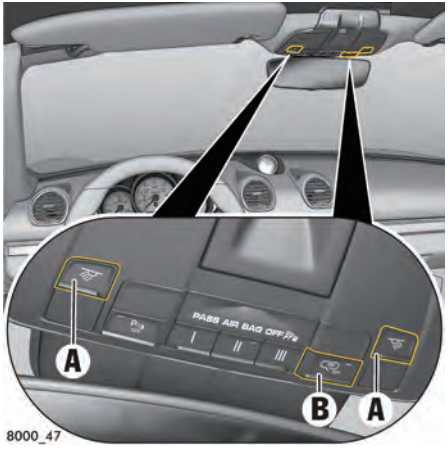


図14: インテリア・ライト/読書灯用ボタン

A インテリア・ライト/読書灯用ボタン
B インテリア・ライトの自動点灯/消灯機能

インテリア・ライト/読書灯の点灯/消灯

- ボタン**A**を押してください。

明るさを調節する（減光）

- ボタン**A**を希望の明るさになるまで少なくとも1秒間押し続けてください。

ルーム・ランプの自動点灯/消灯機能

装備仕様により、自動インテリア・ライトは**ボタンB**を使用して、**またはマルチファンクション・ディスプレイ**のメニューからON/OFFを切り替えることができます。

ボタンBを使用する：

- ボタン**B**を押してください。
  インテリア・ライトをOFFにすると、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

インテリア・ライトをONにすると、周囲が暗いときに次のように作動します。

- **以下の場合に点灯します：**ドアをロック解除したとき、開いたとき、またはキーをイグニッション・ロックから抜いたとき
- **以下の場合に消灯します：**両方のドアを閉じたとき、約120秒の遅延後この遅延消灯時間は、マルチファンクション・ディスプレイで変更できます。イグニッションをONにしたときや、車両をロックしたときは、直ちにインテリア・ライトが消灯します。

マルチファンクション・ディスプレイでの操作：

▷ 「ドアを開いたときのインテリア・ライト自動点灯の有効/無効」（258ページ）を参照してください。

バッテリー保護のためのインテリア・ライトの自動消灯機能

周囲が暗いときは、バッテリー上がりを防止するためにエンジンを停止してから約15分後にインテリア・ライトが自動的に消灯します。

周囲が明るいときは、インテリア・ライトを手動で点灯した後、約1分が経過すると自動的に消灯します。

オリエンテーション・ライト

オーバーヘッド・コンソールおよびイグニッション・ロック部のライトにより、周囲が暗いときに車両の主要な装備の位置を照らして乗降性を高めます。これらのライトは車両のロックを解除したときに点灯し、車両をロックすると自動的に消灯します。

オリエンテーション・ライトの明るさはマルチファンクション・ディスプレイで調節（減光）することができます。

▷ 「オリエンテーション・ライトの明るさを調節する」（258ページ）を参照してください。

アンビエント・ライト

夜間の運転中、控えめな明るさのライトが車内をやわらかく照らします。アンビエント・ライトは、車両をロックすると自動的に消灯します。

ウィンドウ

ウィンドウの開閉

⚠ 警告 ウィンドウの開閉

ウィンドウを開閉するときは、作動中のウィンドウと車両の固定部分の間に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。特にワンタッチ作動で閉じるときは十分に注意してください。

- ウィンドウを開閉するときは、作動中のウィンドウと車両の固定部分の間に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。
- 車両を離れるときは必ずキーを抜いてください。またはポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにしてください。車両から離れるときは、必ずキーを携行してください。乗員がパワー・ウィンドウを誤って操作し、ケガをする恐れがあります。
- 危険が発生した場合直ちにキーのボタンを放してください。ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車は、直ちにドア・ハンドルのタッチ・センサーを放してください。
- お子様のみを車内に残さないでください。

図15: 運転席ドアのパワー・ウィンドウ・スイッチ

A 左側パワー・ウィンドウ・スイッチ
B 右側パワー・ウィンドウ・スイッチ

✓ イグニッションがONのとき
または
✓ イグニッションを10分以内OFFにして、運転席ドアまたは助手席ドアをまだ開けていない状態

ウィンドウを開く

- ウィンドウが希望の位置になるまで希望のウィンドウのスイッチを押してください。

ウィンドウを閉じる

- ウィンドウが希望の位置になるまで希望のウィンドウのスイッチを引いてください。

ロッカー・スイッチには**2段階の作動位置**があります。この2段階の作動位置は、スイッチを操作する際にはっきりと感じ取れます。

1段目 – 手動操作

- 該当するスイッチを1段目まで押すか、または引いてください。
  ウィンドウが手動で開閉します。
  ボタンを放すとウィンドウが止まります。

2段目 – ワンタッチ操作

✓ イグニッションがONのとき
- 該当するスイッチを 2 段目まで素早く押すか、または引いてください。
  ウィンドウが完全に開閉します。
- ウィンドウを希望の位置で停止させたいときは、もう1度スイッチを操作してください。

インフォメーション

ドア・ウィンドウを閉じるときに障害物で作動が妨げられると、ウィンドウが停止した後、再び数センチ下がります。
ウィンドウの作動が約10秒以内に2回妨げられると、そのウィンドウのワンタッチ操作ができなくなります。
ウィンドウは手動で閉じることができます。ワンタッチ操作を再度有効にするには、ウィンドウを手動操作で1回完全に閉じてください。

⚠ 警告 ウィンドウの手動閉操作

ワンタッチ操作がウィンドウの抵抗を感じて無効になった場合、手動閉機能を使用してウィンドウを閉じると、最大の力で閉じようとします。

- ウィンドウを閉じるとき、乗員が挟まれたり、圧迫されたりしないことを確認してください。

キーによるウィンドウの開閉

図16: キーによるウィンドウの開閉

- ウィンドウが希望の位置になるまでキーの開閉ボタンを押し続けてください。

ドア・ハンドルのタッチ・センサーでウィンドウを閉じる（ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車）

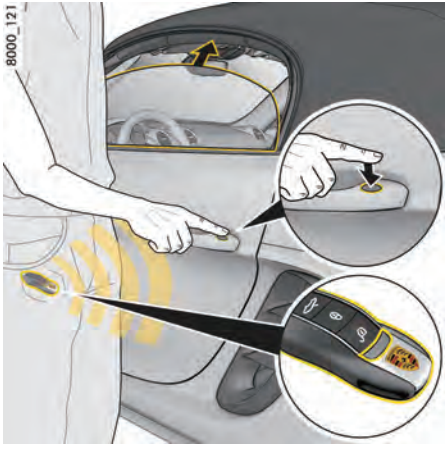


図17: ドア・ハンドルのタッチ・センサーでウィンドウを閉じる（ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車）

- 車両をロックするときにウィンドウが希望の位置になるまで、ドア・ハンドルのタッチ・センサーに触れ続けてください。

ウィンドウ停止位置の保存

バッテリーを外したり、再接続したりしたときは、ウィンドウの停止位置が消去されます。ウィンドウのワンタッチ操作が無効になります。

すべてのウィンドウで以下の作業を行ってください：

1. スイッチを2段目まで引いて、一回完全にウインドウを閉じてください。
2. ウィンドウが完全に閉じた後、スイッチを再度短く2段目まで3回引いてください。
3. スイッチを押して、1回ウィンドウを完全に開いてください。

ウォッシャー液

図18: フロント・ウィンドウおよびヘッドライト用ウォッシャー液タンク

下記の点を必ず守ってください：

- 季節に合わせて、水と適切な添加剤（ウィンドウ・クリーナー濃縮液、不凍液）を混ぜ合わせてください。正しい混合比を遵守し、使用する添加剤の容器に記載されている注意事項に従ってください。
  - **夏季**：水とウィンドウ・クリーナー濃縮液を入れてください。
  - **冬季**：水、不凍液、およびウィンドウ・クリーナー濃縮液を入れてください。

次の条件を満たしているウィンドウ・クリーナー濃縮液のみを使用してください：

- 濃度1:100
- 無リン
- プラスチック・ヘッドライト・レンズに適しているもの

ポルシェ社が推奨するウォッシャー液濃縮液については：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

警告メッセージへの対応

ウォッシャー液のレベルが低下すると、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに のシンボルが表示されます。

- ▸ 次の機会にウォッシャー液を補充してください。
- ▹ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（85ページ）を参照してください。

ウォッシャー液の補充

知識

ヘッドライトを損傷する危険性

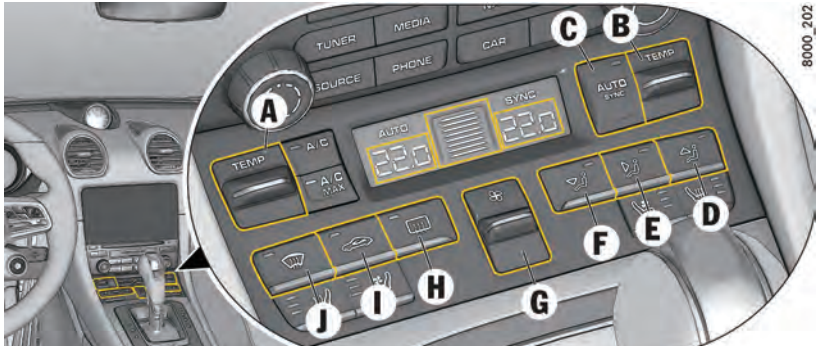
- ▸ ウォッシャー液を補充するときに、ヘッドライトに寄りかからないようにしてください。

1. ウォッシャー液タンクのキャップを開いてください。
2. ウォッシャー液を補充してください。
   - ▹ 「充填容量」（302ページ）を参照してください。
3. キャップを慎重に閉じてください。

エアコン（2ゾーン オートエアコン）

概要

この概要説明は後述の「エアコン（2ゾーン オートエアコン）」の広範囲な情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	ページ
オート・エアコンを使用する	ボタン**C**を押してください。	51
温度の設定	車内左側：ボタン**A**を上（温度を上げる）または下（温度を下げる）に押してください。 車内右側：ボタン**B**を上（温度を上げる）または下（温度を下げる）に押してください。	52
送風量を手動で設定する	ボタン**G**を上（多くする）または下（少なくする）に押してください。	52
送風口を手動で切り替える	フロント・ウィンドウ/サイド・ウィンドウへの送風ボタン**D**を押してください。 中央およびサイド・ベントからの送風：ボタン**E**を押してください。 足元への送風：ボタン**F**を押してください。	52
フロント・ウィンドウ・デフロスター	ボタン**J**を押してください。	55
リヤ・ウィンドウ・ヒーターおよびドア・ミラー・ヒーターをONにする	ボタン**H**を押します。	285
手動で内気循環モードをONにする	ボタン**I**を押してください。	54

一般的なインフォメーション

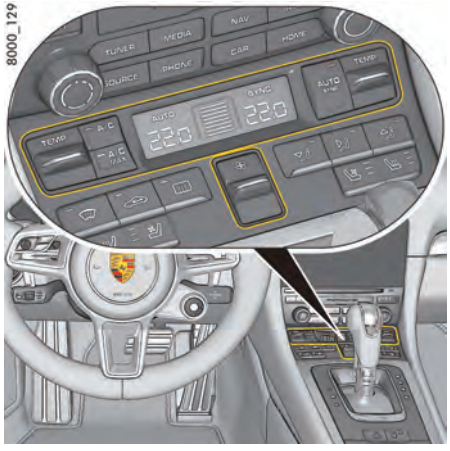


図19: エアコン・コントロール・パネル

オート・モードでは、様々な環境条件（日射量、空気の状態など）に応じて室内の設定温度を維持するように、エアコン・システムが送風温度、送風量、送風口を全自動で制御します。温度は、**左**と**右**のゾーン で個別に設定できます。エアコン・システムの設定を手動で変更すると、オート・モードが直ちに解除されます。ただし手動操作で変更しなかった機能については、自動制御を継続します。

インフォメーション

追加のエアコン設定は、マルチファンクション・ディスプレイで行うことができます：

▷ 「エアコンの設定」(259ページ) を参照してください。

メモリー・パッケージ装備車では、エアコン・システムの設定がそのとき使用しているキーに保存されます。

▷ 「パーソナル設定」(198ページ) を参照してください。

センサーを覆わない

図20: エアコン用車内温度センサー

エアコン・システムの能力を維持するために、次のことを遵守してください：

- エアコン・システムの室内温度センサーの上にカバーを付けたり、ステッカー類を貼り付けたりしないでください。

冷房機能

冷房機能は空気を冷やしたり除湿します。

インフォメーション

- エンジンの負荷が大きくなると冷房機能が一時的にOFFになり、エンジンの過熱を回避します。
  外気温度が約2 °Cを下回ると自動的にOFFになり、このときは手動操作でもONにできません。
- 冷房機能は、ウィンドウを閉じた状態で最も効果的に作動します。車内に熱がこもっている場合は、しばらくの間ウィンドウを開いて車内を換気してください。
- 設定温度を一時的に希望の温度より高くまたは低くしても、希望する温度に到達する時間は変わりません。
- 外気温度および湿度によっては、除湿した水分により車両下部に水たまりができることがあります。これは正常な状態であり、故障ではありません。
- バッテリー電圧が極端に低い場合は、フレッシュ・エア・ブロワーおよび冷房機能が制限されOFFになります。

オート・モードをONにする

各ゾーンはオート・モードに切り替えることができます。

- エアコン・コントロール・パネルのAUTO SYNCボタンを押してください。
  エアコン・ディスプレイの**AUTO**インジケーターが点灯します。
  温度、送風量および送風口が自動的に制御されます。

インフォメーション

必要であればオート・モードの制御を手動調節できます。手動で設定を変更すると、その機能の設定を再度変更するか、またはAUTO SYNCボタンを押すまで設定が維持されます。

温度の設定

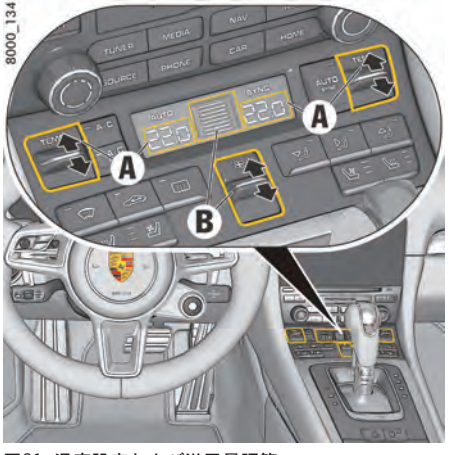


図21: 温度設定および送風量調節

A 各ゾーンの温度設定
B 送風量の設定

各ゾーンの温度は16 °C～29.5 °Cの範囲で個別に調整できます。
推奨：22 °C
選択した温度がディスプレイに表示されます。

温度を上げる/下げる

- 該当するゾーンのTEMPボタンを上方向または下方向に押してください。

ディスプレイにLOまたはHIが表示された場合は、エアコンの作動は最大の冷房または暖房になっています。このときオート・モードはOFFになります。

インフォメーション

– SYNC　モード選択時にいずれかのゾーンで温度設定をLOまたはHIにすると、他のゾーンもLOまたはHIに設定されます。
AUTO SYNCボタンを押すと、初期設定温度の22 °Cに切り替わります。
▷ 「運転席のエアコン設定を車内全体に適用する（SYNCモード）」（55ページ）を参照してください。

送風量の設定

ボタンの上部にあるエアコン･ディスプレイに設定した送風量がバーで表示されます。バーの数が多くなるほど、風量が多いことを示しています。

送風量を上げる/下げる

- ボタンを上方向または下方向に押してください。

AUTO SYNCボタンを押すと、オート・モードに戻ります。

送風量を最小にすると、エアコン・ディスプレイにOFFと表示され、外気導入による送風が停止し、エアコン・システムがOFFになります。

⚠ 警告 風量OFFによる視界の妨げ

送風量をOFFにした状態では、ウィンドウが曇りやすくなります。

- ボタンを上方向に押してください（送風量が増加します）。

送風口を切り替える

図22: 送風口切り替えボタン

送風口を手動で切り替える

✓ エア・ベントが開いている
- ボタンを押してください。
フロント・ウィンドウおよびサイド・ウィンドウへの送風を開始します。
- ボタンを押してください。
中央および左右エア・ベントからの送風を開始します。
- ボタンを押してください。
足元への送風を開始します。
該当するボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

送風口の手動切り替えの解除

- インジケーター・ライトが点灯している（手動で切り替えた）送風口切り替えボタンを再度押してください。
  該当するボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
  または
  AUTO SYNCボタンを押してください。
  送風量および送風口が自動的に制御されます。

エア・ベントの調整

図23: エア・ベントの調整

エア・ベントの開閉

- エア・ベントのロータリー・ノブを時計回りまたは反時計回りに回してください。

送風方向の調節

- ルーバーの角度を調節して希望の方向に風を送ることができます。

アッパー・ベンチレーション・パネルのON/OFF

図24: アッパー・ベンチレーション・パネル

ダッシュボード上にあるベンチレーション・パネルは、個別にON/OFFを切り替えることができます。

ベンチレーション・パネルをOFFにすると、室内で乗員に直接当たる風が和らぎます。エアコン・システムは送風量を自動的に調整します。

アッパー・ベンチレーション・パネルのON/OFF切り替えに関するインフォメーション：

▷ 「エアコンの設定」（259ページ）を参照してください。

冷房機能のON/OFF

オート・モードでは、冷房機能が常にONになります。冷房出力は完全に自動制御されます。

▷ 「オート・モードをONにする」（51ページ）を参照してください。

図25: 冷房機能のON/OFF

冷房機能をONにする

- A/Cボタンを押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
  または
  AUTO SYNCボタンを押してください。
  冷房機能が作動します。

冷房機能をOFFにする

例えば燃料を節約したいときなどには冷房機能を手動でOFFにすることができます。

- A/Cボタンを押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
  冷房機能が解除されます。

A/C MAXモード（最大冷房出力）のON/OFF

A/C MAXモードでは、エアコン・システムが最大出力で車内を冷却します。
このとき車内温度は自動調節されません。

図26: A/C MAXモードの選択

A/C MAXモードをONにする

- A/C MAXボタンを押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

A/C MAXモードをOFFにする

- A/C MAXボタンを押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
  または
  AUTO SYNCボタンを押してください。

内気循環モードのON/OFF

図27: 内気循環モード・ボタン

手動で内気循環モードをONにする

⚠ 警告 手動内気循環モードでの視界の低下

手動内気循環モードを長時間ONにすると、ウィンドウが曇る恐れがあります。

- 手動内気循環モードは長時間 ON にしないでください。

- ボタンを押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

手動で内気循環モードをOFFにする

- ボタンを押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
  または
  AUTO SYNCボタンを押してください。

インフォメーション

手動または自動で冷房機能をOFFにすると、約3分後に内気循環モードが停止します。

自動内気循環モードの設定

自動内気循環モードでは、空気の状態に応じて自動的に外気導入と内気循環を切り替えます。外気温度が約5 °Cを下回ると、ウィンドウの曇りを防止するため、内気循環モードが自動的に停止します。
自動内気循環モードの設定に関するインフォメーション：

▷ 「エアコンの設定」(259ページ) を参照してください。

インフォメーション

通常は自動内気循環モード（初期設定）にしておくことを推奨いたします。

運転席のエアコン設定を車内全体に適用する（SYNCモード）

SYNCモードでは、運転席のエアコン設定が車内全体に適用されます。

SYNCモードをONにする

- エアコン・ディスプレイに **SYNC**が表示されるまで、AUTO SYNCボタンを押し続けてください。
- 運転席側のTEMPボタンを操作して、運転席側および助手席側の温度を調整してください。

SYNCモードをOFFにする

- AUTO SYNCボタンを押してください。
  または
  助手席側のTEMPボタンを押してください。
  エアコン・ディスプレイの **SYNC**インジケーターが消灯します。

風量調節

オート・モードでは3段階で送風の強さを調節できます。

送風の強さ調節に関するインフォメーション：

▷ 「エアコンの設定」(259ページ) を参照してください。

フロント・ウィンドウ・デフロスター

図28: フロント・ウィンドウ・デフロスター・ボタン

デフロスターをONにする

- ボタンを押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
  フロント・ウィンドウおよびサイド・ウィンドウへの送風を開始します。
  フロント・ウィンドウの曇りや氷結を素早く取り除きます。

デフロスターをOFFにする

- ボタンを押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
  または
  AUTO SYNCボタンを押してください。

エアコン（マニュアル）

一般的なインフォメーション

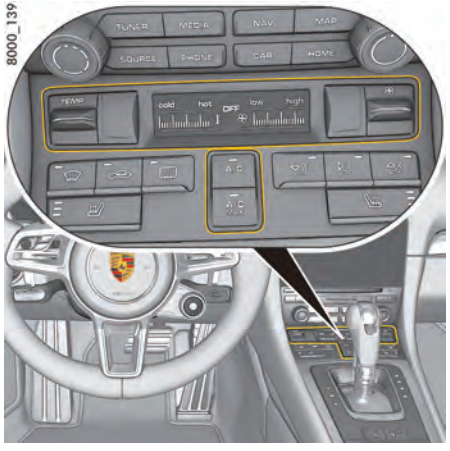


図29: エアコン・コントロール・パネル

マニュアル・エアコン・システムの風量、エア配分および温度設定は手動で調節することができます。

冷房機能

冷房機能は空気を冷やしたり除湿します。

インフォメーション

- エンジンの負荷が大きくなると冷房機能が一時的にOFFになり、エンジンの過熱を回避します。
  外気温度が約2 °Cを下回ると自動的にOFFになり、このときは手動操作でもONにできません。
- 冷房機能は、ウィンドウを閉じた状態で最も効果的に作動します。車内に熱がこもっている場合は、しばらくの間ウィンドウを開いて車内を換気してください。
- 外気温度および湿度によっては、除湿した水分により車両下部に水たまりができることがあります。これは正常な状態であり、故障ではありません。
- バッテリー電圧が極端に低い場合は、フレッシュ・エア・ブロワーおよび冷房機能が制限されOFFになります。

温度の設定

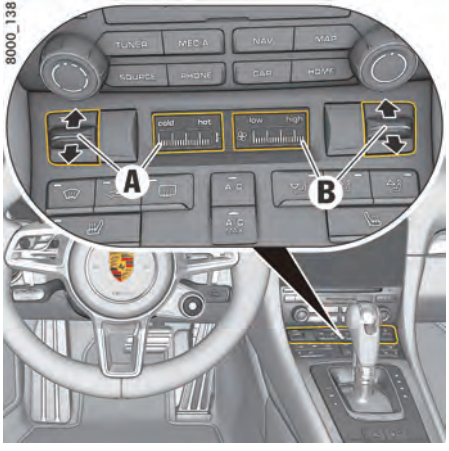


図30: 温度設定および送風量調節

A 温度の設定
B 送風量の設定

温度を上げる/下げる

▸ TEMPボタンを上方向または下方向に押してください。
温度設定が**最高温度**に設定されているときは、エアコン・ディスプレイに**すべてのバー**が表示されます。
温度設定が**最低温度**に設定されているときは、エアコン・ディスプレイに**バーは表示されません。**

送風量の設定

ボタンの隣りにあるエアコン･ディスプレイに設定した送風量がバーで表示されます。バーの数が多くなるほど、風量が多いことを示しています。

送風量を上げる/下げる

- ボタンを上方向または下方向に押してください。

送風量を最小にすると、エアコン･ディスプレイに**OFF**と表示され、外気導入による送風が停止し、エアコン・システムがOFFになります。

⚠ 警告 風量**OFF**による視界の妨げ

送風量を**OFF**にした状態では、ウィンドウが曇りやすくなります。

- ボタンを上方向に押してください（送風量が増加します）。

送風口を手動で切り替える

図31: 送風口切り替えボタン

送風方向の設定

✓ エア・ベントが開いている

- ボタンを押してください。
  フロント・ウィンドウおよびサイド・ウィンドウへの送風を開始します。
- ボタンを押してください。
  中央および左右エア・ベントからの送風を開始します。
- ボタンを押してください。
  足元への送風を開始します。
  該当するボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

エア・ベントの調整

図32: エア・ベントの調整

エア・ベントの開閉

- エア・ベントのロータリー・ノブを時計回りまたは反時計回りに回してください。

送風方向の調節

- ルーバーの角度を調節して希望の方向に風を送ることができます。

冷房機能のON/OFF

外気温度よりも低い温度で室内を冷房したいときは、冷房機能をONにしてください。

図33: 冷房機能のON/OFF

冷房機能をONにする

- A/Cボタンを押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
  冷房機能が作動します。

冷房機能をOFFにする

例えば燃料を節約したいときなどには冷房機能をOFFにすることができます。

- A/Cボタンを押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
  冷房機能が解除されます。

A/C MAXモード（最大冷房出力）のON/OFF

A/C MAXモードでは、エアコン・システムが最大出力で車内を冷却します。

図34: A/C MAXモードの選択

A/C MAXモードをONにする

- A/C MAX ボタンを押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

A/C MAXモードをOFFにする

- A/C MAX ボタンを押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

内気循環モードのON/OFF

図35: 内気循環モード・ボタン

内気循環モードをONにする

⚠ 警告 内気循環モードでの視界の低下

内気循環モードではウィンドウが曇る場合があります。

- 内気循環モードは長時間 ON にしないでください。

- ボタンを押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

内気循環モードをOFFにする

- ボタンを押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

インフォメーション

手動または自動で冷房機能をOFFにすると、約3分後に内気循環モードが停止します。

フロント・ウィンドウ・デフロスター

図36: フロント・ウィンドウ・デフロスター・ボタン

デフロスターをONにする

- ボタンを押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
  フロント・ウィンドウおよびサイド・ウィンドウへの送風を開始します。
  フロント・ウィンドウの曇りや氷結を素早く取り除きます。

デフロスターをOFFにする

- ボタンを押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

エアバッグ・システム

適切なシート位置の選択

⚠ 危険 不適切なシート位置または適切に収納していない荷物

すべての乗員がシート・ベルトを着用し、正しいシート位置を維持している場合にのみ、エアバッグ・システムは保護効果を発揮することができます。荷物は必ず安全に収納してください。

- **常にシート・ベルトを着用してください。**
- 運転席と助手席の間、あるいは乗員とエアバッグが膨らむ空間に人や動物を座らせたり、物を置いたりしないでください。
- ステアリング・ホイールは、必ずリムの外側から持つようにしてください。
- エアバッグが保護効果を発揮するには、乗員との間に一定の空間が必要です。
  エアバッグに必要以上に近づきすぎない位置に、シート位置を調節してください。
  ドアの内側（サイド・エアバッグの拡張エリア）にもたれかからないでください。
- ドアの小物入れから中身がはみ出た状態にしないでください。走行中はドアの小物入れを常に閉じておいてください。
- 重い荷物をシートの上や前方に積載して輸送しないでください。
- ダッシュボードの上に物を置かないでください。
- 走行中はグローブ・ボックスを閉じてください。
- 走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシート・クッションの上に足を乗せないでください。
- 運転者はこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

機能

エアバッグは、シート・ベルトと併用することで衝突時の乗員の負傷を最小限に抑えるよう設計されています。
正面または側面から衝撃を受けた場合、エアバッグが作動し、運転者や乗員が受ける衝撃を吸収しつつ、頭部、骨盤、上半身を守ります。
フロント・エアバッグは、運転席側はステアリング・ホイール中央のパッド内、助手席はダッシュボードの中に取り付けられています。
サイド・エアバッグはシート側面のサイド・ピースに格納されています。
ヘッド・エアバッグはドア・トリムの側面に取り付けられています。
それぞれのエアバッグは、衝撃の角度および強さに応じて作動します。

⚠ 危険 エアバッグ・システムに変更を加えたことが原因の不具合

変更を加えたエアバッグ・システムは保護効果を十分に発揮できません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります。エアバッグが不意に作動した場合、重傷を負う危険があります。

- エアバッグ・システムの配線や構成部品を改造しないでください。
- エアバッグの配線の近くには、アクセサリー類の配線を取り付けないでください。
- ステアリング・ホイール、助手席エアバッグ付近、サイド・エアバッグ付近、ヘッド・エアバッグ付近にアクセサリーを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- シートに保護カバーを装着しないでください。
- エアバッグ構成部品を取り外さないでください。

⚠ 危険 作動済みエアバッグ・システムの交換

エアバッグ・システムは1回のみ作動するように設計されています。

- 作動したエアバッグは直ちにポルシェ正規販売店で交換してください。

警告灯への対応

エアバッグ・システムが故障した場合、タコメーターの赤い**エアバッグ警告灯**によって表示されます。

- 次の場合は、必ずポルシェ正規販売店にご相談ください。

– イグニッションを ON にしたときに警告灯が点灯しない
または
– イグニッションが ON のときに警告灯が消灯しない
または
– 走行中に警告灯が点灯する

ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

助手席エアバッグをOFFにする

図37: 助手席エアバッグOFF警告灯

⚠ 危険 助手席エアバッグをOFFにする

チャイルド・シートを取り外した後も、助手席エアバッグをOFFにしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- チャイルド・シートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグをOFFにしてください。
- チャイルド・シートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再びONにしてください。

⚠ 危険 助手席エアバッグの故障と作動不良

助手席エアバッグをOFFにして、イグニッションをONにしたときに**助手席エアバッグOFF**警告灯が点灯しなかった場合は、システムに不具合が発生している可能性があります。

- 助手席にチャイルド・シートを取り付けないでください。
- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

助手席エアバッグをOFFにするキー・スイッチ、**助手席エアバッグOFF警告灯**およびISOFIXアタッチメント・ブラケットは、特定の装備仕様にのみ取り付けられています。ポルシェ正規販売店でオプションとして装着してください。

▷ 「助手席エアバッグのON/OFF – 助手席エアバッグOFF警告灯」（159ページ）を参照してください。

エンジン・オイル

エンジン・オイル・レベルの点検

オイル・レベルは定期的に点検してください（車両に燃料を補給するときなど）。

▷ 「サーキット走行の前に」（15ページ）を参照してください。

オイル・レベル警告への対応

オイル・レベルが低過ぎる場合、マルチファンクション・ディスプレイに または のシンボルが警告メッセージとともに表示され、直ちにエンジンにオイルを補充する必要があることを知らせます。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（85ページ）を参照してください。

マルチファンクション・ディスプレイのエンジン・オイル・レベルの読み取り

知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

オイル・レベルが下限マークより下にある場合、エンジンが適切に潤滑できません。

- オイル・レベルを定期的に点検してください。
- オイル・レベルが下限マークを下回らないように注意してください。

▷ 「エンジン・オイル・レベルの測定と表示」（246ページ）を参照してください。

エンジン・オイルの選択と補充

⚠ 警告 エンジン・オイルの発火

エンジン・オイルの残りが付着したまま換気せずに廃棄または保管された布は、自然発火して火災が発生する原因となる恐れがあります。

- 布で飛散したエンジン・オイルを吸い取ってください。
- エンジン・オイルが浸み込んだ布は、廃棄するまで換気された場所で保管してください。

⚠ 警告 高温のエキゾースト・システム

エンジン稼働中はエンジン、周辺部品、およびエキゾースト・システムが高温になります。

- 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾースト・システムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- エンジン・オイルの補充はエンジンを停止し、イグニッションをOFFにしてから行ってください。

知識

エンジン・オイルの過不足はエンジンに損傷を与えます。エンジン・オイルが多すぎると青煙の原因になり、長期的には触媒コンバーターに損傷を与えます。

- オイル・レベルが下限マークを下回らないように注意してください。
- 上限マークを超えるまでエンジン・オイルを補充しないでください。補充しすぎた場合、次の機会にオイル量を適正に戻してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

知識

エンジン・オイルがあふれて損傷する恐れがあります。ラゲッジ・コンパートメントとラゲッジ・コンパートメント内の荷物が汚れる恐れがあります。

- エンジン・オイルを点検したり補充するときは、こぼしてラゲッジ・コンパートメントや荷物を汚さないように注意してください。

下記の点を必ず守ってください：

- ポルシェ社が認証したエンジン・オイルのみを使用してください。定期点検時期（サービス・インターバル）を遵守してください。
- エンジンに適合するオイルであれば、互いに混ぜ合わせることができます。
- オイル添加剤を混ぜないでください。

エンジン・オイルの選択

Porsche recommends Mobil 1

車両	認定品	SAE粘度等級
すべて：	Porsche A40	SAE 0W-40 1) SAE 5W-40 2) SAE 5W-50 2)

1) すべての温度範囲に適応
2) –25°Cを超える温度範囲に適応

i インフォメーション

一般に、メーカーが認定するエンジン・オイルの仕様や規格は、オイル缶に記載されているかまたは販売店に表示されています。認定品かどうかを確認するには：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

エンジン・オイルの補充

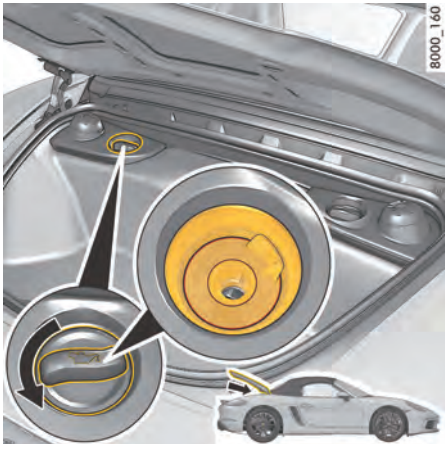


図38: Boxsterのオイル・フィラー・キャップ

図39: Caymanのオイル・フィラー・キャップ

1. マルチファンクション･ディスプレイのエンジン・オイル・レベルを確認してください。
▷ 「エンジン・オイル・レベルの測定と表示」（246ページ）を参照してください。
2. リヤ・ラゲッジ・コンパートメントを開いてください。
3. Cayman：キャップを反時計回りに回して取り外してください。
4. オイル・フィラー・キャップを緩めて取り外してください。
5. マルチファンクション・ディスプレイに表示されているエンジン・オイルの量を補充してください。
表示された補充量以上のエンジン・オイルを補充しないでください。下限マークと上限マークの差は約1リットルです。
▷ 「エンジン・オイル・レベルの測定と表示」（246ページ）を参照してください。
6. Cayman：キャップを取り付けた後、時計回りに回してください。
7. オイル・フィラー・キャップを慎重に取り付けてください。

エンジンの始動および停止

イグニッション・ロック

キーは、ステアリング・コラム左側のイグニッション・ロックに差し込んでください。

ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車では、キーは携行するだけでイグニッション・ロックに差し込む必要がありません。キーはイグニッション・ロック内のコントロール・ユニットに変更されました。このコントロール・ユニットは、けん引のときを除いて常時イグニッション・ロックに差し込んでおいてください。

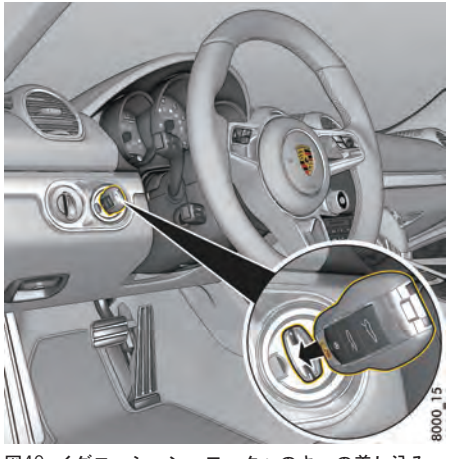


図40: イグニッション・ロックへのキーの差し込み

インフォメーション

キーを差し込んだまま放置するとバッテリーが消耗します。

バッテリー上がりの場合には、キー抜き取りの緊急操作を行った場合のみイグニッション・ロックからキーを抜き取ることができます：

▷ 「キー／コントロール・ユニットの緊急ロック解除」（77ページ）を参照してください。

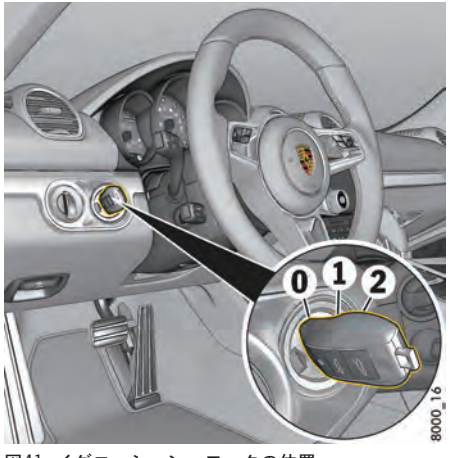


図41: イグニッション・ロックの位置

0 初期位置
1 イグニッションON
2 エンジン始動

0 – イグニッションOFF（初期位置）

イグニッション・ロックが位置**0**のときは、エンジンとイグニッションはOFFになっています。キーはこの位置にあるときのみ抜き取ることができます。

1 – イグニッションON

ほとんどの電装品が作動可能になります。インストルメント・パネルの警告灯が点灯し、ライトの作動を点検します。

インフォメーション

イグニッションをONにしてから10分以上電装品をONにしなかった場合、再度イグニッションをONにする必要があります。

キーをロック位置0（初期位置）に回してください。

イグニッションを、またはエンジンを始動すると、キーが抜き取れなくなります。

2 – エンジン始動

エンジンが始動すると、キーがロック位置**2**から**1**に自動的に戻ります。

ステアリング・ホイールのロック/ロック解除

▷ 「ステアリング・コラムのロック解除／ロック」（177ページ）を参照してください。

エンジンの始動

1. フット・ブレーキを踏んでください。
2. マニュアル・トランスミッション装備車：クラッチ・ペダルをいっぱいに踏み込み続けてください。
3. ギヤ・レバーをニュートラルに、あるいはセレクター・レバーを**P**または**N**の位置にしてください。
4. アクセル・ペダルは踏まないでください。
5. キーまたはコントロール・ユニット（ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車）をロック位置**2**に回してください。エンジン・スターターを約10秒以上連続して作動させないでください。
   イグニッション・ロック位置**2**（エンジン始動）にすると、直ちにエンジン始動制御が実行され、エンジンが自動的に始動します。

▸ エンジンが始動しない場合は、10秒程度間をおいてから再度始動させてください。再始動する場合は、はじめにキーをロック位置**0**（初期位置）に戻してください。
停車した状態での暖機運転は行わず、直ちに発進してください。ただしエンジンが通常の作動温度になるまでは、スロットル操作を控えめにし、エンジン回転数を上げすぎないよう注意して運転してください。

エンジンの停止

⚠ 警告 パワー・ステアリングおよびブレーキ・ブースターの作動が停止します

パワー・ステアリングおよびブレーキ・ブースターは、エンジンが作動しているときのみ作動します。エンジンが停止しているときは、ステアリング・ホイールやブレーキ・ペダルの操作に強い力が必要になります。

▸ イグニッションをOFFにする前に、必ず車両を停車させてください。

---

1. 停車してください。
2. キーまたはコントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置**0**に回してください。

▸ 降車時はキーを抜き取り、エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させ、PDK装備車の場合はセレクター・レバーを**P**位置に、マニュアル・トランスミッション装備車の場合はギヤ・レバーを1速またはリバースにしてください。

オート･スタート/ストップ機能

例えば信号待ちや渋滞などで停車した場合、エンジンを自動で停止するためのすべての条件が満たされると、オート・スタート/ストップ機能が作動してエンジンが自動停止します。車両が徐行中に停車した場合も、エンジンが自動的に停止することがあります。これにより、オート・スタート/ストップ機能は燃料の消費を節減します。

エンジンが自動停止した後もイグニッションがONの状態が維持され、すべての安全機能が作動可能な状態になっています。

エンジン自動停止の条件

✓ オート･スタート/ストップ機能がONになっている
✓ ラゲッジ・コンパートメント・リッドが閉じている
✓ エンジン、トランスミッション、エアコンが作動温度に達している
✓ 前回エンジンが自動停止してから、車両を徐行運転した
✓ **PDK装備車**：
ブレーキ・ペダルが踏み込まれている
セレクター・レバーが**D**または**N**の位置にある、あるいは**1速**または**2速**ギヤを手動で選択している
運転席ドアが閉じている状態で、セレクター・レバーが**P**位置にある
✓ **マニュアル・トランスミッション装備車**：
シート・ベルトを着用し、運転席ドアが閉じられている
シフト・レバーがニュートラル位置で、クラッチ・ペダルを踏んでいない

マニュアル･トランスミッション装備車：エンジンの自動停止および自動始動

自動停止

1. ブレーキ･ペダルを踏んで停車してください。
2. ギヤシフト・レバーはニュートラルにしてください。
3. クラッチ・ペダルから足を放してください。
エンジンが停止します。

自動始動

✓ シート・ベルトを着用する
✓ 運転席ドアを閉じている
▸ クラッチ・ペダルを踏んでください。
エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

インフォメーション

坂道などで車両が動き始めたときや、エアコンで乗員の快適性を確保するためなど、特定の条件でエンジンが自動的に始動します。

PDK装備車：エンジンの自動停止および自動始動

自動停止

1. ブレーキ･ペダルを踏んで停車してください。
2. ブレーキ・ペダルを踏み続けてください。
または
停車中にセレクター･レバーを**P**の位置に動かしてください。

インフォメーション

停車中にブレーキ・ペダルを素早くいっぱいまで踏み込むと、HOLD機能が作動します。この機能は、ブレーキ・ペダルを踏まなくても車両を停止した状態に維持します。

▷ 「HOLD機能：発進アシスタント、停止制御」（298ページ）を参照してください。

エンジンはアクセル・ペダルを踏む、またはエンジンを始動する必要が生じたときに自動的に始動します。

インフォメーション

アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）がONの場合、前走車が停車すると車両は走行を停止し、エンジンが自動的に停止します。車両はHOLD機能によって停止状態に維持されます。

自動始動

✓ セレクター・レバーが**P**、**D**または**N**の位置にある、あるいは**1速**または**2速**ギヤを手動で選択している
▸ ブレーキ・ペダルを放してください（セレクター・レバーが**P**の位置にない）。
または
アクセル・ペダルを踏み込んでください。
または
ステアリング･ホイールを動かしてください。
または
PDKセレクター・レバーを**R**の位置にしてください。
エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

インフォメーション

坂道などで車両が動き始めたときや、エアコンで乗員の快適性を確保するためなど、特定の条件でエンジンが自動的に始動します。

インフォメーション

アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）の作動中は、前走車が発進するとエンジンが自動的に始動します。

降車後の作動（セレクター・レバーがPの位置にあるとき）

エンジンが自動停止した後、PDKセレクター・レバーを**P**位置にして、ガレージ・ドアを開くためなどの理由で車両から降車する場合（運転席ドアが開いていて、ブレーキ・ペダルが踏まれていない場合）には、エンジンは自動的に**始動しません。**

ドライバーが車両から離れてから30秒以内に車両に戻り、運転席ドアを閉じてブレーキをかけると、オート・スタート/ストップ機能が再開します。

上記の条件のいずれかが満たされなかった場合、エンジンは**手動で**始動する必要があります。エンジンを手動で始動する必要があることを示すメッセージが、マルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（85ページ）を参照してください。

降車後の作動（セレクター・レバーが、DまたはNの位置にあるとき）

エンジンが自動停止した後、PDKセレクター・レバーを**D**、**M**または**N**の位置にして降車しようとした場合（運転席ドアが開いていて、ブレーキ・ペダルが踏まれていない場合）には、エンジンが**自動的に始動**し、オート・スタート/ストップ機能がまだ作動中であることをドライバーに知らせます。

セレクター・レバーが**D**または**M**の位置にある場合、エレクトリック・パーキング・ブレーキも作動します。

Ⓟボタンのインジケーター・ライトとブレーキ警告灯(!)が点灯します。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（85ページ）を参照してください。

オート・スタート/ストップ機能の例外

例えば次のような状況では、オート・スタート/ストップ機能は使用できません。

- スポーツ/スポーツ・プラス・モードが作動しているとき
- PSMがOFFのとき、またはPSMがスポーツ・モードのとき
- クリーピング時
- AC MAXモード（最大冷却出力）の作動中
- 「フロント・デフロスター」が作動しているとき
- 標高が高いとき

例えば次のような状況では、オート・スタート/ストップ機能が一時的に制限されます。

- エアコンやヒーターを高負荷で作動させているとき
- バッテリーの充電状態が低いとき
- 上り坂や下り坂
- オート・エンジン・チェック機能など車両が初期点検を実行しているとき
- 外気温度やバッテリー温度が非常に低いまたは高いとき
- 渋滞中で短時間の停車を繰り返すとき（国別仕様により異なる）

インフォメーション

エンジンが自動停止した後、上記のいずれかの条件が満たされると、エンジンが自動的に再始動します。

オート・スタート/ストップ機能のON/OFF

図42: オート・スタート/ストップ・ボタン

OFFにする

▸ Ⓐボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
オート・スタート/ストップ機能が停止します。

ONにする

▸ Ⓐボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
停車すると、エンジンが自動的に停止します。

オート・スタート/ストップ機能の表示

エンジンの自動停止および再始動の準備

オート・スタート/ストップ機能でエンジンが自動停止した場合、マルチファンクション・ディスプレイのインジケーター・ライトが緑色に点灯します。

エンジンが自動停止しない、または再始動可能な状態になっていない

オート・スタート/ストップ機能が利用できない、またはエンジンが自動停止した後に再始動しない場合は、停車中にマルチファンクション・ディスプレイのインジケーター・ライトが黄色に点灯します。

以下の原因によります：

– エンジンを自動停止するための条件のいずれか1つが満たされていない。
または
– オート・スタート/ストップ機能の例外条件が、少なくとも1つ以上満たされている。

▷ 「エンジン自動停止の条件」（66ページ）を参照してください。

▷ 「オート・スタート/ストップ機能の例外」（67ページ）を参照してください。

故障の表示

故障したときは、オート・スタート/ストップ機能が解除されたことを示すメッセージがマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

お手入れ

⚠ 警告 ブレーキ・ディスクの水膜

洗車後は、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

- 洗車後はブレーキを点検してください。
- ブレーキを乾燥させるため、後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

i インフォメーション

適切な方法で定期的に車両のお手入れを行うことは、車両の価値を長持ちさせるだけでなく、保証を受ける際の有利な条件になります。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。

- カー・ケア用品の使用に際しては、パッケージ等に記載された注意事項を必ず守ってください。
- これらの製品は、お子様の手が届かない安全な場所に保管してください
- 不要になった製品は、適切な方法で廃棄してください。

車両の状態をしっかりと点検し、保証期間を最大限有効にするためには：ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店ではコンディション・リポートを発行し、「整備手帳」にその結果を記録します。

知識

高圧洗浄機およびスチーム・クリーナーを使用すると、以下の構成部品に損傷を与える恐れがあります：

- コンバーチブル・トップ（Boxster）
- タイヤ
- ロゴ、エンブレム、デコラティブ・フィルム
- 塗装面
- エンジン・コンパートメント内の構成部品と電装部品/装備品スペース
- パーキング・アシスタント・センサー
- アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）用レーダー・センサー
- リバース・カメラ
- ワイパー・ブレード

- 各装置に付属の取扱説明書をよくお読みください。
- デコラティブ・フィルムを洗浄するときは、高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーを使用しないでください。
- 高圧洗浄機を使用する場合、ノズルから50cm以上離してください。
- 高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーと丸型ジェット・ノズルを組み合わせて使用しないでください。高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーと丸型ジェット・ノズルを組み合わせて使用すると、車両が損傷する原因になります。特にタイヤは損傷しやすいため、丸型ジェット・ノズルで洗浄しないでください。
- 高圧洗浄機を使用するときは、これらのコンポーネントにジェット・ノズルを直接向けないでください。
- エンジン・コンパートメント内の作業を行う前に、エンジンをOFFにし、十分に冷やしてください。
- 高圧洗浄機のジェットは、絶対に開口部（スパークプラグ・シャフト、エア・クリーナー・ハウジング、エア・フィルターなど）に向けないでください。洗浄前に開口部を覆ってください。

知識

ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車を清掃する場合、ラゲッジ・コンパートメント・リッドが不意に開き、ラゲッジ・コンパートメント内に水が侵入する場合があります。

- 車両を清掃するときは、キーをラゲッジ・コンパートメント・リッド・センサーの範囲外に置いてください。

車両の洗浄

車両の外観を美しく保つには、日頃のお手入れが大切です。こまめに洗車し、ワックスで保護してください。解氷剤（塩分）、砂塵、ばい煙、昆虫の死骸、鳥の糞、樹液や花粉などは、車両に付着してからの時間が長くなるほど塗装に悪影響を与えます。

車両またはコンバーチブル・トップは、完全な防漏構造ではありません。車両/コンバーチブル・トップの洗浄時、車内に水が入る事もあります。

車両の塗装面に損傷を与えることなく洗車するために、次の点に注意してください：

- 車両下部は汚れが激しいため、少なくとも季節の変わり目には洗車して汚れを落としてください。
- ばい煙、油脂類、オイル、および重金属などが適切に処理できる場所でのみ洗車を行ってください。
- 直射日光の下や、塗装面の温度が高いときは洗車しないでください。
- 手洗いを行うときは、柔らかいスポンジ、洗車用ブラシ、カー・シャンプーを使用して多量の水で洗ってください。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。

- 洗車を開始するときは、はじめに車両にたっぷりと水をかけ、表面の主な汚れを洗い流してください。
- 洗剤を使った後は、水で十分にすすぎ、セームで拭き取ってください。ウィンドウには、ボディを洗ったときと同じセームを使用しないでください。

自動洗車機

知識

自動洗車機によっては、取り付けたオプション部品やボディ表面から突出しているパーツが損傷する恐れがあります。

- 自動洗車機を使用する前に、洗車スタッフに確認してください。

以下の表を参考にし、車両を安全かつ慎重に洗車してください：

危険	守るべきこと
コンバーチブルトップのファブリックを損傷する恐れがあります（Boxster）。	▸ コンバーチブル・トップ部にホット・ワックス処理をしないでください。
ウィンドウが下がっていると車内に水が入ります(Boxster)	▸ イグニッションをOFFにしないでください。 **または** ▸ 車両をロックしてください。
洗車機で洗車中にワイパーが不意に作動して損傷する恐れがあります	▸ フロント/リヤ・ウィンドウのワイパーをOFFにしてください。 ▸ 洗車機での洗車中はヘッドライト・ウォッシャーを操作しないでください。
外装部品への損傷	▸ ドア・ミラーを格納してください。 ▸ リヤ・スポイラーを展開している場合、格納してください。
ホイールへの損傷	▸ 洗車機のガイド・レールの寸法をよく確認してください。 タイヤのリム径が大きく高さが低くなるに従い、損傷のリスクも大きくなります。
ハイグロスまたはシルクグロス・ホイールへの傷	▸ 洗車機のホイール用洗浄ブラシを使用しないでください。

コンバーチブル・トップの清掃（Boxster）

知識

高圧洗浄機の洗浄ジェット、不適切な自動洗車機、またはホット・ワックス処理により、コンバーチブル・トップを損傷する恐れがあります。

- 高圧洗浄機やスチーム・クリーナーをコンバーチブル・トップの洗浄に使用しないでください。
- カブリオレでは、洗浄プログラムのある自動洗車機を使用してください。
- コンバーチブル・トップ部にホット・ワックス処理をしないでください。

正しいお手入れと洗浄のために以下のことを守ってください：

- コンバーチブル・トップは車両を洗車する度に毎回洗う必要はありません。通常は、清潔な水でコンバーチブル・トップを洗うのみで十分です。
- 雪や氷を縁の鋭いもので取り除かないでください。
- 毛の柔らかいブラシを使用して、織目に沿ってブラッシングしコンバーチブル・トップのほこりを取り除いてください。
- 汚れが頑固な場合にのみ、シャンプー & コンバーチブル・トップ・クリーナーを混ぜたぬるま湯で洗浄し、スポンジか柔らかいブラシで軽く擦ってください。
- その後きれいな水でシャンプー & コンバーチブル・トップ・クリーナーを残さず洗い流してください。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。
- 洗車後、少なくとも年に1度はコンバーチブル・トップ・ケア製品を使用してコンバーチブル・トップ・カバーのお手入れを行ってください。コンバーチブル・トップ用のケア用品が塗装面やガラスに付着しないよう注意してください。塗装に付着した場合はすぐに取り除いてください。
- コンバーチブル・トップ・カバー本体または縫い目や折り目から漏れが生じた場合は、コンバーチブル・トップ専用ケア用品を使用してください。容器に記載されている指示に従ってください。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。
- 鳥の排せつ物は直ちに除去してください。排せつ物に含まれる酸がコンバーチブル・トップのゴムを膨張させ、水漏れを起こす原因となります。
- 染みや擦り切れを防ぐため、コンバーチブル・トップおよびコンバーチブル・トップ・エレメントは天候が良いときにのみ開いてください。
- コンバーチブル・トップ・カバーから染みを落とす際は、柔らかいラバー・スポンジで慎重に擦って除去してください。

塗装面のお手入れ

知識

塗装面に付着した汚れの粒子は、適切にお手入れをしないと塗装に損傷を与える場合があります。

- 乾いた布でほこりを拭きとらないでください。

知識

適切にお手入れを行わないと構成部品の艶消し効果が失われる場合があります。

- 艶消し仕上げの部品にワックスや光沢剤を**使用しない**でください。

塗装面の保護

塗装面は経年変化により光沢が失われていくため、洗車後は塗装保護剤等で定期的に保護する必要があります。この作業により塗装の光沢と強度を保つことができます。また、塗装面に新しい汚れが付着しにくくなり、ばい煙が浸透しにくくなります。

塗装面の艶出し

通常のワックスでは塗装の艶が戻らないときのみ、光沢剤を使用してください。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。

汚れ、染みの除去

タール、グリース、昆虫の死骸などは適切な洗剤で速やかに除去した後、丁寧に水で洗い流してください。長時間放置すると、塗装の色褪せの原因となります。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。

小さな傷の補修

- 亀裂、引っかき傷、飛び石による塗装面の小さな傷は、ボディの腐食が進行する**前**に修理してください。
  ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ボディが腐食したときは、はじめに錆を完全に除去してください。錆を取り除いたら、その箇所にプライマー（防錆剤）を塗布してから、上塗り塗装を施してください。

ペイント・データは車両のデータ・バンクに表示されています。

▷「車両の識別データ」（301ページ）を参照してください。

ウィンドウの清掃

▷「ワイパー・ブレード」（295ページ）を参照してください。

インフォメーション

フロント・サイド・ウィンドウには、ガラスの汚れを抑制する（疎水性の）撥水剤がコーティングされています。このコーティングは経年変化で徐々に劣化します。また新たにコーティングすることもできます。

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

正しい清掃のために以下のことを守ってください。

- 定期的にウィンドウ・クリーナーを使用して、ウィンドウの内側と外側を清掃してください。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。
- ボディを拭き取ったセームで乾いたウィンドウを拭かないでください。ワックスや光沢剤がウィンドウに付着し、視界が悪くなる恐れがあります。
- 昆虫の死骸は、ポルシェ推奨のインセクト・リムーバーで取り除いてください。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。

アンダーコーティングの補修

⚠ 警告 エキゾースト・システム付近の可燃物

エキゾースト・システム部に防錆剤やアンダー・コーティング剤を塗布すると、運転中に過熱して引火する恐れがあります。

- エキゾースト・マニホールド、エキゾースト・パイプ、触媒コンバーター、ヒート・シールド、およびその周囲には、アンダー・コーティング剤や防錆剤を塗布しないでください。

車両下部は、化学的および物理的なダメージに耐えるよう保護されています。しかし、走行中に保護コーティングが損傷することは避けられません。

- ポルシェ正規店で車両底部を定期点検し、必要に応じて保護コーティングを修復してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。

デコラティブ・フィルムの清掃

知識

清掃中にデコラティブ・フィルムが剥がれ損傷する恐れがあります。

- ポリッシュやホット・ワックスを使用しないでください。
- 高圧洗浄機やスチーム・クリーナーを使用しないでください。
- 柔らかいスポンジ、中性洗剤、および多めの水を使用してください。

ヘッドライト、ライト類、プラスチック製部品と表面、アダプティブ・クルーズ・コントロール用レーダー・センサーおよび車両カメラの清掃

知識

洗剤がコントローラまたはスイッチに侵入し、損傷させる恐れがあります。不適切な洗浄剤を使用するとプラスチック面に損傷を与える場合があります。

- 車内のプラスチック製部品に直接水や室内用ウィンドウ・クリーナーをスプレーしないでください。
- ヘッドライト、ライト類、プラスチック部品とその表面、アダプティブ・クルーズ・コントロールのレーダー・センサーおよび車両カメラの清掃には、きれいな水と小量の中性洗剤または室内用ウィンドウ・クリーナー**のみ**を使用してください。このとき、柔らかいスポンジまたは柔らかい不織布を使用してください。
- 他の化学成分が入ったクリーナーや溶剤を使用しないでください。

ホイールのお手入れ

⚠ 警告 クリーナーなどの溶剤によるブレーキ・ディスク上の膜の発生

ブレーキ・ディスクにクリーナー（リム・クリーナーなど）が付着した場合、ブレーキ・ディスクに膜ができて制動力が低下する恐れがあります。

- ブレーキ・ディスクにホイール・クリーナーなどの溶剤が付着しないようにしてください。
- ブレーキ・ディスクにホイール・クリーナーなどの溶剤が付着した場合、高圧洗浄機などで完全に洗い流してください。
- 周囲の交通状況に注意してブレーキを作動させ、ブレーキ・ディスクを乾かしてください。

軽合金製ホイールの表面に付着した金属の微粒子（ブレーキ・ダストに含まれる黄銅や銅など）は長期間放置しないでください。金属同士の接触による腐食が発生し、小さな穴（ピッチング）が生じます。

塗装の被膜を破壊するような光沢剤やpH値が不適切なクリーナー、研磨機具、研磨剤などは使用しないでください。

- 軽合金製ホイールには、中性洗剤のみを使用してください（pH値：4～10）。pH値の不正な製品を使用すると、ホイールの表面を損傷する場合があります。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。
- 可能であれば、2週間ごとにスポンジまたは洗車ブラシを使用してホイールを洗浄してください。冬季に凍結防止剤がまかれる地域や、ばい煙が多い地域では、毎週洗浄するようにしてください。

▷ 「自動洗車機」（70ページ）を参照してください。

ドア、ルーフ、コンバーチブル・トップ、リッドとウィンドウ・シールの清掃

知識

インナー・ドア・シールをコーティングしている潤滑剤は、不適切な清掃や洗剤の使用によりダメージを受けることがあります。

- 合成洗剤や溶剤を使用しないでください。
- 防錆剤を使用しないでください。

正しい清掃のために以下のことを守ってください：

- シールの汚れ（傷、汚れ、凍結防止剤、砂塵など）は、温かい石鹸水で定期的に洗浄してください。
- 凍結する恐れがある場合は、適切なカー・ケア用品でアウター・ドア・シール、リッドやフラップのシールを保護してください。

革製品のお手入れ

知識

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切な処理を行なうと革製品を痛める場合があります。

- 刺激性の強い洗剤や、硬い清掃用品を使用しないでください。
- 表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないよう注意してください。
- 革製品に付着した水滴は直ちに取り除いてください。

正しいお手入れと洗浄のために以下のことを守ってください：

- 無色の柔らかい毛織物または市販のマイクロ・ファイバー布を湿らせて、表面の細かな汚れを拭き取り、すべてのタイプの本革を定期的にお手入れしてください。

- 汚れがひどいときは（水などによる染み**以外**）レザー・クリーナーで取り除いてください。容器にある使用上の注意を確認してください。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。
- 清掃後は、本革専用のケア剤でお手入れしてください。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。

シート・ベンチレーション付きシートの清掃

雨水や湿気により、表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革シートに染みが付く可能性があります。

水染み/湿気による染みを取り除く

✓ シート・ヒーターとシート・ベンチレーションをOFFにする
✓ 直射日光を避ける

1. 清潔な吸水性スポンジと蒸留水を使用して、シート・クッションまたはバックレストの表面全体を拭き取ってください。表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないよう注意してください。
2. シート・カバーは直射日光を避けて室温で完全に乾かしてください。シート・カバーを乾かす際、シート・ヒーターやシート・ベンチレーションをONにしないでください。
3. 乾いた後、シート・カバーを乾燥した不織布で拭いてください。

カーペット、フロア・マットの清掃

⚠ 警告 ペダル操作の妨げ

不適切なフロア・マットや正しく固定されていないフロア・マットはペダルの可動域を制限したり、ペダル操作を妨げたりする可能性があります。

- フロア・カーペットの上に敷くのみのマットを使用しないでください。

正しい清掃のために以下のことを守ってください。

- 掃除機か、中程度の硬さのブラシで清掃してください。
- ひどい汚れや染みは、染み抜き剤で除去してください。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。

フロア・カーペットの汚れや傷付きを防ぐため、この車両に適したサイズの固定具付きフロア・マットをカー・アクセサリーとして用意しています。

エアバッグ・カバーの清掃

⚠ 危険 不適切な清掃

エアバッグの周りを不適切なクリーナーやケア製品で清掃するとエアバッグ・システムに浸透し、不適切な取り扱いを行うとシステムに損傷を与える恐れがあります。事故が起きた場合にエアバッグ・システムが作動しない危険があります。

- ステアリング・ホイールのカバー、ダッシュボード、フロント・シート、ドア・パネルなどの部品を改造しないでください。
- エアバッグの周囲には洗剤や液体を使用しないでください。

内張りの清掃

ピラー、ヘッドライナー、サンバイザーなどのファブリック・ライニングは、素材に適した洗剤やドライ・フォームと柔らかいブラシを使用して清掃してください。

Alcantara®のお手入れ

Alcantara®の清掃に、本革用のカー・ケア用品を使用しないでください。日常のお手入れとしては、表面を柔らかいブラシで拭けば十分です。研磨材を使用したり、強く擦ったりすると、Alcantara®の表面が傷むので注意してください。

- 軽い汚れは、柔らかい布を水または中性の石鹸水で濡らして、汚れを拭き取ってください。
- 汚れがひどい場合は、温めのお湯または薄めたクリーニング用溶剤で柔らかい布を濡らし、外側から汚れた部分を軽くたたいてください。

シート・ベルトの清掃

正しい清掃のために以下のことを守ってください。

- ベルトの汚れには中性洗剤を使用してください。
- シート・ベルトを乾燥させるときは、直射日光を避けてください。
- 適切な洗剤のみを使用してください。
- シート・ベルトを染色および脱色しないでください。シート・ベルト素材の強度が低下し、安全性が損なわれます。

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント（PCM）の清掃

知識

不適切なクリーナーやケア製品を使用するとPCMに浸透し、不適切な取り扱いを行うとPCMに損傷を与える恐れがあります。

- PCMの清掃に変性アルコール、シンナー、ガソリン、アセトン、アルコール類（エタノール、メタノール、またはイソプロピルアルコール）などの溶剤、または研磨剤などを使用しないでください。
- PCM に直接クリーナーや他の液体を吹きつけないでください。
- 湿らせた布で慎重に画面を拭いてください。

正しい清掃のために以下のことを守ってください：

- 画面は傷が付きやすくなっています。時々、清潔で柔らかい乾いた布（マイクロファイバー・クロス）やクリーニング用ブラシで慎重にPCMを清掃してください。
  清掃の際、表面に大きな力を加えないでください。
- 指紋は少し湿らせた布や刺激性の少ない洗浄剤で取り除いてください。

車両の保管

車両を長期保管する場合ポルシェ正規販売店にご相談ください。腐食保護対策、お手入れとメンテナンス、および保管に関する情報およびアドバイスを提供いたします。

▷ 「バッテリー」（201ページ）を参照してください。

バッテリーを切り離した状態で車両をロックする場合のインフォメーション：

▷ 「緊急ドア・ロック」（145ページ）を参照してください。

カップ・ホルダー

カップ・ホルダーを使用する

グローブ・ボックス上側のパネル後部に折り畳み式カップ・ホルダーが2個装備されています。

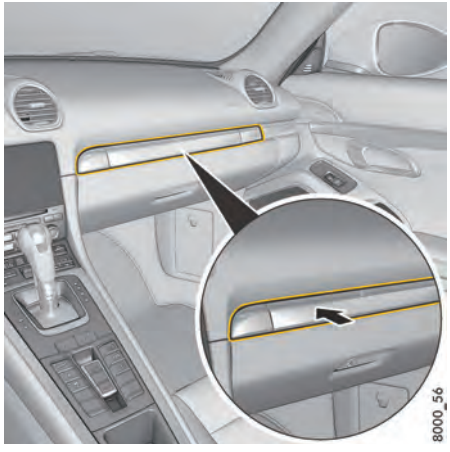


図43: カップ・ホルダー

⚠ 注意 熱い飲み物がこぼれる恐れ

熱い飲み物がこぼれるて火傷をする恐れがあります。

- カップ・ホルダーに収まる容器のみを使用してください。
- 中身がいっぱいに満たされた容器をカップ・ホルダーに置かないでください。
- 熱い飲み物が入った容器には適していません。
- 運転中はカップ・ホルダーを収納しておいてください。

知識

飲み物がこぼれて車両を損傷する恐れがあります。

- カップ・ホルダーに収まる容器のみを使用してください。
- 中身がいっぱいに満たされた容器をカップ・ホルダーに置かないでください。

カップ・ホルダーを開く

図44: カップ・ホルダーを開く

1. カップ・ホルダー・パネルを押してください（図43）。
   パネルが開きます。
2. 左右どちらかのカップ・ホルダーのマークを押してください。
   カップ・ホルダーが開きます。
3. パネルの中央を閉じて、カップ・ホルダーを固定してください。

カップ・ホルダーを引き出す

カップ・ホルダーを引き出すと、大きな容器を置くこともできます。

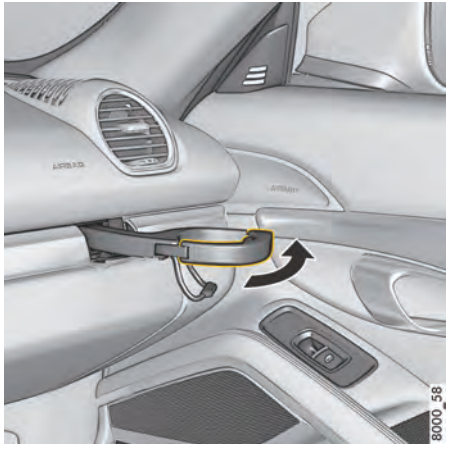


図45: カップ・ホルダーを引き出す

1. ホルダーを引き出してください（図45）。
2. カップ/容器を入れてください。
3. 慎重にホルダーを押し込み、カップ/容器のサイズに合わせてください。

カップ・ホルダーを折り畳む

1. カップ・ホルダーを押し込んでください。
2. 中央のパネルを開いてください。
3. カップ・ホルダーを折り畳み、はめ込んでください。
4. 中央のパネルを閉じてください。

キー

キーを使用する場合

図46: キー

A ロック解除する
B ロックする
C フロント・ラゲッジ・コンパートメント・リッドおよびドアをロック解除する
D リヤ・ラゲッジ・コンパートメント・リッドおよびドアをロック解除する

キーには常にエマージェンシー・キーが内蔵されています。これらのキーを使用して、車両のすべてのロックを操作できます。

- キーの取り扱いには細心の注意を払ってください：特別な状況を除いて、キーを放置しないでください。
- わずかな時間でも車両から離れるときは、キーを抜き取り、携行してください。
- キーを車内に残さないでください。

エマージェンシー・キーを使用する場合

エマージェンシー・キーを取り外す

図47: エマージェンシー・キーを取り外す

1. リリース・ボタンを横に押してください（図47）。
2. エマージェンシー・キーを抜き取ってください。

エマージェンシー・キーを収納する

- リリース・ボタンのロック音が聞こえるまで、エマージェンシー・キーを押し込んでください。

キーの電池交換

キーの電池が弱まり交換が必要になると、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

インフォメーション

- 電池の廃棄に関する指示を遵守してください。

図48: 電池の交換

電池の交換（CR 2032、3V）

1. エマージェンシー・キーを取り出してください。
2. 適切な物（エマージェンシー・キーなど）を使用して、キー・ハウジング背面のカバーを持ち上げてください。
3. 電池を交換してください（電極の向きに注意してください）。
4. カバーを元通りにして、しっかりとはめ合わせてください。
5. エマージェンシー・キーを元に戻してください。

キー /コントロール・ユニットの緊急ロック解除

車両のバッテリーが上がった場合、キーを抜き取るには、緊急解除を行う必要があります。

車両とキーの電波通信が混信したときや、キーのバッテリー残量が低下すると、ポルシェ・エントリー &ドライブが正常に機能しなくなります。

このような場合、イグニッション・ロックからコントロール・ユニットを取り外し、キーで車両を始動することができます。

図49: メタル・フックの取り外し

1. 運転席側のヒューズ・ボックス・カバーのハンドルをつかみ、引いて取り外してください。
2. ヒューズ・ボックス・カバーの裏に収納してあるメタル・フック**A**を取り出してください。

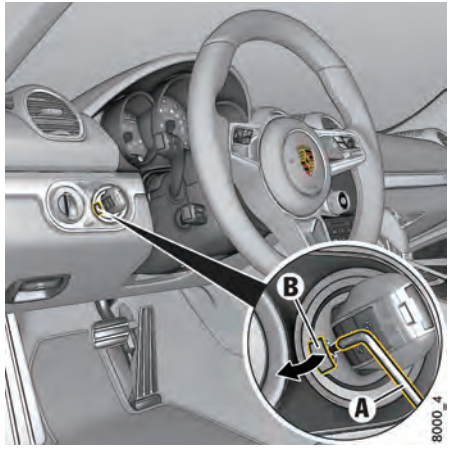


図50: イグニッション・ロックからのプラスチック・カバーの取り外し

3. メタル・フック**A**を使用して、イグニッション・ロックからプラスチック・カバー **B**を取り外してください。
4. 取り外したプラスチック・カバー **B**は紛失しないように十分注意してください。

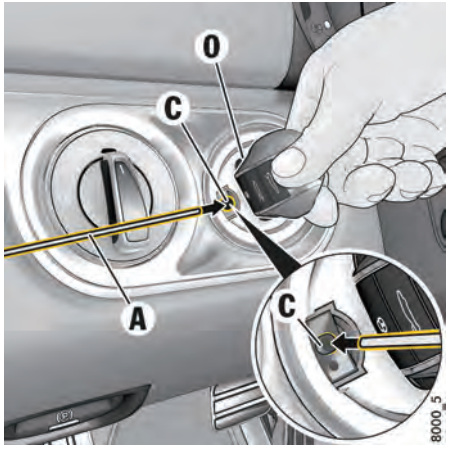


図51: 緊急ロック解除

5. コントロール・ユニット / キーをイグニッション・ロック位置 **0**（初期位置）に回してください。
6. メタル・フック**A**を開口部 **C**に押し込みます。キー/コントロール・ユニットの解除音が聞こえます。
7. 初期位置**0**でコントロール・ユニット/キーを取り外してください。
8. プラスチック・カバー **B**を元の位置に取り付けてください。

スペア・キーの注文と登録

車両のスペア・キーは、ポルシェ正規販売店のみでお求めいただくことができます。新しいキーを注文してからお手元に届くまでには大変時間がかかる場合がございます。

- いつでもスペア・キーを使えるように、あらかじめご用意いただくことを推奨いたします。
- スペア・キーは安全な場所に保管し、決して車内や車両の近くには置かないでください。

新しいキーを車両に登録するには：

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- 車両のすべてのキーを再登録してください。

インフォメーション

最大で8本のキーを登録することができます。

インフォメーション

- キーを紛失した場合または盗難にあった場合は、ポルシェ正規販売店でこのキーを無効にし、必要に応じてドア・ロックを交換してください。
- キーを紛失したり盗難にあったとき、またはスペア・キーを追加したり交換したときは、ご契約の損害保険会社に連絡してください。

給油

⚠ 警告 給油時の火災の危険

燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が起こる恐れがあります。

- ▸ 燃料を取り扱うときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙をしたりしないでください。

⚠ 警告 燃料蒸発ガスの吸引、および燃料の皮膚への付着

燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▸ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▸ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。

インフォメーション

場合により燃料に硫黄が多く含まれることがあります。このため、エンジンで燃焼する際に特定の運転条件下で不快な臭い（いわゆる腐った卵の匂い）が発生する可能性があります。ポルシェ社にはこの特性に対する責任はなく、車の故障を示すものではありません。

イグニッションをと、インストルメント・パネルに燃料の残量が表示されます。

- ▹ 「J – 燃料計」（43ページ）を参照してください。

タンク内の燃料残量が一定量（モデルによって異なる）を下回り、イグニッションがON、またはエンジンが作動している場合、マルチファンクション・ディスプレイの警告灯 が点灯します。

- ▸ 最寄りの給油所で給油してください。
- ▹ 「充填容量」（302 ページ）を参照してください。

適切な燃料の選択

知識

不適切な燃料を使用するとエンジン、燃料系統、およびエキゾースト・システムを損傷する恐れがあります。

- ▸ 下記の仕様に準拠する燃料のみを使用してください。
- ▸ メタノールを含む燃料を使用**しないでください**。

インフォメーション

通常、燃料のオクタン価に関する情報は、ガソリン・スタンドの給油機に掲載されています。ガソリン・スタンドのスタッフからも情報が得られます。

エンジンは**金属系添加物を含まない無鉛プレミアム・ガソリン**を使用した場合に最適に作動するよう設計されています。

モデル	推奨燃料 最低オクタン価：	代替燃料
すべて：	98 RON/ 88 MON	95 RON/ 85 MON

この車両のエンジンはエタノール含有量10%以下の燃料の使用に対応しています。エタノール含有燃料を使用すると燃費が悪化することがあります。

インフォメーション

推奨燃料が入手困難な場合は、緊急措置としてオクタン価**91 RON/82.5 MON**の金属系添加物を含まない無鉛ガソリンを使用することができます。ただし、この場合はエンジン出力が低下し、燃費が悪化することがあります。

- ▸ オクタン価が**91 RON/82.5 MON以上**の**金属系添加物を含まない無鉛ガソリン**を使用してください。
- ▸ オクタン価が91 RON/82.5 MONの無鉛ガソリンを使用した場合は、フルスロットルで走行**しないで** ください。

オクタン価の低い燃料と添加剤の使用

知識

ポルシェ社が承認していない添加剤を使用した場合、エンジン、燃料系統、エキゾースト・システムに損傷を与える恐れがあります。

- ▸ ポルシェ社が承認した添加剤のみを使用してください。

地域によっては、燃料の析出挙動がポルシェ社の基準を満たしていないことがあります。ポルシェ社の基準を満たす燃料を入手できない場合は、推奨する添加剤を混ぜ合わせてください。詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ポルシェ部品番号：000 043 206 89

- ▸ 混合比率は、添加剤に付属の取扱説明書に従ってください。
- ▸ 定期点検時期（サービス・インターバル）、特にオイル交換時期を遵守してください。

燃料の給油

知識

デコラティブ・フィルムに燃料が付着すると、フィルムが色褪せる原因になります。

▶ デコラティブ・フィルムに燃料が付着したときは、直ちに拭き取ってください。

8000_23

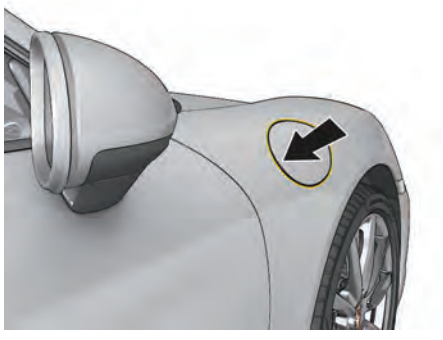


図52: フィラー・フラップを開く

8000_24

図53: タンク・キャップを開く

✓ エンジンを停止する
✓ イグニッションをOFFにする
✓ 車両をロック解除する

1. フィラー・フラップの後部（図52）を押すと、フラップが開きます。
   この車両に使用できる燃料の種類については、フィラー・フラップの裏のステッカーに明示されています。
2. タンクのキャップをゆっくり開いて取り外してください。
3. 取り外したキャップをホルダー（図53）にかけてください。
4. 給油ノズルは確実にフィラーの奥まで差し込み、注入時はノズルを下に向けて給油してください。
5. 給油ノズルを操作して、燃料を給油してください。給油ノズルが自動停止したら、それ以上給油を続けないでください。無理に給油すると、タンクの燃料が吹き返したり、燃料が温まったときにあふれ出したりすることがあります。

▷ 「充填容量」（302ページ）を参照してください。

6. 給油後は直ちにキャップを取り付けて、ロック音と手ごたえを感じるまで、しっかりと締め込んでください。
7. フィラー・フラップを閉じてフィラー・フラップの後部（矢印）を押し、しっかりと閉じてください。

インフォメーション

タンクのキャップを紛失したときは、必ずポルシェ純正部品を使用してください。

フィラー・フラップの緊急操作

8000_69

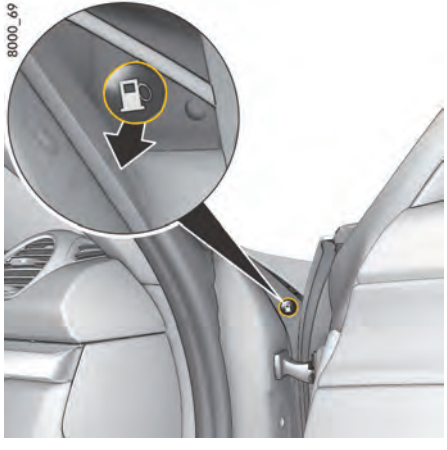


図54: 緊急時のフィラー・フラップの操作

フィラー・フラップの電動ロック解除機構が故障したときは、手動でフィラー・フラップを開くことができます。

1. 右側ドアを開いてください。
2. 右側ドア開口部にあるボタン（図54）を引いてください。
   フィラー・フラップが開きます。

クーラント（冷却水）

エンジン・クーラントには年間を通じた腐食防止と、–37 ℃までの凍結防止の働きがあります。クーラント・レベルを定期的に点検することは、メンテナンスの一部です。

- ポルシェ社が認証した凍結防止剤のみを使用してください。

ポルシェ社では、Glysantin® G40®またはG12++/VW TL 774-Gに準拠した同等の不凍液の使用を推奨しています。

警告メッセージへの対応

知識

冷却水温度が高温になりすぎると、マルチファンクション・ディスプレイに のシンボルが表示されます。 のシンボルが表示された場合は、クーラント・レベルが低くなりすぎています。

赤色の警告メッセージが表示された後も走行を続けると、エンジンを損傷する恐れがあります。

- エンジンをOFFにして冷やしてください。
- クーラント・レベルが適正でも警告が表示され続けるときは、運転を続けないでください。故障を修理してください。
  ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（85ページ）を参照してください。

クーラント・レベルの点検と補充

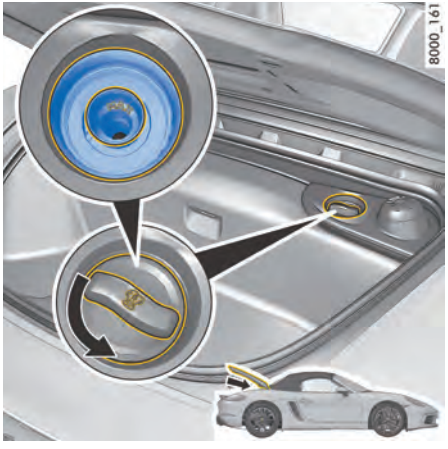


図55: Boxsterのクーラント・リザーバー・タンク

図56: Caymanのクーラント・リザーバー・タンク

⚠ 警告 高温のエンジン部品やクーラント

エンジン作動中は、エンジンと周辺の部品、エキゾースト・システム、クーラントなどが非常に熱くなっています。

クーラント・タンクには圧力がかかっています。クーラント・タンクを不用意に開くと、熱いクーラントが突然吹き出す恐れがあります。

- 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾースト・システムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- クーラントの補充はエンジンを停止し、イグニッションをOFFにしてから行ってください。
- エンジンが熱いときは、クーラント・リザーバー・タンクのキャップを**開かない**でください。水温計の表示が60 °Cを下回るまで待ってください。

▷ 「B – 冷却水温度」（254ページ）を参照してください。

✓ 車両を平坦な場所に駐車する

✓ エンジンが冷えていて、水温計が60 °C以下であること

✓ または のシンボルがクーラントの補充を促すメッセージとともにマルチファンクション・ディスプレイに表示されている

✓ クーラントの補充を促すメッセージとともに または のシンボルが**表示されていない**場合は、給水パイプ基部でクーラントが目視確認できない場合**のみ**クーラントを補充する給水パイプ内のクーラント・レベルは初回のエンジン始動後に低下するため、MAXマークは補充中のみの目安となります。

1. リヤ・ラゲッジ・コンパートメントを開いてください。
2. Cayman：キャップを反時計回りに回して取り外してください（図56）。
3. 慎重にクーラント・リザーバー・タンクのキャップを開き、内部の圧力を逃がしてください。
4. 圧力が完全に抜けてから、キャップを完全に取り外してください。
5. クーラント・レベルを読み取ってください。クーラント・レベルがMAXマークを超えないように注意してください。（給水パイプ基部でクーラント・レベルが目視で確認できない）
6. 必要に応じてクーラントを MAX マークまで補充してください。MAXマークを**超えない**ように注意してください。不凍液と蒸留水を同量混ぜ合わせた物のみを補充してください。
   給水パイプ内のクーラント・レベルは初回のエンジン始動後に低下するため、MAXマークは補充中のみの目安となります。
7. クーラント・リザーバー・タンクのキャップを動かなくなるまで回して閉めてください。
8. Cayman：キャップを取り付け、時計回りに回してください（図56）。
9. 冷却システムを点検してください。
   ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

i インフォメーション

緊急で水のみを補充した場合は、速やかに不凍液の混合比率を修正してください。

クーラントの減りが著しい場合は、冷却システムに漏れが発生しています。

- 早急に修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

クルーズ・コントロール

クルーズ・コントロールを使用すると、約30～240km/hの範囲でアクセル･ペダルを踏まなくても希望する速度を維持したまま走行できます。

図57: クルーズ・コントロール操作レバー

A クルーズ・コントロールのON/OFF
1 設定/希望する速度を上げる
2 設定速度を下げる
3 クルーズ・コントロールの中断（OFF）
4 保存した速度の再開（RESUME）

インフォメーション

アクティブ・ブレーキ機能は、特に下り坂などで設定速度を維持するため、自動的に作動します。

⚠ 警告 危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

交通状況により十分な距離と一定の速度での走行に適さない場合、クルーズ・コントロールの使用が事故の原因となる場合があります。

- 激しい渋滞、カーブの多い道、路面状態が悪い場合（冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面など）でクルーズ・コントロールを使用しないでください。

クルーズ・コントロールON（スタンバイ）

- クルーズ・コントロール操作レバーのボタン**A**を押してください。

クルーズ・コントロールON
マルチファンクション･ディスプレイのグレーのアイコンは使用可能状態を示します。

速度の設定（維持）

1. アクセル・ペダルの操作で希望する速度まで加減速してください。
2. ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを前方（**1**の位置）に押してください。

設定速度
オレンジ色に変わったクルーズ・コントロール・アイコンの下に走行中の速度が表示され、自動的に維持されます。

速度の変更

- 速度を上げる場合は、ステアリング･ホイールの操作レバーを前方に押します（83ページ図57の**1**）。
  短く押す = 1 km/h、長く押す = 10 km/h
- 速度を落とす場合は、ステアリング･ホイール側に操作レバーを引きます（83ページ図57の**2**）。
  短く引く = 1 km/h、引き続ける = 10 km/h
  新しく設定した速度がマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

インフォメーション

通常走行と同じようにアクセル･ペダルを踏むと加速します。これにより保存された速度は変更されません。アクセルを緩めると保存した速度に戻ります。

クルーズ・コントロールの中断（OFF）

クルーズ・コントロールを中断したときは、直前の設定速度が保存され、クルーズ・コントロール操作レバーを押すと設定速度を呼び出すことができます。

▷ 「クルーズ･コントロールの再開（RESUME）」（84ページ）を参照してください。

- コントロール操作レバーを下に押してください（83ページ図57の**3**）
  または
- ブレーキ・ペダルまたはクラッチ・ペダルを踏んでください。
  または
- セレクター・レバーを**N**の位置にしてください。

クルーズ・コントロールの自動中断：

- 設定速度より約25 km/h以上速い速度で、20秒以上走行した場合
- 上り坂などで、設定速度より約60 km/h以上遅い速度で60秒以上走行した場合
- ポルシェ・スタビリティ・マネージメント（PSM）が0.5秒以上作動した場合

クルーズ・コントロールの再開（RESUME）

▸ 操作レバーを上に押してください（83ページ図57の**4**）
設定速度に加減速します。

クルーズ・コントロールOFF

▸ クルーズ・コントロール操作レバーのボタン**A**を押してください。
設定速度が消去され、シンボル・マークが消灯します。

インフォメーション

イグニッションをOFFにすると保存した速度が消去されます。

警告およびインフォメーション・メッセージ

警告メッセージが表示されたときは、本書の該当する章を必ずお読みください。

一部の警告灯には、点灯すると警報も同時に鳴るものがあります。

すべての前提条件が満たされた場合にのみ、警告メッセージが表示されます。そのため、すべてのフルード・レベルは定期的に点検してください。

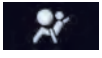
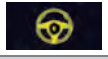
警告と情報メッセージの分類

赤色 システムの故障または警告

黄色 故障、システム故障、情報、または指示

白色 故障、システム故障、情報、または指示

安全

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
点灯	**安全ベルトを装着します**	1つまたは複数のシート・ベルトが装着されていません。 ▸ すべての乗員がシート・ベルトを装着していることを確認してください。
	助手席エアバッグオン/オフ	助手席エアバッグがONまたはOFFです。
	 **故障エアバッグ表示灯 要修理**	エアバッグ警告灯が故障しています。 継続走行可能です。 ▸ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ステアリングを解除します	ステアリング・ロックに大きく負荷がかかっています。 継続走行可能です。 ▸ ステアリング・ホイールを左右に回して、ステアリング・ロックを解除してください。
	 **完了するとハンドルがロックされます**	ステアリング・ロックが作動していません。 ▸ ステアリング・ホイールをロックするには、車両をロックしてください。

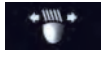
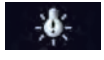
* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

安全

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ		意味および必要な措置
		パワーステアリング故障 ハンドル操作を行ってください 継続走行可	パワー・ステアリングは利用できません。 継続走行可能です。 ▸ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		ステアリングサポート制限中 注意して走行してください	パワー・ステアリングが一時的に制限されます。 継続走行可能です。 ▸ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点灯		**ブレーキ液レベル 安全な場所に停車して下さい**	ブレーキ液レベルが低すぎます。 ▸ 適切な場所に停車してください。 ▸ 運転を続けないでください。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点灯		**故障制動力配分 安全な場所に停車して下さい**	制動力配分に故障があります。 ▸ 適切な場所に停車してください。 ▸ 運転を続けないでください。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点灯		**ブレーキ冷却故障**	ブレーキ温度が高すぎます。 ▸ 適切な場所に停車してください。 ▸ 運転を続けないでください。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点灯		**故障ABS/PSM 相応の継続走行可**	ABSまたはポルシェ・スタビリティ・マネージメントシステム（PSM）に故障があります。 継続走行可能です。 ▸ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		摩耗限度ブレーイニング 要交換継続走行可能	ブレーキパッドが摩耗しています。 ▸ 直ちにブレーキ・パッドを交換してください。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

安全

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ		意味および必要な措置
点滅		**緊急ブレーキ**	エレクトリック・パーキング・ブレーキの緊急ブレーキ機能が作動中です。 緊急ブレーキの後、シンボルは消灯します。
点灯		**故障パーキングブレーキ**	パーキング・ブレーキに故障があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		電動パーキングブレーキがサービスモードです	パーキング・ブレーキがサービス・モードになっています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点滅		**パーキングブレーキ解除**	パーキング・ブレーキが作動しています。 ▶ エレクトリック・パーキング・ブレーキのスイッチを引いてください。 ▷ 「エレクトリック・パーキング・ブレーキ」(211ページ) を参照してください。
点灯		**ブレーキを踏みます**	パーキング・ブレーキが作動しています。 ▶ エレクトリック・パーキング・ブレーキを解除するときは、ブレーキ・ペダルを踏んでください。
		雨/光センサー故障 修理が必要です	雨/光センサーが故障しています。 ▶ フロント・ワイパーおよびライトを手動でONにしてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点滅		**アダプティブヘッドライト故障 要修理**	コーナリング・ライトが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点灯		**ビームライト 制御故障 要修理**	ドライビング・ライト制御が故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		ヘッドライトレベリング制御 故障 要修理	ヘッドライトレベリング制御が故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点滅		**ヘッドライト制御故障 要修理**	ヘッドライト制御が故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

安全

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
	例： 左前ウィンカーを点検します	インジケーター・ライトが故障しています。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ハイビームアシスト故障ハイビームを手動で操作 要修理	ハイビーム・アシスタントが故障しています。 ▸ ハイビームを手動で点灯してください。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ハイビームアシスト制限中 カメラ視野無 場合により要ガラス洗浄	カメラの不具合により、ハイビーム・アシスタントが一時的に使用できなくなっています。 ▸ 必要であればウィンドウを清掃してください。 故障が継続する場合： ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	PDLS+ 現在制限中カメラ視野無場合により 要ガラス洗浄	カメラの故障により、ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス（PDLSプラス）は一時的に使用できません。 ▸ 必要であればウィンドウを清掃してください。 故障が継続する場合： ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	故障 PDLS+ ハイビーム手動で操作 要修理	ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス（PDLSプラス）が故障しています。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	サイドマーカーランプ点灯	ドライビング・ライトまたはパーキング・ライトが点灯しています。
	パーキングライトオン	左または右のパーキング・ライトが点灯しています。
	ワイパー故障 要修理	ワイパーが故障しています。 ▸ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

安全

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ		意味および必要な措置
点灯		**タイヤ要点検**	1つまたは複数のタイヤに著しい空気圧の低下があります。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 該当するタイヤに損傷がないか点検してください。 ▷「タイヤ損傷の点検」(148ページ) を参照してください。 ▶ 必要に応じてシーラントを追加してください。 ▷「パンク」(204ページ) を参照してください。 ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▷「タイヤ空気の充填」(147ページ) を参照してください。
点灯		**空気を充填**	1つまたは複数のタイヤの空気圧が不足しています。 ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▷「タイヤ空気の充填」(147ページ) を参照してください。
点滅または点灯		**故障 監視タイヤ圧 要修理**	タイヤ空気圧モニタリング・システム (TPM) が故障しています。 タイヤ空気圧は監視されません。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点滅または点灯		**タイヤ空気圧監視一時的に無効**	タイヤ空気圧モニタリング・システム (TPM) に一時的な故障が発生しています。 タイヤ空気圧は監視されません。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

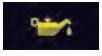
* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

安全

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
点滅または点灯	**監視無タイヤ圧 システム学習 25 km/h 以上**	タイヤ空気圧モニタリング・システム（TPM）がタイヤの登録を完了するまでには一定の時間が必要です。 このプロセスを実行中は、マルチファンクション・ディスプレイに現在のタイヤ空気圧が表示されません。 ▸ 後ほどタイヤ空気圧モニタリングを再実行してください。
点滅または点灯	**ホイールを交換しますか? 選択し直します**	タイヤを交換した後は、タイヤ設定を更新する必要があります。 ▸ マルチファンクション・ディスプレイのタイヤ設定を更新してください。 ▷ 「TPMメニュー – タイヤ空気圧モニタリングシステム（TPM）」（248ページ）を参照してください。
点灯	**コンフォート・プレッシャー／ タイヤ圧 速度を落とす**	設定したタイヤ空気圧の最高速度を超過しています。 ▸ 速度を落としてください。 ▸ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▷ 「タイヤ空気の充填」（147ページ）を参照してください。

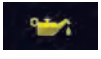
* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジン

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
	 **油量最低以下 直ちにオイル充填**	オイル・レベルが最低値を下回わりました。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。 ▶ 運転を続けないでください。 ▶ 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないか点検してください。明らかなオイル漏れがあるときは走行を続けないでください。 ▶ マルチファンクション・ディスプレイ上でオイル測定を選択してください。 ▷ 「エンジン・オイル・レベルの測定と表示」(246ページ) を参照してください。 ▶ 必要に応じてエンジン・オイルを補充してください。 ▷ 「エンジン・オイルの選択と補充」(62ページ) を参照してください。
	油量 上限超過 整備工場へ継続走行可	オイル・レベルが最大値を超過しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	故障 油量測定 整備工場へ 継続走行可	オイル・レベル測定に故障があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	油量最低ライン オイル要充填	オイル・レベルが最低値に達しました。 ▶ エンジン・オイルを補充してください。 ▷ 「エンジン・オイルの選択と補充」(62ページ) を参照してください。
	現在オイルレベル表示は不可	状況により、オイル・レベルが表示されないことがあります。以下の場合に発生します。 – エンジン冷間時 – エンジンを高回転で全負荷運転した後の停車時 – 油温が高すぎます。 ▶ オイル・レベル測定を再度実施してください。 ▷ 「エンジン・オイル・レベルの測定と表示」(246ページ) を参照してください。

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジン

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
		油圧が低すぎます 停車して下さい	エンジン・オイル圧力が低すぎます。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。 ▶ 運転を続けないでください。 ▶ 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないか点検してください。 ▶ マルチファンクション・ディスプレイ上でオイル測定を選択してください。 ▷ 「エンジン・オイル・レベルの測定と表示」(246ページ) を参照してください。 ▶ 必要に応じてエンジン・オイルを補充してください。 ▷ 「エンジン・オイルの選択と補充」(62ページ) を参照してください。 ▶ オイル・レベルが適正であるにもかかわらず警告メッセージが表示されるときは、運転を続けないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		**油圧測定故障 継続走行可 整備工場へ**	オイル圧力測定に故障があります。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		油温高過ぎ 負荷軽減	エンジン油温が高すぎます。 ▶ 適切な場所に停車してください。エンジンをOFFにして冷やしてください。 ▶ 運転を続けないでください。 ▶ マルチファンクション・ディスプレイ上でオイル測定を選択してください。 ▷ 「エンジン・オイル・レベルの測定と表示」(246ページ) を参照してください。 ▶ 必要に応じてエンジン・オイルを補充してください。 ▷ 「エンジン・オイルの選択と補充」(62ページ) を参照してください。
		故障 表示 油温 整備工場へ継続走行可	エンジン油温計が故障しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジン

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
クーラント表示が最高マーク	**すぐに冷却水を充填して下さい 走行を停止してください**	クーラント・レベルが低すぎます。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷やしてください。 ▶ クーラント・レベルを点検し、必要に応じてクーラントを補充してください。 ▷ 「クーラント・レベルの点検と補充」(81ページ) を参照してください。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	冷却水補充 モーター温度要監視	クーラント・レベルが低くなっています。 ▶ クーラント・レベルを点検し、必要に応じてクーラントを補充してください。 ▷ 「クーラント・レベルの点検と補充」(81ページ) を参照してください。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
クーラントまたはエンジン・オイルの温度表示が最高マーク	**エンジン温度超過 停車して冷まして下さい**	クーラント温度または油温が高すぎます。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷やしてください。 ▶ ラジエーターおよび車体周辺の空気取り入れ口がゴミなどで塞がれていないか点検してください。 ▶ クーラントおよびエンジン・オイルのレベルを点検してください。 ▷ 「クーラント・レベルの点検と補充」(81ページ) を参照してください。 ▷ 「エンジン・オイル・レベルの測定と表示」(246ページ) を参照してください。 ▶ クーラントまたはエンジン・オイルを、必要に応じて補充してください。 故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	冷却水温 ゲージ故障 継続走行可 整備工場へ	冷却水温度計が故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジン

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ		意味および必要な措置
		冷却システム故障 整備工場へ 要修理	冷却システムが故障しています。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 *
		故障 エンジンルームファン 全負荷回避継続走行可	エンジン・コンパートメント・ブロワーが故障しています。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 *
		低下したエンジン出力 継続走行可 整備工場へ	エンジン出力が低下します。 継続走行可能です。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 *
		エンジン制御故障 整備工場へ 継続走行可	エンジン制御システムが故障しています。 継続走行可能です。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 *
水温計の警告灯が点滅します。		**故障エンジン制御**	エンジン制御システムが故障しています。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 *

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
	ジェネレータ故障 安全な場所へ停車して下さい	オルタネーターが故障しています。 ▶ 適切な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。 ▶ 運転を続けないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	バッテリー機能制限中 整備工場へ	バッテリー機能が制限されます。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	バッテリー弱エンジンを始動し しばらく稼働させて下さい	バッテリーの充電状態が低すぎます。 ▶ バッテリーを充電するため、エンジンを始動してください。
	バッテリー残量低下 電力消費制限	バッテリーの充電状態が低すぎます。 バッテリーの放電を防ぐため、コンフォート機能への電源供給が停止されます。 継続走行可能です。
	停車中にバッテリー保護が有効 でした	バッテリー保護が有効です、または有効でした。 バッテリーの放電を防ぐため、停車時に電装品の作動が停止されました。 継続走行可能です。
	バッテリー放電 保護が有効です 容量 xx %	バッテリー放電保護が有効です、または有効でした。 バッテリーの放電を防ぐため、車両電装品の作動が停止されました。 継続走行可能です。 ▶ バッテリー容量を監視してください。必要に応じてバッテリーを充電してください。 ▷ 「バッテリーの充電」(203ページ) を参照してください。
	バッテリー再充電 極性に注意	バッテリーの充電状態が低すぎます。 ▶ バッテリーを充電してください。 ▷ 「バッテリーの充電」(203ページ) を参照してください。
	エンジンを手動で始動してください	▶ イグニッションを使用して、手動でエンジンを始動してください。

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ		意味および必要な措置
セレクターレバー・ポジション・ディスプレイが点滅		**ギヤセレクター 正確に入れてください**	PDK装備車:セレクター・レバーが2つのポジションの間にある可能性があります。 ▸ セレクター・レバーを正しい位置にシフトしてください。
		選択レバーを P位置にします	PDK装備車：キーを抜き取る前や、駐車する場合はギヤ・レバーをPの位置にしてください。 ▸ ギヤ・レバーを P 位置にします。
		選択レバーをP位置またはN位置にします	PDK装備車：セレクター・レバーがPまたはNの位置にあるときのみエンジンを始動することができます。 ▸ ギヤ・レバーをP位置またはP位置にします。
		ブレーキを踏みます	PDK装備車：ブレーキ・ペダルが踏まれているときのみ始動可能です。 ▸ 始動時はフットブレーキを踏んでください。
セレクター・レバー・ポジション・ディスプレイが点滅		**T/M故障 安全に停車してください**	PDK装備車：トランスミッションが故障しています。 インストルメント・パネルにセレクター・レバーの位置が表示されなくなります。 次に停車するまでは走行が可能です。 運転を続けないでください。 ▸ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▸ ポルシェ正規販売店まで車両をけん引してください。 ▹ 「けん引およびけん引によるエンジンの始動」（106 ページ）を参照してください。
		変速機温度超過 冷却のため停車して下さい	PDK装備車：トランスミッションの温度が高すぎます。 ▸ 適切な場所に停車してください。トランスミッションを冷やしてください。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 *
セレクターレバー・ポジション・ディスプレイが点滅		**T/M故障 リバースギヤ不可運転可能**	PDK装備車：トランスミッションが故障しています。 リバース・ギヤに入らないことがあります。 スムーズな変速ができなくなりますが、継続走行可能です。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 *

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
	T/M温度 高すぎる 負荷を下げる	PDK装備車：トランスミッションの温度が高すぎます。 継続走行可能です。車両発進時に異常を知らせる不自然な動きが感じられるとともに、エンジン出力が制限されます。 ▸ 適切な場所に停車してください。 ▸ エンジンにかかる負荷を小さくしてください。 ▸ アクセル・ペダルで車両を保持せず、ブレーキを使用してください。 ▸ 警告が消えるまでセレクター・レバーをPまたはNの位置にしてエンジンをアイドリングしてください。
	クラッチを踏みます	マニュアル・トランスミッション装備車：クラッチ・ペダルが踏まれているときのみ始動可能です。 ▸ 始動時はクラッチ・ペダルを踏んでください。
	VTS 強化、 コードを入力して 確定してください	ポルシェ車両追跡システム（PVTS）が作動しています。 ▸ PVTS（ポルシェ車両追跡システム）を停止するには、リモート・キーパッドの数字キーを使用してコードを入力し、決定します。
	VTS有効、 X分以内に コードを入力して下さい	ポルシェ車両追跡システム（PVTS）が作動しています。 ▸ PVTS（ポルシェ車両追跡システム）を停止するには、リモート・キーパッドの数字キーを使用してコードを入力し、決定します。
	窃盗未遂が検知されました、 VTSアラーム有効	盗難未遂が検出されました。＊ ▸ コントロール・センターに連絡してください。
	リモートキーパッド 電池不足 交換して下さい	リモート・キーパッドの電池が消耗しています。 ▸ 電池を交換してください。
	非常通報が有効です	車両からの緊急通報がSOCで確認されました。
	緊急通報故障 整備工場へ	緊急通報機能が故障しています。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

＊ 日本仕様に設定はありません。

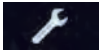
車両

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ		意味および必要な措置
		緊急通報が故障しました	車両からの緊急通報をSOCに転送することが **できませんでした。**
		非常通報のサービス契約が終了しました	緊急通報サービスのサービス契約期間が終了しましたが、ポルシェ・サービス・ポータルで延長可能です。
		ドライバーカード 認識不可	ドライバー・カードが検出されません。 ▸ キーを使用してドライバー・カードを再度作動してください。 ▸ 必要に応じてコントロール・センターにご相談ください。 *
		ドライバーカード 電池不足 交換して下さい	ドライバー・カードの電池が消耗しています。 * ▸ 電池を交換してください。
		表示外気温故障 要修理	外気温表示に故障があります。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 *
		故障スポイラー 要減速	走行安定性が損なわれます。 ▸ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 *
		減速 幌を停止位置へ移動	▸ コンバーチブル・トップを全開または全閉にしてください。
		幌 要修理 車両運転不可	コンバーチブル・トップがサービス位置にあります。 ▸ サービス・ポジションから移動させてください。
		フードを 開きます/閉じます	終端位置になるとメッセージが消えます。
		故障幌制御 要修理	▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 *

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

＊ 日本仕様に設定はありません。

車両

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ		意味および必要な措置
		**例： xxx kmでのメンテナンス**	▸ 表示されている距離/期日を過ぎる前にメンテナンスを行ってください。
燃料計の警告灯が点灯		**目的地までの距離に注意してください**	燃料タンクが空です。 ▸ 最寄りの給油所で給油してください。 ▷ 「給油」（79ページ）を参照してください。
		故障燃料計 修理が必要です	燃料計が故障しています。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		扉/後ろカバーが開いています	▸ 該当する車両のドアまたはカバーを閉じてください。
		洗浄水を補充します	ウォッシャー液が空です。 ▸ ウォッシャー液を補充してください。 ▷ 「ウォッシャー液」（49ページ）を参照してください。
		故障ポルシェエントリ&ドライブ	ポルシェ・エントリー &ドライブが故障しています。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		キーが見つからない/障害キーの位置を 変更してください	ポルシェ・エントリー &ドライブ装備車： キー位置が正しくありません。 ▸ キーを携行するか、キー位置を変更してください。
		キーをトランクから抜いて下さい	ポルシェ・エントリー &ドライブ装備車： キーがラゲッジ・コンパートメント内にあります。 ▸ ラゲッジ・コンパートメントからキーを取り出してください。
		車両内に複数のキーが検知されました	ポルシェ・エントリー &ドライブ装備車： 車内に複数のキーがあります（乗員の荷物の中など）。

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
	車両キー内のバッテリーを交換します	キーの電池が消耗しています。 ▶ 電池を交換してください。 ▷ 「キーの電池交換」（76ページ）を参照してください。
	イグニッションキーを抜いて下さい	▶ イグニッション・キーを抜き取ってください。
	スイッチ部：左に回す、取り外、カギをさす	ポルシェ・エントリー &ドライブ装備車： 車内にキーが検出されません。 イグニッションをONにできず、エンジンを始動できません。 ▶ コントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置0に戻し、イグニッション・ロックから取り外してください。 ▶ キーを使用してイグニッションを ON にしてください（エマージェンシー・キーは除く）。

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ドライビング・システム

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ		意味および必要な措置
点灯		**システムエラー PSM 安全な場所に停車して下さい**	ポルシェ・スタビリティ・マネージメント（PSM）システムが故障しています。 ▸ 適切な場所に停車してください。 ▸ 運転を続けないでください。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点灯		**故障 ABS/PSM 相応の 継続走行可**	ポルシェ・スタビリティ・マネージメントが故障しています。 継続走行可能です。 ▸ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点灯		**PSM オフ**	ポルシェ・スタビリティ・マネージメント（PSM）がOFFになっています。
		PSM オン	ポルシェ・スタビリティ・マネージメント（PSM）がONになっています。
点滅		**PSM が診断モードです**	ポルシェ・スタビリティー・マネージメント（PSM）が診断モードです。
		PADM 無効 要修理 継続走行可	ポルシェ・アクティブ・ドライブトレイン・マウント（PADM）が無効になっています。 ▸ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ドライビング・システム

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
	故障シャーシシステム	サスペンション・システムが故障しています。 ▸ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▸ 運転を続けないでください。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	故障懸架装置相応の継続走行可	サスペンション・システムが故障しています。 ハンドリング性能に悪影響が出ます。 ▸ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	故障アシスタントシステム/カメラ要修理	アシスタンス・システムまたは車両カメラが故障しています。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	視野前面ｶﾒﾗ制限中場合により要ガラス洗浄	アシスタンス・システムまたはカメラが天候状態やウィンドウの汚れにより一時的に使用できなくなっています。 ▸ 必要であればウィンドウを清掃してください。 故障が継続する場合： ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ラウンチコントロールが有効です	ローンチ・コントロールが作動しています。
	システムエラー継続走行可能要修理	複数の電気系統のシステムが故障している可能性があります。 ▸ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	故障音声出力コンビ機器/パークアシスタント前要修理	警告音およびパーキング・アシスタントなどの距離信号が使用できません。 ▸ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ドライビング・システム

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
	故障 音声出力パークアシスタント 要修理	警告音およびパーキング・アシスタントの距離信号が使用できません。 ▸ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▸ 駐車時に問題が起きる可能性があります。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	パーキング・アシスタント パークアシスト	パーキング・アシスタントが故障しています。 ▸ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▸ 駐車時に問題が起きる可能性があります。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	車間距離 ブレーキを操作	前走車との車間距離が十分ではありません。 ▸ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▸ 先行車両との車間距離を大きくしてください。
	ACC 使用不可 センサーに汚れ要洗浄	車両前部のセンサーの汚れまたは天候によってアダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）が悪影響を受けている可能性があります。 ▸ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▸ センサーの清掃が必要な場合があります。 故障が継続する場合： ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ACC/PAS 使用不可 要修理	アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）が故障しています。 ▸ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 故障が継続する場合： ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ACC/走行制御不可 ギヤセレクターをD/Mへ切替	PDK装備車： アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）はセレクターレバーがD位置またはM位置にある場合にのみ可能です。 ▸ セレクター・レバーをD位置またはM位置に入れてください。
	制限1/制限2を越えました	設定した速度制限1または2を超過しています。

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ドライビング・システム

インストルメント・パネルの表示	マルチファンクション・ディスプレイのメッセージ		意味および必要な措置
		制限速度表示現在制限中 カメラ視野無 場合により要ガラス洗浄	悪天候またはフロント・ウィンドウの汚れにより、制限速度表示が一時的に利用できなくなっています。 ▸ 必要であればウィンドウを清掃してください。 故障が継続する場合： ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		制限速度表示現在制限中	ナビゲーション・データを一時的に受信できなくなっています。 故障が継続する場合： ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		制限速度表示現在使用不可	一時的にカメラ画像を評価できなくなっています。 故障が継続する場合： ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		故障制限速度表示 要修理	カメラまたはナビゲーション・システムが故障しています。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		LCA 現在使用不可	レーン・チェンジ・アシスト（LCA）が天候状態や粉塵により一時的に利用できなくなっています。
		LCA 故障 要修理	レーン・チェンジ・アシスト（LCA）が故障しています。 ▸ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		LCA センサー遮断 リヤバンパー 要洗浄	レーン・チェンジ・アシスト（LCA）センサーが、ステッカー、汚れ、または氷結などにより遮断されています。 ▸ センサーの清掃が必要な場合があります。

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

警報システム

警報システムは、次の警報接点を監視します：

– ドア、ラゲッジ・コンパートメント・リッド、およびヘッドライトの警報接点
– 室内モニタリング・システム：車両をロックした後の車内への侵入（例えばウィンドウを壊して車内に侵入したとき）
– 傾斜センサー（国別の装備仕様：車両の傾き（例えば車両をけん引して盗難しようとしたとき）

これらの警報接点のいずれか1つでも作動すると、アラーム・ホーンが約30秒間鳴り、ハザード・ライトが点滅します。

その後、5秒間警告が中断され、再度警報が作動します。この作動を最大10回繰り返します（国により異なる）。

インフォメーション

国別の仕様によっては、キーをイグニッション・ロックから抜き取った場合は、最後にドアまたはラゲッジ・コンパートメント・リッドを閉じてから30秒後に警報システムが自動的に作動します。これは車両をロックしていない場合でも同様です。

室内モニタリング・システムおよび傾斜センサーが解除されます。ドアまたはラゲッジ・コンパートメント・リッドを開くと、警報が作動します。

- 降車時は常に車両をロックしてください。
- ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

作動した警報システムを解除するには：

- ドアをロック解除する**または**イグニッションをONにしてください。

警報システムのON/OFFを切り替える

- 車両をロックすると、警報システムが作動します。
- 車両をロック解除すると、警報システムが解除されます。

インフォメーション

ドア・ロックにエマージェンシー・キーを差し込んで車両のロックを解除した場合、警報システムの作動を回避するために、ドアを開いてから15秒以内にイグニッションをONにしなければなりません。

警報システムが作動するまでの時間は、国によって異なる場合があります。

作動した警報システムをOFFにする

- ロック解除
  または
  イグニッションをONにしてください。

室内モニタリング・システムおよび傾斜センサーをOFFにする

車内に人や動物を残して車両をロックするときや、鉄道または船舶などで車両を輸送する場合、室内モニタリング・システムと傾斜センサー＊を一時的にOFFにする必要があります。

▷ 「ドアをロックする」（142ページ）を参照してください。

- ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

インフォメーション

室内モニタリング・システムと傾斜センサーは、ロック解除後いずれのドアも開かず、30秒後に自動的にロックされた場合、OFFの状態を維持します。

機能表示

ポルシェ・エントリー＆ドライブ非装備車の場合、セントラル・ロッキング・ボタンのライトの点滅速度により車両のロック状態が示されます。ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車の場合、ドアのインジケーター・ライトの点滅速度により車両のロック状態が示されます。

警報システムを起動させたとき

車両をロックしたときにインジケーター・ライトが素早く点滅し、その後は通常の速さで点滅します。

警報システムを起動させたとき（室内モニタリング・システムと傾斜センサーがOFFのとき）

車両をロックしたときにインジケーター・ライトが素早く点滅し、10秒間消灯し、その後は通常の速さで点滅します。

セントラル・ロッキング・システムと警報システムの故障

インジケーター・ライトが10秒間点灯した後、短く2回ずつ20秒間点滅し、その後は通常の速さで点滅します。

＊ 日本仕様に設定はありません。

けん引およびけん引によるエンジンの始動

インフォメーション

- けん引およびけん引によるエンジンの始動を行うときは、法規等を遵守してください。
- 車両をけん引するときは十分注意してください。発進する前に、けん引する車両とけん引される車両の両方のドライバーが、けん引によるエンジンの始動とけん引時の通常とは異なる運転特性をしっかりと理解しておくことが大切です。
- 電気系統の不具合が発生している場合、エレクトリック・パーキング・ブレーキやステアリング・コラム・ロックを解除するために外部電源の接続が必要なことがあります。

けん引ロープまたはけん引バーの使用

- けん引ロープ/けん引バーの規格と取り扱い方法は、製品メーカーの取扱説明書を参照してください。製品メーカーが指示する注意事項と取り扱い方法に従ってください。
- けん引ロープまたはけん引バーの許容荷重を遵守してください。けん引ロープまたはけん引バーの許容荷重が、けん引される車両の重量よりも大きいことを確認してください。製品メーカーが指定する定格荷重を超えてはなりません。
- ブレーキが故障した車両を**けん引しない**でください。

けん引ロープを使用する

- 車両をけん引するときは、けん引フックを車両に取り付けてから、けん引ロープをけん引フックに取り付けてください。

▷ 「けん引フックの取り付け」(107ページ) を参照してください。

- けん引による走行中は、ロープがたるまないように注意し、ロープに急激な衝撃を与えないでください。

けん引バーを使用する

- けん引バーを斜め方向に**取り付けない**でください。

けん引または押しがけによる始動

- Porsche Doppelkupplung (PDK) 装備車では、トランスミッションに重大な損傷を与える恐れがあるため、けん引または押しがけによるエンジンの始動はできません。
- マニュアル・トランスミッション装備車のけん引または押しがけによるエンジンの始動は、エンジン冷間時にのみ実施してください。エンジンが熱いと、未燃焼ガスにより触媒コンバーターが損傷する場合があります。

けん引

⚠ 警告 パワー・アシスト機能が作動しないことによる操舵力とブレーキ踏力の増加

けん引される車両のエンジンが停止している場合、ステアリング・アシストが働きません。ブレーキやステアリング操作に大きな力が必要となります。ステアリング操作およびブレーキ操作に大きな力が必要となります。

- 車両をけん引するときは十分注意してください。

車両をけん引する場合、この車両より車両重量の大きい車両はけん引しないでください。

エンジンが停止している場合、トランスミッション・オイルが循環しません。トランスミッションの損傷を回避するため、次の点に注意してください。

PDK装備車に関する重要なインフォメーション

- セレクター・レバーの緊急解除を行ったまたはPDKトランスミッションが緊急作動モードになっている場合 (警告メッセージがトランスミッション故障を表示している)、車両を絶対に**けん引しないでください**。車両輸送専用車またはトレーラーを使用してください。

▷ 「セレクター・レバーの緊急解除」(138ページ) を参照してください。

バッテリーに不具合がある、またはバッテリーが完全に上がってしまった車両に関する注意事項

バッテリーに不具合があるとき、またはバッテリーが完全に上がってしまったときは、バッテリーを交換するか、ジャンパー・ケーブルを使用してエンジンを始動させてください。

▷ 「バッテリー」(201ページ) を参照してください。

▷ 「ジャンパー・ケーブルによる始動」(122ページ) を参照してください。

4輪が接地した状態でのけん引時の注意事項

- けん引される車はイグニッション・スイッチをONにして、ブレーキ・ライトや方向指示灯が機能し、ステアリング・ロックが解除されるようにしてください。ポルシェ・エントリー&ドライブ装着車では、コントロール・ユニットをイグニッション・ロックから取り外して、キーを挿入してください。

片側のアクスルを持ち上げた状態でのけん引時の注意事項

- イグニッションをOFFにしてください。キーをイグニッション・ロックに残し、ステアリング・ロックがかからないようにしてください。ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車では、コントロール・ユニットをイグニッション・ロックから取り外して、キーを挿入してください。

▷ 「キー/コントロール・ユニットの緊急ロック解除」(77ページ) を参照してください。

- 車両のライトが十分に点灯していることを確認してください。

けん引

- マニュアル・トランスミッション装備車：ギヤシフト・レバーはニュートラルにしてください。
- PDK装備車：セレクター・レバーを**N**の位置にしてください。セレクター・レバーの表示も含めて正しく**N**の位置にするには、車両をけん引する前にエンジンを一度始動しなければなりません。セレクター・レバーが**N**の位置にあり、ディスプレイ上でもセレクター・レバー位置が**N**になれば、車両をけん引できます。
- けん引されるときの速度は50km/h以下にしてください。けん引距離は50km以内にしてください。50kmを超える場合は、車両輸送専用車またはトレーラーで車両を輸送してください。

雪や砂などで立ち往生した車両の救援

- 車両を救出するときは十分に注意してください。
- 車両を急に引っ張ったり、角度を付けて斜め方向に引いたりしないでください。
- 可能な限り、立ち往生した車両を進入したタイヤの軌跡に沿って、元の方向に引き出してください。

けん引フックの使用

図58: リヤのけん引フック

図59: フロントのけん引フック

けん引フックの取り付け

けん引フックは工具セットに収納されています。

▷ 「タイヤ・シーラント/工具セットの取り外しおよび収納」(275ページ) を参照してください。

1. プラスチック・カバーのフロント下端およびリヤ上端をバンパー内に押し込む、または適切な工具を使用して慎重にプラスチック・カバーを取り外してください。
2. プラスチック・カバーをバンパーから引き出し、カバーに付いているひもで吊り下げられた状態にしてください。
3. けん引フック**A**を反時計回りにいっぱいにねじ込み（逆ねじ）、手で締め付けてください。

けん引フックの取り外し

1. けん引フック**A**を時計方向に回して外してください（逆ねじ）。
2. プラスチック・カバーのフロント側を開口部の下端に、リヤ側を開口部の上端に差し込んでください。
3. プラスチック・カバーをかぶせ、端部を押してバンパーにはめ込んでください。
4. けん引フックを工具セットに収納してください。

鉄道、船舶、積載車での輸送

- ロープ等で車両を固定するときは、ホイールのみで固定してください。
- 室内モニタリング・システムと傾斜センサーを解除してください。

▷ 「室内モニタリング・システムおよび傾斜センサーをOFFにする」(105ページ) を参照してください。

故障診断用ソケット

図60: 左側足元のヒューズ・ボックスにある故障診断用ソケット

故障診断用ソケット**A**はポルシェ正規販売店で診断装置を接続するためのものです。

⚠ 警告 車両エレクトリカル・システムへの不当な介入

外部装置（ナビゲーション・ユニット、ヘッドアップ・ディスプレイなど）を故障診断用ソケットに接続した場合、車両システムの機能に支障をきたす恐れがあります。

- 故障診断用ソケットに装置を接続しないでください。

⚠ 警告 運転席足元の装置のゆるみ/ケーブルの垂れ下がり

運転席足元で装置がゆるんでいたりケーブルが垂れ下がっていたりすると、減速時やコーナリング時にペダル周辺の作動スペースを遮ったり、ペダルの間に絡まったりする恐れがあります。

- 運転席の足元に装置やケーブルを置かないでください。

知識

イグニッションOFFの状態で故障診断用ソケットを使用して外部装置（ナビゲーション・ユニット、ヘッドアップ・ディスプレイなど）を作動させると、バッテリーが上がる恐れがあります。車両を長期にわたって駐車したままにすると、バッテリーが完全に消耗し、損傷する（完全に上がる）可能性があります。

- 故障診断用ソケットに装置を接続しないでください。

コンバーチブル・トップ

▷ 「お手入れ」(69ページ) を参照してください。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(85ページ) を参照してください。

知識

コンバーチブル・トップとコンバーチブル・トップ機構を損傷する恐れがあります。

- 次の場合には、コンバーチブル・トップを操作しないでください。
  - 温度が0 °C以下のとき
  - 車両の片側が縁石、リフト、ジャッキなどで持ち上がっているとき
- エンジンを停止した状態でコンバーチブル・トップを何度も操作しないでください。車両のバッテリーがすぐに消耗します。
- 走行するときは、コンバーチブル・トップは必ず完全に開いた状態か完全に閉じた状態にしてください。
- コンバーチブル・トップの開閉はコンバーチブル・トップの上方に十分な空間があることを確認してから行ってください。ガレージなどでは特に注意が必要です。
- 染みや擦り切れを防ぐため、コンバーチブル・トップは乾いた清潔な状態のときにのみ開いてください。
- 日光を長時間浴びると布地やラバーが傷んだり色褪せが起こるため、可能であれば車両は日陰に駐車してください。
- コンバーチブル・トップは、水平な路面を走行しているときにのみ操作できます。
- 強風や嵐のときはコンバーチブル・トップを作動させないでください。

コンバーチブル・トップの開閉操作

⚠ 警告 コンバーチブル・トップの開閉操作

コンバーチブル・トップを開閉するときは、コンバーチブル・トップ機構またはコンバーチブル・トップ・コンパートメント・リッドと車両の固定部品との間に身体の各部が挟まれないように十分に注意してください。

- コンバーチブル・トップ機構またはコンバーチブル・トップ・コンパートメント・リッドによって乗員がケガをしないように注意してください。
- 車両が見えない状況でキーによるコンバーチブル・トップの操作はしないでください。
- 万一、危険な状況になった場合は、直ちにボタンもしくはキーのボタンから手を放し、操作を中止してください。
- コンバーチブル・トップを閉じるときは、サン・バイザーのバニティー・ミラーのカバーを閉じておいてください。

コンバーチブル・トップの全開または全閉後にコンバーチブル・トップの開閉操作をすると、**コンバーチブル・トップが開閉するときに**、フロント・サイド・ウィンドウが自動で開いて、その後再び自動で閉じます。

車内のボタンを使用したコンバーチブル・トップの開閉

✓ イグニッションがONのとき

✓ 速度が約50km/h以下のとき

制限速度を超えると開閉操作は中断します。

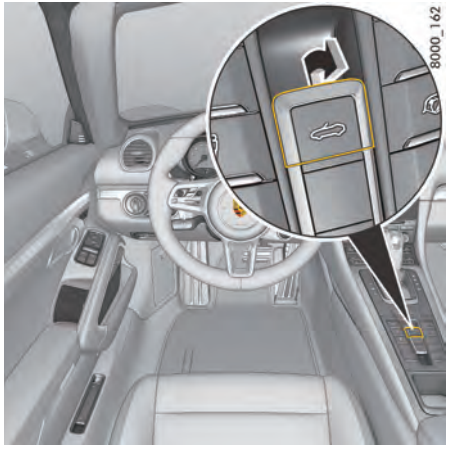


図61: ボタンによるコンバーチブル・トップの**開操作**

コンバーチブル・トップを開く（約10km/h以下、国により異なる）

- コンバーチブル・トップが終端位置に達するまで、またはウィンドウが希望の位置になるまでコンバーチブル・トップ開ボタンを引き続けてください。

  マルチファンクション・ディスプレイの関連するメッセージが消えます。

危険が発生した場合

- ボタンを放してください。

  コンバーチブル・トップは作動を停止します。

コンバーチブル・トップを開く（約10km/h～50km/hの間、国により異なる）

- コンバーチブル・トップ開ボタンを短く引いてください。
  コンバーチブル・トップが自動で開きます。
  マルチファンクション・ディスプレイの関連するメッセージが消えます。

危険が発生した場合

- もう一度ボタンを短く引いてください。
  コンバーチブル・トップは作動を停止します。

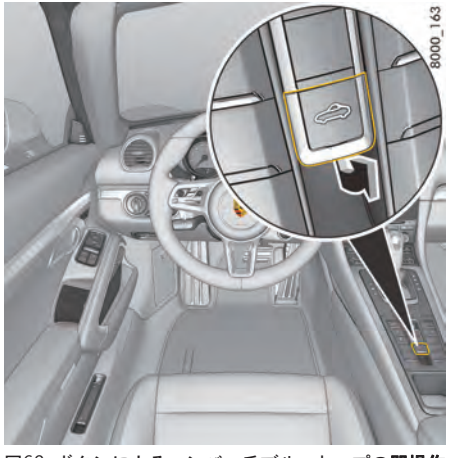


図62: ボタンによるコンバーチブル・トップの**閉操作**

コンバーチブル・トップの閉操作

- コンバーチブル・トップが終端位置に達するまで、またはウィンドウが希望の位置になるまでコンバーチブル・トップ閉ボタンを引き続けてください。
  マルチファンクション・ディスプレイの関連するメッセージが消えます。

危険が発生した場合

- ボタンを放してください。
  コンバーチブル・トップは作動を停止します。

車両キーを使用してコンバーチブル・トップを閉じる（国により異なる）

1. ドアをロック解除してください。
2. コンバーチブル・トップが終端位置になるか、ウィンドウが希望の位置になるまで、キーの🔒ボタンを押してください。

危険が発生した場合

- ボタンを放してください。
  コンバーチブル・トップは作動を停止します。

ウィンド・ディフレクターの取り外し/取り付け

知識

- すべてのウィンド・ディフレクター部品が正しい位置にしっかり固定されていることを確認してください。特にコンバーチブル・トップを開いて走行するときは注意してください。

アウター・ウィンド・ディフレクターの取り付け

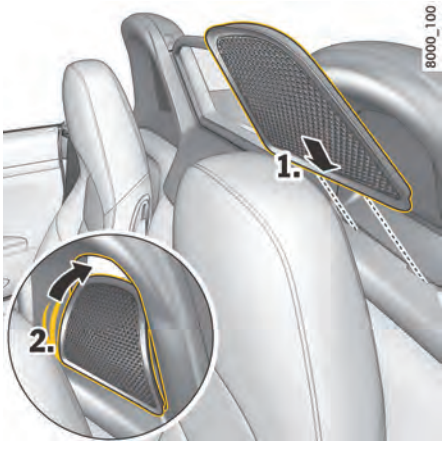


図63: アウター・ウィンド・ディフレクターの取り付け

1. ウィンド・ディフレクターを前方からロールオーバー・バーの底部に差し込んでください。
2. ウィンド・ディフレクターをわずかに曲げて、ロールオーバー・バーの上部にはめ込んでください。
3. ウィンド・ディフレクターがロールオーバー・バーに完全にはまっているか確認してください。

アウター・ウィンド・ディフレクターの取り外し

- ウィンド・ディフレクターの上部を前方に押してロールオーバー・バーから取り外してください。

センター・ウィンド・ディフレクターの取り付け

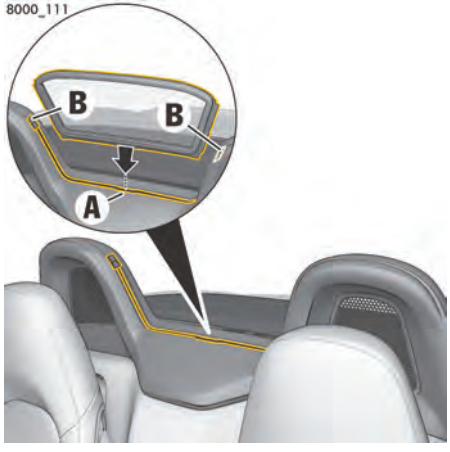


図64: センター・ウィンド・ディフレクターの取り付け

- ウィンド・ディフレクターを上方からマウント**A**に差し込み、次に固定箇所**B**でカチッと音がするまでウィンド・ディフレクターを押し下げてください。

センター・ウィンド・ディフレクターの取り外し

- 固定箇所**B**の1つを押して、ウィンド・ディフレクターをマウント**A**から引き上げて取り外してください。

インフォメーション

コンバーチブル・トップが閉じているときに、センター・ウィンド・ディフレクターを取り外すと車内の換気が促進され、リヤ・ウィンドウの曇りを防ぐことができます。特に寒く湿度の高い場合に有効です。

コンバーチブル・トップの緊急操作

⚠ 警告 緊急操作中のコンバーチブル・トップの作動

- 緊急操作を行うときは十分に注意してください。
- 緊急操作を行っている間は、ボタンまたはキーを使用してコンバーチブル・トップを操作しないでください。

知識

コンバーチブル・トップとコンバーチブル・トップ機構を損傷する恐れがあります。

- 緊急操作中または直後、ボタンまたはキーを使用してコンバーチブル・トップを操作しないでください。
- ゆっくりと慎重に運転してください。
- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

コンバーチブル・トップ・システムの点検

緊急操作を行う前に以下を点検します。

– コンバーチブル・トップをボタンで操作するとき、イグニッションをONにしましたか?
– ヒューズに不具合がありませんか?

▷ 「ヒューズの点検および交換」(207ページ)を参照してください。

- ウィンド・デフレクターおよびコンバーチブル・トップが不意に動き出さないよう、キーを抜き取ってください。

手順1：コンバーチブル・トップ機構へのアクセス

1. 運転席と助手席のシートを前方に動かして、バックレストを前に倒してください。

⚠ 注意 鋭い外端部

ベルト・リール・トリムの鋭い外端部で皮膚を傷つける恐れがあります。

- これらのトリムの取り扱いには特に注意してください。

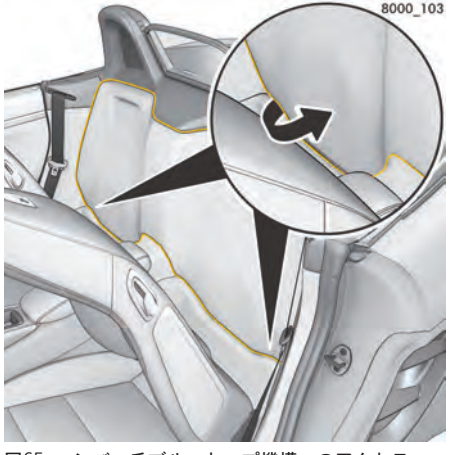


図65: コンバーチブル・トップ機構へのアクセス

2. カーペットの隙間（図65）に手を入れて、ベルト・リール・トリムに沿って下からカーペットを注意深く引き出して折り畳んでください。

手順2：コンバーチブル・トップ・ドライブの解除

1. 車載工具から両口スパナ（13 A/F）を取り出してください。

▷ 「タイヤ・シーラント/工具セットの取り外しおよび収納」(275ページ）を参照してください。

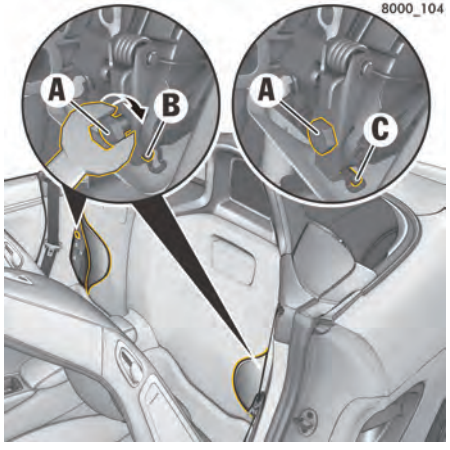


図66: コンバーチブル・トップ・ドライブの解除

2. 両口スパナを使用して、ガイド・ピン**B**が**C**位置になるまで、スクリュー **A**を時計方向に約3回転回してください。
3. 反対側でも同じ手順を繰り返してください。

手順3：コンバーチブル・トップ機構を格納コンパートメントから引き出す

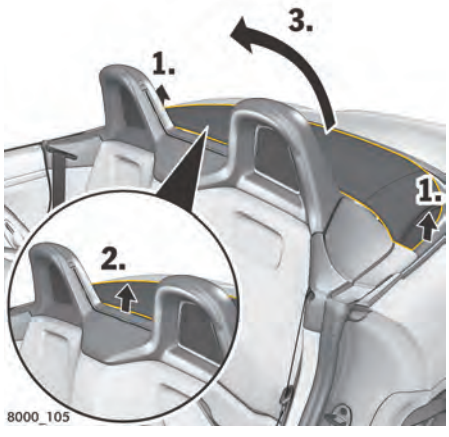


図67: コンバーチブル・トップ機構を格納コンパートメントから引き出す

▸ 車両に乗ってください。
1. 片方の手でコンバーチブル・トップの右または左側を持ち上げてください。
2. もう片方の手でコンバーチブル・トップの中央をつかんでください。
3. コンバーチブル・トップを収納部から約半分閉じる位置まで引き出してください。

手順4：コンバーチブル・トップの閉操作

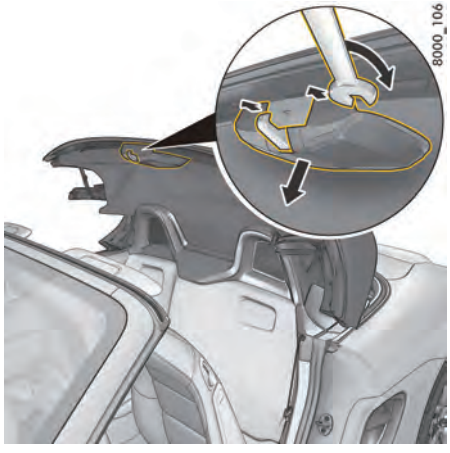


図68: コンバーチブル・トップ・ロック・カバーの取り外し

1. スパナを使用して注意深くこじり、コンバーチブル・トップ・ロックのプラスチック・カバーを固定箇所（図68）から外してください。

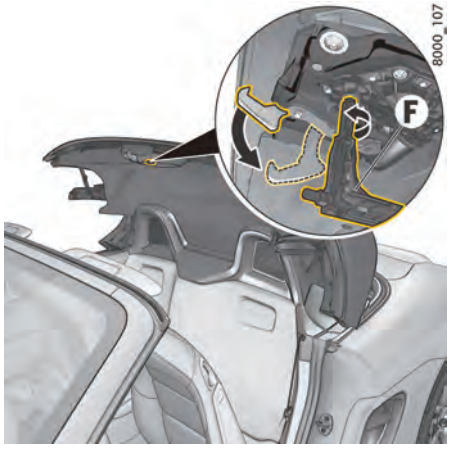


図69: コンバーチブル・トップ・ラッチ・フックの展開

2. コンバーチブル・トップの緊急操作用キーFを車載工具から取り出してください。
▷ 「タイヤ・シーラント/工具セットの取り外しおよび収納」(275ページ) を参照してください。
3. キーFをコンバーチブル・トップ・ロックに差し込み (図69)、反時計方向に回してラッチ・フックを完全に開いてください (回すときに抵抗を感じます)。

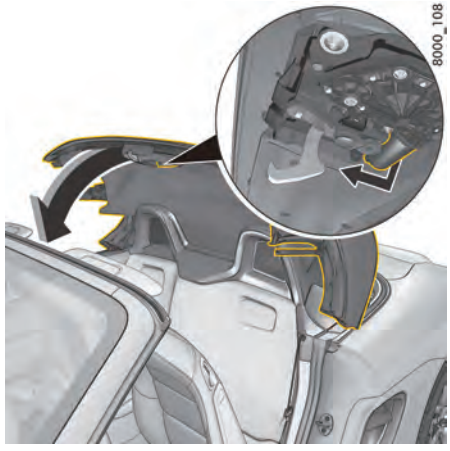


図70: コンバーチブル・トップをフロント・ウィンドウのフレームに引き寄せる

4. コンバーチブル・トップのコンバーチブル・トップ・モーター部 (図70) を手でつかみ、フロント・ウィンドウ・フレームに引き寄せてください。

⚠ 注意 閉じるときに挟まれてケガをする恐れがあります

閉じるときに、コンバーチブル・トップが作動する範囲内またはコンバーチブル・トップ・ロック付近に身体の一部があると、挟まれる恐れがあります。

▸ 以下に注意してください。
– 閉じるときは、コンバーチブル・トップの作動範囲内に誰もいないこと。
– コンバーチブル・トップ・ロックの部品に手が挟まれないようにすること。

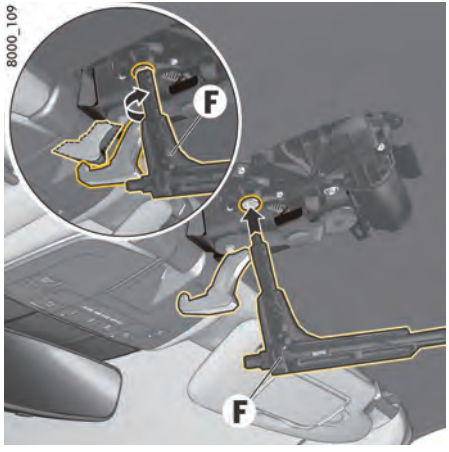


図71: コンバーチブル・トップのロック

5. コンバーチブル・トップを完全に閉じる場合、ラッチ・フックがキャッチに完全に噛み合い、コンバーチブル・トップが完全に閉じるまで、キーFを時計回りに回してください (回すときに抵抗を感じます、図71)。

サン・バイザー

サン・バイザーの調整

図72: サン・バイザーの調整

- サン・バイザーを手で下げて、正面方向からの直射日光を遮ってください。

バニティー・ミラーを開く

⚠ 注意 バニティー・ミラーのカバーを開くとき

カバーを開いている状態で事故が起きた場合、ミラーが割れて車内にガラスの破片が散乱する恐れがあります。

- 走行中はカバーを閉じてください。

図73: バニティー・ミラーを開く

- サンバイザー内側にあるバニティー・ミラーのカバーを開きます。
  バニティ・ミラーのライトが点灯します。

知識

バニティー・ミラーのカバーを損傷する恐れがあります。

- カバーを全開位置から無理に開かないでください。

シート

適切なシート位置の選択

安全で疲れにくい運転には、正しい着座姿勢が重要です。運転席シート位置を調整するには、以下の手順を実施してください。

1. シートの高さを頭上の空間に余裕があり、周囲がよく見える高さに調節してください（バケット・シートを除く）。
2. シートの前後位置を調節し、ブレーキ・ペダルをいっぱいに踏み込んだときに、足が伸びきらない状態になる位置に調節してください。
3. ステアリング・ホイールの上部分を握ってください。バックレストの角度とステアリング・ホイールの位置は肩をバックレストに預けた状態で肘が少し曲がる位置に調節してください（バケット・シートを除く）。
4. 必要に応じて、シートの前後位置を調節してください。

シートの調節

⚠ 警告 運転中のシート調節

運転中にシート調節を行うと、シートが必要以上に大きく動き、運転操作を誤る恐れがあります。

- 運転中はシート調節を行わないでください。

⚠ 注意 シート調節

シート位置を調節するときに、シートが動く範囲に人や動物がいると、身体の各部が圧迫されたり挟まれたりする恐れがあります。

- シートが動く範囲に人や動物がいないことを確認してからシート位置を調節してください。

知識

ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーなどを損傷する恐れがあります。

- ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーとの間に十分なスペースを確保してからシート位置を調節してください。

インフォメーション

チャイルド・シート・システム用ISOFIXリテーニング・ラグを助手席に取り付けた車両では、助手席シート・バックレストの調節範囲が制限されます。

スポーツ・シート/スポーツ・シート・プラスの調整

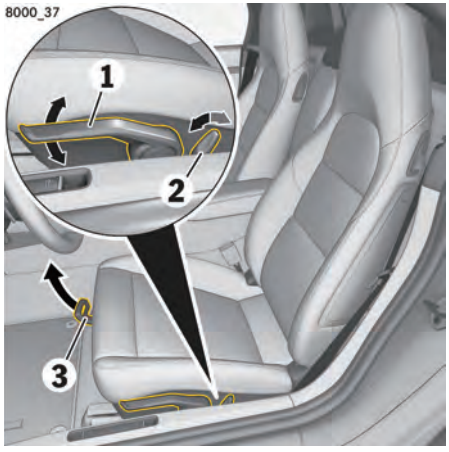


図74: スポーツ・シート/スポーツ・シート・プラスの調整

1 シートの高さ調節
2 バックレストの角度調節
3 シートの前後調節

- レバー**1**を操作して、シートを希望の高さに調節してください：
  レバーを上げる＝座面が上昇します。
  レバーを下げる＝座面が下降します。
- スイッチ2を操作して、バックレストを希望の角度に調節してください。
- ロック・レバー**3**を引き上げ、シートを希望の前後位置に移動させてからレバーを放してください。
  シートがしっかり固定されていることを確認してください。

フル電動スポーツ・シートの調節

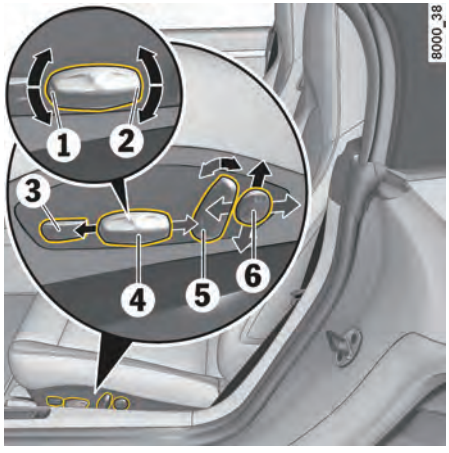


図75: フル電動スポーツ・シートの調節

1 シートの角度調節
2 シートの高さ調節
3 座面の深さ調節
4 シートの前後調節
5 バックレストの角度調節
6 ランバー・サポートの調節

- 各スイッチを矢印の方向に押して、希望のシート位置、または終端位置まで調節してください。

アダプティブ・スポーツ・シート・プラスの調節

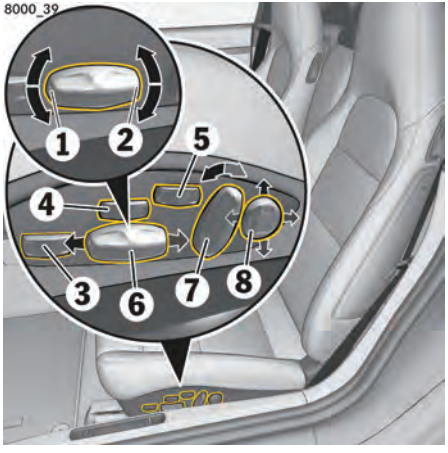


図76: アダプティブ・スポーツ・シート・プラスの調節

1 シートの角度調節
2 シートの高さ調節
3 座面の深さ調節
4 座面のサイド・サポートの調節
5 バックレストのサイド・サポートの調節
6 シートの前後調節
7 バックレストの角度調節
8 ランバー・サポートの調節

- 各スイッチを矢印の方向に押して、希望のシート位置、または終端位置まで調節してください。

バケット・シートの調節

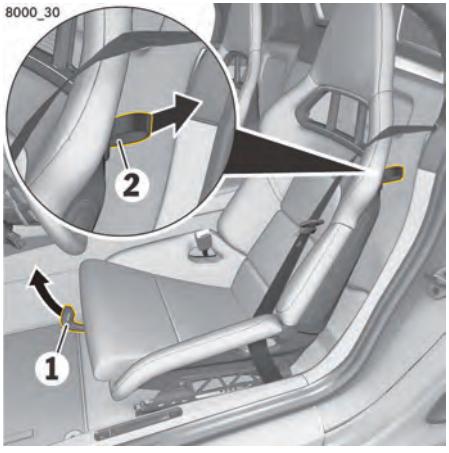


図77: バケット・シートの調節

⚠ 危険 チャイルド・シートの使用

バケットシートでのチャイルド・シートの使用は、重傷または致命傷を負う危険があります。

バケット・シートでのチャイルド・シートの使用は、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

- バケット・シートではチャイルド・シートを使用しないでください。

- ロック・レバー **1**を引き上げ、シートを希望の前後位置に移動させてからレバーを放してください。
  シートがしっかり固定されていることを確認してください。

シート設定の保存

シート設定の保存および呼び出しに関するインフォメーション：

▷ 「パーソナル設定」(198ページ) を参照してください。

バックレストを倒す

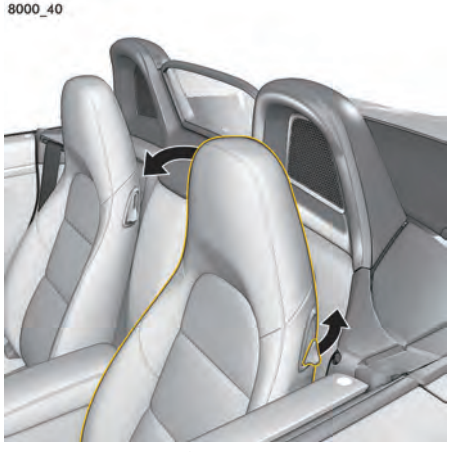


図78: バックレストを倒す

バックレストを倒す

▸ バックレストの側面にあるレバーを引き上げて (図78)、バックレストを前方に倒してください。

バックレストを垂直位置に調節する

⚠ 警告 バックレストが固定されていない

シートのバックレストが固定されていないと怪我を負う危険があります。

▸ シート・バックレストを後方へ倒した場合、固定されていることを確認してください。

▸ バックレストをカチッとはまるまで後方へ倒してください。

バケット・シートを前方へ倒す

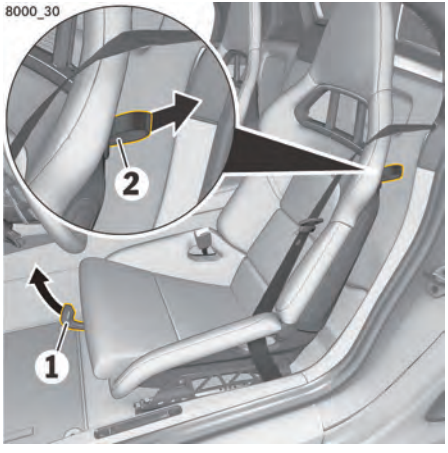


図79: バケット・シートを前方へ倒す

バケット・シートのバックレストを前方へ倒す

▸ バックレストの側面にあるループ**2**を引いて、バックレストを前方に倒してください。

バケット・シートのバックレストを垂直位置に調整する

⚠ 警告 バックレストが固定されていない

シートのバックレストが固定されていないと怪我を負う危険があります。

▸ シート・バックレストを後方へ倒した場合、固定されていることを確認してください。

▸ バックレストをカチッとはまるまで後方へ倒してください。

イージー・エントリー機能を使用する

イージー・エントリー機能は、車両への乗り降りをしやすくするための装備です。

▷ 「イージー・エントリーのON/OFF」(259ページ) を参照してください。

⚠ 注意 運転席シートの自動調節

自動シート調節により、運転席の後ろにいる乗員や動物がシートに挟まれる恐れがあります。

▸ 運転席の真後ろに乗員がいるときはイージー・エントリー機能をOFFにしてください。

降車するとき

✓ 機能が作動している

ポルシェ・エントリー＆ドライブ非装備車：

1. キーを抜き取ってください。
   ステアリング・ホイールが上方に移動します。
2. 運転席ドアを開いてください。
   運転席シートが後方に移動します。

ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車：

▸ イグニッションをOFFにし、**さらに**運転席ドアを開いてください。
ステアリング・ホイールが上方に移動します。
運転席シートが後方に移動します。

乗車するとき

✓ 機能が作動している

✓ 運転席シートおよびステアリング・ホイールがイージー・エントリー位置にある

▸ 運転席ドアを閉じてキーを挿入する、**または**ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車の場合はイグニッションをONにしてください。
運転席シートとステアリング・ホイールが保存した位置まで戻ります。

インフォメーション

キーを交換した場合、シートおよびステアリング・ホイールはそのキーに保存された位置に移動します。

インフォメーション

シート設定を手動で変更すると、イージー・エントリー機能が中断します。

- ドライビング・ポジションを手動で調節してください。

シート・ヒーター/シート・ベンチレーターをON/OFFする

図80: **シート・ヒーター**・ボタン

図81: **シート・ベンチレーター**・ボタン

シート・ヒーター/シート・ベンチレーターをONにする

✓ エンジンを作動状態にする

- 該当のボタンを押してください（数回）。ヒーターまたはベンチレーターの設定に応じた数のインジケーター・ライトが点灯します。

シート・ヒーター/シート・ベンチレーターをOFFにする

- 該当のボタンをすべてのインジケーター・ライトが消灯するまで（数回）押してください。

インフォメーション

車内の温度が高いときはシート・ヒーターを使用できません。
室内の温度が15 ℃を下回っているときは、シート・ベンチレーターを使用できません。
バッテリー電圧が低すぎると、シート・ヒーター/シート・ベンチレーターの作動が制限され、その後OFFになります。

シート・ベルト

シート・ベルトの適切な着用

⚠ 危険 シート・ベルトを着用していない、または正しく使用していない

シート・ベルトを着用していない場合、事故の際に保護効果を発揮できません。シート・ベルトを正しく着用していない場合、事故の際に負傷する危険が高まります。

- 安全のため、すべての乗員がシート・ベルトを着用することが義務付けられています。
- また、運転者はこの章で説明している内容を、すべての乗員の方に理解してもらってください。
- **1本**のシート・ベルトを同時に2人で使うことは、絶対に避けてください。
- だぶついた衣服はシート・ベルトが正しく着用できない上に、動作の自由を奪うことになりますので、乗車時は必ず脱ぐようにしてください。
- 堅い物や壊れやすい物（眼鏡、ボールペン、煙草のパイプなど）の上にシート・ベルトがかからないようにしてください。
  衝突の際にケガをする危険性が高くなります。
- シート・ベルトはねじれやたるみがないように着用してください。

⚠ 危険 損傷したシート・ベルトを使用した場合

損傷したシート・ベルト、強い負荷のかかったシート・ベルト、または摩耗したシート・ベルトは、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

シート・ベルト・プリテンショナー・システムは1回しか作動できません。作動した場合、早急に交換してください。

- すべてのシート・ベルトを定期的に点検し、ベルトの帯が損傷していないか、またバックルと取り付け部が正常な状態にあるかどうかを確認してください。
- シート・ベルト・バックルが汚れないように保護し、清潔に保ってください。
- 損傷したシート・ベルトや事故などにより強い負荷のかかったベルトは早急に交換してください。
  同様に、作動したシート・ベルト・プリテンショナー・システムとフォース・リミッターも早急に交換してください。
  更に、シート・ベルトのアンカー部分についても点検してください。
  ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ベルトを使用しないときは、汚れや損傷を防ぐために完全にリトラクターに巻き取らせてください。

▷ 「シート・ベルトの清掃」（73ページ）を参照してください。

シート・ベルト・プリテンショナー

シート・ベルト・プリテンショナーは、事故時の衝撃の大きさに応じて作動します。

シート・ベルト・プリテンショナーの作動条件：

- 前方または後方から強い衝撃を受けた場合
- 側面から強い衝撃を受けた場合
- 車両が転倒した場合

インフォメーション

シート・ベルト・プリテンショナー・システムが作動すると煙が発生しますが、これは異常ではありません。この煙は車両火災の兆候ではありません。

シート・ベルト警告灯および警告シンボルを確認する

イグニッションをONにすると、インストルメント・パネル内の赤色の警告灯が機能点検のため、数秒間点灯します。

インストルメント・パネルの赤色の警告灯は、運転席側シート・ベルトが装着されるまで点灯し続けます。

更に、マルチファンクション・ディスプレイに警告が表示されます。

速度が約24km/hを超えると、インストルメント・パネルの赤色の警告灯が点滅し、警告音が鳴ります。

シート・ベルトを着用する

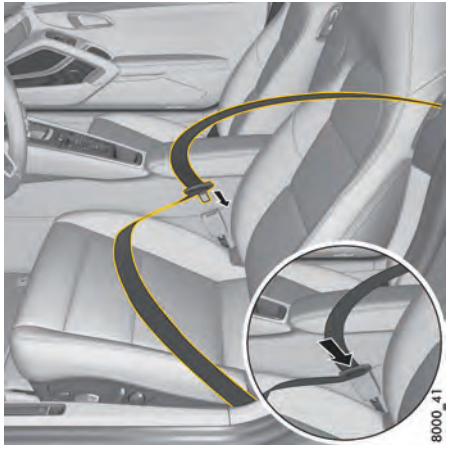


図82: シート・ベルトを着用する

1. 自然な姿勢で安全に運転できる位置に着座してください。
2. シート・ベルトを着用したときに、ベルトが肩の中央を通って上半身を斜めに横切るように、シートのバックレストを調節してください。
3. シート・ベルトのラッチを手で持ち、ゆっくりと一定の速さで引き出して、腰の低い位置および胸部にかかるように着用してください。

インフォメーション

坂道など傾斜地に停車しているときや、シート・ベルトを急に引いたときは、シート・ベルトがロックされて引き出せないことがあります。
加速時または減速時、カーブや傾斜地を走行中にもシート・ベルトが引っかかる場合があります。

4. シート・ベルトのラッチは、着座しているシート側部のバックルにカチッと音がするまで確実に差し込んでください（図82）。
5. シート・ベルトが引っかかったり、ねじれたり、鋭利な物に擦れたりしないように注意してください。
6. 腰ベルトは必ず腰の低い位置（骨盤）にぴったりとかかるように確認してください。そのため、シート・ベルトを装着した後、肩ベルトを上に引っ張ってください。
   妊婦：腰ベルトをできる限り低い位置まで下げて骨盤部を横切るように調整し、腹部の圧迫を避けるようにしてください。
7. 走行中も肩ベルトを定期的に引き上げ、腰ベルトがゆるまないようにしてください。

シート・ベルト・バックルを解除してシート・ベルトを外す

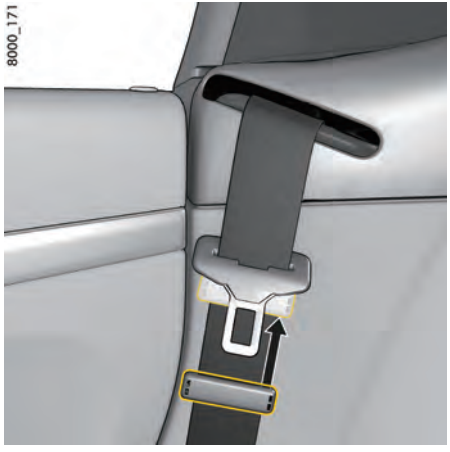


図83: シート・ベルト解除

1. シート・ベルトのラッチを手で持ってください。
2. バックルの赤色のボタンを押してください。
3. ベルト・ラッチは、シート・ベルト引き出し口の約7cm下にプラスチック・スライドで固定してください（図83）。
   プラスチック・スライドがシート・ベルト・ラッチを手の届きやすい位置で保持します。

ジャッキおよびリフティング・プラットフォーム

サイド・スカートのジャッキアップ・ポイントのエリアには矢印マークがあります。

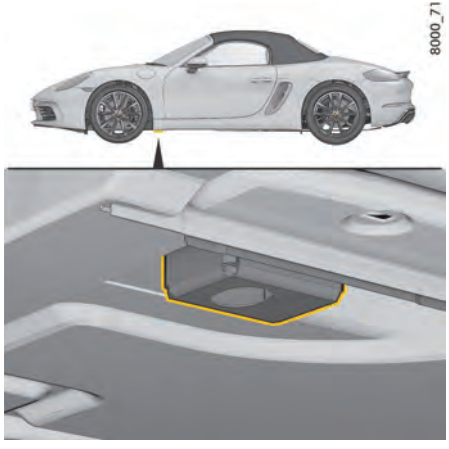


図84: フロント側のリフティング・プラットフォームとジャッキのジャッキ・ポイント

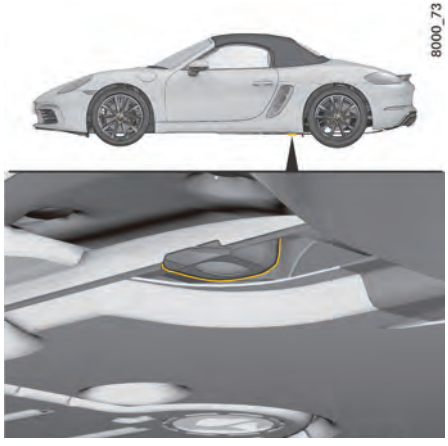


図85: リヤ側のリフティング・プラットフォームおよびジャッキ用のジャッキ・ポイント

⚠ 警告 不十分な車両の固定

車両がしっかり固定されていない、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティング・プラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

- 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- 車両は必ず、車両下回りにある規定のジャッキアップ・ポイント（図84、図85）で持ち上げてください。
- 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポート・スタンドで車体を支えてください。
- 車両をジャッキアップ後は、エンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。
- エンジンをかけたまま作業する場合は、必ずエレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させて**なおかつ**、ギヤ・レバーをニュートラル位置に入れるか、セレクター・レバーを**P**の位置にしてください。

▷ 「タイヤ交換」（151ページ）を参照してください。

ジャンパー・ケーブルによる始動

バッテリーが上がったときは、他の車両のバッテリーを使用してエンジンを始動したり、ジャンパー・ケーブルを使用して外部電源を接続することができます。どちらの車両も12Vバッテリー搭載車でなくてはなりません。支援車側のバッテリーの容量 (Ah) が、バッテリーが上がった車両のバッテリーの容量に比べ低すぎないよう確認してください。上がったバッテリーを車両電気系統に正しく接続してください。

▷ 「バッテリー」(201ページ) を参照してください。

通常の作動状態でジャンパー・ケーブルによる始動を繰り返し行わなければならない場合は、バッテリーの損傷が考えられます。

⚠ 警告 不適切なジャンパー・ケーブルや始動手順

不適切なジャンパー・ケーブルを使用した場合や、ジャンパー・ケーブルによる始動が適切に行われなかった場合、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。

- ジャンパー・ケーブルはエンジン始動に適した製品を使用し、バッテリー容量に対して十分な断面積があることを確認してください。また、端子接続部のクリップが完全に絶縁体で覆われているものを使用してください。ジャンパー・ケーブルのメーカーが定めた取り扱い方法を遵守してください。
- 車両を接触させないでください。プラス端子が接続されるとすぐに電流が流れる可能性があります。
- 指輪、ネックレス、時計バンドなど、電気を通す装飾品が通電部に触れないように注意してください。
- ジャンパー・ケーブルは絶対にバッテリーへ直接接続しないでください。ジャンパー・ケーブルは、必ずジャンプ・スタート用端子に接続してください。

⚠ 警告 凍結または損傷したバッテリーのジャンプ・スタート

凍結または損傷したバッテリーをジャンプ・スタートすると、爆発したり酸による火傷を負う危険があります。

- 凍結または損傷したバッテリーには**決して**ジャンパー・ケーブルを接続しないでください。

⚠ 注意 腐食性のある電解液

鉛バッテリーには腐食性の高いバッテリー液が入っており、皮膚や衣服に付着すると負傷する恐れがあります。

- 保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。
- バッテリー液の漏出を防ぐため、バッテリーを傾けないでください。

ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動

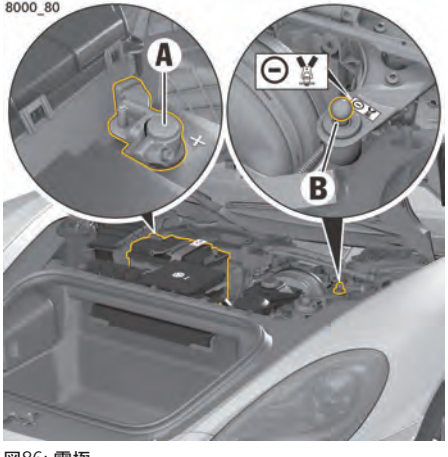


図86: 電極

A プラス端子+
B アース箇所（マイナス端子）–

1. フロント・ラゲッジ・コンパートメント・リッドを開いてください。
   ▷ 「ラゲッジ・コンパートメント・リッドの緊急解除」(281ページ) を参照してください。
2. フロント・ラゲッジ・コンパートメントのカバーを取り外してください。
   ▷ カバーを取り外すには：「タイヤ・シーラント / 工具セットの取り外しおよび収納」(275ページ) を参照してください。
3. 充電器の赤色のプラス・ケーブルを放電したバッテリーのプラス端子**A**に接続してください。
4. 赤色のプラス・ケーブルを支援車バッテリーのプラス端子に接続してください。
5. 黒色のマイナス・ケーブルを支援車バッテリーのマイナス端子に接続してください。
6. 黒色のマイナス・ケーブルをアース箇所（マイナス端子）**B**に接続してください。マイナス側ケーブル（黒色）は**絶対に**バッテリーへ直接接続しないでください。
7. 支援車のエンジンを始動し、回転数を上げてください。
8. エンジンを始動してください。ジャンパー・ケーブルを使用してエンジンを始動するときは、スターターを15秒以上作動させないでください。始動に失敗したときは、1分以上待ってから再試行してください。
9. エンジンが作動状態のまま、最初に、黒色のマイナス側ケーブルをアース箇所**B**から外し、次に支援車のバッテリーのマイナス端子からケーブルを外してください。
10. エンジンが作動状態のまま、まず支援車のバッテリー・プラス（+）端子から赤色のプラス・ケーブルを外してください。次に、ジャンプ・スタートした車両のバッテリーのプラス端子**A**からケーブルを外してください。

収納

荷物の収納

⚠ 警告 固定されていない、または不適切な位置に積載された荷物

荷物を固定しなかったり不適切な位置に積載すると、ブレーキをかけたりステアリングを操作したとき、または事故の際に飛び出して、乗員がケガをする恐れがあります。

- ▸ 乗員スペースに荷物や固定していない物を載せて走行しないでください。
- ▸ 重量物を開いたままの小物入れの中に入れて運搬しないでください。
- ▸ 走行中は必ず小物入れを閉じてください。

知識

重く大きな荷物は収納ネットを損傷する恐れがあります。

- ▸ 重く大きな荷物を収納ネット内に置かないでください。

車両の装備仕様により、次のような収納オプションが利用できる場合があります。

- – カップ・ホルダー
- – ペン・ホルダー付きグローブ・ボックス
- – ドアの収納ボックス
- – 助手席シート側のドア・シルの収納トレー
- – センター・コンソール・アームレストの収納ボックス
- – 助手席足元の収納ネット
- – シート・バックレストの後ろ側の衣類用フック

グローブ・ボックスの開閉

グローブ・ボックスを開く

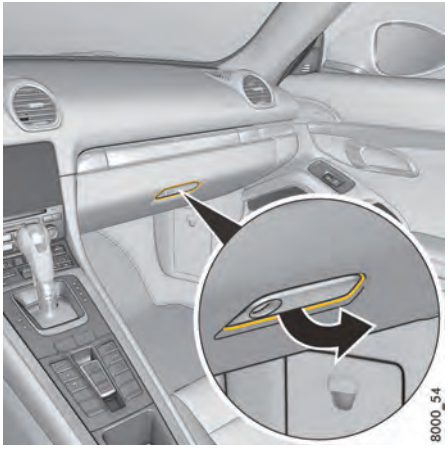


図87: グローブ・ボックスを開く

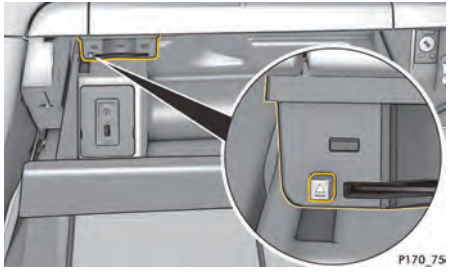
- ▸ ハンドル（図87）を引いて、リッドを開いてください。

インフォメーション

グローブ・ボックス・リッドの内側にはペン・ホルダーがあります。

グローブ・ボックスを閉じる

- ▸ 盗難防止のため、大切な物を収納するときはエマージェンシー・キーでハンドルを常にロックしてください。
- ▹ 「エマージェンシー・キーを使用する場合」（76ページ）を参照してください。



ETC受信機

ETC本体、およびETC受信機は日本仕様では標準で装備されております。
ETC本体はグローブ・ボックス内に取り付けられています。ご利用前にETC専用カードの利用期限を確認し、カードがスロットに確実に挿入されているか確認してください。

センター・コンソール・アームレストの収納ボックスを開く

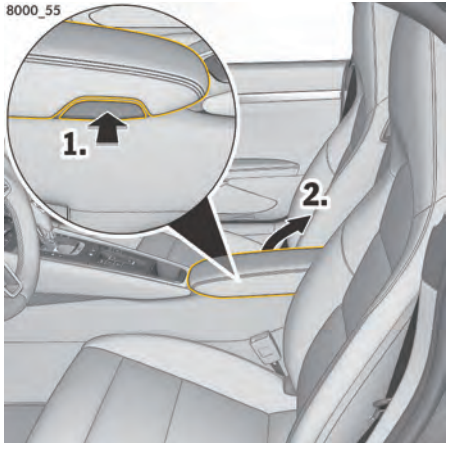


図88: センター・コンソール・アームレストの収納ボックスを開く

- アームレストの右側のボタン（図88）を押してください。
  リッドが自動的に開きます。

シート後方の小物入れを開く

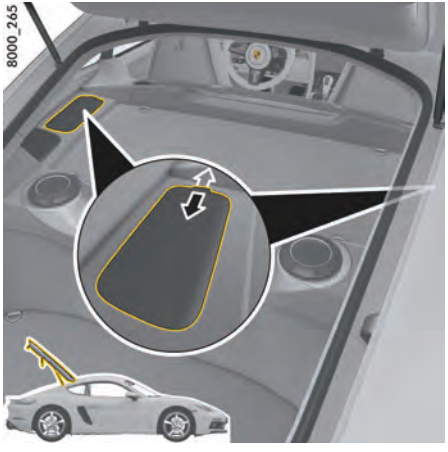


図89: シート後方のカバー付き小物入れ

開く

- カバーの取っ手を後方、矢印の方向に引いてください。

閉じる

- カバーの取っ手を前方、矢印の方向に押してください。

ドアの収納ボックスを開く

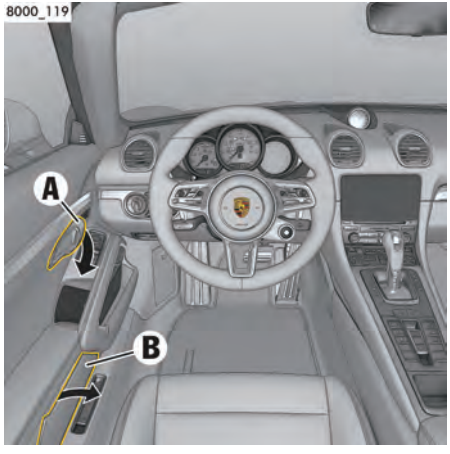


図90: ドアの収納ボックス

A インナー・ドア・ハンドル
B ドアの収納ボックス

- リッド**B**（図90）を持ち上げてください。

知識

ドアを閉じるときに、ドアの収納ボックスを損傷する恐れがあります。

- ドアを閉じる前に、収納ボックスのリッドを閉じてください。

ステアリング・ホイール

ステアリング・ホイールの調節

⚠ 警告 運転中のステアリング・ホイールの調節

運転中にシステアリング・ホイール調節を行うと、ステアリングが予期せず大きく動き、運転操作を誤る恐れがあります。

- 運転中はステアリング・ホイールの調節を行わないでください。

ステアリング・ホイールの手動調節

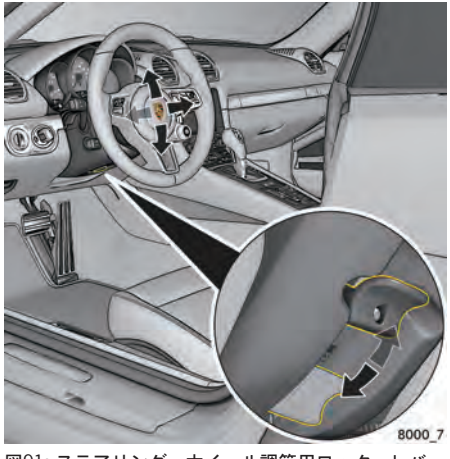


図91: ステアリング・ホイール調節用ロック・レバー

1. キーをイグニッション・ロックに完全に差し込んでください。
2. ロック・レバーを押し下げてください。
3. シート・バックレスト角度や着座位置に合わせて、ステアリング・ホイールを前後上下に動かし、希望の位置に調節してください。
4. ステアリング・ホイールが確実に固定されるまで、ロック・レバーを元の位置まで戻してください。

ステアリング・ホイールの電動調節

⚠ 注意 メモリー設定の不意の呼び出し

ステアリング・ホイールを調節するときに、人や動物がステアリング・ホイールの動く範囲にいると、身体の一部が圧迫されたり挟まれたりする恐れがあります。

- お子様のみを車内に残さないでください。

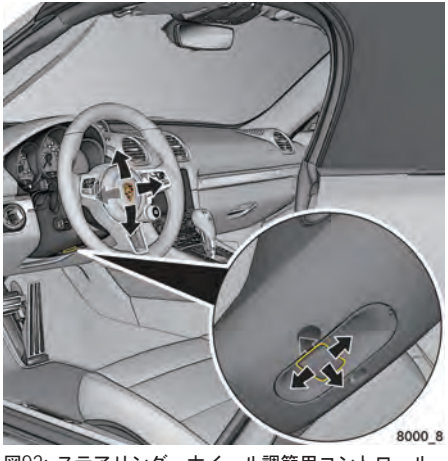


図92: ステアリング・ホイール調節用コントロール・スイッチ

- ステアリング・コラム下に取り付けられているコントロール・スイッチを前後上下に動かして、ステアリング・ホイールを希望の位置に調節してください。

ステアリング・ホイール設定の保存

メモリー・パッケージ装備車では、ステアリング・ホイールの設定を運転席ドアやキーのメモリー・ボタンに保存することができます。

▷ 「パーソナル設定」(198ページ) を参照してください。

ステアリング・ホイール・ヒーターのON/OFF

図93: ステアリング・ホイール・ヒーター・ボタン

✓ エンジンを作動状態にする

- マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ**ステアリングホイールヒーティングオン**または**ステアリングホイールヒーティングオフ**が短時間表示されるまで、中央のステアリング・ホイール・スポークのボタン（図93）を押し続けてください

スポーツ・エキゾースト・システム

スポーツ・エキゾースト・システムのON/OFF

図94: センター・コンソールのスポーツ・エキゾースト・システム操作ボタン

スポーツ・エキゾースト・システムはイグニッションがONのときに排気音最適化モードに切り替えることができます。

- ボタンを押してください。
  スポーツ・エキゾースト・システムが作動すると、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

スポーツ・クロノ・ストップウォッチ

スポーツ・クロノ・ストップウォッチはレース・サーキットや業務上の走行時等の時間計測にご使用いただけます。計測した時間は保存したり、評価したりすることができます。

以下の情報を保存および評価することができます。

- ラップ回数
- ラップ距離
- ラップ・タイム
- オプション：その他の各種データ（車両位置、速度、または外気温度など）

記録中、以下の項目を表示することができます。

- 現在のラップ回数
- 最速ラップ・タイムおよび、それと比較した現在のラップ・タイム
- 基準ラップに関して走行した距離の割合
- 現在のラップ・タイムが最新のラップ・タイムより速いか、遅いか、または同一かを表示するカラー・レート
- 現在の燃費の残量で走行可能な残りの距離およびラップ回数
- まだ残っている記憶時間
- オプション：現在のラップのトラック進捗状態と基準ラップ

ダッシュボードのストップウォッチ

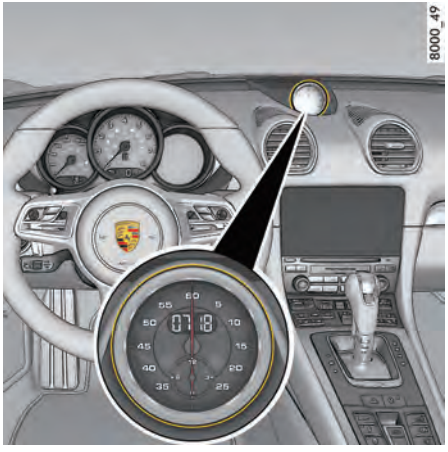


図95: ダッシュボードのスポーツ・クロノ・ストップウォッチ

ストップウォッチにはアナログ・ディスプレイとデジタル・ディスプレイがあります。

アナログ・ディスプレイ

- 大きい指針：秒
- 小さい指針：時間および分

このディスプレイは12時間が経過するとゼロから再スタートします。

デジタル・ディスプレイ

- 秒、1/10秒、および1/100秒

デジタル・ディスプレイおよびマルチファンクション・ディスプレイは99時間と59分まで表示できます。

ストップウォッチの明るさ調節

▷ 「インストルメント・ライトの明るさ調整」（45ページ）を参照してください。

ダッシュボードのストップウォッチ・ライトのON/OFF

▷ 「インストルメント・ライトの明るさ調整」（45ページ）を参照してください。

ストップウォッチに時刻を表示

▷ 「ダッシュボードのストップウォッチの時刻表示」（256ページ）を参照してください。

ストップウォッチ・タイムの表示

ラップ・タイムは異なる場所に表示することができます。

- ダッシュボードのスポーツ・クロノ・ストップウォッチ
- マルチファンクション・ディスプレイの**クロノ**メニュー
- PCMの CAR メイン・メニューの**SC（スポーツ・クロノ）**

マルチファンクション・ディスプレイでの実行

図96: クロノ・メニュー

A ラップ・カウンター – 現在のラップ回数

B 現在のラップ・タイム（緑色：最速ラップよりも速い、黄色：最速ラップと同タイム、赤色：最速ラップよりも遅い）

C 最速のラップ・タイム

D サークル・ディスプレイ（基準ラップと比較してどれだけラップを完了しているかを示す）

インフォメーション

ストップウォッチ作動中にクロノ・メニューを終了しても、計測は続きます。
ストップウォッチはイグニッションをOFFにすると停止します。約4分以内にイグニッションを再度と、ストップウォッチは作動を再開します。

計時の開始

▸ **クロノ ▸ 発車**
データの記録が開始されます。基準ラップがまだ保存されていない場合は、記録の中の初めラップが基準ラップとして使用されます。

計時の停止

✓ 計時が開始されている

▸ **クロノ ▸ 停車**

計時の継続

✓ 計時が停止している

▸ **クロノ ▸ 停車 ▸ 連続**

ラップの停止/新しいラップの開始

現在のストップウォッチ・タイムはラップ・タイムとして保存されますが、ストップウォッチは停止しません。

✓ 計時が開始されている

▸ **クロノ ▸ 周回**
ラップ・カウンターの値（図96の**A**）が1ずつ増えます。最速で終了したラップのタイムが最速ラップ・タイム（図96の**C**）として保存されます。現在のラップ・タイム（図96の**B**）とサークル・ディスプレイ（図96の**D**）の色が変わることによって、現在のラップ・タイムが最速ラップより速いか、遅いか、または同一かを表示します。

インフォメーション

1回のセッションで最大99ラップを保存することができます。

中間ラップの保存

✓ 計時が開始されている

▸ **クロノ ▸ 間隔**
中間タイムが短時間表示されますが、保存はされません。時間測定はバックグランドで継続しています。

ストップウォッチ・タイムのリセット

✓ 計時が停止されている

▸ **クロノ ▸ 停車 ▸ リセット**
すべてのストップウォッチ・タイムをゼロにリセットすることができます。

PCMでの計時の表示

インフォメーション

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の操作に関するインフォメーション:「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の操作」(229ページ)を参照してください。

ストップウォッチの表示

✓ 計時が開始されている
▹ 「計時の開始」(128ページ)を参照してください。

1. CARボタン▸**SC(スポーツ・クロノ)**
2. ストップウォッチ・ディスプレイをスクロール(スワイプ)してください。

P170_65

図97: ストップウォッチ・ディスプレイ(記録中)

A 現在の燃費の残量で走行可能なラップ回数
B まだ残っている記憶時間
C 最速のラップ・タイム
D 現在のラップ・タイム(緑色:最速ラップよりも速い、黄色:最速ラップと同タイム、赤色:最速ラップよりも遅い)
E ラップ・カウンター – 現在のラップ回数
F サークル・ディスプレイ(基準ラップと比較してどれだけラップを完了しているかを示す)

トラック進捗の表示

✓ 計時が開始されている
▹ 「計時の開始」(128ページ)を参照してください。

✓ CARボタン▸**SC(スポーツ・クロノ)** ▸OPTボタン▸**Sport Chrono設定**で、**追加データを記録**機能が作動している

1. CARボタン▸**SC(スポーツ・クロノ)**
2. トラック進捗ディスプレイをスクロール(スワイプ)してください。

P170_35

図98: 記録中 – トラック進捗ディスプレイ

A 基準ラップ(灰色)
B 現在の車両位置
C 現在のラップ(緑色:最速ラップよりも速い、黄色:最速ラップと同タイム、赤色:最速ラップよりも遅い)

記録の表示および編集

1回のセッションで最大99ラップを記録することができます。基準ラップがまだロードされていない場合は、記録の中の初めラップが基準ラップとして使用されます。
最大で10時間の記録が可能です。

記録の表示

✓ 計時が停止している。
▹ 「計時の停止」(128ページ)を参照してください。

1. CARボタン▸**SC(スポーツ・クロノ)**
2. **記録**ページにブラウズ(スワイプ)してください。
3. **記録**フォルダーを選択してください。
4. 希望の記録を選択して(記録001など)、記録を表示させてください。

記録データの表示

1. CARボタン▸**SC(スポーツ・クロノ)**
2. **記録**ページにブラウズ(スワイプ)してください。
3. **記録**フォルダーを選択してください。
4. 希望の記録を選択して(記録001など)、記録を表示させてください。
5. コントローラーの**Statistics(統計)**を選択してください。
個別のラップに関する情報が表示されます。

記録のトラック進捗の表示

✓ CARボタン ▸ **SC（スポーツ・クロノ）** ▸ OPTボタン ▸ **Sport Chrono 設定**で、**追加データを記録**機能が作動している

1. CARボタン ▸ **SC（スポーツ・クロノ）**
2. **記録**ページにブラウズ（スワイプ）してください。
3. **記録**フォルダーを選択してください。
4. 希望の記録を選択して（記録001など）、記録を表示させてください。
5. コントローラーの**Map（地図）**を選択してください。
   ラップのトラック進捗に関する情報が表示されます。

ラップの表示および編集

1. CARボタン ▸ **SC（スポーツ・クロノ）**
2. **記録**ページにブラウズ（スワイプ）してください。
3. **記録**フォルダーを選択してください。
4. 希望の記録を選択して（記録001など）、記録を表示させてください。
5. コントローラーの**Statistics（統計）**を選択してください。
   個別のラップに関する情報が表示されます。
6. 希望のラップを選択してください。
7. コントローラーの希望の設定を選択してください。

– **Store（保存）**：基準ラップとしてラップの保存
– **Map（地図）**：ラップのトラック進捗を表示
– **Delete（削除）**：ラップの削除

基準ラップの設定

✓ 計時が停止されていて、リセットされている
▹ 「マルチファンクション・ディスプレイでの実行」（128ページ）を参照してください。

1. CARボタン ▸ **SC（スポーツ・クロノ）**
2. **記録**ページにブラウズ（スワイプ）してください。
3. **基準ラップ**の中から希望の基準ラップを選択してください。
   希望の基準ラップが表示されます。
4. コントローラーの**Set Ref.**を選択してください。

PCMの設定入力

記録および基準ラップの管理

1. CARボタン ▸ **SC（スポーツ・クロノ）** ▸ OPTボタン
2. 希望のオプションを選択してください。

– **データ名を変更する**：基準ラップおよび記録のデータ名を変更することができます。
– **データを移動**：記録および基準データを、SDカードまたはUSB大容量記憶装置にエクスポート、またはインポートすることができます。
  – **インポート**：データをインポートできるようにするためには、データが記憶装置のスポーツクロノ・フォルダーに保存される必要があります。**選択**および**選択解除**で、インポートするデータを選択してください。**インポート**で、選択したデータをインポートしてください。
  – **エクスポート**：**選択**および**選択解除**で、エクスポートするデータを選択してください。**エクスポート**で、選択したデータをエクスポートしてください。
– **データを削除**：基準ラップおよび記録のデータ名を削除することができます。

その他の設定

1. CARボタン ▸ **SC（スポーツ・クロノ）** ▸ OPTボタン ▸ **Sport Chrono 設定**
2. 希望のオプションを選択してください。

– **追加データを記録**：ラップの長さおよびラップ・タイムとは別に、他の走行データ（速度など）を1秒間隔で記録することができます。トラック進捗も地図に表示させることが可能です。
  ▹ 「記録の表示および編集」（129ページ）を参照してください。
– **許容距離差**：基準ラップの長さと任意のラップの長さがどのくらい異なるかを表示します。長さの逸脱が大きいラップは評価に含まれません。
– **評価の最大タイム差**：記録時に速度が同一（黄色マーク）と評価されたラップ間の最大のタイム差を表示します。

スポーツ・クロノ・モード・スイッチ

モード・スイッチでのモード選択

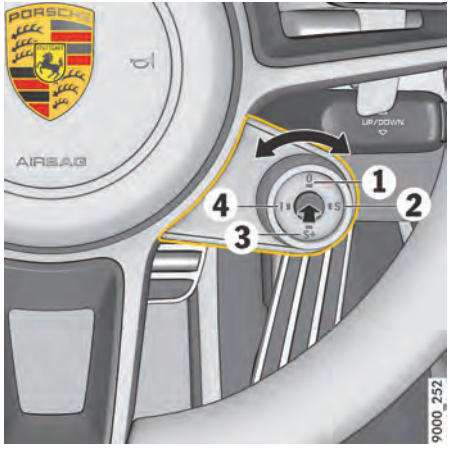


図99: ステアリング・ホイールのモード・スイッチ

1 ノーマル・モード
2 スポーツ・モード
3 スポーツ・プラス・モード
4 パーソナル・モード
スイッチ中央スポーツ・レスポンス・ボタン

- モード・スイッチを左または右に回して、希望の走行モードを選択します。
  選択したモードのインジケーター・ライトが点灯し、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

各モードの車両設定に関するインフォメーション：

▷ 「選択した走行モードの車両設定の概要」（132ページ）を参照してください。

パーソナル・モードの設定

パーソナル・モードでは、PASM、スポーツ・エキゾースト・システム、オート・スタート/ストップ機能、およびリヤ・スポイラ—の設定を、ノーマル、スポーツ、またはスポーツ・プラスの各モードに基づいて個別に組み合わせることができます。保存した組み合わせは、次回の車両始動時にモード・スイッチを回すことで再び呼び出すことが可能です。

マルチファンクション・ディスプレイでのパーソナル・モードの設定に関するインフォメーション：

▷ 「パーソナル・モードの調整」（257ページ）を参照してください。

スポーツ・レスポンス・モードの使用

✓ PDK装備車

図100: スポーツ・レスポンスの表示

スポーツ・レスポンス・モードでは、エンジンおよびトランスミッションが時間制御されて、最大レスポンスに設定されます。

– ブースト・プレッシャーの急速上昇
– PDKが専用の変速特性に切り替わる

スポーツ・レスポンス・モードの作動

- **スポーツ・レスポンス**・ボタンを押してください。
  マルチファンクション・ディスプレイ内の減少する円状に配置されたバーは、この機能が有効な残り時間を示しています。約20秒が経過すると、車両は前に選択していたモードに戻ります。

スポーツ・レスポンス・モードの作動停止

✓ スポーツ・レスポンス・モードが作動していること

- **スポーツ・レスポンス**・ボタンを再度押してください。
  車両は前に選択していたモードに戻ります。

選択した走行モードの車両設定の概要

走行モード	ノーマル	スポーツ	スポーツ・プラス	個別	スポーツ・レスポンス・ボタン
T/M温度					
レスポンス	ノーマル	スポーツ	パフォーマンス	事前選択：ノーマル、スポーツ、またはスポーツ・プラス	パフォーマンス
レブ・リミッター	ノーマル	スポーツ	スポーツ		スポーツ
アイドル回転数上昇	–	作動	作動		作動
シフトダウン時のスロットル・ブリップ					
車内のエンジン・サウンド最適化					
バックファイアー	–	作動	–		–
ローンチ・コントロール	–	–	作動		作動
PDK	ノーマル	スポーツ	パフォーマンス		スポーツ・レスポンス
オート・スタート/ストップ・ボタン	作動	–	–	☑ OFF/ON	–
シャーシ					
ダイナミック・エンジン・マウント	ノーマル	スポーツ	パフォーマンス	事前選択：ノーマル、スポーツ、またはスポーツ・プラス	事前選択：ノーマル、スポーツ、またはスポーツ・プラス
PTV	ノーマル	ノーマル	スポーツ		
PASM	ノーマル	ノーマル	スポーツ	スポーツ・シャーシ	
PSM	センター・コンソールのPASMボタンによるPSMスポーツ機能				
その他					
ライト・システム	ノーマル	スポーツ	スポーツ	事前選択：ノーマル、スポーツ、またはスポーツ・プラス	事前選択：ノーマル、スポーツ、またはスポーツ・プラス
アダプティブ・クルーズ・コントロール					
スポーツ・エキゾースト・システム・ボタン	–	作動	作動	☑ ON/OFF	
リヤ・スポイラー	走行速度による			☑ 展開/格納	

ノーマル
日常の走行において、コントロール・システムは快適性と経済性が両立するように作動します。

スポーツ
日常の走行において、躍動感とダイナミズムを向上させるようコントロール・システムを切り替えます。

パフォーマンス
レース・サーキット走行のように、性能を最大限に発揮できる設定に切り替わります。

スポーツ・モード

全体的によりスポーティーで多様なシャーシ設定が選択できます。

スポーツ・モードは日常の走行において、躍動感とパフォーマンスを向上させるようにコントロール・システムを切り替えます。

- 電子制御式エンジン・マネージメント・システムは、パワー・ユニットのより素早い制御を開始します。エンジンはよりダイレクトなダイナミクスを発揮します。
- PDK装備車：スポーティーなシフト特性に切り替わり、ギヤ・シフト時間が短くなります。
- オート・スタート/ストップ機能は自動的に解除されます。
- オプションのスポーツ・エキゾースト・システムが自動的に作動します。

スポーツ・クロノ・パッケージ装備車の**「スポーツ」および「スポーツ・プラス」モード**での車両の設定に関するインフォメーション：

▷ 「選択した走行モードの車両設定の概要」（132ページ）を参照してください。

スポーツ・モードのON/OFF

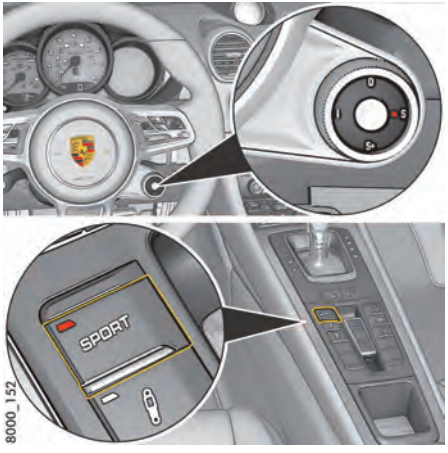


図101: スポーツ・モードのON/OFF

▸ SPORTボタンを押すか、またはステアリング・ホイールのモード・スイッチを**S**に回します（車両装備によって異なる）。
スポーツ・モードがONになると、ボタン/スイッチのインジケーター・ライトが点灯します。
デジタル・スピードメーターに**SPORT**の文字が表示されます。

インフォメーション

イグニッションをOFFにすると、スポーツ・モードは自動的にノーマル・モードにリセットされます。

スモーカーズ・パッケージ

灰皿の使用

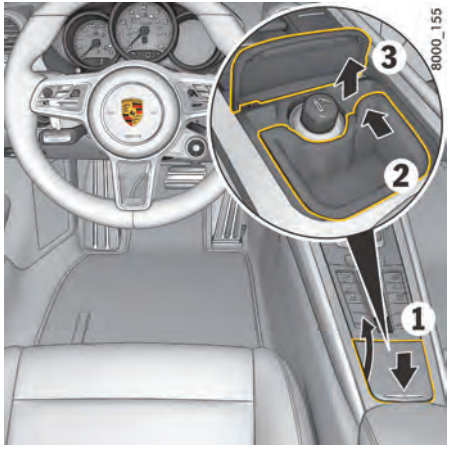


図102: 灰皿を開く/中身を空にする

⚠ 警告 灰皿による火災の危険

灰皿に紙くずなどを入れると発火するおそれがあります。

- ▸ 絶対に灰皿を紙くず入れとして使用しないでください。

灰皿を開く

1. 灰皿のリッドを短く押してください（図102の**1**）。
   リッドは自動で開きます。

灰皿を空にする

2. 灰皿インサートの右上を前方に押して、ロック解除してください（図102の**2**および**3**）。
3. 灰皿のインサートを引き上げて取り外してください。
4. 灰皿インサートを空にした後は、元の位置に戻し、手応えを感じるまで押し込んでください。

シガー・ライターを使用する

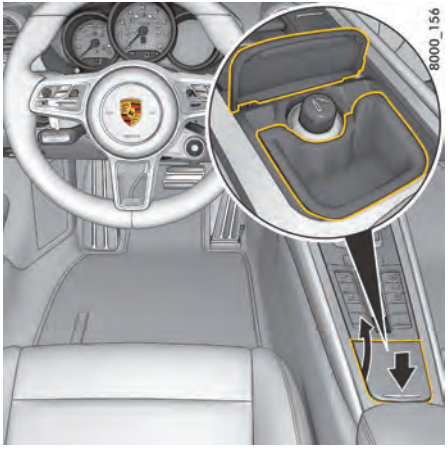


図103: シガー・ライターを使用する

⚠ 警告 高温のシガー・ライター

シガー・ライターの先端は、使用後は非常に熱くなります。

- ▸ お子様のみを車内に残さないでください。
- ▸ ヒーター・エレメントまたはシガー・ライターの側面部は絶対に触れないでください。
- ▸ 作動ボタン以外で高温のシガー・ライターを持たないでください。

1. 灰皿のリッドを軽く押します（図103、**矢印**）。
2. 作動ボタンをソケットに押し込んでください。
   ライターのフィラメントが赤熱すると、シガー・ライターが元の位置まで飛び出します。
3. シガー・ライターを取り外してください。

シガー・ライター・ソケットで充電アダプターを使用する際のインフォメーション：

▷ 「充電アダプターの接続」（167ページ）を参照してください。

⚠ 危険 火のついた煙草の投げ捨てによる火災の恐れ

煙草が走行風によりエア・インレットに入り込み、エンジン・コンパートメント内で火災が起こる危険があります。

- ▸ 車内から煙草を投げ捨てないでください。

接続

データ接続を確立する（接続）

ポルシェ専用SIMカードを使用してデータ接続を確立する

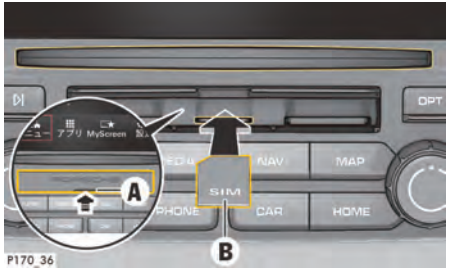


図104: SIMカードの挿入および取り出し

✓ SDおよびSIMカード・リーダーのカバー**A**を開く

1. SIMカード **B** （ミニSIM、寸法：25 x 15 mm）を挿入してください（切り欠き部分を前方左側にして、チップ面を下にしてください）。
2. **有効**を選択し、データ接続を有効にしてください。このメッセージを繰り返し表示させない場合、☑**常に許可する**を選択してください。
   データ接続が確立されます。

▸ SIMカードを取り出すには、挿入されたカードを押して抜き出します。

知識

SIMカードを正しく使用しないと、PCMを損傷する恐れがあります。

SIMカード・アダプターを使用すると、振動によりSIMカードがアダプターから外れ、カード・ピースがPCMから取り出せなくなる恐れがあります。

▸ SIMカード・アダプターは使用しないでください。

インフォメーション

データ接続を確立できない場合は、以下を点検してください：

– SIMカードのデータ容量が十分ある、および正しく挿入されている
– SIMカードが損傷していない、および適切に作動している
– 車両が十分ネットワーク受信が可能な場所にある（遮蔽された場所でない）
– 必要に応じてPCMを再始動してください。

データ接続の設定に関するインフォメーション：

▷ 「データ接続の設定」（175ページ）を参照してください。

電話の設定に関するインフォメーション：

▷ 「電話設定の変更」（175ページ）を参照してください。

Bluetooth®を使用した携帯電話のPCMへの接続に関するインフォメーション：

▷ 「電話」（168ページ）を参照してください。

接続の利用

ポルシェ・コネクト・ポータルのサービスを起動する**

ポルシェ・コネクト・サービスを初めて使用する前に、起動/設定が必要です。

▸ ポルシェ・コネクト・ポータルを使用してポルシェ・コネクト・サービスを起動してください。サービスの起動/設定についての詳細なインフォメーションについては：

▷ ウェブサイト www.porsche.com/connect にアクセスしてください。

ナビゲーション・システムおよびボイスコントロール・システムを使用する

✓ 挿入されたSIMカードにより、データ接続が正常に確立されている

▷ 「データ接続を確立する（接続）」（136ページ）を参照してください。

– ナビゲーション目的地、ポータルPOI、および興味のあるカテゴリーの他のポイントの入力のためのオンライン検索機能をポルシェ・コネクト・ポータルから読み込んでください。
– 追加地図画面
– インターネットから入手した事故、道路工事、交通量情報やその他の事象等に関するリアルタイム交通情報

** 掲載のサービスは2017年度以降の提供を予定しております。
サービス開始時期等詳細に関しましては当社Webサイトに掲載予定です。

「アプリ」メニューのサービスを使用する

✓ 挿入されたSIMカードにより、データ接続が正常に確立されている
▷ 「データ接続を確立する（接続）」（136ページ）を参照してください。

▸ HOMEボタン ▸ **Apps（アプリ）** 利用可能なサービスが表示されます。

ポルシェ・コネクト・アプリの機能に関するインフォメーション：
▷ 「ポルシェ・コネクト・アプリ」（227ページ）を参照してください。

ポルシェ・コネクトへのログイン

パーソナル設定を、ポルシェ・コネクト・ポータルから呼び出すためには、一部のサービスについてPCMにペアリング・コードを入力する必要があります。

1. HOMEボタン ▸ **Apps（アプリ）** ▸ OPTボタン
2. **Porsche Connectにログイン ▸ 新しいユーザーの作成 ▸ ペアリングコードを入力**
3. サービスのアクティベーション/設定が完了した後、ポルシェ・コネクト・ポータルに表示されているペアリング・コードを入力してください。

ポルシェ・コネクトからのログアウト

✓ ポルシェ・コネクトのユーザーが作成されている

1. HOMEボタン ▸ **Apps（アプリ）** ▸ OPTボタン
2. **ポルシェ・コネクトからのログアウト** 現在ログインしているユーザーをログアウトします。

コンテンツの更新

▸ HOMEボタン ▸ **Apps（アプリ）** ▸ OPTボタン ▸ **更新** 購入したサービスのコンテンツが更新されます。

サービス情報の表示

▸ HOMEボタン ▸ **Apps（アプリ）** ▸ OPTボタン ▸ **サービス情報** 購入したサービスおよび契約期間に関する情報が表示されます。

PCMデータ接続を利用する（WiFiホットスポット）

ホットスポットに接続可能なWiFi機器は最大8個です。

✓ SIMカード経由でデータ接続が確立されている

1. （接続状況に応じて）フッターの または を選択してください。▸ **ホットスポット**
2. **OK**をクリックしてメッセージを確認してください。 PCMのWiFiアクセス・データ（機器名およびWiFiパスワード）が表示されます。
3. PCMのWiFiアクセス･データを機器のWiFi設定に入力してください。 PCMのワイヤレス・インターネット・アクセスへの接続が確立されます。

インフォメーション

– ワイヤレス・インターネット・アクセスを使用する場合は、データの保護やウィルス対策、使用するデバイスのデータ損失に十分注意を払ってください。

セレクター・レバーの緊急解除

知識

セレクター・レバーを緊急解除した場合、車両が固定されずに動き出してしまうため、人身事故や器物の損壊を招く恐れがあります。

- ▸ エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させ、、車両が動き出さないように固定してください（車止めを使用するなど）。
- ▹ 「エレクトリック・パーキング・ブレーキ」（211ページ）を参照してください。

PDK装備車両の電気系統が故障した場合は、セレクター・レバーを**N**位置に動かすため、セレクター・レバーの緊急解除を行ってください。

セレクター・レバーの緊急解除

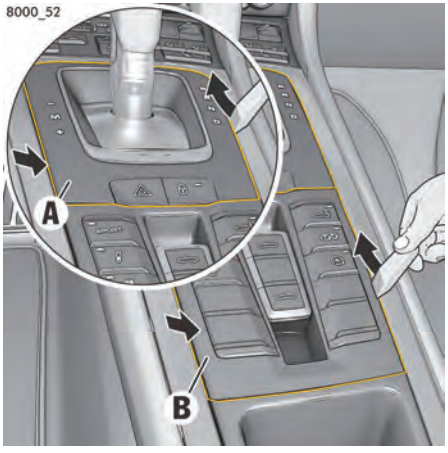


図105: セレクター・レバー・ゲートおよびスイッチ・モジュールの取り外し

1. 工具セットからプラスチック・ウェッジを取り出してください。
   - ▹ 「タイヤ・シーラント/工具セットの取り外しおよび収納」（275ページ）を参照してください。
2. セレクター・レバー・ゲート**A**の両側のリヤ部分（矢印）をプラスチック・ウェッジで慎重にこじるようにして外してください。
3. スイッチ・パネル**B**の両側のフロント部分（矢印）をプラスチック・ウェッジで慎重にこじるようにして外してください。
4. スイッチ・モジュール**B**を取り外し、脇によけてください。スイッチ・モジュールのケーブルを引っ張らないようにしてください。

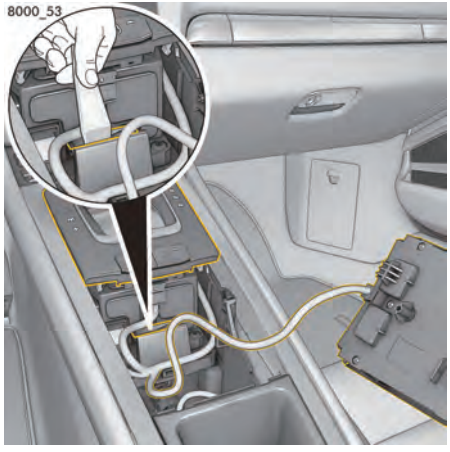


図106: セレクター・レバー・ロックの解除

5. セレクター・レバー・ロックを押したまま、セレクター・レバーを**N**位置に動かしてください。

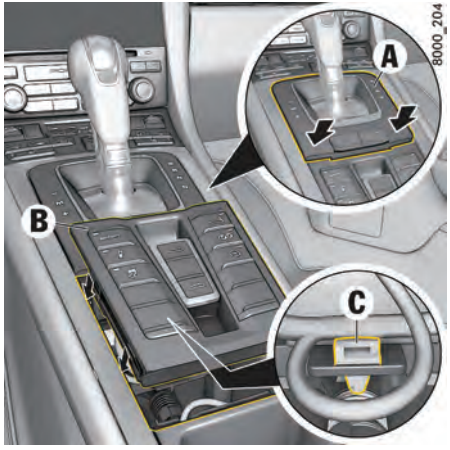


図107: スイッチ・モジュールおよびセレクター・レバー・ゲートの取り付け

スイッチ・モジュールおよびセレクター・レバー・ゲートの取り付け

1. ケーブル・クリップ**C**がセレクター・サポートに正しくはまっていることを確認してください。スイッチ・モジュール**B**をフロント・ガイドにはめて、モジュールを完全に差し込み、しっかりと押し込んでください。
2. セレクター・レバー・ゲート**A**がしっかりはまるまで押し込んでください。

セントラル・ロッキング

概要 – 車外からのドアの開閉操作とロック

この概要説明は「セントラル・ロッキング・システム」に記載されているすべての情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

図108: キー

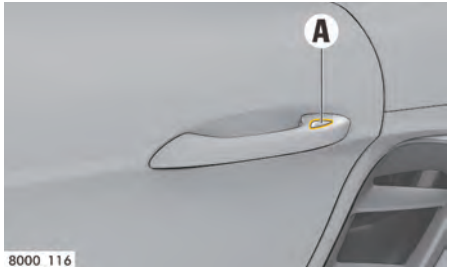


図109: ポルシェ・エントリー &ドライブ

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	その結果は？	ページ
ロック解除	キーを使用する： ▸ キーの🔓ボタンを押してください。 ポルシェ・エントリー &ドライブ装備車： ▸ ドア・ハンドルをしっかり握ってください。	ハザード・ライトが1回点滅します。 ドアを開くことができます。	141
ロック	キーを使用する： ▸ 車両キーの🔒ボタンを押してください。 ポルシェ・エントリー &ドライブ装備車： ▸ ドア・ハンドルのタッチ・センサー **A** に触れてください。	ハザード・ライトが2回点滅します。ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。 室内モニタリング・システム装備車の場合：ドアは、インナー・ドア・ハンドルを引いて車内から開くことができません（セーフロック）。	142
室内モニタリング・システム装備車で人/動物を**車内に残して**ロックする： – セーフロックの作動を無効にする**および** – 室内モニタリング・システムをOFFにする	キーを使用する場合： ▸ キーの🔒ボタンを2回押してください（約2秒以内）。 ポルシェ・エントリー &ドライブ装備車： ▸ ドア・ハンドルにある近接センサー **A** に2回触れてください（約2秒以内）。	ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。 ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。	142
アラーム・システムのアラーム音をOFFにする	▸ キーの🔓ボタンを押してください。 **または** イグニッションをONにしてください。	アラーム音がOFFになります。	105

セントラル・ロッキング・システムの使用

車両装備により、キーまたはポルシェ・エントリー&ドライブ装備車ではキーを使用せずにドアのロックおよびロック解除ができます。

セントラル・ロッキング・システムは、次の部位をロック/ロック解除します：

– ドア
– フィラー・フラップ（燃料給油口カバー）

キーを使用する

▸ キーのボタンを使用します。

インフォメーション

ここでは初期設定の機能をもとに説明しています。

ロック/ロック解除の設定変更に関するインフォメーション：

▹ 「ドア・ロック機能を設定する」(259ページ)を参照してください。

ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車[1)]

ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車の場合、キーを使用せずにロックおよびロック解除を行なうことができます。車両がロックされていてもリッドを開くことができます。

第三者の不正なロック解除および車両の始動を防ぐため、車両キーを使用してポルシェ・エントリー&ドライブを一時的に解除することができます。

車両キーによるポルシェ・エントリー&ドライブの解除

1. ボタンを押し続けてください。
2. **同時に**、ボタンを 1 秒以内に押し、車両キーのインジケーター・ライトが継続して点灯するまで両方のボタンを押し続けてください。

   車両キーのインジケーター・ライトが継続して点灯することで、車両キーによる解除を確認できます。

車両キーのボタンを押す、またはコントロール・ユニットを回転させると、ポルシェ・エントリー &ドライブは自動的に起動します。

▸ キーを強い電磁波にさらさないでください。ポルシェ・エントリー & ドライブに悪影響を与える場合があります。

ドア・ロックを解除してドアを開く

ドアのロック解除機能の設定

設定により運転席ドアのみをロック解除する、または助手席ドアも同時にロック解除することができます。

▹ 「ドア・ロック機能を設定する」(259ページ)を参照してください。

選択した設定にかかわらず、両側のドアがロック解除します：

▸ キーのボタンを5秒以内に2回押してください。

キーによるドアのロック解除

図110: キーによるドアのロック解除

1. ボタンを押してください。
   ハザード・ライトが1回点滅します。
   ドア・ロックが解除されます。
2. ドア・ハンドルを引いてドアを開いてください。

1) ポルシェ・エントリー & ドライブは最先端技術です。しかし、無線キーのキー・コードが遮断されたり、使用されて車両の盗難にあう、といった可能性を完全に排除できていません。

ポルシェ・エントリー＆ドライブ（キーレス）によるドアのロック解除

図111: ポルシェ・エントリー＆ドライブによるドアのロック解除

✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携行する

1. ドア・ハンドルをしっかり握ってください。
   ハザード・ライトが1回点滅します。
   ドア・ロックが解除されます。
2. ドア・ハンドルを引いてドアを開いてください。

インフォメーション

車両のロックを一定時間以内に解除しなかった場合、ポルシェ・エントリー＆ドライブの作動待機がOFFになります。運転席ドアは96時間後、助手席ドアは36時間後に作動待機がOFFになります。

1. ドア・ハンドルを1回引くと、ポルシェ・エントリー＆ドライブが作動待機状態に戻ります。
2. ドア・ハンドルをもう1回引くと、ドアが開きます。

インフォメーション

ロックを解除した後、ドアまたはラゲッジ・コンパートメント・リッドを開かなかった場合、30秒後に自動的に再ロックされます。警報システムは起動します。傾斜センサー＊と室内モニタリング・システムは解除されます（盗難防止機能が制限されます）。
この場合、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。

- ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

再度ロックされた後は、室内モニタリング・システムおよび傾斜センサー＊が再び作動します。

インフォメーション

エアバッグが作動する事故が起きた場合、救助者が車両に入りやすくするためにドアが自動的にロック解除されます。更に、ハザード・ライトも自動的に作動します。

ドアをロックする

セーフロックの使用

セーフロック（室内モニタリング・システム装備車）は、ロックされた車両のインナー・ドア・ハンドルとセントラル・ロッキング・ボタンを無効にし、不正な車内への侵入を難しくします。

⚠ 警告 車外からのドアのロック

車内モニタリング・システム装備車では、車外から車両をロックすると、車内からドアやウィンドウを開くことができなくなります（セーフロック）。そのため、車外からロックする場合、車内に人や動物が残っていないことを確認してください。ロックされたドアによって緊急時に救助者が車内に入ることが困難になります。

- 車両をロックするときは、車内に人や動物がいないことを確認してください。

キーによるドアのロック

1. ドアを閉じてください。
2. 🔒ボタンを1回押してください。
   ハザード・ライトが2回点滅します。
   室内モニタリング・システム（セーフロック）装備車の場合：
   インナー・ドア・ハンドルを引いて、ドアを車内側から開くことはできません。
   室内モニタリング・システム非装備車の場合：
   ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。
   または
   人や動物を車内に残してロックする場合（ロックされた車両のセーフロックの解除）：

- 🔒ボタンを2秒以内に2回押してください。
  ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。
  ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。
- ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

インフォメーション

– ドアまたはラゲッジ・コンパートメント・リッドが完全に閉じていない場合、車両をロックできません。
警告音が鳴り、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。ハザード・ライトは点滅しません。
– 運転席ドアのみが閉じている状態でロックすると、車両はプリロックされます。
▸ 残りのドア/ラゲッジ・コンパートメント・リッドをロックするときは、キーを車内に置き忘れていないか確認してください。
キーを車内に残したままにすると、スペア・キーを使用しなければロックを解除することができなくなります。

ポルシェ・エントリー＆ドライブ（キーレス）によるドアのロック

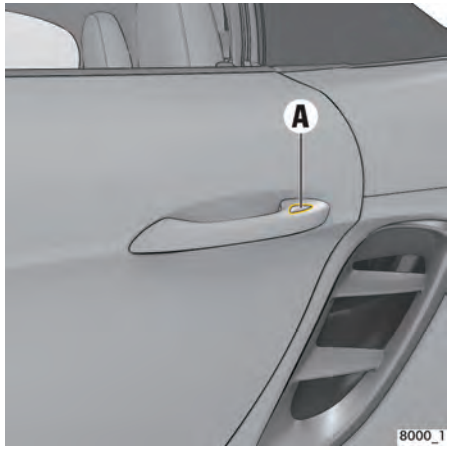


図112: ポルシェ・エントリー＆ドライブによるドアのロック

✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携行する
1. ドアを閉じてください。
2. ドア・ハンドルのタッチ・センサー **A** に触れてください。
ハザード・ライトが2回点滅します。
室内モニタリング・システム（セーフロック）装備車の場合：
インナー・ドア・ハンドルを引いて、ドアを車内側から開くことはできません。
室内モニタリング・システム非装備車の場合：
ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。
または
人や動物を車内に残してロックする場合（ロックされた車両のセーフロックの解除）：
▸ ドア・ハンドルのタッチ・センサー **A**に2秒以内に2回触れてください。
ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。
ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。
▸ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

インフォメーション

– ロックするときは、ドア・ハンドルのタッチ・センサーにのみ触れるようにしてください。
ロック時にドア・ハンドルを握った場合、車両のドアはロックできません。
– ドアまたはラゲッジ・コンパートメント・リッドが完全に閉じていない場合、車両をロックできません。
警告音が鳴り、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。ハザード・ライトは点滅しません。
– ドアをロックするときはキーを車外に持ち出してください。キーが車内にあるとドアをロックできません。

車内からのドアの開閉操作とロック

ドアをロックする

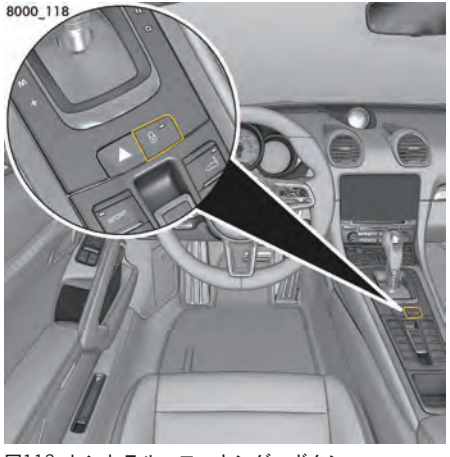


図113: セントラル・ロッキング・ボタン

✓ ドアを閉じる

▸ 🔒ボタンを押してください。
すべてのドアがロックされます。
イグニッションがONの場合、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
ドアはインナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。

自動ドア・ロック

この機能が作動しているときは、車両の速度が約5km/hを超えると自動的にロックされます。

▹ 「ドア・ロック機能を設定する」(259ページ)を参照してください。

ドア・ロックの解除

▸ 🔓ボタンを押してください。
すべてのドアがロック解除されます。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

自動ドア・ロック解除

ポルシェ・エントリー &ドライブ非装備車：
キーを抜くと、車両のロックが自動的に解除されます。
ポルシェ・エントリー &ドライブ装備車
運転席ドアを開くと、車両は自動的にロック解除されます。

▹ 「ドア・ロック機能を設定する」(259ページ)を参照してください。

インフォメーション

キーまたはスペア・キーで車両をロックした場合、セントラル・ロッキング・ボタンでロックを解除することはできません。

ドアを開く

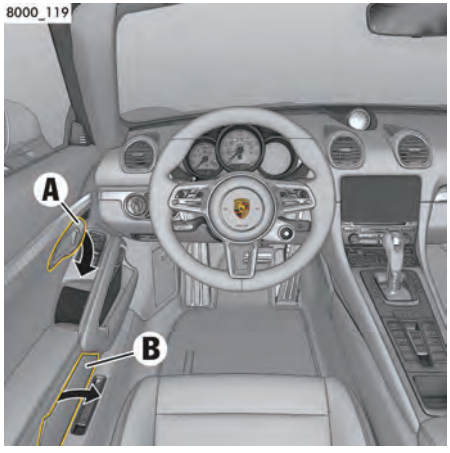


図114: 車内からドアを開く

A インナー・ドア・ハンドル
B ドアの収納ボックス

▸ インナー・ドア・ハンドル**A**を引いてください（図114）。

インフォメーション

ドア、フロントおよびリヤ・ラゲッジ・コンパートメント・リッドおよびエンジン・コンパートメント・リッドは開けられません。

緊急ドア操作

キーのリモコンが機能しない場合、リモコンなしでもドアを開閉することができます。

リモコンが作動しない場合は、以下の原因が考えられます。

– 送信中に電磁波が干渉している場合があります（ポルシェ・エントリー＆ドライブの場合、キーと車両間の電波接点）。
  キーと電源の入った電子機器（携帯電話、ノートパソコン、充電ケーブルなど）と一緒に保管しないように注意してください。必要に応じて、キーの保管場所を変更してください。
– リモコンが作動しない場合、故障が原因と考えられます。
– キーのバッテリーが切れている場合があります（「キーの電池交換」（76ページ）を参照してください。）。

緊急ドア・ロック解除

図115: リモコンが故障した場合の緊急解除

▸ **助手席**側のフロントガラスの外端部にキーを置き、同時にボタンを押してください（図115）。

車両のロックがまだ解除できない場合：

1. エマージェンシー・キーをキーから取り外してください。
   ▷ 「エマージェンシー・キーを使用する場合」（76ページ）を参照してください。

図116: ドア・ロック・シリンダー

2. エマージェンシー・キーで運転席ドアのロックを解除し、ドアを開いてください：ドア・ハンドルを引いたまま保持してください。
   ドア・ロックにエマージェンシー・キーを挿入し、90 °時計回りに回してエマージェンシー・キーを再度抜き取ってください（図116）。
3. ドア・ハンドルから手を離し、もう1回引いてドアを開いてください。
4. 盗難防止警報システムの作動を回避するため、10秒以内にイグニッションをONにしてください。

ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車の追加作業：

イグニッションをONにできない、またはエンジンが始動しない場合は、マルチファンクション・ディスプレイに「**キーが見つからない/障害キーの位置を変更して下さい**」というメッセージが表示されます。

5. コントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置0に戻してください。
6. エンジンを再度始動してください。

エンジンを始動できない場合は、「**キーが見つからない/障害キーの位置を変更して下さい**」というメッセージが再度表示されます。

7. 約1秒後、メッセージ「**スイッチ部:左に回す、取り外、カギをさす**」が表示されます。
8. コントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置0に戻し、イグニッション・ロックから取り外してください。
   ▷ 「キー/コントロール・ユニットの緊急ロック解除」（77ページ）を参照してください。
9. キーを使用してイグニッションをONにしてください（エマージェンシー・キーは除く）。

緊急ドア・ロック

1. エマージェンシー・キーをキーから取り外してください。
   ▷ 「エマージェンシー・キーを使用する場合」（76ページ）を参照してください。
2. 運転席ドアを開いてください。
3. 運転席ドアのドア・ハンドルを持ち上げます（145ページ図116）。
   ドア・ロックにエマージェンシー・キーを挿入し、進行方向と反対に90 °回してエマージェンシー・キーを再度抜き取ってください。
   ハザード・ライトが2回点滅して車両がロックされたことを知らせます。
4. ドア・ハンドルから手を離し、ドアを閉じてください。
   運転席ドアがロックされます。

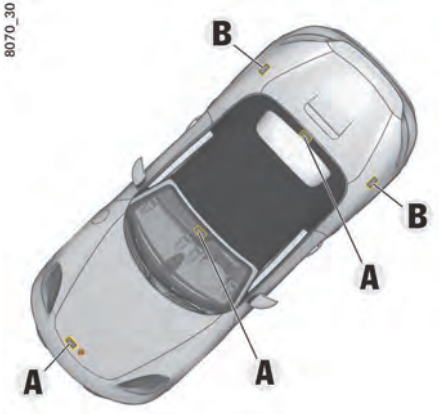
5. **助手席ドア**の緊急ロックの場合、エマージェンシー・キーを運転席ドアのドア・ロックに再び挿入し、進行方向と反対に90 °回し、エマージェンシー・キーを再び抜き取ります。
助手席ドアがロックされます。

インフォメーション

セントラル・ロッキング・システムに異常があるときは、運転席ドアのドア・ロックにエマージェンシー・キーを差し込んでロックすると、正常に機能しているロックのみが作動します。

- セントラル・ロッキング・システムの故障を修理してください。
- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ポルシェ・エントリー &ドライブ



ポルシェ・エントリー &ドライブのアンテナの取り付け位置

ポルシェ・エントリー &ドライブ装備車は、リモート・コントロール付きキーと車両のアンテナが電波で通信することで、ドアやリヤ・リッドをロック/ロック解除できます。
植え込み型心臓ペースメーカーまたは植え込み型除細動器を装着されているお客様へ

警告

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、車室外アンテナAおよび車室内アンテナBから約22cm以内の範囲に、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を近づけないでください。

- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、車室外アンテナ**A**および車室内アンテナ**B**から約22cm以内の範囲に近づかないでください。アンテナからは電波が出ており、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与える恐れがあります。
- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用されている方は、医師や医療用電気機器製造業者などに電波の影響の有無について事前に確認してください。電波により医療用電気機器の作動に影響を与える恐れがあります。

タイヤとホイール

タイヤの寿命は、タイヤ空気圧やシャシー設定以外に、お客様の運転スタイルにも大きく左右されます。

急加速や高速でのコーナリング、ブレーキを酷使する運転スタイルは、タイヤの摩耗を早めます。また、外気温度が高いときや悪路での走行も、タイヤの摩耗を早める原因です。

▷ 「サーキット走行の前に」(15ページ) を参照してください。

積載重量と速度

- 適切な速度で運転してください。
- 車両に規定重量を超える荷物を積まないようにしてください。

▷ 「重量 (メーカー発表値)」(304ページ) を参照してください。

タイヤ空気圧の点検

知識

タイヤ空気圧が不足していると、タイヤが過熱して目に見えない損傷が発生します。

- このような損傷が発生した場合は、空気圧を調整しても正常な機能を回復できません。
- タイヤの温度が高い状態で空気圧を調整しない (空気を抜かない) でください。タイヤの温度が上昇すると、空気圧も上昇します。温度が下がったときに空気圧が不足する原因になります。

図117: ドア・シル (ドア開口部) のタイヤ空気圧プレート

タイヤを規定の空気圧に保ってください。タイヤ空気圧は運転席側ドア・シル (ドア開口部) にあるタイヤ空気圧プレート (図117) 、および本書 (308ページ) の「テクニカル・データ」の章に記載されています。タイヤ空気圧の規定値は、タイヤが冷えているとき (20 °C) を基準にしています。

- 少なくとも2週間に1回はタイヤの冷間時にタイヤ空気圧を点検してください。

▷ 「TPMメニュー – タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM)」(248ページ) を参照してください。

タイヤ空気の充填

⚠ 注意 高温の充填ホース

タイヤに空気を充填する間、コンプレッサーの充填ホースが高温になり、やけどの原因となります。

- 作業用手袋を着用してください。

コンプレッサーはフロント・ラゲッジ・コンパートメント内のカバーの下にあります。

▷ 「タイヤ充填コンプレッサーの取り外しおよび収納」(276ページ) を参照してください。

▷ コンプレッサーの取扱説明書に従ってください。

1. 充填ホースをタイヤ・バルブにねじ込んでください。
2. コンプレッサーを車両のプラグ・ソケットに接続し、コンプレッサーをONにしてください。
   タイヤに空気が充填されます。
3. 空気圧計で充填した圧力を点検し、必要であれば調整してください。もう1回タイヤ空気圧を点検してください。
4. コンプレッサーをOFFにしてください。
5. コンプレッサーの充填ホースをタイヤ・バルブから取り外してください。

i インフォメーション

また、ガソリン・スタンドでもタイヤ空気圧の点検、およびタイヤに空気の充填ができます。

タイヤ空気圧を下げる

1. コンプレッサーをOFFにしてください。
2. 充填ホースのエア抜きスクリューを規定のタイヤ空気圧になるまで開いてください。

タイヤ表記の読み取り

図118: タイヤ表記

A タイヤ幅 （mm）
B 偏平率 （%）
C タイヤ構造記号
D リム径（インチ）
E ロード・インデックス
F 速度記号

速度記号Fは、そのタイヤの許容最高速度を示します。

H 210km/hまで　**V** 240km/hまで
W 270km/hまで　**Y** 300km/hまで
(Y) 300km/hまで（Y記号タイヤの場合）タイヤのロード・インデックス（最大積載容量）の85 %までを積載した状態で300km/h以上の速度で走行することが可能です（300km/h以上で走行する場合はタイヤ・メーカーの確認が必要です）。

ホイール表記の読み取り

ホイールの情報は、タイヤ・バルブの近くのホイール・スポーク裏面に刻印されています。

図119: ホイール表記

A リム幅（インチ）
B リムフランジ形状記号
C ドロップセンター・リム記号
D リム径（インチ）
E ダブル・ハンプ
F リム・オフセット （mm）

タイヤ損傷の点検

⚠ 警告 見えないタイヤ損傷とリム・フランジの損傷

タイヤが損傷すると、特に高速走行時にタイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。

- 定期的にタイヤの状態（側面も含めて）を点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、側面の膨れなどがないか確認してください。
- 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。傾斜が大きく縁が尖った縁石や角ばった物体（石など）に強くぶつかったり乗り上げたりしないように注意してください。
- ホイールを損傷した可能性があるとき（特に内側）は、専門家による点検を受けてください。
  ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- いかなる場合も、タイヤを修理しないでください。パンク修理剤を使用したタイヤのシーリングは、緊急の場合に限り1回のみ、最寄りの修理工場までの短距離移動を可能にします。

タイヤに次のような損傷を受けた場合は、安全のためにタイヤを交換してください：

– タイヤ内部の構造物の層が損傷した可能性があるとき
– タイヤ空気圧が不足しているときや、損傷箇所がある場合など、それらが原因でタイヤが過熱したり、異常な負荷がかかった可能性があるとき

タイヤとホイールの交換

- ホイールを交換するときは、イグニッションをOFFにしてください。

⚠ 警告 不十分なグリップ

新品のタイヤはグリップ性能を十分に発揮できません。

- 最初の200kmは、控えめな速度で走行して新しいタイヤを慣らしてください。これによりタイヤ寿命を伸ばし性能を最大限に引き出すことができます。

- 原則として、4輪に装着するタイヤは同一メーカーの同一仕様番号（N0、N1など）に統一してください。
- 新しいタイヤに交換する前に、最新の承認タイヤについてポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。
- ポルシェ社がテストを行い、承認したメーカーのタイヤのみを使用してください。
- 同一アクスル上のトレッド溝の深さの差は30 %を超えないようにしてください。
- 使用経歴が不明な中古タイヤは使用しないでください。
- トレッド溝の深さの差を原因とする不必要な車両操作への影響を避けるため、同一アクスル上の両方のタイヤは必ず同時に交換してください。
- タイヤの交換は、必ず専門の整備工場で実施してください。
  ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。

i インフォメーション

新しいホイールには、タイヤ空気圧モニタリング（TPM）のタイヤ空気圧センサーを取り付けなければなりません。

- この車両のTPMシステムに適合するホイールであることを確認してください。適正ホイールとTPMに関する情報：ポルシェ正規販売店にご相談ください。
- タイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーのバッテリー充電状態を点検してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

i インフォメーション

フロントまたはリヤ･タイヤのみを交換した場合は、前後タイヤのトレッド溝の深さに差があるため、それまでの走行とはっきりした違いが感じられます。この違和感は特にリヤ･タイヤを交換した場合に顕著になります。この違和感は、走行距離が伸びるにつれて次第に減少します。

バルブおよびバルブ・キャップの点検と交換

- タイヤ空気圧モニタリング（TPM）用のポルシェ純正バルブのみを使用してください。
- タイヤを交換する場合は必ずバルブを点検し、必要に応じて交換してください。
  ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

バルブ・キャップがない場合、ほこりや汚れからバルブを保護することができないため、漏れの原因になることがあります。

- バルブ・インサートの汚れを防ぐため、必ずバルブ・キャップをしっかりと閉めてください。バルブが汚れると、タイヤ空気圧減少の原因となります。
- 紛失した場合は、直ちに新しいバルブ・キャップを取り付けてください。
- プラスチック製のバルブ・キャップのみを使用してください。

ウィンター・タイヤを使用する

⚠ 警告 最高許容速度の超過

最高許容速度を超えると、タイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。

- タイヤの最高許容速度を守ってください。
- タイヤの側面に「M+S」の表示があるタイヤに限り、許容最高速度がこの車両の最高速度に満たないウィンター・タイヤを装着できます。オール・シーズンおよびオールラウンド・タイヤも速度制限の対象となり、これが表示されています。
- 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。法定速度を遵守してください。
- マルチファンクション・ディスプレイで最高許容速度を制限速度として設定する：

▷ 「制限速度の設定」（247ページ）を参照してください。

- 積雪や凍結の恐れがある時期が近づいたら、早めにウインター・タイヤを装着してください。
- ポルシェ社がテストを行い、承認したメーカーのタイヤのみを使用してください。
- 新しいタイヤに交換する前に、最新の承認タイヤについてポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。

インフォメーション

このようなタイヤを気温が低い時に使用し続けると、ドライ/ウェット路面に関係なく、走行中やコーナリング後の加速中にジャダー・ノイズが発生することがあります。

サマー・タイヤの走行性能は、気温が7 ℃を下回ると低下し、快適性も損なわれます。このため、ポルシェ社では気温が7 ℃を下回る時期にはウィンター・タイヤへの交換を推奨しています。

更に外気温度が極端に低くなると（–15 ℃以下）、サマー・タイヤに恒久的な損傷が生じることがあります。

ウインター・タイヤは、トレッド溝深さが4mm以下になると性能が低下します。

スノー・チェーンを使用する

スノー・チェーンはリヤ・タイヤのみに装着してください。また「テクニカル・データ」の章を参照して、スノー・チェーンの装着に適したタイヤ/ホイールを使用しなければなりません。

- スノー・チェーンとホイール・ハウジングのクリアランスを十分に確保するため、ポルシェ社が承認したスノー・チェーンのみを使用してください。
- ▷ 認定スノー・チェーンに関するインフォメーション：
  「タイヤとホイール」（306ページ）を参照してください。
- スノー・チェーンを装着する前に、ホイール・ハウジングの内側にこびりついた雪や氷を取り除いてください。
- 最高速度については各国の法規に従ってください。

タイヤ・トレッドの点検

- タイヤのトレッドを定期的に点検してください。特に長距離走行の前後は、入念に点検してください。
- 多くのタイヤはトレッド中央分にウェア・インジケーターを備えています。ウェア・インジケーターは主要なトレッド溝に設けられており、トレッド溝の深さが最少の1.6mmになると現れます。

  安全のため、ウェア・インジケーターが現れる**前に**タイヤを交換してください。ウインター・タイヤは、トレッド溝の深さが4mm以下になると性能が低下します。

トレッド溝の深さの測定

- 市販のトレッド溝ゲージまたはキャリパーをタイヤ・トレッドに挿入し、タイヤ・トレッドの深さを測定してください。

インフォメーション

タイヤの摩耗に偏りがある場合、車両の不具合が考えられます：

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤの保管

- タイヤは、常に乾燥した冷暗所に保管してください。ホイールに装着していないタイヤは、立たせた状態で保管してください。
- 外気温が–15 ℃以下の場所にサマー・タイヤを保管したり、またはサマー・タイヤ装着車を駐車したりしないでください。
- 燃料、オイル、グリースなどがタイヤに触れないようにしてください。
- 製造から6年以上が経過したタイヤは**使用しない**でください。年数が経過すると、ゴムに弾性を与えるために添加している化学添加物の効果が弱まり、ゴムがもろくなります。タイヤの製造時期は、タイヤ側面のDOTコードでわかります。例えば、コードの下4桁が「3015」の場合、2015年の第30週に製造されたタイヤです。

ホイールのバランス調整

安全で快適なドライブを楽しんでいただくために、サマー・タイヤは春に、「M+S」付きのスノー・タイヤは冬に入る前にホイール・バランスの調整を受けてください。

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤ交換

⚠ 警告 車体の下に入っての作業

ジャッキから車両が滑り落ちる恐れがあります。

- ジャッキ・アップしてタイヤを交換する前に、すべての乗員を降ろしてください。
- 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップ・ポイントで持ち上げてください。
- 車両が斜面（上り坂や下り坂など）や道路脇に駐車されている場合は絶対にジャッキ・アップしないでください。
- ジャッキは、タイヤ交換時に車両を持ち上げるためのみに使用してください。
- やむを得ず車体の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポート・スタンドで車体を支えてください。ジャッキで車体を支えるのは危険ですのでおやめください。

インフォメーション

ホイール交換に必要な工具（ジャッキ、ホイール・ボルト・レンチ、組み付け補助工具など）は車両に標準装備されておりません。
必要となる工具に関する情報：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

インフォメーション

前輪と後輪のタイヤ/ホイール・サイズは異なります。
ホイールを取り外す場合は、各ホイールの回転方向や取り付け位置をマーキングしておき、取り付け時はこれを目印にしてください。

- 認可されたサイズの前輪/後輪用ホイール/タイヤを必ず使用してください。

ホイール取り付け面のお手入れ

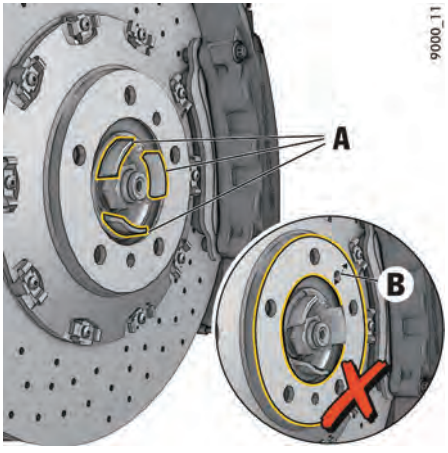


図120: ホイール取り付け面

知識

ホイールおよびホイール取り付け面を損傷する恐れがあります。

- ブレーキ・ディスクのホイール取り付け面**B**およびホイール本体の取り付け面に**油脂類を塗布しない**でください。
- **A**部分のみに油脂類を塗布できます。この部分にはOptimoly® TAグリースを薄く塗布してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。
  他の油脂類は使用しないでください。

ホイール・ボルトのお手入れ

- ホイール・ボルトは取り付ける前に、必ず清掃してください。
- ホイール・ボルトには油脂類を塗布しないでください。
- 損傷したホイール・ボルトは交換してください。この車両専用のポルシェ純正ホイール・ボルト、またはポルシェ社が要求する性能、品質基準を満たす同等部品のみを使用してください。
- ホイール・ボルトは160Nmの締め付けトルクで締め付けてください。

盗難防止ホイール・ボルトの使用

図121: 盗難防止ホイール・ボルト・アダプター

盗難防止ホイール・ボルト用アダプターは、工具セットに収納されています。

- 盗難防止ホイール・ボルトを脱着するときは、このアダプターをホイール・ボルトとホイール・ボルト・レンチの間に入れて使用してください。
- アダプターを取り付けるときは、ホイール・ボルトの歯がしっかり噛み合っていることを確認してください。

ホイールの交換

車両の準備

1. ギヤ・レバーを1速にしてください。
   または
   セレクター・レバーを**P**位置に入れてください。
2. エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。
3. キーを抜き取ってください。
   ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車：リモート・コントロール・ユニット
4. 交換するタイヤの反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにしてください。
5. 取り外すホイールのボルトを少しだけゆるめてください。
6. 車両のリフト・アップは必ず所定のジャッキアップ・ポイントで行ってください。
   ▷ 「ジャッキおよびリフティング・プラットフォーム」(121ページ) を参照してください。
7. 車両を持ち上げ、ホイールを地面から浮かせてください。

タイヤ交換

図122: 組み付け補助工具

1. PCCB非装備車：ホイール・ボルト**A**を取り外してください（図122）。
   または
   PCCB装備車：ホイール・ボルト**A**および**B**を取り外してください（図122）。
2. 取り外したホイール・ボルトの代わりに、ホイール取り付け補助工具（図122）をねじ込んでください。

知識

正しくホイール交換を行わないと、ブレーキ・ディスクを損傷する恐れがあります。特にPCCB装備車の場合は注意してください。

▸ タイヤを交換する場合は、組み付け補助工具を取り付けてください。

3. 残りのホイール・ボルトを取り外してください。
4. 交換するタイヤを外し、新品のタイヤを取り付けてください。
   ▷ 「ホイール取り付け面のお手入れ」(151ページ) を参照してください。
   ▷ 「ホイール・ボルトのお手入れ」(151ページ) を参照してください。
5. ホイール・ボルトを挿入し、対角線方向の順に少しだけ締め付けてください。
6. ホイール取り付け補助工具を外し、残りのホイール・ボルトを仮締めしてください。
   すべてのホイール・ボルトを対角線方向の順に少しだけ締め付け、ホイールの中心位置を合わせてください。
7. 必要に応じてタイヤの空気圧を調整してください。
   ▷ 「タイヤ空気圧」(308ページ) を参照してください。
8. 車両を完全に下げた後、ジャッキを取り外してください。
9. ホイール・ボルトを対角線方向の順に完全に締め付けてください。
   ホイール・ボルトを締め付けたら、直ちにトルク・レンチを使用してホイール・ボルトを160Nmの締め付けトルクで増し締めしてください。

インフォメーション

ホイール交換後、タイヤ空気圧モニタリング・システム（TPM）の設定をマルチファンクション・ディスプレイで更新する必要があります。

▷ 「TPMメニュー – タイヤ空気圧モニタリング・システム（TPM）」(248ページ) を参照してください。

チャイルド・シート

安全に関する注意事項

⚠ 危険 チャイルド・シート装置の誤った使用

チャイルド・シートを正しく使用しなかった場合、重傷または致命傷を負う危険があります。

車種に適さないチャイルド・シートを使用した場合、またはチャイルド・シートを車両に正しく取り付けていない場合は、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

- チャイルド・シートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。
- バケット・シートにはチャイルド・シートを使用しないでください。
  「チャイルド・シートの各種シートへの取り付け」(159ページ) を参照してください。
- チャイルド・シートは道路交通法に従って使用してください。
- ポルシェ社が推奨するチャイルド・シートのみを使用してください。
  ポルシェ社推奨のチャイルド・シートは、ポルシェ社がテストを実施し、この車両のインテリアやお子様の体重グループに適するように調整されています。
  推奨外のチャイルド・シートを使用すると、万一のときに負傷する危険性が高まります。
- チャイルド・シートを助手席で使用するときは、必ず助手席エアバッグをOFFにしてください。

ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のチャイルド・シートを使用することを推奨いたします。
取り付け方法に関するインフォメーション：

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。
- ▷ 「チャイルド・シートの使用 (シート・ベルトによる固定)」(155ページ) を参照してください。
- ▷ 「推奨するチャイルド・シートの使用 (ISOFIXシステムによる固定)」(157ページ) を参照してください。

⚠ 危険 チャイルド・シートの助手席での使用

助手席エアバッグは、ある程度の体格と最低限の体重のある乗員にのみ保護効果を発揮します。チャイルド・シートを助手席に取り付けた場合、または小柄な乗員が助手席に乗車している場合、助手席エアバッグが作動することにより重傷または致命傷を負う危険があります。

- チャイルド・シートを助手席に取り付けるときは、必ず助手席エアバッグをOFFにしてください。
- ▷ 「助手席エアバッグのON/OFF – 助手席エアバッグOFF警告灯」(159ページ) を参照してください。

- チャイルド・シートを取り付けるときは、常にシート・ヒーターのスイッチをOFFにしてください。

図123: サンバイザーのエアバッグ警告ステッカー

- 決してエアバッグの警告ステッカー**A**を剥がしたり、表面を汚したり読み取りできない状態にしないでください。

チャイルド・シートの体重グループによる分類

体重グループ0、0+のお子様：
13 kgまで
この体重グループのお子様は、**後ろ向きに着座するタイプ**のチャイルド・シートを必ず使用してください。

体重グループIのお子様：
9～18 kg
この体重グループのお子様は、**前向きに着座するタイプ**のチャイルド・シートを必ず使用してください。

体重グループIIのお子様：
15～25 kg
この体重グループのお子様は、**前向きに着座するタイプ**のチャイルド・シートを必ず使用してください。

体重グループIIIのお子様：
22～36 kg
この体重グループのお子様は、**前向きに着座するタイプ**のチャイルド・シートを必ず使用してください。

チャイルド・シートの使用（シート・ベルトによる固定）

推奨するチャイルド・シート（シート・ベルトによる固定）

「チャイルド・シートの使用（シート・ベルトによる固定）」（156ページ）を参照してください。

体重グループ	メーカー	形状	承認番号	ポルシェ部品番号	助手席への取り付け
グループ0 および0+： 13kgまで	Britax-Römer	ポルシェ・ベビー・シート G0+	E1 04301146	955.044.802.94	– 後ろ向きに取り付けること。 – 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。 – 助手席エアバッグをOFFにすること。
グループI： 9～18kg	Britax-Römer	ポルシェ・ジュニア・シート ISOFIX G1	E1 04301199	955.044.802.88	– 前向きに取り付けること。 – 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。 – 助手席エアバッグをOFFにすること。
グループII： 15～25kg	Britax-Römer	ポルシェ・ジュニア・プラス G2 + G3	E1 04301169	955.044.802.90	– 前向きに取り付けること。 – 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。 – 助手席エアバッグをOFFにすること。
グループIII： 22～36kg	Britax-Römer	ポルシェ・ジュニア・プラス G2 + G3	E1 04301169	955.044.802.90	– 前向きに取り付けること。 – 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。 – 助手席エアバッグをOFFにすること。

チャイルド・シートの使用（シート・ベルトによる固定）

下表は、ECE-R16規格を遵守し、シート・ベルトで固定して使用できるチャイルド・シートの概要です。
「汎用（ユニバーサル）」のマークは、チャイルド・シートのECEラベル（オレンジ色）に表示されています（図124を参照）。

体重グループ	チャイルド・シートの助手席での使用 1) 2)
グループ0： 10kgまで	U/L
グループ0+： 13kgまで	U/L
グループI： 9～18kg	U/L
グループII： 15～25kg	U/L
グループIII： 22～36kg	U/L

図124: ECEラベル

A サイズ分類
B「汎用（ユニバーサル）」または「準汎用（セミ・ユニバーサル）」マーク
C 体重グループ

1) 助手席エアバッグをOFFにすること。155ページの助手席へのチャイルド・シート取り付けに関する注意事項を参照してください。
2) 助手席シートをいっぱいまで後方、**上方**に調節すること。

X：この体重グループに属するチャイルド・シートの取り付けには適していません。
U：この体重グループに属する「汎用（ユニバーサル）」のチャイルド・シートの取り付けに適しています。
L：155ページに記載されている特定のチャイルド・シートの取り付けに適しています。

推奨するチャイルド・シートの使用（ISOFIXシステムによる固定）

推奨するチャイルド・シート（ISOFIXシステムによる固定）

「チャイルド・シートの使用（ISOFIXシステムによる固定）」（158ページ）を参照してください。

体重グループ	メーカー	形状	承認番号	ポルシェ部品番号	助手席への取り付け
グループ0 および0+： 13kgまで	Britax-Römer	ポルシェ・ベビー・シート G0+ **使用部品：** ISOFIXベース	E1 04301146	955.044.802.94 **使用部品：** 955.044.802.95	– 後ろ向きに取り付けること。 – 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。 – 助手席エアバッグをOFFにすること。
グループI： 9～18kg	Britax-Römer	ポルシェ・ジュニア・シート ISOFIX G1	E1 04301199	955.044.802.88	– 前向きに取り付けること。 – 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。 – 助手席エアバッグをOFFにすること。
グループII： 15～25kg	Britax-Römer	ポルシェ・ジュニア・プラス ISOFIT G2 + G3	E1 04301198	955.044.802.96	– 前向きに取り付けること。 – 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。 – 助手席エアバッグをOFFにすること。
グループIII： 22～36kg	Britax-Römer	ポルシェ・ジュニア・プラス ISOFIT G2 + G3	E1 04301198	955.044.802.96	– 前向きに取り付けること。 – 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。 – 助手席エアバッグをOFFにすること。

チャイルド・シートの使用（ISOFIXシステムによる固定）

下表は、ECE-R16規格に従ってISOFIXシステムで固定して使用できるチャイルド・シートの概要です。
「汎用（ユニバーサル）」または「準汎用（セミ・ユニバーサル）」のマークは、チャイルド・シートのECEラベル（オレンジ色）に表示されています。

体重グループ	サイズ分類	固定具	助手席シートのISOFIXリテーニング・ラグ 1) 2) 3)
ベビー・シート（左向きまたは右向きチャイルド・シート）	F	ISO/L1	X
	G	ISO/L2	X
グループ0：10kgまで	E	ISO/R1	IL/SU
グループ0+：13kgまで	E	ISO/R1	IL/SU
	D	ISO/R2	IL/SU
	C	ISO/R3	X
グループI：9～18kg	D	ISO/R2	IL/SU
	C	ISO/R3	X
	B	ISO/F2	IL/SU
	B1	ISO/F2X	IL/SU
	A	ISO/F3	IL/SU
グループII：15～25kg			IL/SU
グループIII：22～36 kg			IL/SU

1) 助手席エアバッグをOFFにすること。157ページの助手席へのチャイルド・シート取り付けに関する注意事項を参照してください。
2) 助手席シートをいっぱいまで後方、**上方**に調節すること。
3) **助手席シート**にISOFIX用のリテーニング・ラグが装備されている場合、「準汎用（セミ・ユニバーサル）」のチャイルド・シートが取り付けに適しています。チャイルド・シートに付属の車両リストおよびポルシェ社が推奨するチャイルド・シート（157ページ）を参照してください。

X： このサイズ分類のチャイルド・シートには適していません。
SU：「準汎用（セミ・ユニバーサル）」ISOFIXシステム認証のチャイルド・シートの取り付けに適しています。チャイルド・シートに付属の車両リストを参照してください。
IL： 157ページに記載されている特定のISOFIXチャイルド・シートに適しています。

チャイルド・シートの取り付け

チャイルド・シートの各種シートへの取り付け

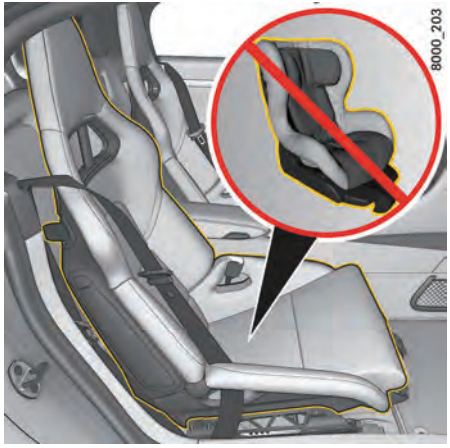


図125: バケット・シート

スポーツ・バケット・シートではチャイルド・シートを使用しないでください（図125）。
その他の種類のシートでは、推奨するチャイルド・シートが使用できます。

- ▷ 「シート」(115ページ)を参照してください。
- ▷ 「推奨するチャイルド・シート（シート・ベルトによる固定)」(155ページ) を参照してください。
- ▷ 「推奨するチャイルド・シート（ISOFIXシステムによる固定)」(157ページ) を参照してください。

ベビー・キャリア

サイズ分類FおよびGの左向きまたは右向きタイプのチャイルド・シート（ベビー・キャリアなど）は、いかなるシートにも使用できません。

- ▷ 「チャイルド・シートの使用（ISOFIXシステムによる固定)」(158ページ) を参照してください。

ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のチャイルド・シート（ポルシェ・ベビー・シートISOFIX GO+など）を使用することを推奨いたします。

- ▷ 「推奨するチャイルド・シート（シート・ベルトによる固定)」(155ページ) を参照してください。
- ▷ 「推奨するチャイルド・シート（ISOFIXシステムによる固定)」(157ページ) を参照してください。

助手席エアバッグのON/OFF – 助手席エアバッグOFF警告灯

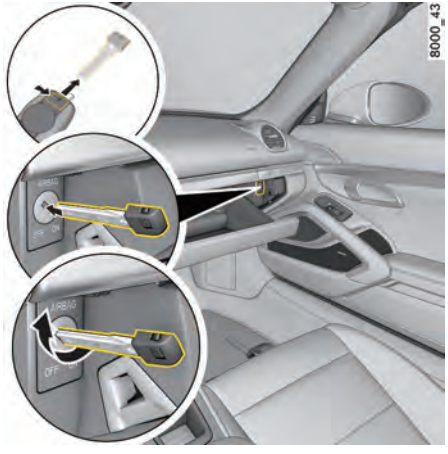


図126: 助手席エアバッグのON/OFF

台湾のみ：

助手席エアバッグの ON/OFF 用キー・スイッチは、装備されていません。

- ▷ 台湾の関連法規に則り、「乳幼児や子供を助手席シートに乗せることはできません」。

1. イグニッションをOFFにしてください。
2. グローブ・ボックスを開いてください。
3. エマージェンシー・キーをキーから取り外してください。
   - ▷ 「エマージェンシー・キーを使用する場合」(76ページ) を参照してください。

知識

助手席エアバッグ・スイッチまたはエアバッグ・システムが損傷することがあります。

- ▸ エマージェンシー・キーは、キー・スイッチに挿入するときに、2回抵抗を感じた位置でのみ回してください。
- ▸ 助手席エアバッグは、イグニッションがOFFのときにのみ、ONまたはOFFに切り替えてください。

4. キー・スイッチにエマージェンシー・キーを2回抵抗を感じる位置まで挿入してください。
   エマージェンシー・キーの歯がキー・スイッチ内に約3/4まで挿入されます。
5. エマージェンシー・キーに大きな力をかけずに回し、助手席エアバッグを**OFF（解除）**または**ON（作動）**にしてください。
   助手席エアバッグOFF警告灯が点灯します。

⚠ 危険 助手席エアバッグの不意の作動により重傷または致命傷を負う危険

キー・スイッチにエマージェンシー・キーを挿入したまま走行した場合、振動によってエマージェンシー・キーが不意に回転し、エアバッグが作動する危険があります。

- エマージェンシー・キーを助手席エアバッグ・スイッチに挿入したまま走行しないでください。

6. エマージェンシー・キーをキー・スイッチから抜き取ってください。
7. グローブ・ボックスを閉じてください。

⚠ 危険 助手席エアバッグをOFFにする

チャイルド・シートを取り外した後も、助手席エアバッグをOFFにしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- チャイルド・シートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグをOFFにしてください。
- チャイルド・シートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再びONにしてください。

インフォメーション

助手席エアバッグをOFFにしているときは、助手席シート・ベルト警告メッセージも表示されません。

インフォメーション

助手席エアバッグをOFFにするキー・スイッチ、**助手席エアバッグOFF警告灯**および助手席のISOFIXアタッチメント・ブラケットは、特定の装備仕様にのみ取り付けられています。ポルシェ正規販売店でオプションとして装着してください（バケット・シート装備車には取り付けができません）。このシステムを取り付けた場合、助手席シート・バックレストの調節範囲が制限されます。

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

助手席側（シート**2**）エアバッグをOFFにした場合、イグニッションをONにしたとき、またはエンジン作動中にオーバーヘッド・コンソールの**助手席エアバッグOFF**警告灯が常時点灯します。

図127: 助手席エアバッグOFF警告灯

⚠ 危険 助手席エアバッグの故障と作動不良

助手席エアバッグをOFFにして、イグニッションをONにしたときに**助手席エアバッグOFF**警告灯が点灯しなかった場合は、システムに不具合が発生している可能性があります。

- 助手席にチャイルド・シートを取り付けないでください。
- ポルシェ正規販売店で早急に故障を修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ISOFIXチャイルド・シート・システムの取り付け

▷ 「推奨するチャイルド・シート（ISOFIXシステムによる固定）」(157ページ) を参照してください。

▷ チャイルド・シートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。

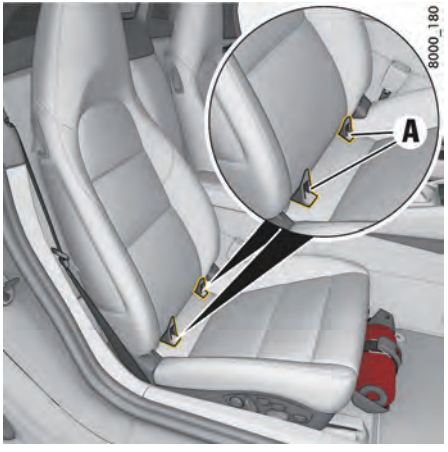


図128: 助手席シートのISOFIXアタッチメント・ブラケット

ISOFIXチャイルド・シートを固定するリテーニング・ラグ**A**の位置を示すマークは、助手席のシート面にあります（装備によって異なります）。

1. エマージェンシー・キーを使用して、助手席エアバッグをOFFにしてください。
   オーバーヘッド・コンソールの**助手席エアバッグOFF**警告灯が点灯します。
   ▷ 「助手席エアバッグのON/OFF – 助手席エアバッグOFF警告灯」（159ページ）を参照してください。

台湾のみ：

助手席シートのISOFIXアタッチメント･ブラケットは装備されていません。

▷ 台湾の関連法規に則り、「乳幼児や子供を助手席シートに乗せることはできません」。

図129: ISOFIXシステム付きチャイルド・シートの取り付け

2. チャイルド･シートを付属の説明書に従ってリテーニング・ラグ**A**に固定してください。
3. チャイルド・シートを引っ張って、両側のリテーニング・ラグに確実に固定されているか点検してください。

テスト・スタンドでの測定

⚠ 警告 有毒な排気ガスの吸引

排気ガスを吸引して中毒を起こす恐れがあります。

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす恐れがあります。

- エンジンを作動させた状態で作業するときは、必ず車両を屋外に駐車させるか、または換気の良い場所で行ってください。

⚠ 警告 不十分な車両の固定

車両がしっかり固定されていない、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティング・プラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

- 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- 車両は必ず、車両下回りにある規定のジャッキアップ・ポイント（121ページ図84、121ページ図85）で持ち上げてください。
- 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポート・スタンドで車体を支えてください。
- 車両をジャッキアップ後は、エンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。

テスト・スタンド測定の実施

パフォーマンス・テスト

ポルシェ社ではローラー・タイプ・テスト・スタンドでのパフォーマンス・テストを承認していません。

ブレーキ・テストの実施

- ブレーキ・テストには、ローラー・タイプ・テスト・スタンドのみを使用してください。

以下の制限値を超えないでください。

– 測定速度：7.5km/h以下
– 測定時間：20秒以内

エレクトリック・パーキング・ブレーキのテスト

- ブレーキ・テスト・スタンドでエレクトリック・パーキング・ブレーキのテストを行うときは、必ず**イグニッションをONにし、マニュアル・トランスミッション車ではギヤシフト・レバーをニュートラルに、Porsche Doppelkupplung（PDK）装備車はセレクター・レバーをNの位置にします。**

車両が自動的にブレーキ・テスト・モードに切り替わり、エレクトリック・パーキング・ブレーキのテストが可能になります。マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

デバイス・マネージャー

デバイス・マネージャーを開く

図130: デバイス・マネージャーを開く

▸ フッターの または を選択してください（接続状態により異なる）。
または
PHONE ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **デバイスマネージャー**の順に選択してください。

以下の接続は、デバイス・マネージャーを使用して集中管理できます。

– **電話**：PCMを携帯電話にBluetooth®で接続します。
  ▹ 「携帯電話をBluetooth®で接続する（携帯電話対応装備）」（169ページ）を参照してください。
  ▹ 「別の携帯電話を接続して使用する」（170ページ）を参照してください。
– **Bluetoothオーディオ**：PCMを外部Bluetooth®メディア・ソースに接続してください。
  ▹ 「外部機器をBluetooth®経由で接続する」（236ページ）を参照してください。
– **データ接続**：SIMカードを挿入してください。
  ▹ 「データ接続を確立する（接続）」（136ページ）を参照してください。
– **ホットスポット**：PCMのワイヤレス・インターネット・アクセスを利用する
  ▹ 「PCMデータ接続を利用する（WiFiホットスポット）」（137ページ）を参照してください。
– **ポルシェ・コネクト・アプリ**：WiFiを使用してポルシェ・コネクト・アプリをPCMに接続する
  ▹ 「ポルシェ・コネクト・アプリ」（227ページ）を参照してください。
– **スマートフォンリンク**：Apple® CarPlayを使用してください。
  ▹ 「Apple® CarPlay」（296ページ）を参照してください。

接続ステータスの表示

▹ 「接続ステータスの表示」（171ページ）を参照してください。

インフォメーション

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント（PCM）の操作に関するインフォメーション：
▹ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント（PCM）の操作」（229ページ）を参照してください。

テレビ

概要

この概要説明は「テレビ」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の操作に関するインフォメーション:

▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント（PCM）の操作」（229ページ）を参照してください。

図131: 放送局の選択

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	ページ
テレビの呼び出し	▸ ヘッドラインに **TV** と表示されるまで、TUNERボタンを繰り返し押してください（**A**を参照）。	165
放送局リストから放送局を選択する	▸ TUNERボタン ▸ **List（リスト）** ▸ 放送局を選択してください。	165
放送局リストに放送局を保存する	▸ TUNERボタン ▸ **List（リスト）** ▸ **Store（保存）** ▸ **Store（保存）** / 放送局ボタン	165
保存した放送局を選択する	▸ TUNERボタン ▸ **Presets（プリセット）** ▸ 希望の放送局ボタンを選択してください（**C**を参照）。	165
放送局リストをスキップする	▸ 希望の放送局が表示されるまで または を繰り返し押してください。	
プログラム・ガイド（EPG）の呼び出し	▸ TUNERボタン ▸ OPTボタン ▸ **TVガイド**を選択してください。	166

テレビの呼び出し

1. SOURCEボタンを押してください。
2. TVを選択してください。

または

- ヘッドラインにTV と表示されるまで、TUNERボタンを数回押してください（165ページ図132）。

または

1. TUNERボタンを押してください。
2. ヘッドラインに表示された周波数帯を選択してください。
3. ソース・メニューのTV機能を選択してください。

PCMのTVチューナーにより、12セグTVまたはワンセグTVで暗号化されていない地上波デジタルISBD放送TVチャンネルを選局することができます。

選局

保存した放送局を表示および選択する（プリセット）

図132: TVチャンネルを含む放送局ボタン

1. TUNERボタン ▸ TV ▸ プリセット
2. TV画像を表示するには、コントローラーでTVを選択してください。

計15の放送局ボタン（プリセット、Cを参照）があり、すべてのボタンにTV放送局を割り当てることができます。
最初の3ページにラジオとTV局を放送局ボタンに自由に割り当てることができます（現在選択されているページを表示させるには、Bを参照）。受信電波の最も強い5つのラジオ放送局が、自動的に4ページの放送局ボタンに割り当てられます（「ベストFMレベル」）。

▷ 「放送局の保存」（165ページ）を参照してください。

放送局リストから選局する

- TUNERボタン ▸ TV ▸ List（リスト）

現在の周波数帯にあるすべてのTV放送局が、放送局リストに表示されます（最高100局まで）。

インフォメーション

TV局もEPGリストから選択することができます。

▷ 「プログラム・ガイド（EPG）の呼び出し」（166ページ）を参照してください。

放送局の保存

1. TUNERボタン ▸ TV ▸ Presets（プリセット）
2. 希望の放送局ボタンを3秒間押してください。

または

1. TUNERボタン ▸ TV ▸ List（リスト）
2. 放送局を選択して、を選択してください。
3. 希望の放送局ボタンを選択してください。

または

1. TUNERボタン ▸ TV ▸ OPTボタン ▸ 放送局を保存
2. 希望の放送局ボタンを選択してください。

プログラム・ガイド（EPG）の呼び出し

PCMには電子プログラム・ガイド（EPG）が備わっており、デジタル・プログラムに関する様々な情報を提供します。番組は時間順に掲載されます。

プログラム・ガイドを表示する

▸ TUNER ボタン ▸ **TV** ▸ OPT ボタン ▸ **電子プログラム・ガイド**

プログラム・ガイド内を移動する

✓ プログラム・ガイド（EPG）を表示する

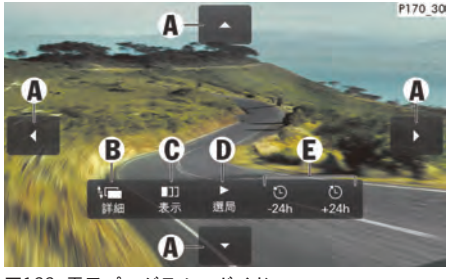


図133: 電子プログラム・ガイド

A 矢印ボタンを操作して、ページを移動
B **詳細**：黄色でマーキングされた番組情報の詳細表示
C **表示**：番組情報の詳細ビューと全体ビューの切り替え
D **選局**：選択した番組の表示
E 番組プレビュー +/-24hの表示

設定の変更

1. TUNER ボタン ▸ **TV** ▸ OPT ボタン ▸ **TV 設定**
2. 希望の項目を選択してください。

– **放送局トラッキング**：機能が有効になっていて電波品質が低い場合は、システムが自動的に選局した放送局の代替周波数に切り替えます。
– **暗号化（CAS）**：B-CAS IDがPCMディスプレイに表示されます。これはライセンスの有効化や延長に必要となります。
– **TVノルム**：納車時に、該当する国向けのTV基準が設定されます。
– **緊急警報システム（EWS）**：緊急メッセージのON/OFFを切り替えます。
– **ビデオセッティング**：サイド・メニューのコントローラーを操作して、明るさ、コントラスト、色調を希望の値に設定してください。
  – **明るさ**（明るさ設定）、**コントラスト**（コントラスト設定）または**彩度**（色調設定）を選択してください。
– **画面比率**：希望のフォーマットを設定してください。
– **オーディオチャンネル**：オーディオ・チャンネルを選択してください。
– **字幕**：機能を有効化すると、字幕が表示されます（利用可能な場合）。
– **チャイルドロック**：番組の再生を制限するには、パスワードを入力し、**OK**を選択して確定してください（デフォルトのパスワード：1234）。
  – **TVのセーフティーレベル**：セーフティ・カテゴリーを選択してください。セーフティ・カテゴリー 5を選択すると、セーフティ・レベル1～5のすべての番組が再生されます。これよりセーフティ・レベルの高い番組の再生はブロックされます。セーフティ・カテゴリーが不要な場合は、**レベル0**を選択してください。
  – **パスコードを変更**：チャイルド・ロック用の新しいパスワードを入力することができます。

インフォメーション

– チャイルド・ロックは現在選局中のTV放送局によってON/OFFを切り替えることができます。
– 誤ったチャイルド・ロック用パスワードを3回入力した場合：
▸ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インフォメーション

無効なまたは損傷したB-CASカードを使用すると、TV受信ができなくなります。
▸ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

電気ソケット

12Vプラグ・ソケットの使用

12Vプラグ・ソケットには、12V仕様の電装品（アクセサリー）を接続できます。
12Vプラグ・ソケットは助手席側の足元にあります。

充電アダプターの接続

インフォメーション

- 12Vプラグ・ソケットおよび接続している電装品（アクセサリー）は、イグニッションがOFFのときでも、キーを抜いた状態でも使用できます。
  エンジンを停止したままアクセサリーを使用すると、バッテリー上がりの原因になります。車両のバッテリーを保護するため、30分後に電源の供給が遮断されます。電装品への電源供給を再開するには、イグニッションをONにしてください。
- 電装品が1つだけ作動している場合、12Vプラグ・ソケットまたはシガー・ライターの最大電流値は20Aです。複数の電装品を同時に使用する場合は、12Vプラグ・ソケットまたはシガー・ライター1つ当たりの電流値が10Aを超えないようにしてください。
- シールドされていない機器を使用すると、ラジオ、TVおよび車両電装品に対する電波干渉の原因となることがあります。

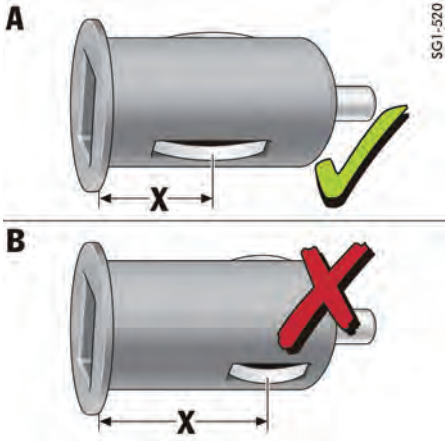


図134: 12Vプラグ・ソケットおよびシガー・ライター用の充電アダプター

A 使用可能な充電アダプター
B 使用できない充電アダプター

知識

電気系統を損傷する恐れがあります。

- 適切な充電アダプター（**A**）のみを使用してください：
  グラウンド端子部から充電アダプター上端までの**寸法X**が**約16mm以下**である必要があります。
- グラウンド端子部から充電アダプター上端までの**寸法X**が16mm以上の不適切な充電アダプター（**B**）を使用すると、12Vプラグ・ソケットが損傷することがあります。

電話

概要

この概要説明は「電話」の章に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作」(229ページ) を参照してください。

図135: 電話番号を入力する

図136: 電話番号を入力する（キーパッド）

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	ページ
携帯電話をBluetooth®で接続する（携帯電話の準備）	▸ PHONE ボタン ▸ **電話を接続** ▸ **新しい電話を検索**	169
接続された2つの携帯電話を切り替える	▸ ヘッドラインの または (**A** および**E**を参照) を選択してください。	170
データ接続を確立する（接続）	▸ SIMカード経由でデータ接続を確立します。	136
番号をダイヤルする	▸ PHONE ボタン ▸ **Keypad（ダイヤル）** (**B**を参照) ▸ 数字フィールド**D**を使用して番号を入力 ▸ を選択してください（**C**を参照）。	171
着信に応答する/拒否する	▸ **Accept（応答）** または **Cancel（キャンセル）** を選択してください。	172
通話を終了する	▸ フッターまたは電話メニューの を選択してください。	172
電話会議を開始する＊	▸ PHONE ボタン ▸ 番号をダイヤルする ▸ **Keypad（ダイヤル）** ▸ ▸ 他の参加者の番号をダイヤルする ▸ ▸	172
ボイスメールを聞く	▸ PHONE ボタン ▸ **Keypad（ダイヤル）** ▸ を押し続けてください。	171
通話履歴を表示する	▸ PHONE ボタン ▸ **Calls（通話履歴）** （**F**を参照）▸ 通話履歴を選択してください。	172
メッセージを表示する＊	▸ PHONE ボタン ▸ **Messages（メッセージ）** (**G**を参照) ▸ **SMS**または**Eメール** ▸ フォルダーを選択してください。	174
連絡先を表示する	▸ PHONE ボタン ▸ **Contacts（連絡先）** (**H**を参照) を選択してください。	173

＊ 日本仕様に設定はありません。

⚠ 警告 事故を起こす恐れがあります

走行中に携帯電話を使用すると、交通状況に対する注意力が低下する恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

- 必ずハンズフリー機器を使用してください。

⚠ 警告 怪我をする恐れがあります

ガソリン・スタンド、燃料貯蔵所、化学工場、およびの爆破作業の近くなど、危険な場所では携帯電話の電源を切ってください。携帯電話は車両の装備品と電波干渉を起こすことがあります。

- 常に法律および各地域の規定、および取扱説明書に従ってください。

インフォメーション

適合する携帯電話の一覧はウェブサイト（www.porsche.com）から入手することができます。

携帯電話をBluetooth®で接続する（携帯電話対応装備）

新しい携帯電話を接続する

✓ 携帯電話のBluetooth®機能を有効にし、他の機器から探索可能な状態にする

✓ PCMのBluetooth®機能を有効にする

▷ 「PCMのBluetooth®機能を有効にする」（169ページ）を参照してください。

1. PHONEボタン ▸ **電話を接続**
   または
   フッターの または（接続状態により異なる）▸ **電話**を選択してください。
2. **新しい電話を検索**を選択し、機器リストから携帯電話を選択してください。
   6桁のBluetooth®コードが生成され、PCMおよび携帯電話に表示されます。
3. PCMと携帯電話に表示されたBluetooth®コードを比較してください。
4. PCMと携帯電話のBluetooth®コードが一致していれば確定してください。
   電話の接続に成功すると、数字入力（メニュー **Keypad（ダイヤル）**）がPCMに表示されます。

インフォメーション

Windows®およびiOS®オペレーティング・システムを搭載した携帯電話については、携帯電話から接続を開始することをお勧めします。

- 携帯電話のBluetooth®メニューから利用可能な機器を検索してください。PHONEボタンを押してPCMを探索可能な状態にしてください。接続操作にはディスプレイに**電話を接続**を表示する必要があります。
- 利用可能な機器リストからPCMを選択してください。PCMのBluetooth®デバイス名を表示させるには、PHONEボタン ▸ OPTボタン ▸ **PHONE 設定** ▸ **Bluetooth** ▸ **名前**を選択してください。

▷ 「Bluetooth® 機能およびデバイスの管理」（175ページ）を参照してください。

PCMのBluetooth®機能を有効にする

1. PHONEボタン ▸ OPTボタン ▸ **PHONE 設定**
2. **Bluetooth** ▸ **Bluetoothを起動**を選択して、PCMのBluetooth®機能を有効にしてください。

インフォメーション

Bluetooth®接続の場合、ハンズフリー・プロファイル（HFP）を介して、携帯電話をPCMに接続することができます。

ハンズフリー・プロファイルを使用すると、PCMは接続された携帯電話のBluetooth®ハンズフリー・ユニットとして機能し、携帯電話によっては電話帳、通話履歴、およびメッセージの内容にアクセスすることができます。そのため、車両を停車した後に現在の通話を携帯電話に転送し、車両の外でも通話を継続することができます。

▷ Bluetooth® のプロファイルに関する詳細な情報は、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

登録済みの携帯電話に接続する

✓ 携帯電話のBluetooth®機能を有効にし、他の機器から探索可能な状態にする
✓ PCMのBluetooth®機能を有効にする
▷ 「PCMのBluetooth®機能を有効にする」（169ページ）を参照してください。
✓ 携帯電話がPCMに既に接続されている

1. （接続状態に応じて）フッターの または を選択してください。
または
PHONEボタン ▸ OPTボタン ▸ **デバイスマネージャー**
2. **電話**を選択してください。
登録されている携帯電話のリストが最大20件表示されます。
3. リストから携帯電話を選択してください。
携帯電話がBluetooth®経由で接続されます。

別の携帯電話を接続して使用する

✓ 携帯電話がPCMに既に接続されている

1. （接続状態に応じて）フッターの または を選択してください。
または
PHONEボタン ▸ OPTボタン ▸ **デバイスマネージャー**
2. **電話2**を選択してください。
3. リストから携帯電話を選択するか、新しい携帯電話を接続してください。
▷ 「新しい携帯電話を接続する」（169ページ）を参照してください。
接続された携帯電話は両方とも受信可能ですが、有効な携帯電話のみ発信を行うことができます。

▸ ヘッドラインの または （168ページ図135の**A**）を選択し、接続された2つの携帯電話を切り替えてください。

Bluetooth®デバイスの削除、またはBluetooth®インフォメーションの表示

1. PHONEボタン ▸ OPTボタン ▸ **PHONE 設定** ▸ **Bluetooth** ▸ **Bluetoothデバイス**
2. リストから携帯電話を選択してください。
3. 登録されたBluetooth®デバイスのリストから任意の携帯電話を削除するには、**消去**を選択してください。
または
Bluetooth®デバイスのインフォメーションを見るには、**詳細**を選択してください。
Bluetooth®アドレス、接続ステータス、および利用可能なBluetooth®プロファイルが表示されます。
または
Bluetooth®デバイスとPCM間の接続を確立する、または切断するには、**接続を確立する/切断**を選択してください。

インフォメーション

開始後、PCMは前のデバイス設定を自動復元しようとします。デバイスが車内にない場合は、システムが他の認識済みデバイスを探索します。

接続ステータスの表示

以下のアイコンがフッターに表示されます（接続状態により異なる）。

シンボル	意味
	電話が接続されていません
	SIMカードが挿入されていることデータ接続を確立することができます。
	SIMカードが挿入されていることLTE携帯電話ネットワークなどを経由してデータ接続が確立されています。
	UMTS/HSPA携帯電話ネットワーク（3G）経由でデータ接続が確立されています。
	EDGE携帯電話ネットワーク（GSM）経由でデータ接続が確立されています。
	電話機能用の携帯電話ネットワーク受信強度を示しています。

デバイス・マネージャーを開く

▷ 「デバイス・マネージャー」（163ページ）を参照してください。

電話番号をダイヤルする

電話番号を入力する（キーパッド）

1. PHONE ボタン ▸ **Keypad（ダイヤル）**
2. 数字フィールドから番号を入力してください。
   電話番号が既知の場合は、選択が提示されます（vCardが表示されます）。
3. を選択してください。

インフォメーション

DTMF（デュアル・トーン・マルチ周波数）トーンおよび付加サービス（＊キー及び＃キーによるコードサービス）に対応しています。

リダイヤル機能を開く

1. PHONE ボタン ▸ **Keypad（ダイヤル）**
2. を選択し、キーパッドで前回ダイヤルした電話番号を表示させてください。
3. を選択してください。

インフォメーション

リダイヤルのメモリーはイグニッションをOFFにすると消去されます。

通話履歴から番号をダイヤルする

▷ 「通話履歴を表示する」（172ページ）を参照してください。

1. PHONE ボタン ▸ **Calls（通話履歴）**
2. 希望の通話履歴を選択し、項目を選択してください。
3. を選択してください。

連絡先から番号をダイヤルする

▷ 「連絡先を使用する」（173ページ）を参照してください。

1. PHONE ボタン ▸ **Contacts（連絡先）**
2. 希望の連絡先を検索し、選択してください。
3. 希望の電話番号をダイヤルしてください。
4. を選択してください。

ボイスメールを聞く

1. PHONE ボタン ▸ **Keypad（ダイヤル）**
2. ボイスメールを聞くには、1 を長押ししてください。

インフォメーション

この機能を最初に使用するときは、ボイスメール番号の入力プロンプトが1回表示されます。

▷ 「電話設定の変更」（175ページ）を参照してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

着信に応答する/通話を終了する

着信に応答する/拒否する

✓ 着信が入ったとき

- **応答**を選択してください。
  または
  携帯電話の通話ボタンを押してください。
  または
  ステアリング・ホイールの通話ボタンを押してください。
- 着信を拒否するには、**拒否**を押してください。
  または
  携帯電話の終話ボタンを押してください。
  または
  ステアリング・ホイールの終話ボタンを押してください。

インフォメーション

携帯電話で「ミュート」または「会議」プロファイルを設定している場合、一部のデバイスでは着信時にPCMの呼び出し音が鳴らないことがあります。

通話を終了する

- フッターまたは電話メニューの を選択してください。
  または
  携帯電話の終話ボタンを押してください。
  または
  ステアリング・ホイールの終話ボタンを押してください。

通話中の各種機能

マイクのミュート

✓ 通話中である

- マイクをミュートするには を選択してください。

通話の保留

✓ 通話中である

- **接続**アイコンの隣にある を選択してください。
  または
  OPTボタン ▸ **通話を保留**を選択してください。
- 通話を再開するには、**保留中**アイコンの隣にある を選択してください。
  または
  OPTボタン ▸ **通話する**を選択してください。

電話会議の開始＊

✓ 通話中である

1. PHONEボタン ▸ **Keypad（ダイヤル）**
2. を選択して、新たな会議を追加してください。
3. 新しい会議を追加するには：
   数字フィールドを使用して新しい電話番号をダイヤルします。
   または
   通話履歴から電話番号を選択します。
   または
   電話帳にある既存の連絡先を選択します。
4. を選択してください。
5. 会議を開始するには を選択してください。
   または
   PHONE ▸ OPT ▸ **会議**

- 会議を保留にするには、PHONE ▸ OPT ▸ **会議を保留**を選択してください。

2つの会議間の切り替え（スワッピング）＊

✓ 通話中である

✓ 通話が保留中である

- 保留中の通話を選択して有効にし、それまで有効だった通話を保留にします。
  または
  PHONEボタン ▸ OPTボタン ▸ **通話を切り替え**

通話履歴を表示する

通話の表示

1. PHONEボタン ▸ **Calls（通話履歴）**
2. 希望のページをブラウズ（スワイプ）してください。
   - **すべての通話**
   - **不在着信**
   - **発信**
   - **着信**
3. 通話履歴から項目を選択してください。
   詳細画面が表示されます。

＊ 日本仕様に設定はありません。

通話を消去

1. PHONEボタン ▸ **Calls（通話履歴）**
2. 希望の通話履歴を選択し、発信者を選択してください。
3. OPTボタンを押してください。
4. PCMの通話履歴から通話を消去するには、**通話を消去**を選択してください。

インフォメーション

車両から発信された通話のみが消去されます。

マルチファンクション・ディスプレイで電話を使用する

マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション：

- ▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールを使用しないマルチファンクション・ディスプレイの操作」（243ページ）を参照してください。
- ▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作」（243ページ）を参照してください。

電話番号をダイヤルする

1. **電話**メニューを選択してください。
2. リストから希望の番号を検索し、項目を選択してください。

– **電話帳**
– **前回の通話**

着信に応答する/拒否する

✓ 着信が入ったとき

▸ **電話**メニューを選択してください。

– **通話応答**
– **通話拒否**

複数の通話を同時に受ける/通話を終了する＊

✓ 通話中である

▸ **電話**メニューを選択してください。

– **新しい通話**：通話中に別の参加者に電話します。
– **切り替え**：個別に通話を行うために、参加者間を切り替えます。
– **会議**：電話会議に参加者を追加します。
– **通話終了** ：通話中の電話を終了します。

連絡先を使用する

連絡先の表示

1. PHONEボタン ▸ **Contacts（連絡先）**

連絡先の検索

右側のアルファベット・ストリップを使用して、希望の連絡先を最初の文字から検索することができます。テキストを入力して検索することも可能です。

1. PHONEボタン ▸ **Contacts（連絡先）** ▸ **連絡先を検索**
2. 入力フィールドに名前を入力してください。結果リストが表示されます。
3. 希望の項目を選択してください。

連絡先の送信

1. PHONEボタン ▸ **Contacts（連絡先）**
2. 連絡先を選択してください。連絡先詳細が表示されます。
3. OPTボタンを押してください。
4. **vCardで送る**を選択してください。
5. 利用可能な状況に応じて、送信（**SMS**、**Eメール**）またはメモリー・オプション（**SD**、**USB**）を選択してください。

連絡先リストの並び替え

1. PHONEボタン ▸ **Contacts（連絡先）** ▸ OPTボタン ▸ **ソート順序**
2. ソート順序**姓、名**または**名、姓**を選択してください。

MyScreenにお気に入りを追加

1. HOMEボタン ▸ **MyScreen** ▸ OPTボタン ▸ **MyScreen 設定**
2. **MyScreen 1**、**MyScreen 2** または **MyScreen 3**を選択してください。
3. カテゴリー**電話**を選択してください。
4. タイル**山田太郎**を左プレビュー側にある任意のコンテナーにドラッグ＆ドロップしてください。タイルは、緑色のエッジが見えるとすぐにコンテナーに挿入することができます。
5. ✕または終了を選択し、**MyScreenを設定**メニューを終了してください。
6. **連絡先を選択するにはここをタッチ**
   連絡先リストが開きます。
7. 希望する連絡先を選択してください。
   連絡先詳細が表示されます。
8. 電話番号をダイヤルしてください。
   選択した画面に連絡先がお気に入りとして保存されます。

＊ 日本仕様に設定はありません。

MyScreenのお気に入りを消去

▷ 「MyScreen を作成する」（233 ページ）を参照してください。

メッセージの表示および消去＊

メッセージ機能により、テキスト・メッセージ（SMS）やEメールを読んだり、音声によりメッセージを読み上げたり、文字メッセージに含まれる電話番号に電話をかけることができます。この機能は、携帯電話がBluetooth®メッセージ・アクセス・プロファイルに対応している場合のみ利用することができます。携帯電話はテキスト・メッセージ機能に対応していても、Eメール機能には対応していないことがあります。この設定に関する詳しい情報は、お使いの携帯電話の取扱説明書を参照してください。

インフォメーション

– 携帯電話がデバイスのメモリーに保存されているテキスト・メッセージしか表示できない場合、車両で受信したテキスト・メッセージは携帯電話メッセージ・リストには表示されません。
– PCMはマルチメディア・メッセージング・サービス（MMS）に対応していません。

テキスト・メッセージの表示

1. PHONE ボタン ▸ **Messages（メッセージ）** ▸ **SMS**
2. ▸ フォルダーを選択してください。
3. 希望のテキスト・メッセージを選択してください。

Eメールの表示

1. PHONE ボタン ▸ **Messages（メッセージ）** ▸ **Eメール**
2. Eメール・アカウントを選択してください。
   受信トレイが開きます。最大で100件のEメールが表示されます。
3. 必要に応じて、 ▸ フォルダーを選択してください。
4. 希望のEメールを選択してください。

インフォメーション

多く携帯電話は、複数のアカウントからのPCMへのEメール転送に対応していません。多くの場合、メーカー固有のアプリによって管理されたEメールのみが転送されます。

メッセージを聞く（テキスト、Eメール）

1. PHONE ボタン ▸ **Messages（メッセージ）**
2. **SMS**または**Eメール**メニューを選択してください。
3. ▸ フォルダーを選択してください。
4. 希望のテキスト・メッセージまたはEメールを選択してください。
5. **Read out（読み上げ）** を選択してください。

メッセージの削除（テキスト、Eメール）

1. PHONE ボタン ▸ **Messages（メッセージ）**
2. **SMS**または**Eメール**メニューを選択してください。
3. ▸ フォルダーを選択してください。
4. 希望のテキスト・メッセージまたはEメールを選択してください。
5. OPT ボタンを押してください。
6. **消去**メッセージを選択してください。
   メッセージが消去されます。

メッセージの作成

SMSの作成

1. PHONE ボタン ▸ **Messages（メッセージ）** ▸ **SMS**
2. ▸ **新しいSMS**を選択してください。
3. 入力フィールドに受信者の番号を入力してください。
   または
   電話帳にある既存の連絡先を選択します。
4. テキスト・ボックスを選択してください。
5. 入力フィールドにテキストを入力し、**OK**で確定してください。
6. **Send（送信）** を選択してください。
   メッセージが送信されます。

＊ 日本仕様に設定はありません。

Eメールの作成

1. PHONE ボタン ▸ **Messages (メッセージ)** ▸ **Eメール**
2. ▸ **新しいEメール**を選択してください。
3. 入力フィールドに受信者のEメール・アドレスを入力してください。
   または
   電話帳にある既存の連絡先を選択します。
4. テキスト・ボックスを選択してください(件名など)。
5. 入力フィールドにテキストを入力し、**OK**で確定してください。
6. **Send (送信)** を選択してください。
   Eメールが送信されます。

設定の変更

通話中の設定 (プライベート・モード)

✓ 携帯電話がBluetooth®および ハンズフリー・プロファイル(HFP)を介して接続されている
✓ 通話中である

1. PHONE ボタン ▸ OPT ボタン
2. 以下から希望の設定を選択してください。

– **プライベート・モードを起動**:通話はハンズフリー機器から電話に転送されます。

電話設定の変更

1. PHONE ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **PHONE 設定** ▸ **電話**
2. 以下から希望の設定を選択してください。

– **通信事業者検索**:通信事業者を選択するか、または自動通信事業者選択を作動します。
– **メールボックス・ナンバー**:接続している携帯電話のメールボックス電話番号を表示または変更します。
– **シリアル・ナンバー**:PCM 電話モジュールのIMEIシリアル・ナンバーを表示します。

Bluetooth®機能およびデバイスの管理

1. PHONE ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **PHONE 設定** ▸ **Bluetooth**
2. 以下から希望の設定を選択してください。

– **新しいデバイスを追加する**:新しいBluetooth®デバイスを検索し、PCMに登録します。
– **Bluetoothデバイス**:登録したBluetooth®デバイスを管理し、登録したBluetooth®デバイスをPCMに接続します。
▷ 「Bluetooth®デバイスの削除、またはBluetooth®インフォメーションの表示」(170ページ) を参照してください。
– **Bluetoothを起動/Bluetoothを停止**:Bluetooth®機能をON/OFFにします。
– **備考:電話を忘れないでください**:車両を離れるときは、接続したBluetooth®デバイスのリマインダーを作動させてください。
– **名前**:PCMのBluetooth®名を設定 します。

データ接続の設定

1. PHONE ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **PHONE 設定** ▸ **データ接続**
2. 以下から希望の設定を選択してください。

– **データ接続**:
  – **ON**:常にデータ接続を許可します。
  – **Off**:データ接続をOFFにします。
  – **プロンプト**:データ接続を使用する前に、データ接続を許可するかを確認するメッセージが表示されます。
– **ローミング**:他のネットワークのデータ接続を許可する/許可しません。
– **設定をリセット**:APN設定を工場出荷時の設定に戻します。
▷ APNの設定に関するインフォメーション:「ポルシェ専用SIMカードを使用してデータ接続を確立する」(136ページ) を参照してください。

連絡先の管理

1. PHONE ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **PHONE 設定** ▸ **連絡先**
2. 以下から希望の設定を選択してください。

– **連絡先メモ**：使用している連絡先メモリーを表示します。
– **ソート順序**：姓または名で、携帯電話に保存されている連絡先を並び替えます。
– **連絡先を移動する**：Bluetooth® 経由で接続されている携帯電話、またはSIMカードの連絡先をPCMに手動で移動することができます。

着信音設定の変更

✓ 携帯電話がPCMに接続されている

1. PHONE ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **PHONE 設定** ▸ **着信音設定**
2. 以下から希望の設定を選択してください。

以下のオプションが設定可能です。

– **着信音を選択**：接続している携帯電話がBluetooth®経由で着信音を送信しない場合、PCMの着信音を設定します。
– **着信音量**：着信音量を設定します。
– **マイク音量**：電話マイクの音量を設定します。
– **メッセージの受信音**：メッセージの受信音を設定またはOFFにします。

盗難を防止するために

盗難を防止するために

車両から離れるときは、必ず次のことを守ってください：

- ウィンドウを閉じてください。
- コンバーチブル・トップを閉じてください。
- エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。
- キーを抜き取ってください（またはポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにしてください）。
- グローブ・ボックスを閉じてください。
- すべての小物入れを閉じてください。
- 貴重品、車両の登録書類、携帯電話機、自宅の鍵などを車内に残さないでください。
- ラゲッジ・コンパートメント・リッドを閉じてください。
- 車両をロックしてください。

イモビライザー

各キーには、コード信号が保存されたトランスポンダー（電子回路）が組み込まれています。イグニッションをONにする前に、イグニッション・ロックがコードを照合します。

あらかじめ登録されているキーを使用したときのみイモビライザーが解除され、エンジンを始動することができます。

ステアリング・コラムのロック解除/ロック

ポルシェ・エントリー＆ドライブ非装備車

ステアリング・コラムを自動的にロック解除する

- キーで車両のロックを解除してください。
  または
  キーをイグニッション・ロックに差し込んでください。

ステアリング・コラムを自動的にロックする

- キーを抜き取ってください。

ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車

ステアリング・コラムを自動的にロック解除する

- ポルシェ・エントリー＆ドライブを使用して、運転席ドアを開いてください。
  または
  イグニッションをONにしてください。

ステアリング・コラムを自動的にロックする

- イグニッションをOFFにした状態で、運転席ドアを開いてください。
  または
  車両をロックしてください。

ドライビング・データの表示（トリップ情報）

トリップ・メニューには、走行時間、走行距離、平均車速、平均燃費などの一連のドライビング・データが表示されます。

インフォメーション

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の操作に関するインフォメーション:

▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント（PCM）の操作」（229ページ）を参照してください。

マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション:

▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールを使用しないマルチファンクション・ディスプレイの操作」（243ページ）を参照してください。

▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作」（243ページ）を参照してください。

マルチファンクション・ディスプレイにドライビング・データを表示する

1. **トリップ** ・メニューを選択してください。
2. リストから項目を選択してください。

– **以降**：現在運転中のドライビング・データです。イグニッションOFFで2時間以上停車すると、ドライビング・データが自動的にリセットされます。
– **連続**：ドライビング・データはリセットするまで蓄積されます。ドライビング・データは、イグニッション・キーをOFFにして長時間駐車した場合でも保持されます。
– **目的地まで**：ルート案内を開始すると目的地までのドライビング・データが計算され、表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイでドライビング・データをリセットする

1. **トリップ** ▸ **リセット**
2. リストから項目を選択してください。

– **以降**
– **連続**
– **すべて**：**以降**および**連続**のドライビング・データをリセットします。

PCMのドライビング・データを表示する/リセットする

1. CAR ボタン ▸ **Trip（トリップ）**
2. 希望の表示レベルを閲覧（スワイプ）してください。

– **パーソナル・トリップ**：必要に応じて、ドライビング・データを4つのデータ・フィールドにグループ分けできます。
– **からのトリップ**：現在運転中のドライビング・データです。イグニッションをOFFにした状態で2時間以上停車すると、ドライビング・データが自動的にリセットされます。
– **トリップ合計**：ドライビング・データはリセットするまで蓄積されます。ドライビング・データは、イグニッション・キーをOFFにして長時間駐車した場合でも保持されます。

3. **リセット**を選択して希望の走行データをリセットしてください。

PCMのパーソナル・ディスプレイの内容を設定する

パーソナルトリップ・メニューでは、個々のデータ・フィールドの内容を個別に設定することができます。日付、時刻、外気温、到着時刻、平均車速、燃費データなどの一般情報、およびナビゲーション・エリアから選択された様々なデータ・フィールドの車両パラメーターから選択することができます。

1. CAR ボタン ▸ **Trip（トリップ）** ▸ **パーソナルトリップ** ▸ **Config**
2. 変更したいデータ・フィールドを選択してください。
3. データ・フィールドの希望のコンテンツを選択してください。

インフォメーション

メニュー項目**次のガソリンスタンドまでの距離**をデータ・フィールドに指定した場合、タッチスクリーンに表示されたシンボルを素早く押すと、このガソリン・スタンドまでのルート計算が開始されます。
このガソリン・スタンドまでのルート案内開始を選択してください。

トランスミッション

マニュアル・トランスミッションによる走行

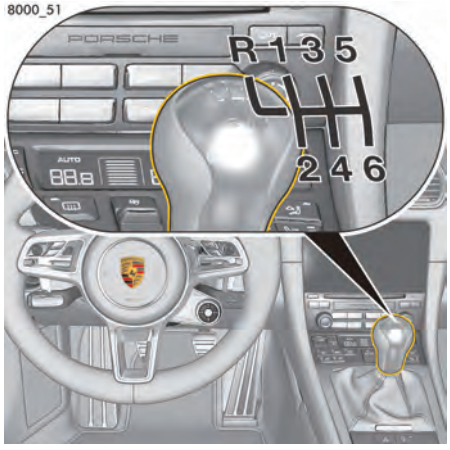


図137: ギヤ・レバーのシフト・パターン

⚠ 警告 ペダル操作の妨げ

不適切なフロア・マット、正しく固定されていないフロア・マット、またはその他の障害物はペダルの可動域を制限したり、またはペダル操作の妨げになる可能性があります。

- フロア・マットなどでペダルの動きを妨げないようにしてください。

- 変速するときはクラッチ・ペダルをしっかりと踏み込み、ギヤ・レバーを確実に操作してください。
- 上り坂ではエンジン・パワーを有効に使用できるように、また下り坂では十分なエンジン・ブレーキがかかるように、適切なギヤを選んでシフトダウンしてください。

トランスミッションをニュートラルにシフトする

トランスミッションのニュートラル位置は3速ギヤと4速ギヤの間にあります。

リバース（後退）に入れる

- ギヤをリバース（後退）に入れるときは完全に停車してから行ってください。
- リバース・ギヤには、ギヤ・レバーを左にいっぱいまで動かした後にシフトすることができます。
  イグニッションONでギヤ・レバーをリバース（後退）に入れると、リバース・ライトが点灯します。

締結ギヤを表示する

タコメーター内のギヤ・ポジション・ディスプレイ**B**は現在締結されているギヤを表示します。

シフトアップ・インジケーターを使用した走行

図138: シフトアップ・インジケーター**A**およびギヤ・インジケーター**B**

燃費重視の運転を促すシフトアップ・インジケーター**A**は、ドライバーが経済的な運転をできるように支援します。

現在選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセル・ペダルの踏み込み量に応じてこのインジケーターが点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

- シフトアップ・インジケーターが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

エンジン許容回転数を遵守する

- タコメーター（回転計）の指針が赤色のエリア（レッドゾーン）に到達する前に、1段高いギヤにシフトアップするか、アクセル・ペダルをゆるめてください。

加速中、エンジン回転数がタコメーターの赤色のエリア（レッドゾーン）に到達すると、燃料の供給が遮断されます。

知識

低いギヤにシフトダウンする場合に、エンジンの過回転（オーバーレブ）が原因でエンジンを損傷する恐れがあります。

- 低いギヤにシフトダウンするときは、エンジンが最高許容回転数を超えないように注意してください。

Porsche Doppelkupplung（PDK）による走行

Porsche Doppelkupplung（PDK）はオートマチック・モードとマニュアル・セレクション・モードを備えた7段変速トランスミッションです。

オートマチック・モード（セレクター・レバーが**D**の位置）では、変速が自動的に行われます。ステアリング・ホイールのシフト・パドルを操作することにより、一時的にオートマチック・モードからマニュアル・モードに切り替えることができます。

マニュアル・モード（セレクター・レバーが**M**の位置）では、セレクター・レバーまたはステアリング・ホイールのシフト・パドルの操作で変速できます。

セレクター・レバーの**D**と**M**は、走行中でも切り替えることができます。

- オートマチックとマニュアルのどちらのモードにあるときでもステアリング・ホイールのシフト・パドルを誤って操作しないように注意してください。トランスミッションが思わぬタイミングで変速されます。

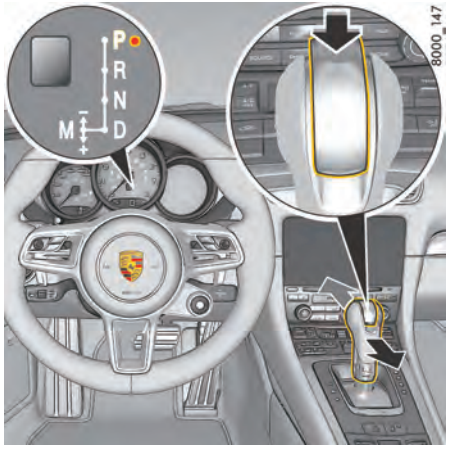


図139: セレクター・レバーの操作

セレクター・レバーの操作

イグニッションがOFFのとき、セレクター・レバーは動かないように**P**位置に固定されます。

イグニッションがONの場合、リリース・ボタンを押し、ブレーキ・ペダルを踏んでいるときのみ、セレクター・レバーを**P**および**N**の位置から動かすことができます。

ロック解除ボタン

セレクター・レバーのロック解除ボタン（**矢印**）は、ギヤ・シフトの誤操作を防止するための機構です。

セレクター・レバーを**R**または**P**の位置にシフトするときは、このロック解除ボタンを押さなければなりません。

エンジンの始動

セレクター・レバーが**P**か**N**の位置にあり、ブレーキ・ペダルを踏んだ状態でないとエンジンを始動することはできません。

車両の発進

- エンジンがアイドリング状態で、ブレーキ・ペダルを踏んでいるときのみ、走行位置（**D**、**M**、**R**）にシフトしてください。
- セレクター・レバーを走行位置に動かすと車両がゆっくりと動き出します。発進の準備が整うまでブレーキ・ペダルから足を放さないでください。

坂道での発進

発進アシスタントにより坂道で発進しやすくなります。ドライバーがフット・ブレーキを解除した直後にブレーキ・ペダルからアクセル・ペダルに踏み替える時間を確保するため、短時間のみ車両がその位置に保持されます。

▷ 「HOLD機能：発進アシスタント、停止制御」（298ページ）を参照してください。

停車

- 信号待ちなど短時間の停車時は、セレクター・レバーを走行位置のまま保持し、ブレーキ・ペダルを踏んでください。
- 上り坂ではアクセル・ペダルを踏みながら停止位置を保つようなことはしないでください。ブレーキ・ペダルを踏むか、エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。
- 車両から離れるときは、必ずエレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させ、セレクター・レバーを**P**の位置にしてください。

駐車

- アクセル・ペダルは慎重に操作してください。
- 特に、狭い場所で駐車や移動をする場合は、フット・ブレーキを使用して速度を調節してください。

図140: セレクター・レバー・ポジション・インジケーターおよびギヤ・ポジション・インジケーター

セレクター・レバー・ポジション・インジケーターおよびギヤ・ポジション・インジケーターを読み取る

エンジン作動中に、セレクター・レバー位置および選択されたギヤが表示されます。

セレクター・レバーが2つのポジションの間にある場合は、該当するセレクター・レバー・ポジションが点滅し、マルチファンクション・ディスプレイに警告が表示されます。

処置：

- フット・ブレーキを踏んで、セレクター・レバーを正しい位置に動かしてください。

ブレーキを踏んでいない状態で不意にセレクター・レバーが**P**または**N**位置から動いてギヤに入ってしまった場合（故障または誤った操作で）、シフト・インジケーターが点滅し、駆動力がカットされます。

- 発進するには、ブレーキ・ペダルを踏み、セレクター・レバーを再び**P**または**N**から希望のギヤに入れてください。

インストルメント・パネルのセレクター・レバー位置RまたはDが点滅する

駆動力が伝達されません。

原因：

– フット・ブレーキを踏まずにセレクター・レバーを切り替えた
– 最高許容速度以上でセレクター・レバーをRにシフトした

処置：

▸ ブレーキ・ペダルを踏み、セレクター・レバーを再びPまたはNから希望するギヤに入れてください。

セレクター・レバー・ポジション

P – パーキング・ロック

▸ 車両が完全に停止してからパーキング・ロックをかけてください。
セレクター・レバー・ポジションPが点滅している場合、パーキング・ロック がかかっていません。車両が不意に動き出す恐れがあります。
セレクター・レバーを再びRからPの位置に入れてください。

ポルシェ・エントリー＆ドライブ非装備車：

キーは、セレクター・レバーがPの位置にあるときのみ、抜き取ることができます。

R – リバース・ギヤ

▸ 車両が完全に停止し、ブレーキをかけてからシフトしてください。

N – ニュートラル

けん引するときや自動洗車機を使用するときなどは、セレクター・レバーをNの位置にしてください。

▸ エンジンがアイドリング状態で、ブレーキ・ペダルを踏んでいるときのみ、走行位置（D、M、R）にシフトしてください。

D – オートマチック・モード

▸ 「通常」の走行時には、セレクター・レバーのDの位置を使用してください。
車速とアクセル・ペダルの踏み込み方により、ギヤが自動的に切り替わります。

インフォメーション

ステアリング・ホイールのシフト・ボタンを操作することにより、一時的にオートマチック・モードDからマニュアル・モードMに切り替えることができます。

例えば、以下のような状況ではこの操作を行ってください。

– コーナー前でシフトダウンしたいとき
– 下り坂でエンジン・ブレーキをかけるためにシフトダウンしたいとき
– 急加速時にシフトダウンしたいとき

次の場合は、マニュアル・モードが維持されます。

– オーバーラン時
– 車両が交差点などで停車した場合

次の場合は、マニュアル・モードが解除されます。

– オーバーラン時以外は、自動的に約6秒後
– 発進後

M – マニュアル・モード

図141: オートマチック・モード

▸ セレクター・レバーをDからMの位置に押してください。
現在のギヤは、DからMにシフトしてもそのまま維持されます。

MからDにシフトした場合は、現在のドライビング・スタイルに適した変速特性が選択され、適切なギヤにシフトされます。

図142: シフト・パドル付きステアリング・ホイール

セレクター・レバーまたは右「+」シフト・パドルでのシフトアップ

- セレクター・レバーまたは右側シフト・パドルを手前に引いてください。

セレクター・レバーまたは左「–」シフト・パドルでのシフトダウン

- セレクター・レバーを前方に押してください。または左側シフト・パドルを手前に引いてください。

シフト・パドルを使用してN – ニュートラルにシフトする

- 両方のシフト・パドルを同時に引いて、すぐに放してください。
  トランスミッションは**N** – ニュートラルにシフトします。
  車両はエンジンを切り離した状態でアイドル回転数で走行し、エンジン・ブレーキの効果は得られません。ギヤ・インジケーターの数値は消灯し、セレクター・レバー・ポジションが点滅します。

いずれかのシフト・パドルを引くか、セレクター・レバーを操作すると、再びギヤが締結します。

低燃費走行のためのシフトアップ・インジケーター

燃費重視の運転を促すシフトアップ・インジケーター**A**は、ドライバーが経済的な運転をできるよう支援します。

現在選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセル・ペダルの踏み込み量に応じてこのインジケーターが点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

- シフトアップ・インジケーターが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

図143: シフトアップ・インジケーター **A**

キックダウン機能を作動させる

キックダウン機能はセレクター・レバーが**D**のときに作動します。

- 追い越し時などで大きな加速力が必要な場合は、アクセル・ペダルを素早くいっぱいに（キックダウンの位置まで）踏み込んでください。
  車速とエンジン回転数に応じて、トランスミッションがシフトダウンされます。
  そのギヤでのエンジン回転数の許容上限に達するまで、シフトアップされません。

惰性走行モードで走行する

惰性走行とは、車両がエンジンを切り離した状態でアイドル回転数で走行し、エンジン・ブレーキの効果が得られない状態をいいます。この標準機能は、燃費と乗り心地の向上を目的として自動的に作動します。アクセル・ペダルを通常通り完全に放すと惰性走行モードになります。加速するためにアクセル・ペダルを踏み込むと、エンジンが素早く再始動し、惰性走行が終了します。

自動惰性走行モードの作動条件

✓ セレクター・レバーが**D**位置で走行している
✓ クルーズ・コントロールが作動していない
✓ エンジン、トランスミッション、バッテリーが作動温度に達している
✓ ゆるやかな上り/下り勾配

惰性走行モードを手動で開始する

交通状況に応じて、惰性走行を手動で開始し、慎重に運転することで効率を向上することができます。このためには、シフト・パドルまたはセレクター・レバーを操作して、可能な限り高いギヤに手動でシフトアップしてください。

例えば、前走車や赤信号に接近するときは、エンジン・ブレーキを積極的に使用してください。ブレーキをより強く踏むか、シフト・パドルまたはセレクター・レバーを操作することで、エンジンへの燃料供給を効果的に節約できます。

ローンチ・コントロールを使用した発進

✓ PDK装備車

ローンチ・コントロールは停車状態から最大加速度で発進することができるシステムです。

⚠ 警告 車両のコントロールの喪失、または他の通行者への危険

特定の状況（路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど）では、車両の制御が失われたり、他のドライバーに危険がおよぶ恐れがあります。

- 路面状況や周囲の交通状況から判断して、安全が確保できる場合に限ってローンチ・コントロールを使用してください。
- ローンチ・コントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険がおよばないようにしてください。

i インフォメーション

通常の発進に比べて、最大加速での発進が構成部品に与える負荷は劇的に増大します。

✓ エンジンが作動温度に達している
✓ スポーツ・プラス・モードをONにしている
1. 左足でブレーキ・ペダルを踏んでください。
2. 素早くアクセル・ペダルをいっぱいに踏み込んで、そのまま保持してください。
   エンジン回転数が約6,000rpm以上に維持されます。
   マルチファンクション・ディスプレイにローンチ・コントロールが有効であることを示すメッセージが表示されます。
3. 数秒以内にブレーキを解除してください。

トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システム

システム/名称	適用	ページ
PSM ポルシェ・スタビリティ・マネージメント	– ドライビング・スタビリティ・コントロール – アンチロック・ブレーキ・システム（ABS） – ブレーキ・システム・プレフィル – ブレーキ・ブースター（油圧ブレーキ・アシスト） – オートマチック・ブレーキ・ディファレンシャル（ABD） – アンチ・スリップ・コントロール（ASR） – エンジン・ドラッグ・トルク・コントロール（MSR） – ステアリング・トルク・パルス – HOLD機能：マニュアル・トランスミッション装備車の発進アシスタント、PDK装備車の停止制御	239
PASM ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント	– 無段階補正コントロール付きショック・アブソーバー・システム	226
PADM ポルシェ・アクティブ・ドライブトレイン・マウント	– ダイナミック・エンジン・マウントは、感じられるほどの振動やドライブトレイン全体の振動を自動的に最小限に抑制します。 – スポーツ・モードをONにすると、ドライブトレイン/ボディ間の結合がより強固な状態になり、スポーティーなドライビング・スタイルになります。 – スポーツ・プラス・モードをONにすると、ドライブトレイン/ボディ間の結合がレース・サーキットでの走行に最適となります。	–
PTV ポルシェ・トルク・ベクトリング	– より俊敏なコーナリングのためのラテラル・ダイナミック・ブレーキ制御 – ロック率非対称型リヤ・ディファレンシャル・ロック	–

ナビゲーション

概要

この概要説明は「ナビゲーション」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント（PCM）の操作に関するインフォメーション：

▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント（PCM）の操作」（229ページ）を参照してください。

図144: 目的地入力

図145: マップ・ビュー

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	ページ
目的地を検索する	▸ NAV ボタン ▸ **検索**または**オンライン検索**（Aを参照）▸ 目的地を入力/選択してください。	186
ポルシェ・コンシェルジュ・サービスを開始する	▸ NAV ボタン ▸ **ポルシェ・コンシェルジュ**（Bを参照）▸ **コンシェルジュサービスに連絡**を選択してコンシェルジュを呼び出してください。	186
目的地住所を入力する	▸ NAV ボタン ▸ **県、市/区**（Cを参照）▸ 目的地住所を入力してください。	187
前回の目的地を選択する	▸ NAV ボタン ▸ **前回の目的地** ▸ リストから項目を選択してください。	187
施設情報を入力する	▸ NAV ボタン ▸ **施設** ▸ 施設情報のオプションを選択 ▸ POIを選択してください。	187
地図コードを入力する	▸ NAV ボタン ▸ **地図コード** ▸ 地図コードを入力してください。	
連絡先から目的地を選択する	▸ NAV ボタン ▸ **Fav（登録地）**★（Dを参照）▸ **連絡先**ページをブラウズ（スワイプ）する ▸ リストから項目を選択してください。	187
すぐにルート案内を開始/停止する	▸ MAP ボタン ▸ **Start（開始）** または **Stop（停止）**（Hを参照）を選択してください。	188
経由地を入力する/ツアーを計画する	▸ NAV ボタン ▸ 目的地を入力する ▸ **New（新規）**（Eを参照）▸ 経由地を入力する ▸ **Add（追加）**を選択してください。	188
保存したツアーを開始する	▸ NAV ボタン ▸ **Fav（登録地）**★（Dを参照）▸ **保存した目的地**ページをブラウズ（スワイプ）する ▸ **ツアー** ▸ ツアーを選択する ▸ **開始**を選択してください。	188
交通情報を表示する	▸ NAV ボタン/ MAP ボタン ▸ **VICS**（Fを参照）を選択してください。	191
ルートを表示および編集する	▸ NAV ボタン/ MAP ボタン ▸ **Route（ルート）**（Gを参照）を選択してください。	189
道路通行料自動徴収システム（ETC 2.0）を設定する	▸ CAR ボタン ▸ **Toll（料金）**を選択してください。	194

⚠ 警告 事故を起こす恐れがあります

ポルシェ・ナビゲーション・システムは、目的地まで快適に到着できる走行ルートを案内し、ドライバーを補助します。案内されたルートが実際の交通規則と反する場合は、必ず実際の交通規則に従って走行してください。ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

- 常に周囲の交通状況に注意してください。
- 視界、天候、路面、および交通状況に合わせたドライビング・スタイルと速度で走行してください。

図146: 目的地入力

目的地を検索する（検索/オンライン検索）

検索機能を使用して検索すると、PCMの内部データベースにアクセスします。インターネットで目的地を検索するには、**オンライン検索**機能を利用してください。

✓ **オンライン検索**：オンライン検索を行うにはデータ接続を確立する

▷ 「データ接続を確立する（接続）」（136ページ）を参照してください。

1. NAVボタンを押してください。
2. **検索**または**オンライン検索**を選択してください（図146の**A**）。
3. 検索語句を入力してください（例：都道府県、市区町村、名前）。
4. 候補のリストから希望の項目を選択してください。
5. **Start（開始）**を選択してください。

ポルシェ・コンシェルジュ・サービスを開始する**

コンシェルジュ・サービスはドライバーのパーソナル・アシスタントです。リクエストに応じて、ナビゲーション・データを希望の施設、または個々の目的地をPCMに直接送信することでドライバーをサポートします。

✓ 挿入されたSIMカードにより、データ接続が正常に確立されている

✓ 携帯電話がPCMに接続されている

▷ 「携帯電話をBluetooth®で接続する（携帯電話対応装備）」（169ページ）を参照してください。

** 掲載のサービスは2017年度以降の提供を予定しております。
サービス開始時期等詳細に関しましては当社Webサイトに掲載予定です。

✓ Apple® CarPlayを使用していない

1. NAVボタンを押してください。
2. **ポルシェ・コンシェルジュ**を選択してください（図146の**B**）。
3. コンシェルジュを呼び出すには、**コンシェルジュサービスに連絡**を選択してください。
4. 呼び出しを開始することを**承認**してください。
5. コンシェルジュ・エージェントと会話を開始し、施設情報または個々の目的地を要求してください。
   コンシェルジュが通話を終了させた後に、ナビゲーション目的地が送信されます。そのため、先に通話を終了させないでください。
6. POIまたは個々の目的地を選択してください。
7. **Start（開始）**を選択してください。

インフォメーション

- 現在位置、ナビゲーション目的地の地理的位置などのコンシェルジュ・サービス・データの使用時は、車両識別データ、言語設定がコンシェルジュ・コンタクト・センターに転送される場合があります。
- 1回のコンシェルジュ・サービスにつき、最大5つの目的地のナビゲーション・データをPCMに送信することができます。

目的地住所の入力

1. NAVボタンを押してください。
2. **県**または**市/区**を選択してください(図146の**C**)。
3. 住所を入力してください（県、市/区、施設情報、または地図コードなど)。
4. リストから希望の項目を選択してください。
5. **Start（開始）**を選択してください。

保存した目的地または連絡先の使用（前回の目的地）

1. NAVボタンを押してください。
2. **前回の目的地**を選択してください。
3. 希望のページをブラウズ（スワイプ）してください。
   - **前回の目的地**：前回使用した目的地
   - **保存した目的地**：お気に入りとして保存した目的地。「保存した目的地の呼び出し（お気に入り)」(189ページ）を参照してください。
   - **連絡先**：接続している電話に保存されている連絡先住所
4. リストから項目を選択してください。
5. **Start（開始）**を選択してください。

施設情報の入力

1. NAV ▸ **施設**
2. 希望する施設情報オプションを選択してください（**目的地周辺検索**など)。
3. 施設情報カテゴリーまたは施設情報を入力または選択してください。
4. **Start（開始）**を選択してください。

インフォメーション

NAV ▸ **Nav(ナビ)** ▸ **施設情報** ▸ 希望の施設情報オプション（例：**目的地周辺検索**）▸ **ポータルリストPOI**を選択して、ポルシェ・コネクト・ポータルから他の施設情報カテゴリーを読み込んでください。

▷ 「ポルシェ・コネクトへのログイン」(137ページ）を参照してください。

地図コードを使用した目的地の入力

1. NAVボタン ▸ **地図コード**
2. 希望する目的地の**地図コードを入力してください。**
3. ポップアップ・リスト内から希望の地図コード位置を選択してください。
   - **料金所**
   - **フェリー**
   - **高速道路**
   - **その他**
4. **Start（開始）**を選択してください。

GPS座標を使用した目的地の入力

✓ ルート案内がまだ開始されていない

1. NAVボタン ▸ OPTボタン ▸ **GPS座標を入力**
2. GPS座標を入力し、**OK**をクリックして確定してください。
3. **Start（開始）**を選択してください。

地図からの目的地入力

✓ ルート案内がまだ開始されていない

1. MAPボタンを押してください。
2. 地図上で目的地を選択してください（必要に応じて、ボタンを長押しする)。
3. ヘッドラインに表示された目的地を選択してください。
   目的地の詳細が表示されます。
4. **Start（開始）**を選択してください。

ツアーの計画（経由地の入力）

ツアーは1つの目的地、および1箇所～8箇所までの経由地で構成されます。

ツアーの入力および保存

1. NAVボタンを押してください。
2. 目的地を入力し、ルート案内を開始してください。
3. **Route（ルート）**を選択してください。
4. **ツアー**を選択してください。
5. **New（新規）**を選択してください。
6. 経由地を入力してください。
7. **Add（追加）**を選択してください。
8. ツアー名を入力し、**OK**をクリックして確定してください。
   ツアーが保存されます。

インフォメーション

経由地は後で変更することができます。
NAVボタン ▸ **Route（ルート）** ▸ **ツアー**を選択し、該当する経由地を押したまま希望の位置に移動させてください。

保存したツアーの呼び出し

✓ ツアーが保存されている

1. NAVボタン ▸ **Fav（登録地）**
2. **保存した目的地**ページをブラウズ（スワイプ）してください。
3. **ツアー**を選択してください。
4. 希望するツアーを選択してください。
5. **Start（開始）**を選択してください。

マルチファンクション・ディスプレイでの目的地の入力

マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション：

▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールを使用しないマルチファンクション・ディスプレイの操作」（243ページ）を参照してください。

▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作」（243ページ）を参照してください。

1. **ナビゲーション** ▸ **目的地入力**
2. 希望のリストを選択してください。
   – **前回の目的地**：前回使用した目的地
   – **保存した目的地**：恒久的に保存した目的地
3. リストから項目を選択して、ナビゲーションを開始してください。

ルート案内の開始/停止

目的地入力メニューでのルート案内の開始

✓ 目的地データが入力されている
✓ ルート案内がまだ開始されていない

▸ NAVボタン ▸ **開始**

目的地入力によるルート案内の開始

✓ 目的地データが入力されている
✓ ルート案内がまだ開始されていない
✓ 詳細画面で目的地が表示されている

▸ **Start（開始）**を選択してください。

目的地入力メニューでのルート案内の停止

✓ ルート案内を開始している

▸ NAVボタン ▸ **ルート案内の停止**
または
Stop（停止）を選択してください。

マルチファンクション・ディスプレイによるルート案内の開始および停止

✓ 目的地データが入力されている
✓ ルート案内がまだ開始されていない

1. **ナビゲーション**メニューを選択してください。
2. 希望の項目を選択してください。

– **ルート案内の開始**：ルートを計算します。
– **ルート案内の停止**：ルート案内を停止します。

目的地の保存、および保存した目的地の呼び出し（お気に入り）

目的地の保存（お気に入り）

✓ 目的地データが入力されている
✓ ルート案内が開始されていない

1. **Save（保存）**を選択してください。
2. **OK** をクリックして目的地名を確定してください。
   目的地が保存されます。
   または
   目的地名を変更し、**OK**をクリックして確定してください。
   目的地は、入力した名前で保存されます。
   または
   すでに割り当てられている名前（**自宅**など）をリストから選択し、**OK**をクリックして確定してください。
   既存の名前の目的地情報は、新しい情報で上書きされます。

インフォメーション

目的地は、NAVボタン ▸ **Fav（登録地）** ★ ▸ **保存した目的地** ▸ **お気に入りとして保存**を使用して保存することもできます。

保存した目的地の呼び出し（お気に入り）

1. NAVボタン、またはMAPボタン ▸ **Fav（登録地）** ★
2. 希望のページをブラウズ（スワイプ）してください。
   - **前回の目的地**：前回使用した目的地
   - **保存した目的地**：お気に入りとして保存した目的地またはツアー
   - **連絡先**：接続している電話に保存されている連絡先住所
3. リストから項目を選択してください。

インフォメーション

ポルシェ・コネクト・ポータルから他の目的地を読み込むには、NAVまたはMAPボタン ▸ **Fav（登録地）** ★ ▸ **保存した目的地** ▸ **ポータルパーソナルPOI**の順に選択してください。

▷ 「ポルシェ・コネクトへのログイン」（137ページ）を参照してください。

目的地およびツアーの消去または編集

1. NAVボタン、またはMAPボタン ▸ **Fav（登録地）** ★
2. 希望のページをブラウズ（スワイプ）してください。
   - **前回の目的地**：前回使用した目的地
   - **保存した目的地**：お気に入りとして保存した目的地
   - **連絡先**：接続している電話に保存されている連絡先住所
3. リストから項目を選択してください。
4. OPTボタンを押してください。
5. 希望の項目を選択してください。
   - **名前の変更**
   - **消去**
   - **お気に入りを地図上に表示**

インフォメーション

保存したすべての目的地またはツアーを消去するには、リストから項目を選択する前に、NAVボタンまたはMAPボタン ▸ **Fav（登録地）** ★ ▸ OPTボタンを選択してください。

ルートの表示および編集

✓ ルート案内が開始されている

1. NAV / MAPボタン ▸ **Route（ルート）**
2. オプションを選択して、設定を変更してください。

- **ルートオプション**：
  - **ルートの種類**：ルート算出方法（最短時間、最短距離、エコ）を設定します。
  - **回避オプション**：ルート計算をするとき、フェリーおよび季節規制道路を除外するか、または含めるかを設定します。
  - **ダイナミックリルート オン**：動的なルート管理を使用して、渋滞や障害を回避します。
  - **手動ダイナミック・リルート**：確認後に、動的なルート管理が作動します。
- **リスト表示**：次の特徴的なルート地点（POI、分岐点）が図およびリスト内の両方に表示されます。

– **ツアー**：開始されたツアー・ルート案内の目的地および距離が表示されます。
– **代替ルート**：このオプションは経由地のあるツアーでは選択できません。ここでは、現在の案内中のルートに代わるルートを選択することができます。代替ルートを開始するには、**Start（開始）**を選択してください。

マップ・ビューを開いて設定する

マップ・ビューを開く

図147: 表示項目および機能項目が表示されたマップ・ビュー**地図**

▸ MAPボタンを押してください。**Map（地図）**メニューおよび現在地のマップ・ビュー、およびルート案内中の場合は、現在のルートが表示されます。

– **A**：車両位置を地図の中央に置く
– **B**：ルート案内情報、目的地までの時間および距離、または到着時間
– **C**：縮尺表示とオートズームを切り替える
– **D**：地図サイド・メニューを開く
  ▹「地図コンテンツの設定」（190ページ）を参照してください。
– **E**：地図の向きを北向きまたは進行方向に切り替える

地図コンテンツの設定

図148: 地図サイド・メニューを含む地図コンテンツ

1. MAPボタン ▸ Side menu（サイド・メニュー）を選択してください。
2. 希望の地図コンテンツを選択してください。必要に応じてロータリー・プッシュ・ボタン、またはタッチスクリーンを使用してサイド・メニュー内をスワイプ・ダウン（スクロール）し、追加メニューを表示してください。

✓ インターネットからデータを読み込むマップ・ビューの利用には有効なデータ接続が必要
  ▹「データ接続を確立する（接続）」（136ページ）を参照してください。

有効な地図コンテンツは赤色、無効なコンテンツは白色で表示されます。

– **A**（**3D**）：3Dビュー（または2Dビュー）
– **B**（**オンライン交通/交通**）：インターネットから入手した事故、道路工事、交通量情報やその他の事象等に関する交通情報の表示/非表示を切り替えます。
– **C**（**ルート情報**）：現在のルート計画が表示されます。
– **D**（**Google Earth**）：Street Viewを作成してオンライン・データを地図表示します。固定アイコンを使用して、Street Viewを開くことができます。
– **E**（**POI表示**）：地図上の施設情報の表示/非表示を切り替える
– **コンパス**：地図上のコンパスの表示/非表示を切り替える
– **天気**：地図上の天気情報の表示/非表示を切り替える
– **オートズーム**：地図上のオートズーム機能の表示/非表示を切り替える

インフォメーション

地図のサイド・メニューから各種機能に素早くアクセスすることができます。これらの機能を設定するには、MAPボタン ▸ OPTボタン ▸ **MAP設定** ▸ **マップビュー** ▸ **レイヤー**を選択してください。

Street Viewの起動

✓ 停車していること（走行中は利用できません）

1. MAPボタン ▸ Side menu（サイド・メニュー）を選択してください。
2. **Google Earth**地図画面を起動してください。
3. 地図の縮尺を100m未満に設定してください。
4. シンボルを選択してください。
   Street Viewが起動します。タッチスクリーンを使用して、周囲の状況を少しずつ探索することができます。

マルチファンクション・ディスプレイによるマップ・ビューの表示および設定

マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション：

▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールを使用しないマルチファンクション・ディスプレイの操作」（243ページ）を参照してください。

▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作」（243ページ）を参照してください。

1. **地図**メニューを選択してください。
2. 希望する表示オプションを選択してください。

– **オートズーム**：現在地点から次の注意点までの距離に応じて、地図の縮尺が自動的に切り替わります。
– **3D地図**：3次元地図を表示します。
– **北向き**：常に地図の上方が北になります。
– **ズーム手動**：地図の縮尺を地図画面に合わせて調節します。
– **目的地を表示**：地図上でナビゲーション目的地を選択し、拡大表示します。
– **現在地を表示**：地図上で車両の現在地を選択し、拡大表示します。

交通情報の表示

図149: 交通情報を表示する

NAVメニューおよびMAPメニューで、現在地または選択したルートに関する交通情報を取得することができます。
以下の情報が表示されます。

– 斜線区間：交通渋滞の長さを示します。
– 色付き警告シンボル：選択したルート上に差し迫った交通渋滞ルート案内が有効でない場合は、現在の交通渋滞がカラー表示されます。
– グレー表示の警告シンボル：選択したルート上ではない交通渋滞

VICS交通情報の表示

G：図150:DSRC/VICS交通情報：

1. NAVボタンまたはMAPボタンを押してください。
2. **Traffic（交通情報）**を選択してください。
   受信したすべての交通情報のリストが表示されます。
   Traffic（交通情報）メニューに表示されている数字は、選択されたルートに関する交通情報の件数を示します。
3. 交通情報を選択してください。
   または
   すべての交通情報を表示させるには、**すべての交通情報を表示**を選択してください。

希望する交通情報のカテゴリーを選択してください。

- **DSRC/VICS交通情報**：アイコンを選択したときは、交通情報が読み上げられます。ミニマップ（「DSRC/VICS交通情報：」(191ページ）を参照してください。）はエリア内の交通情報の概要を提供します。
- **FM図形情報**：ラジオ局によって提供される地図形式、またはスクロール可能なテキスト概要形式のFM交通情報を表示します。
- **FMテキスト情報**：個別のスクロール可能なテキスト形式で提供されるFM交通情報を表示します。
- **突発的な事態**：予期せず発生した交通渋滞を図形で表示/非表示します。
- **DSRC交通ボイス・メッセージ**：DSRC交通情報の自動アナウンスのON/OFFを切り替えます。

交通情報は、動的なルート管理により渋滞や障害を避けるのに役立ちます。迂回を有効にするには、MAPボタン ▸ **Route（ルート）** ▸ **ダイナミックリルート**を選択してください。
手動ダイナミック・リルートにより、動的なルート計画の作成を手動で開始することができます。

インフォメーション

ラジオ局には交通情報に対する責任があります。従って、この情報の完全性および正確性に対してポルシェ社では責任を負いかねます。

リアルタイム交通情報の表示

✓ 有効なデータ接続が利用可能なこと
▷ 「データ接続を確立する（接続）」(136ページ）を参照してください。

1. MAPボタン ▸ Side menu（サイド・メニュー）を選択してください。
2. **オンライン交通**を選択してください。

以下の交通量情報が表示されます。

- 緑色のライン：高速道路の交通量
- 橙色のライン：流れの遅い交通状態
- 赤色のライン：渋滞

▷ 「地図コンテンツの設定」(190ページ）を参照してください。

インフォメーション

- ポルシェ・コネクト・サービス**（カー・コネクト・サービスを含む、セーフティおよびセキュリティ・サービスを除く）はサービス・パッケージおよび国により異なりますが、3カ月の無料利用期間を提供しております。無料利用期間についての詳細なインフォメーションおよびそれ以降の費用および各サービスの利用についてのインフォメーションはwww.porsche.com/connectまたはポルシェ正規販売店から入手できます。
- これらのサービスを利用するには、データ対応のSIMカードおよび無線インターネット接続が必要となります。携帯電話プロバイダーとの料金ベースの個別契約が必要です。

** 掲載のサービスは2017年度以降の提供を予定しております。
サービス開始時期等詳細に関しましては当社Webサイトに掲載予定です。

オフロード・モードでのナビゲーション

⚠ 警告 事故を起こす恐れがあります

システムに関連する精度および人工衛星ベースのナビゲーションの不具合リスクのため、コンパス誤差と不具合の可能性は排除できません。ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

- オフロード・ナビゲーションのみに依存することのないようにしてください。
- 常にオフロードの状態に注意してください。

オフロード・モードでは、デジタルデータ化されていない区間を走行するときでもルートを記録（トレース、追跡）することができます。この記録は複数の通過点を設定することにより行います。

オフロード・モードの作動/解除

オフロード・モードは、データとして記録されている道やルートから離れ、自由にナビゲーションを行えます。

1. NAVボタン ▸ OPTボタン ▸ **NAV設定**
2. **オフロードモード**を選択し、必要に応じてプロンプトを確認してください。
   オフロード・モードを有効または無効にする。

記録の開始と通過点の設定

✓ オフロード・モードが作動しているとき

1. MAP ボタン ▸ **Start（開始）**
2. **Add（追加）** を選択してください。現在の通過点が記録されます。通過点（最大10まで)を追加できます。
3. 記録を停止するには**Stop（停止）** を選択してください。
4. **保存**を選択してください。
5. 名称を入力し、**OK**をクリックして確定してください。
   入力は NAV ▸ **Fav(登録地)** ▸ **保存した目的地** ▸ **ツアー**に保存されます

通過点のトレース

✓ オフロード・モードが作動しているとき

1. NAV ボタン ▸ を使用して**Fav（登録地）** ▸ **保存した目的地** ▸ **ツアー**から希望するツアーを呼び出します。
2. **Start（開始）** を選択してください。
3. 希望のオプションを選択してください。

- **前方にトレース**：通過点は開始点から終点までトレースされます。
- **後方にトレース**：通過点は開始点から終点までトレースされます。
- 「**最初から**」出発地点は開始点です。
- **ここからは**:出発地点は現在の車両位置です。

ナビゲーション設定の変更

1. NAV ボタン ▸ OPT ボタン
2. 希望のオプション選択してください。

- **位置情報**：位置情報に関するインフォメーションが表示されます。
- **GPS座標を入力**：GPS座標を入力し、**OK**をクリックして確定してください。
- **NAV設定**
  - **ルート案内音量**：ナビゲーション案内の音量を調節、および案内のON/OFFを切り替えます。
  - **オフロード・モード**：モード(記録された道やルートから離れた追跡を容易にします) を有効または無効にする。
    ▷ 「オフロード・モードでのナビゲーション」（192ページ）を参照してください。
  - **ナビゲーションデータベースアップデート**：地図データを再読込または更新します。
    ▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。
  - **燃料警告**：残可走距離情報を表示 / 非表示します。
  - **ナビ情報非表示**：ナビゲーション情報を表示/非表示します。
  - **オフロードモードを隠す**オフロード情報を表示/非表示します。

地図設定の変更

1. MAP ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **MAP設定**
2. 希望のオプション選択してください。

- **マップビュー**：マップ・ビュー（北向き、3D地図、3D建築物）と地図コンテンツを調整します。
- **ズーム**：拡大縮小の適用。
  - **オートズーム**：現在のルート案内におけるズーム・レベルの自動選択
  - **交差点拡大**:現在のルート案内で交差点に接近したときのズーム・レベルの自動選択
  - **交差点詳細地図**：交差点に到達した際に、より詳細な走行案内を表示
- **警告**：施設に接近したときの警告の設定
  - **施設接近警告**
  - **燃料警告**
  - **DSRC/VICS交通情報**:現在の交通警告を表示します。
  - **交通事象通知マップ**：表示の ON/OFF を切り替えます。
  - **合流**：表示のON/OFFを切り替えます。
  - **踏み切り**：踏み切りを表示/非表示します。
  - **レーン警告**：表示の ON/OFF を切り替えます。
  - **スピード・カメラ**：地図上の現在の速度制限を表示/非表示します。

- **初期設定**
  - **デイ/ナイトビュー**：日中/夜間表示を切り替えます。
  - **フッターを表示**：マップ・ビューにタッチスクリーン・フッターを表示します。
  - **レイヤー表示**：マップ・ビューにレイヤー・サイド・バーのボタンを表示します。
  - **到着時刻表示**：到着時刻と残りの走行時間を切り替えます。
  - **経由地までの走行データ**：経由地までの時間および距離を表示します。
- **オフロード・モード**：モード(記録された道やルートから離れた追跡を容易にします)を有効または無効にする。
  ▷ 「オフロード・モードでのナビゲーション」(192ページ) を参照してください。

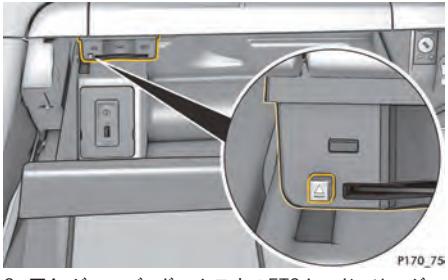
全般的なVICS設定の変更

1. NAV ボタン ▸ **VICS** ▸ OPT ボタン
   または
2. MAP ボタン ▸ **VICS** ▸ OPT ボタン
3. 希望の項目を選択してください。

- **ポップアップ時間**：交通情報をポップアップ表示する時間を選択してください。5秒、10秒、15秒
- **Popupメッセージ割込**：ポップアップのON/OFF切り替え、および：
  - **DSRC運転支援情報**
  - **DSRC一般**
  - **DSRC交通ボイス・メッセージ**
- **VICSサービス・ステータス**
- **DSRC更新機能**：ON/OFF切り替え
- **NAV設定**：「ナビゲーション設定の変更」(193ページ) を参照してください。
- **MAP設定**：「地図設定の変更」(193ページ) を参照してください。

道路通行料自動徴収システム(ETC)の使用

ETCカード・リーダーにカードを挿入/取り出し



G：図4: グローブ・ボックス内のETCカード・リーダー

1. 有効なETCカードを、グローブ・ボックス内のカード・リーダーにロックされるまで差し込んでください。
   ETCアイコンはスクリーンの下部に表示されます。
2. ETCカードを取り出すには、⏏ボタンを押してください。
   カードの紛失またはカードのエラーを表示するETCアイコンはPCMスクリーンの下部に表示されます。

支払履歴の表示

✓ ETCカードが挿入されている

▸ CAR ボタン ▸ **Toll(料金)** ▸ **通行料履歴**通行料履歴は、このカードを使用してこれまで支払った金額をすべて表示します。

インフォメーション

車両から離れるときは、カードをカード・リーダーから抜き取ることを推奨いたします。
これには**カード取り忘れリマインダー**機能が役に立ちます。(「一般的なETC設定」(194ページ) を参照してください。)

一般的なETC設定

✓ ETCカードが挿入されている

1. CAR ボタン ▸ **Toll(料金)** ▸ **Set(設定)** ▸ **ETC設定**
2. 希望のオプション選択してください。

- **通行料通知**：現在支払が必要となっている通行料金を表示します。
- **通行料アナウンス**：通行料の音声アナウンスのON/OFFを切り替えます。
- **ETC 警告**：現在のルート上にある、支払いが必要な通行料に関する警告を表示/非表示します。
- **カード取り忘れリマインダー**：車両を離れるときに、ETCカードをカード・リーダーから抜き取ることを促すメッセージのON/OFFを切り替えます。

パーキング・アシスタント

ドライバーが駐車操作をしているとき、パーキング・アシスタントが車両と障害物の間の距離を表示（車両装備により異なる）と音で知らせます。

パーキング・アシスタントのパーキング・エイドがPCMに表示されます。車両前後の障害物が色別にフィールド表示されます。このフィールドにより障害物の形や車両との距離が分かります。

⚠ 警告 運転中または駐車中の不注意

パーキング・アシスタントにより操作の快適性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。パーキング・アシスタントを使用している場合も、ドライバーには駐車時や障害物に注意を払う責任があります。このシステムはドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▸ 移動範囲内に人、動物、障害物がないか必ず十分に確認してください。

距離の測定

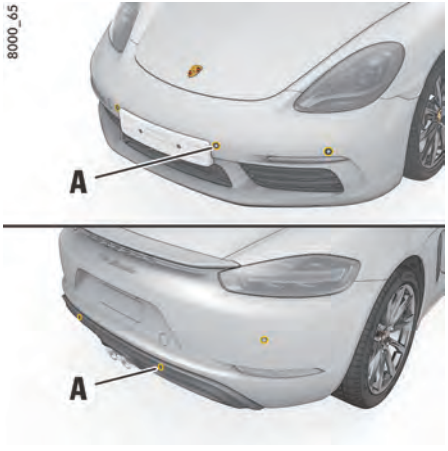


図151: 距離測定用超音波センサー

フロントおよびリヤ・バンパーの超音波センサー**A**が障害物との距離を測定します（車両装備により異なる）。障害物を検出すると**警告音が断続的に**鳴ります。障害物との距離が近づくにつれて警告音の断続間隔が短くなります。障害物との距離が約30cm以下になると、**警告音が連続して**鳴ります。

天井から吊り下がっている物体や地面の近くにある障害物など、センサーの検出範囲よりも上または下にある物体は、センサーの死角になります。このためパーキング・アシスタントが障害物として検出できません。

警告音の音量をマルチファンクション・ディスプレイで変更できます。

- ▹ 「警告音量およびパーキング・アシスタントの調節」(259ページ) を参照してください。

パーキング・アシスタントの作動

自動作動（約15km/hの速度まで）

- ✓ イグニッションがONのとき
- ✓ リバース（後退）ギヤに入れる
  または
- ✓ 前方との距離が約80cm以下になったとき
  または
- ✓ パーキング・アシスタントが、車両が後退していることを検出したとき

手動での作動

- ▸ CAR ボタン ▸ **アシスト** ▸ **パークアシスタントを表示する**

PCMの表示

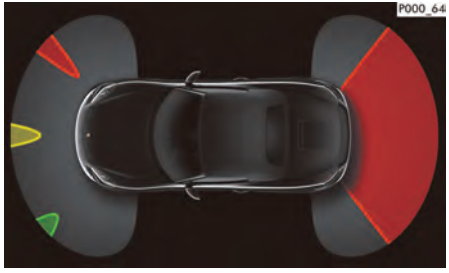


図152: 色で距離を知らせる

色	フロント側の距離	リヤ側の距離
緑色	< 120 cm	< 180 cm
黄色	< 80 cm	< 80 cm
赤色	< 40 cm	< 45 cm
赤色と連続音	< 30 cm	< 30 cm

インフォメーション

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の操作に関するインフォメーション:

▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント（PCM）の操作」（229ページ）を参照してください。

パーキング・アシスタントの停止

自動停止

✓ リバースから前進にギヤを切り替える（障害物が検出されない場合は約2分後）
または
✓ セレクター・レバーが**P**の位置にある

手動での停止

図153: オーバーヘッド・コンソールのボタン

- オーバーヘッド・コンソールのボタン**A**を押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
  PCMには何も表示されません。PCMの表示を手動で再度ONにすることはできません。

例外

構造上、パーキング・アシスタントは以下のものを検出できません。

- 音波を吸収する物体（例：粉雪などの雪、布地や毛皮の衣類など）
- 音波を反射する物体（例：ガラス面や平らな塗装面など）
- 非常に細い物体（細い支柱など）

その他、他車のエア・ブレーキ、掃除機、エア・ジャッキなど、超音波を発する機器の近くでは障害物の検出が妨げられる恐れがあります。

メンテナンス上の諸注意

- センサーの正常な機能を維持するため、センサーに付着した汚れ、氷、雪などは取り除いてください。
- センサーを擦ると故障の原因になります。
- 高圧洗浄機を使用して清掃するときは、センサーとの距離を十分に確保してください。圧力が高すぎるとセンサーが損傷します。
- ナンバー・プレート・ホルダーの改造、またはナンバー・プレートの移設、曲がり、取り付け不良などはシステムに悪影響を及ぼす恐れがあります。

リバース・カメラ

リバース・カメラの作動

自動

✓ リバース・ギヤに入れてイグニッションをONにする
または
✓ パーキング・アシスタントが、車両が後退していることを検出したとき

手動

▸ CARボタン ▸ **アシスト** ▸ **パークアシスタントを表示する**

リバース・カメラの停止

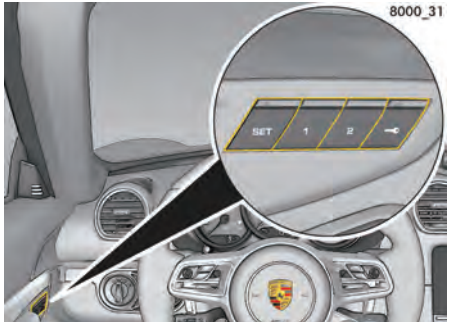
自動

✓ リバースから前進にギヤを切り替える（障害物が検出されない場合は約2分後）
または
✓ セレクター・レバーが**P**の位置にある

パーソナル設定

概要

この概要説明は「パーソナル設定」に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



どこでパーソナル設定の保存/呼び出しができますか？	メモリー・パッケージでは、どのようなパーソナル設定の保存/呼び出しができますか？	ページ
運転席ドアのメモリー・ボタン1または2を使用する	**人間工学に基づいた設定（装備仕様による）** – 運転席シート、ドア・ミラー、ステアリング・ホイール	199
運転席ドアのキー・ボタン を使用する	**人間工学に基づいた設定（装備仕様による）** – 運転席シート、ドア・ミラー、ステアリング・ホイール **コンフォート設定（装備仕様による）** – インストルメント・パネル – エアコン・システム 設定は運転席ドアのキー・ボタン およびキーに保存されます。	199

パーソナル設定の保存と呼び出し

メモリー・パッケージ

⚠ 注意

シート、ミラー、およびステアリング・ホイールの自動設定の呼び出し

設定が予期せぬタイミングで起動した場合、身体の一部が挟まれたり、圧迫される恐れがあります。

- メモリー・ボタンまたはシート調節ボタンのいずれかを押すと、必要に応じて設定の自動呼び出し機能をキャンセルできます。
- お子様のみを車内に残さないでください。

図154: 運転席ドア・メモリー・ボタン（メモリー・パッケージ）

車両の装備仕様により、メモリー・パッケージでは様々な設定をキーおよび運転席ドアのメモリー・ボタンに保存することができます。

人間工学に基づいた設定：

- 運転席シート
- ステアリング・ホイール
- ドア・ミラー

コンフォート設定：

- インストルメント・パネル
- エアコン・システム

キーへの設定の保存

人間工学に基づいた設定とコンフォート設定をキーに個別に割り当てることができます。

i インフォメーション

各メモリーの情報は最大で4本のキーに保存することができます。更にキーを追加する場合は、最後に車両に登録されたキーのメモリー情報が適用されます。

運転席ドアの運転席キー・ボタン を押す

✓ イグニッションがONのとき

1. **SET**ボタンを押してください。
   ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
2. 10秒以内にキー・ボタン を押してください。
   人間工学に基づいた設定およびコンフォート設定（キー特定）が保存されます。
   保存されると確認音が鳴り、**SET**ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

キーから設定を呼び出す

車両ロック解除による自動呼び出し

- 車両をロック解除し、運転席ドアを開いてください。
  使用中のキーから現在の設定が呼び出されます。

運転席ドアの運転席キー・ボタン を押す

- すべての設定が呼び出されるまでキー・ボタン を押し続けてください。
  または

✓ イグニッションがOFFのとき

✓ 運転席ドアが開いている

- キー・ボタン を短く押してください。
  使用中のキーから現在の設定が呼び出されます。

メモリー・ボタン1および2への設定の保存

人間工学に基づいた設定を運転席ドアのメモリー・ボタン**1**と**2**に割り当てることができます。

✓ イグニッションがONのとき

1. **SET**ボタンを押してください。
   ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
2. メモリー・ボタン**1**または**2**を10秒以内に押してください。
   人間工学に基づいた設定が保存されます。
   保存されると確認音が鳴り、**SET**ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

メモリー・ボタン1または2による設定の呼び出し

- すべての設定が呼び出されるまでメモリー・ボタン**1**または**2**を押し続けてください。

または

✓ イグニッションがOFFのとき
✓ 運転席ドアが開いている

- メモリー・ボタン**1**または**2**を短く押してください。

設定が自動的に呼び出されます。

バッテリー

⚠ 警告 感電、ショートまたは火災

車両の通電部品に触れると、感電する恐れがあります。車両電気系統への作業が原因で、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。

- 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー・マイナス・ケーブルの端子を外してください。
- 工具や電気を通す装身具（指輪、ネックレス、時計バンドなど）が、車両の電気部品と接触しないように注意してください。

⚠ 警告 火災または爆発

燃料、エンジン・オイル、トランスミッション・オイルなど、車両に使用される油脂類の多くは非常に引火しやすい性質を持っています。燃料蒸発ガスは発火、爆発する危険があります。鉛バッテリー充電時には爆発性の高い混合ガスが発生することがあります。

- 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー・マイナス・ケーブルの端子を外してください。
- 静電気の帯電を防ぐため、乾いた布でバッテリーを拭かないでください。
- バッテリーを取り扱う前に、車両などに触れて静電気を逃がしてください。
- バッテリーの近くで喫煙したり、裸火を近づけたりしないでください。ケーブル接触等による火花にも注意してください。
- メンテナンス作業は屋外か、または屋内の換気が良い場所でのみ実施してください。

⚠ 注意 腐食性のある電解液

鉛バッテリーには腐食性の高いバッテリー液が入っており、皮膚や衣服に付着すると負傷する恐れがあります。

- 保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。
- バッテリー液の漏出を防ぐため、バッテリーを傾けないでください。

知識

回路のショート、火災またはオルタネーターおよび電気系統を損傷する恐れがあります。

- バッテリーの脱着は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。
  ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー・マイナス・ケーブルの端子を外してください。

図155: バッテリー

バッテリーはフロント・ラゲッジ・コンパートメント内のプラスチック・カバーの下にあります（図155）。

プラスチック・カバーの取り外しに関するインフォメーション：

▷ 「タイヤ充填コンプレッサーの取り外しおよび収納」（276ページ）を参照してください。

- ジャンパー・ケーブルによるエンジン始動時は、黒色のマイナス・ケーブルを絶対にバッテリーへ直接接続しないでください。必ず黒色のマイナス・ケーブルをアース箇所（マイナス端子）**B**（203ページ図156）に接続してください。

ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動に関するインフォメーション：

▷ 「ジャンパー・ケーブルによる始動」（122ページ）を参照してください。

警告メッセージへの対応

バッテリーの充電レベルが低いときは、マルチファンクション・ディスプレイに または のシンボルが表示されます。
のシンボルは、オルタネーターの故障を示します。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(85ページ) を参照してください。

バッテリーに記載されている安全に関するシンボルに注意してください

作業の前に取扱説明書をお読みください。

保護眼鏡を必ず着用してください。

お子様を絶対に近づけないでください。

爆発の危険があります。
バッテリー充電中は爆発性の高い電解質のガスが発生します。

火気、火花、裸火を近づけたり、そばで喫煙したりすることは絶対に避けてください。
電気配線や電装品を取り扱うときは、火花を発生させたり、ショートさせたりしないでください。

酸による火傷の危険があります。
バッテリー液には極めて強い腐食性があります。
保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。
ガス抜き穴からバッテリー液が漏れる恐れがあるため、バッテリーを傾けないでください。

応急処置
バッテリー液が目にかかった場合、直ちに水で数分間洗い流し、
至急医師の診察を受けてください。
皮膚、衣服にかかった場合、直ちに石鹸水で中和し、多量の水で洗い流してください。
万一バッテリー液を飲み込んでしまった場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

廃棄
古いバッテリーは、適切な廃棄場にて廃棄してください。

古いバッテリーを家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。

バッテリーのお手入れ

インフォメーション

バッテリーの凍結を防ぐため、常に完全な充電状態を維持してください。バッテリーが充電不足のときは温度が0 °Cであっても凍結することがあります。完全に充電されている場合は–40 °Cまで凍結しません。

希望する操作	その操作方法は？
バッテリー上がりを防ぐには	▸ 短距離の運転時は、不要な電気装備類をOFFにしてください。 ▸ 車両から離れるときはイグニッションをOFFにし、キーを抜いてください。 ▸ エンジン停止時には、PCM を使用しないでください。
バッテリーのお手入れ	▸ バッテリー表面は清潔で乾いた状態に保ってください。 ▸ バッテリー端子は必ず確実に接続してください。
冬季の走行に備えて	▸ 冬になる前に、ポルシェ正規販売店でバッテリーの点検を受けてください。
バッテリーを充電する	▸ 凍結または損傷したバッテリーは決して充電しないでください。 ▷ 「バッテリーの充電」(203 ページ) を参照してください。

車両を保管するとき

- 車両を使用せず、車庫や修理工場に長期間保管する場合は、ドアやリッド類を確実に閉じてください。
- キーを抜き、必要に応じてバッテリーの端子を外してください。またはポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにしてください。

インフォメーション

バッテリーを切り離している場合、警報装置は作動しません。バッテリーを切り離す前に車両がロックされていた場合、バッテリーを再接続したときに警報システムが作動します。

▷ 「警報システム」(105ページ) を参照してください。

インフォメーション

車両を使用していない間でも、バッテリーは常に放電しています。

- 正常に使用可能な状態を保つには、約6週間ごとの充電またはAGM（**A**bsorbent **G**lass **M**at（アブソーバント・ガラス・マット））バッテリーに適したトリクル充電器の使用が必要です。
  ポルシェ社では、Porsche Tequipment の充電器およびトリクル充電器を使用することを推奨いたします。
- 取り外したバッテリーは、湿気がなく風通しの良い冷暗所に保管し、凍結に注意してください。

バッテリーの充電

図156: バッテリー端子

A プラス端子**+**
B アース箇所（マイナス端子）**–**

⚠ 警告 凍結または損傷したバッテリーの充電

凍結または損傷したバッテリーを充電すると、爆発や酸による火傷の危険があります。

- 凍結または損傷したバッテリーは**決して**充電しないでください。

- 充電器メーカーの取扱説明書に従ってください。
- バッテリーの充電中は必ず十分に換気を行ってください。

1. フロント・ラゲッジ・コンパートメント・リッドを開いてください。

▷「ラゲッジ・コンパートメント・リッドの緊急解除」（281ページ）を参照してください。

2. ラゲッジ・コンパートメント・カバーを取り外してください。

▷ カバーを取り外すには：「タイヤ・シーラント/工具セットの取り外しおよび収納」（275ページ）を参照してください。

3. 充電器の赤色のプラス・ケーブルをバッテリーのプラス端子**A**に接続してください。
4. 充電器の黒色のマイナス・ケーブルをアース箇所**B**に接続してください。
5. 充電器のスイッチをONにしてください。
6. バッテリーの充電が完了したら、充電器の電源をOFFにしてから、ケーブルを外してください。

▷「バッテリー交換後の車両の作動復帰」（203ページ）を参照してください。

- 適切な充電器に関する情報は、ポルシェ正規販売店にご相談ください。

バッテリーの交換

バッテリー本体に表示された規格/仕様のみでは、そのバッテリーがポルシェ社の要求する基準を満たしているかどうかを判断することができません。

- バッテリーの交換時は、車両が必要とする要件を満たしたAGM（**A**bsorbent **G**lass **M**at：浸透ガラス・マット）バッテリーを必ず使用してください。ポルシェ純正バッテリーの使用を推奨いたします。
- バッテリーの廃棄に関する指示を遵守してください。
- バッテリーの脱着は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。
- 新しいバッテリーを取り付けた後は、コントロール・ユニットでの初期化が必要です。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

バッテリー交換後の車両の作動復帰

バッテリーを接続した後、または放電してしまったバッテリーを充電した場合、以下の作業を実施してください：

1. パワー・ウィンドウの停止位置を保存してください。

▷「ウィンドウ停止位置の保存」（48 ページ）を参照してください。

2. タイヤ空気圧モニタリング・システム（TPM）にタイヤを登録してください。

▷「TPMメニュー – タイヤ空気圧モニタリングシステム（TPM）」（248ページ）を参照してください。

パンク

警告メッセージへの対応

のシンボルが警告メッセージとともにマルチファンクション・ディスプレイに表示された場合は、タイヤ空気圧モニタリング・システムが著しい空気圧低下を検出しています。空気圧の低下はタイヤの損傷を示している可能性があります。

- ▶ 安全な場所に停車し、タイヤの損傷を点検してください。
- ▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(85ページ) を参照してください。

車両を安全な場所に停車してください

1. 走行車線からできるだけ離れた安全な場所に停車してください。ジャッキがセットできる固く平坦な滑りにくい場所に駐車してください。
2. ハザード・ライトを点滅させてください。
3. エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。
4. ギヤ・レバーを1速にしてください。
   または
   セレクター・レバーを**P**位置に入れてください。
5. フロント・ホイールを直進位置にしてください。
6. ステアリングのロックおよびエンジン始動の防止：
   キーを抜き取ってください。
   ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車：
   リモート・コントロール・ユニット
7. すべての乗員を安全な場所に避難させてください。このとき、周囲の交通状況に注意してください。
8. 停止表示板を適切な場所に設置してください。
9. 交換するタイヤの反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにしてください。

損傷したタイヤの補修

⚠ 警告 一時的なタイヤの補修

タイヤ・シーラントで補修した損傷タイヤのまま不適切な速度、または連続的な負荷状態で走行すると、バースト（破裂）または空気圧が低下する恐れがあります。

- ▶ タイヤ・シーラントを使用したタイヤの補修は、緊急の場合の応急処置であり、最寄りの修理工場までの短距離移動のみに使用してください。
- ▶ タイヤ・シーラントは4mm以下の切傷や刺傷のみに使用してください。
- ▶ ホイール・リムが損傷している場合は、タイヤ・シーラントを使用しないでください。
- ▶ 速やかにポルシェ正規販売店でタイヤを交換してください。タイヤ・シーラントを使用したことを専門整備工場に伝えてください。
- ▶ タイヤ**を修理しない**でください。
- ▶ 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。
- ▶ 許容最高速度80km/hを超えて走行しないでください。
- ▷ タイヤ・シーラントおよびコンプレッサーに添付されている安全および取り扱い上の注意事項を遵守してください。

タイヤがパンクした場合、車両に装備されているタイヤ・シーラントで損傷したタイヤを応急処置することができます。損傷したタイヤを適切に補修するには以下が必要です。

- – **タイヤ・シーラント・セット**はフロント・ラゲッジ・コンパートメント内に収納されており、以下で構成されています。
  - – 充填ボトル
  - – 充填ホース
  - – バルブ回し
  - – 交換バルブ・インサート
  - – 許容最高速度表示用ステッカー
  - – 操作説明
  - ▷ 「タイヤ・シーラント/工具セットの取り外しおよび収納」(275ページ) を参照してください。
- – **コンプレッサー**はフロント・ラゲッジ・コンパートメント内にあります。
  - ▷ 「タイヤ充填コンプレッサーの取り外しおよび収納」(276ページ) を参照してください。

タイヤ・シーラントの充填

⚠ 警告 人体に有害な可燃性シーラント

シーラントは強燃性であり、人体に有害です。

- ▶ タイヤ・シーラントの近くで喫煙したり、裸火を使用しないでください。
- ▶ 皮膚、目、衣服に付着しないように注意してください。
- ▶ お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ シーラントの蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。

⚠ 注意 タイヤ・シーラントに触れた場合

タイヤ・シーラントが付着すると炎症やアレルギーを引き起こすことがあります。

- 皮膚、目、衣服に付着しないように注意してください。
- タイヤ・シーラントが皮膚に付着したり目に入ったりしたときは、直ちに多量の水で洗い流してください。
- 衣服に付着したときは、すぐに着替えてください。
- パンク修理剤でアレルギー反応を起こしたときは、直ちに医師の診察を受けてください。
- タイヤ・シーラントを誤って飲み込んだときは、すぐに口を多量の水でゆすぎ、多量の水を飲んでください。無理に嘔吐しないでください。直ちに医師の診察を受けてください。

⚠ 警告 タイヤ空気圧の低下

タイヤ・シーラントが付着したタイヤ空気圧センサーでは、タイヤ空気圧を正しく検出できません。

- 損傷したタイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーも必ず一緒に交換してください。

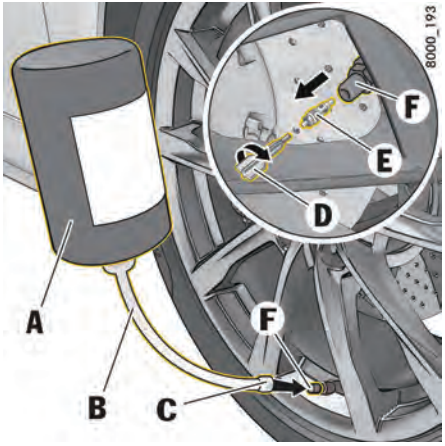


図157: タイヤ・シーラントの充填

A 充填ボトル
B 充填ホース
C 充填ホース・プラグ
D バルブ回し
E バルブ・インサート
F タイヤ・バルブ

充填作業の準備

1. タイヤの空気が抜けた原因である異物は取り除かず、そのままタイヤに残しておいてください。
2. フロント・ラゲッジ・コンパートメントからタイヤ・シーラントおよび同封のステッカーを取り出してください。タイヤ・シーラントはラゲッジ・コンパートメント内の右側ボックスに収納されています。コンプレッサーはラゲッジ・コンパートメント内のカバーの下にあります。
   ▷ 「タイヤ充填コンプレッサーの取り外しおよび収納」(276ページ) を参照してください。
   ▷ 「タイヤ・シーラント/工具セットの取り外しおよび収納」(275ページ) を参照してください。
3. 最高速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。

タイヤ・シーラントの充填

▷ タイヤ・シーラントに添付されている取り扱い上の注意事項を遵守してください。

1. 充填ボトル**A**を振ってください。
2. 充填ホース**B**を充填ボトルに取り付けてください。
   充填ボトルを開封してください。
3. タイヤ・バルブ**F**からバルブ・キャップを取り外してください。
4. バルブ回し**D**を使用して、バルブ・インサート**E**をタイヤ・バルブから取り外してください。
   交換用バルブ・インサートが入手できない場合は、バルブ・インサートを清潔で乾燥した場所に保管してください。
5. 充填ホース**B**のプラグ**C**を取り外してください。
6. 充填ホースをタイヤ・バルブに押し付けてください。
7. 充填ボトルをタイヤ・バルブより上方に持ち上げ、ボトルを強く握って中身をすべてタイヤに充填してください。
8. 充填ホースをタイヤ・バルブから引き抜いてください。
9. 入手可能な場合は、バルブ回し**D**を使用して、交換用バルブ・インサートまたはバルブ・インサート**E**に確実にねじ込んでください。

タイヤ空気の充填

▷ コンプレッサーの取扱説明書に従ってください。

▷ 「タイヤ空気の充填」(147ページ) を参照してください。

1. コンプレッサーを車両のプラグ・ソケットに接続し、圧力が2.5bar以上になるまでタイヤに空気を入れてください。タイヤ空気圧がこの規定値に達しない場合は、タイヤが激しく損傷しています。このようなタイヤで運転を続けないでください。
2. バルブ・キャップをタイヤ・バルブ**F**に取り付けてください。

空気圧の点検

▸ 約10分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。

タイヤ空気圧が1.5bar以下の場合は、運転を中止してください。タイヤ空気圧が1.5bar以上の場合は、指定のタイヤ空気圧に調整してください。

▷ 「タイヤ空気圧」(308ページ) を参照してください。

タイヤ交換

▷ 「タイヤとホイールの交換」(149ページ) を参照してください。

ホイールを交換した後は、マルチファンクション・ディスプレイのタイヤ設定を必ず更新してください。

▷ 「TPMメニュー – タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM)」(248ページ) を参照してください。

ヒューズ

⚠ 警告 ショート

車両電気系統への作業が原因で、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。

- 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー・マイナス・ケーブルの端子を外してください。

⚠ 警告 不適切な処置および不適切なアクセサリー

ヒューズ・ボックスへの不適切な処置、または不適切なアクセサリーの使用は、電気/電子回路に損傷や不具合を発生させる恐れがあります。

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ポルシェ社が承認した電装品（アクセサリー）のみを使用してください。認定アクセサリーに関するインフォメーション：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

リレー

リレーの点検と交換はポルシェ正規販売店で行ってください。
ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ヒューズの点検および交換

図158: 左側足元のヒューズ・ボックスにあるエレメント

1 スペア・ヒューズ
2 プラスチック製ヒューズ・リムーバー

ショートや過負荷による電気系統の損傷を防ぐために、各々の回路がヒューズで保護されています。ヒューズ・ボックスは運転席と助手席の足元側面にあります。ヒューズ・リムーバーおよびスペア・ヒューズは上部カバーの下、両方のヒューズ・ボックス内にあります。

1. 可能であれば交換するヒューズと関係のある電装品をOFFにしてください。
2. 穴に指を入れて、プラスチック・カバーを外してください。
3. ヒューズを点検するため、黄色のプラスチック製ヒューズ・リムーバー **2**を使用して、スロットから対応するヒューズを引き抜いてください。切れたヒューズは、内部の金属線が溶けていることで特定できます。
4. 新しいヒューズを差し込んでください。交換するヒューズは、必ず同じ容量のものを使用してください。スペア・ヒューズ**1**は左側のヒューズ・ボックスの黄色のヒューズ・リムーバー **2**の隣にあります。

i インフォメーション

同じヒューズが何度も切れる場合は、不具合原因を早急に修理してください。

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

運転席側のヒューズ

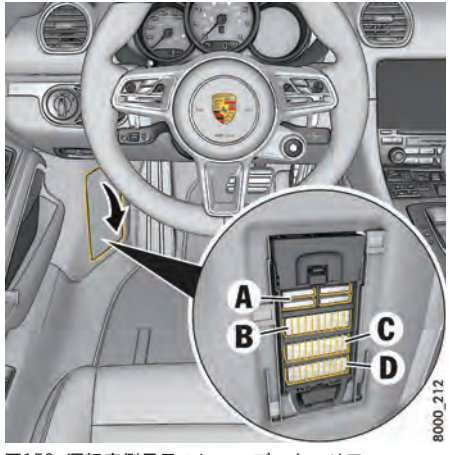


図159: 運転席側足元のヒューズ・キャリア

A列

1	左下：エアコン・ブロア（右ハンドル車のみ）	40 A
2	左上：PSMコントロール・ユニット	40 A
3	右下:シートおよび運転席シート・コントロール・ユニットの調整	25 A
4	右上:Boxster:コンバーチブル・トップ	40 A

B列

1	ヘッドライトの右側/左側通行の変更 フロント・リッド・ライト フロント・リッド・アクチュエーター ハイ・ビーム・ヘッドライト、左 ロー・ビーム・ヘッドライト、左 サイド・マーカー・ライト、右フロント 方向指示器、左リヤおよび左フロント	40 A
2	エキゾースト・フラップ・コントロール ハイマウント・ブレーキ・ライト、リヤ・スポイラー リヤ・リッド・アクチュエーター リヤ・フォグ・ライト、右 ブレーキ・ライト、左 リバース・ライト、左 テール・ライト、左 左側デイタイム・ドライビング・ライト	15 A
3	アラーム・ホーン	15 A
4	インテリア・ライト ホール・センサー オリエンテーション・ライト リヤ・ウィンドウ・ヒーター・リレー セントラル・ロッキングLED ドア・パネルLED アンビエント・ライト ライセンス・ライト リヤ・フォグ・ライト、左 ハイマウント・ブレーキ・ライト ブレーキ・ライト、右 リバース・ライト、右 テール・ライト、右 デイタイム・ライト、右 Cayman：リヤ・ワイパー電気作動	15 A
5	燃料ポンプ・リレーおよびコントロール・ユニット	20 A
6	フィラー・フラップ・ロック ステアリング・コラム・ロック端子30 ウォッシャー・ポンプ、フロントおよびリヤ	10 A
7	未使用	
8	エアコン・コントロール・ユニット	7.5 A
9	未使用	
10	ステアリング・コラム ストップウォッチ	15 A

C列

1	センター・コンソール・ボタン・パネル ゲートウェイ・コントロール・ユニット 故障診断用ソケット イグニッション・ロック ステアリング・コラム・ロック ライト・スイッチ ERA-GLONASSコントロール・ユニット （左ハンドル車、ロシアのみ） Cayman：ラゲッジ・コンパートメント・ライト	10 A
2	フットウェル・ライト イグニッション・ロックの取り外し防止ロック 方向指示器、右フロントおよび右リヤ ハザード・ライト・ボタンLED イグニッション・ロック・ライト 方向指示灯（サイド）、右フロントおよび左フロント ハイ・ビーム・ヘッドライト、右 ロー・ビーム・ヘッドライト、右 車幅灯、左フロント	40 A
3	VTSコントロール・ユニット	5 A
4	ホーン	15 A
5	フィラー・フラップ（燃料給油口カバー） リヤ・スポイラー・コントロール（展開/格納） Boxster:コンバーチブルトップ・ロック・クロージング・エイド Boxster:コンバーチブル・トップ・コンパートメント・キャッチの開閉	30 A

6 パワー・ウィンドウ・コントロール・ユニット、左
ドア・コントロール・ユニット、左 25 A

7 ヘッドライト・クリーニング・システム 30 A

8 PSMコントロール・ユニット 25 A

9 アラーム・サイレン 5 A

10 室内モニタリング・センサー 5 A

D列

1 Cayman：リヤ・ワイパー 15 A

2 ガレージ・ドア・オープナー＊ 5 A

3 左ヘッドライト 15 A

4 フロント・カメラ・コントロール・ユニット
PDCコントロール・ユニット
ゲートウェイ/故障診断用ソケット
エア・クオリティ・センサー
ヘッドライト・コントロール・ユニット 5 A

5 PSMコントロール・ユニット 5 A

6 ステアリング・コラム・スイッチ・モジュール
電動ステアリング・ギヤ
冷媒圧力センサー
ラジエーター・ファン・リレー 5 A

7 セレクター・レバー・コントロール・ユニット
クラッチ・スイッチ・センサー 5 A

8 右ヘッドライト 15 A

9 ルーム・ミラー 5 A

10 シート・ベンチレーション、左 5 A

＊ 日本仕様に設定はありません。

助手席側のヒューズ

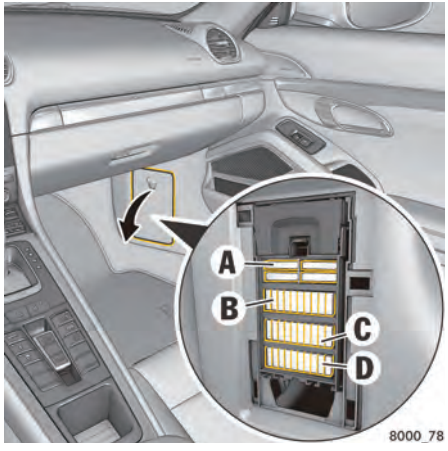


図160: 助手席側足元のヒューズ・キャリア

A列

1 左下:DC/DCコンバーター PCM 40 A

2 未使用

3 右下:外気ブロワー・モーターおよびファン・コントロール（左ハンドル車のみ） 40 A

4 右上:シートおよび助手席シートコントロール・ユニットの調整 25 A

B列

1 レイン・センサー 5 A

2 エアコン/シート・ヒーター・コントロール・ユニット 25 A

3 PCMコンポーネント：
（リバース・カメラ、アンテナ・アンプ、コントロール・ユニット・ディスプレイ、TVチューナー、USBハブ、カップリング・アンテナ、カード・リーダー） 5 A

4 外部ブースター付きセントラル・コンピューター 7.5 A

内部ブースター付きセントラル・コンピューター 20 A

5 TPMコントロール・ユニット
エアコン・コントロール・ユニット 5 A

6 サウンド・システム・アンプ 40 A

7 Burmester®サブウーファー・ブースター 40 A

8 未使用

9 インストルメント・クラスター 10 A

10 ドア・ハンドル・タッチ・センサー 5 A

C列

1 ERA-GLONASS TSX808診断用ソケット（左ハンドル車、ロシアのみ） 5 A

2 エレクトリック・パーキング・ブレーキ・スイッチ 5 A

3 オーバーヘッド・コンソール 5 A

4 PDKコントロール・ユニット 25 A

5 未使用

6	フロント・ワイパー・モーター	30 A
7	パワー・ウィンドウ・コントロール・ユニット、右 右ドア・コントロール・ユニット	25 A
8	ステアリング・コラム調整	25 A
9	未使用	
10	未使用	

D列

1	エアバッグ・コントロール・ユニット シート・センサー・コントロール・ユニット	5 A
2	PASMコントロール・ユニット	5 A
3	未使用	
4	ACCコントロール・ユニット	5 A
5	未使用	
6	シート・ベンチレーション、右	5 A
7	始動関連の電装品 DME、PDK、VTS、ERA-GLONASSコントロール・ユニット（左ハンドル車、ロシアのみ） リヤBCM ERA-GLONASS故障診断用ソケット（左ハンドル車、ロシアのみ）	5 A
8	未使用	
9	センター・コンソール・ソケット シガー・ライター	20 A
10	助手席足元ソケット	20 A

ブレーキ

エレクトリック・パーキング・ブレーキ

エレクトリック・パーキング・ブレーキは後輪に作用し、停車中に車両が動き出さないように固定します。

図161: エレクトリック・パーキング・ブレーキ・スイッチ

パーキング・ブレーキを作動させる

▸ Ⓟスイッチを押してください。
Ⓟスイッチのインジケーター・ライトおよびブレーキ警告灯(!)が点灯します。

警告灯およびインジケーター・ライトに関するインフォメーション：

▹ 「インストルメント・パネル」(42 ページ)を参照してください。

パーキング・ブレーキを手動で解除する

✓ イグニッションがONのとき

1. ブレーキ・ペダルを踏んでください。
2. Ⓟスイッチを引いてください。
ブレーキ警告灯 (!) が消灯します。

パーキング・ブレーキの自動解除

パーキング・ブレーキをかけたままでも通常のように発進することができます。

✓ エンジンが作動している
✓ 運転席ドアを閉じている
✓ 運転席シート・ベルトを着用している

エレクトリック・パーキング・ブレーキはドライバーの発進操作を検出し、パーキング・ブレーキを自動解除します。

これらの条件のいずれかが満たされていない場合は、ドライバーが発進操作を行ってもエレクトリック・パーキング・ブレーキが自動解除されません。

マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。ブレーキ警告灯(!)およびⓅスイッチのインジケーター・ライトが点滅します。

▹ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(85ページ)を参照してください。

パーキング・ブレーキの自動ロック

✓ PDK装備車

セレクター・レバーが**D**、**R**または**M**の位置にあり、車両が停止状態で、運転席ドアが開いている場合、エレクトリック・パーキング・ブレーキがロックされます。

Ⓟスイッチのインジケーター・ライトとインストルメント・パネルのブレーキ警告灯(!)が点灯します。

警告灯およびインジケーター・ライトに関するインフォメーション：

▹ 「インストルメント・パネル」(42 ページ)を参照してください。

インフォメーション

パーキング・ブレーキの自動ロックは手動で無効にすることができます。

▸ Ⓟスイッチを引いてください。
パーキング・ブレーキが解除された状態のままになります。

エレクトリック・パーキング・ブレーキの締結を無効にした場合、この機能はドアを再度開いた場合にのみ利用できます。

緊急ブレーキ機能を作動させる

通常のブレーキ操作のみでは車両を停車できない場合、エレクトリック・パーキング・ブレーキを使用して急制動をかけ、停車させることができます。

▸ Ⓟスイッチを押し続けてください。
ブレーキ警告灯(!)およびⓅスイッチのインジケーター・ライトが点滅します。

緊急ブレーキ機能を解除するには：

▸ Ⓟスイッチを放してください。

⚠ 警告 急激な減速

緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。周囲の走行を妨げたり、車両のコントロールを失う恐れがあります。

▸ 緊急ブレーキ機能は緊急時にのみ使用してください。
▸ 通常走行時に緊急ブレーキ機能を使用しないでください。

警告メッセージへの対応

停車中にエレクトリック・パーキング・ブレーキが確実にかからない場合、Ⓟスイッチのインジケーター・ライトおよびブレーキ警告灯(!)が点滅します。

▹ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(85ページ)を参照してください。

フット・ブレーキ

⚠ 警告 ペダル操作の妨げ

不適切なフロア・マット、正しく固定されていないフロア・マット、またはその他の障害物はペダルの可動域を制限したり、またはペダル操作の妨げになる可能性があります。

- フロア・マットなどでペダルの動きを妨げないようにしてください。

⚠ 警告 ブレーキ・ブースターの機能停止

ブレーキ・ブースターは、エンジンが作動しているときのみ作動します。エンジンOFF時やブレーキ・ブースターの負圧が低下している場合は、ブレーキ・ペダルを踏み込むときに強い力が必要になります。

- ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。

▷ 「けん引およびけん引によるエンジンの始動」（106ページ）を参照してください。

⚠ 警告 ブレーキ・ディスクに付着した水膜

激しい降雨時や水たまりを通過したとき、または洗車後は、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

- 後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけ、ブレーキを乾かしてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

⚠ 警告 制動力の低下

凍結防止剤（塩分）が撒かれた道路や砂塵の多い道路を長距離にわたって走行すると、ブレーキ・ディスクやパッドが塩や砂で覆われて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。

車両を長期に渡り駐車したまま放置した場合、ブレーキ・ディスクの腐食は避けられません。その結果、ブレーキは「引きずり」を発生します。

- ブレーキ・ディスクの腐食を避けるため、「ブレーキを乾燥させてから」駐車してください（ポルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ装備車を除く）。
- ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ポルシェ正規販売店でブレーキ・システムを点検してください。
  ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ブレーキの効きを持続するため、下り坂を走行するときは、タイミング良くギヤを落とし、エンジン・ブレーキを利用してください。
  急な下り坂でエンジン・ブレーキの効果のみでは不十分な場合、間隔をおいてブレーキ・ペダルを踏んでください。ブレーキ・ペダルを連続して踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなります。

ブレーキ液とブレーキ液レベルに関するインフォメーション：

▷ 「ブレーキ・フルード」（214ページ）を参照してください。

ブレーキ・パッドおよびブレーキ・ディスク

ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクの摩耗は、ユーザーの運転の仕方や使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離には依存しません。

この車両の高性能ブレーキ・システムは、すべての速度域および温度下で、最適な制動効果が得られるように設計されています。

特定の速度、制動力や車両を取り巻く環境（気温、湿度等）によってブレーキから異音が発生することがあります。

警告メッセージへの対応

ブレーキ・パッドが摩耗限度に達すると、警告シンボル が表示されます。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（85ページ）を参照してください。

- 直ちにブレーキ・パッドを交換してください。
  ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ポルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ（PCCB）

この車両の高性能ブレーキ・システムは、すべての速度域および温度下で、最適な制動効果が得られるように設計されています。

このため、特定の速度、制動力や車両を取り巻く環境（気温、湿度等）によってブレーキから異音が発生する場合があります。

ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクなどのブレーキ・システムおよび関連部品の摩耗は、ユーザーの運転の仕方や使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離には依存しません。

ポルシェ社が使用している数値は、交通状況に合わせた通常の運転操作に基づいています。サーキット走行や過激な運転スタイルは、摩耗を大幅に促進させます。

- 車両をサーキット走行などに使用する場合は、現在のガイドラインについてポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ブレーキ・フルード

図162: ブレーキ液タンク

警告メッセージへの対応

ブレーキ液量が許容範囲を下回ると、インストルメント・パネルに(!)のシンボルが表示され、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。ブレーキ・ペダルの踏み代が過大になる他、警告灯が点灯してブレーキ・システムの故障を示す場合もあります。

- 直ちに安全な場所に停車し、運転を続けないでください。
- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（85ページ）を参照してください。

ブレーキ液量の点検

- ブレーキ液タンクのブレーキ液量を読み取ってください（図162）。フルード液量は常にMINマークとMAXマークの間に維持されなければなりません。
- ブレーキ液量がMINマークより下にある場合は、ブレーキ液を補充してください：
  ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ブレーキ・フルードの交換

ブレーキ・フルードを定期的に点検および交換することは、メンテナンスの一部です。

▷ 「サーキット走行の前に」（15ページ）を参照してください。

フロント・ワイパー

概要

この概要説明は「フロント・ワイパー」に代わるものではありません。
操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

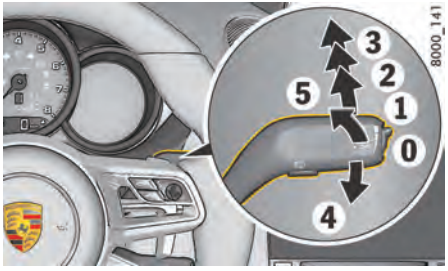


図163: フロント・ワイパー操作レバー

図164: レイン・センサー /間欠作動の感度スイッチ (**A**)

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	ページ
フロント・ワイパー・オート作動 (レイン・センサー /間欠作動)	操作レバーを**1**の位置にしてください。	217
レイン・センサー /間欠作動の感度設定	操作レバー右部のスイッチ**A**を上（作動回数が増える）または下（作動回数が減る）方向に押してください。	217
フロント・ワイパー作動	低速：操作レバーを**2**の位置にしてください。 高速：操作レバーを**3**の位置にしてください。 ワンタッチ：操作レバーを**4**の位置に押してください（**4**の位置で保持すると、ワイパーの動きが速くなります）。	216
ワイパー &ウォッシャー作動	操作レバーをステアリング・ホイール方向**5**に引いて、保持してください。	216
フロント・ワイパーを立てる	イグニッションをOFFにして、ワイパー・レバーを1回下方**4**に押してください。 フロント・ワイパーが上方に約45 °移動します。	216

⚠ 警告 ワイパーの不意の作動

レイン・センサー・モードでは、フロント・ウィンドウに水滴を検出すると自動的にワイプ作動を行います。

- 不意に作動することのないよう、フロント・ウィンドウを清掃する前に必ずワイパーをOFFにしてください。

知識

フロント・ウィンドウおよびワイパー・システムが損傷する恐れがあります。

- フロント・ウィンドウが十分に濡れた状態でワイパーを作動させてください。乾いた状態での使用はウィンドウの擦り傷の原因になります。
- ワイパー・ブレードが凍結した場合は、走行前に慎重にフロント・ウィンドウから剥がしてください。
- 凍結時はヘッドライト・ウォッシャーを操作しないでください。
- （レイン・センサー機能により）不意に作動することのないよう、洗車機で洗車する前に必ずフロント・ワイパーをOFFにしてください。
- 洗車機での洗車中はヘッドライト・ウォッシャーを操作しないでください。
- ワイパー・ブレードを交換する場合は、ワイパー・アームをしっかりと保持してください。
- ワイパー・ブレードを交換する場合は、ワイパー・ブレードの長さが異なるので注意してください。

フロント・ワイパーの操作

図165: フロント・ワイパー操作レバー

0 フロント・ワイパー OFF

フロント・ワイパーまたはイグニッションをOFFにすると、ワイパー・アームが通常位置からわずかに上方に動きます。この動きにより、ワイパー・ブレードのウィンドウ接触面の向きを整えます。

1 レイン・センサー /間欠作動
フロント・ワイパー

- ワイパー・レバーを1段目の位置まで上方向に押してください。

2 フロント・ワイパー低速

- ワイパー・レバーを2段目の位置まで上方向に押してください。

3 フロント・ワイパー高速

- ワイパー・レバーを3段目の位置まで上方向に押してください。

4 フロント・ワイパーのワンタッチ機能

- ワイパー・レバーを下方向に押してください。
  フロント・ワイパーが1回作動します。

5 ワイパー /ウォッシャー・システム

- ワイパー・レバーをステアリング・ホイールの方向に引いてください。
  レバーを引いている間、ウォッシャー・システムとワイパーが作動します。
  レバーを放すとウォッシャー・システムが停止し、その後ワイパーが数回作動します。
  なお、フロント・ウィンドウのウォッシャーが10回作動するごとに、ヘッドライト・ウォッシャー・システムが自動的に作動します。

i インフォメーション

- 汚れが激しい場合はウォッシャーを繰り返し作動させてください。
- 頑固な汚れ（昆虫の死骸など）は定期的に清掃してください。

車両のお手入れに関するインフォメーション：

▷ 「お手入れ」(69ページ)を参照してください。

良好な視界を確保するためには、完全な状態のワイパー・ブレードが不可欠です。

▷ 「ワイパー・ブレード」(295ページ) を参照してください。

アイス / サン・シールドの装着とワイパー・ブレードの交換

- イグニッションをOFFにして、ワイパー・レバーを1回下方**4**に押してください。
  フロント・ワイパーが上方に約45 °移動します。

ワイパー作動間隔の調整

図166: レイン・センサー/間欠作動感度の切り替えスイッチ

レイン・センサー非装備車では、フロント・ワイパーの作動間隔を4段階で調節することができます。

ワイパーの作動間隔を短くする

- スイッチ**A**を上方向に押してください。
  フロント・ワイパーが1回ワイプ作動を行い、設定が切り替わったことを知らせます。

ワイパーの作動間隔を長くする

- スイッチ**A**を下方向に押してください。

レイン・センサー作動の調節

レイン・センサー装備車の場合、フロント・ウィンドウに付着する水滴の量を感知して、ワイパーの作動速度を自動調節します。ワイパーの作動間隔は、状況に応じて自動的に調節されます。

フロント・ワイパーをONにしているときに速度が約4km/h以下になると、レイン・センサーが自動的に作動します。

速度が約8km/hを超えると、ワイパーの動きがレバーで設定した速さに復帰します。

インフォメーション

- イグニッションをONにしたとき、ワイパー・レバーが既に**1**の位置にあった場合、速度が4km/hを超えるまでレイン・センサーは作動しません。
- イグニッションをONにしたときに、すでにワイパー・レバーが**2**または**3**の位置にある場合、フロント・ワイパーはワイパー・レバーを操作しなければ作動しません。

インフォメーション

ラゲッジ・コンパートメント・リッドを開くとワイパーが停止します。

- 再度ワイパーをONにするには、フロント・ワイパー操作レバーを上方向/下方向に動かしてください。

レイン・センサー感度の手動調節

ワイパー速度を手動で設定することができます:

感度を高くする

- スイッチ**Aを上方向に押します。**
  フロント・ワイパーが1回ワイプ作動を行い、設定が切り替わったことを知らせます。

感度を低くする

- スイッチ**Aを下方向に押します。**

ヘッドライト・ウォッシャー・システムの操作

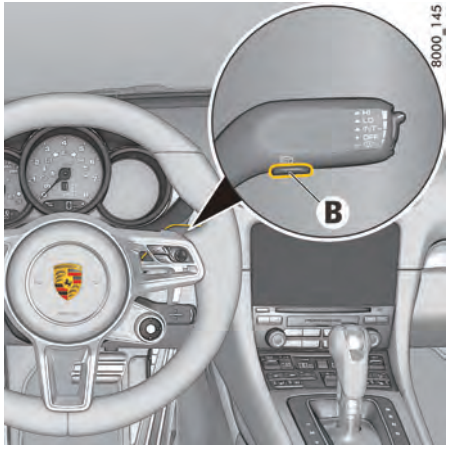


図167: ヘッドライト・ウォッシャー・システムのボタン

✓ ロー /ハイ・ビームが作動している

- ワイパー・レバーの下側のボタン**B**を押してください。

インフォメーション

なお、フロント・ウィンドウのウォッシャーが10回作動するごとに、ヘッドライト・ウォッシャー・システムが自動的に作動します。ロー・ビームを消灯すると、フロント・ウィンドウ・ウォッシャーの作動回数カウントがリセットされ、再度ゼロからカウントします。

リヤ・ワイパー

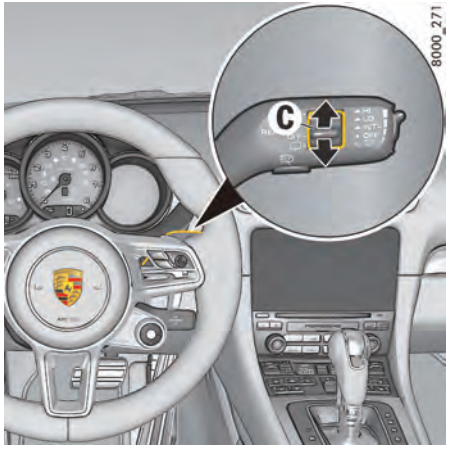


図168: リヤ・ワイパーのボタン**C**

✓ 718 Cayman、718 Cayman S

リヤ・ワイパーの間欠作動をONにする

- 操作レバーのボタン**C**を上方向**INT**位置まで押してください。

リヤ・ワイパーの間欠作動をOFFにする

- 操作レバーのボタン **C** を下方向に **OFF** 位置まで押してください。

ワイパーの手動操作

- ボタン**C**を**OFF**位置から下に押すか、**INT**位置から上へ押し続けてください。

リバース（後退）ギヤ選択時のリヤ・ワイパーの作動

雨天時やフロント・ワイパーを作動させているときにリバース（後退）ギヤを選択した場合に、リヤ・ワイパーが自動的に作動するかどうかをマルチファンクション・ディスプレイで切り替えることができます。

リバース（後退）ギヤ選択時のリヤ・ワイパーの作動設定に関するインフォメーション：

▷ 「リバース（後退）ギヤ選択時のリヤ・ワイパーの作動設定」（258ページ）を参照してください。

ヘッドライト

知識

摩擦や過熱によりヘッドライトが損傷する恐れがあります。

- ヘッドライトにカバー（ストーン・ガードやフィルムなど）を装着しないでください。

インフォメーション

気温と湿度により、ヘッドライトが曇ることがあります。十分な距離を走行すると、この曇りは取れます。

- 通気を確保するため、ヘッドライトとボディの隙間にカバーをしないでください。

ヘッドライト調整

- ヘッドライトの調整は、専用の調整装置がある整備工場のみで実施してください。
  ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ヘッドライトの照射方向を右側/左側通行用に切り替える（ダイナミック・コーナリング・ライト装備車）

✓ ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム（PDLS）またはポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス（PDLSプラス）装備車両

車両通行帯（右側通行または左側通行）が異なる国で走行する場合は、ヘッドライトをマルチファンクション・ディスプレイで切り替える必要があります。これによりロー・ビームの照射方向が左右対称に切り替わり、対向車のドライバーの幻惑を防ぐことができます。

▷ 「左側/右側通行でヘッドライトを切り替える」（257ページ）を参照してください。

インフォメーション

変更後は、イグニッションをONにするたびにマルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

- 帰国した時は、ヘッドライトを元に戻すことを忘れないでください。

インフォメーション

ダイナミック・コーナリング・ライト（PDLS/PDLS Plus）非装備車のバイキセノン・ヘッドライトは左側または右側通行用に切り替えできません。このタイプのヘッドライトの配光は両方の通行帯で共通で、対向車の眩惑を防止します。

発光ダイオード（LED）とロングライフ・バルブの交換

方向指示灯、バイキセノン・ヘッドライトのガス・ディスチャージ・ヘッドライト、テール・ライト、ライセンス・ライト、およびインテリア・ライトなど、様々なライトに発光ダイオード（LED）とロングライフ・バルブが使用されています。

LEDは個別に交換できません。

ロングライフ・バルブの交換には専門知識が必要です。

- 発光ダイオード（LED）とロングライフ・バルブの交換はポルシェ正規販売店にお任せください。
  ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ボイスコントロール

⚠ 警告 事故を起こす恐れがあります

緊急時は緊張のために声が変わり、ボイスコントロールが指示を認識できなくなる恐れがあります。これにより電話接続の要求が認識できずに失敗したり、接続に時間を要してしまう恐れがあります。

▸ PCM経由で緊急電話にダイヤルしてください。

PHONE、TUNER、NAVおよびMEDIAメイン・メニューの各種機能はボイス・コマンドで呼び出すことができます。ボイスコントロールは話者に適応し、最初の会話から登録を開始します。

▹ ボイス・コマンドの例は（223ページ）を参照してください。

i インフォメーション

– **サウンド**および**車**のメイン・メニューはボイスコントロールでは操作できません。
– ボイスントロールはすべてのシステム言語に対応しているわけではありません。

i インフォメーション

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント（PCM）の操作に関するインフォメーション：

▹ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント（PCM）の操作」（229ページ）を参照してください。

ボイスコントロールの呼び出し

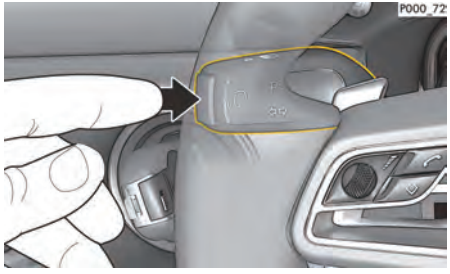


図169: 操作レバーのボイスコントロール・ボタン

ボイスコントロールの作動

✓ イグニッションがONのとき
✓ 通話していない状態にする
✓ パーキング・アシストを使用していない

1. 操作レバーのを押してください（図169）。
   起動音が鳴り、ボイスコントロールのアイコンがPCMに表示されます。
2. ボイス・コマンドを発話してください。

ボイスコントロールを無効にする

✓ ボイスコントロールが作動している

▸ 操作レバーのを押してください（図169）。
   終了音が鳴ります。
   または
▸ ボイス・コマンド**キャンセル**または**ストップ**を発話してください。
   または
▸ PCMの任意のボタンを押してください。

ボイス・コマンド・ボタンのその他の機能

操作レバーの（図169）ボタンは、アプリケーションに応じて様々な機能を開始することができます。

– 短く押すと、PCMのボイスコントロールが有効になります。
– 長押しすると、Siri®ボイスコントロール・システムが起動します。
  ▹ 「Siri®音声認識機能を使用してApple® CarPlayを操作する」（297ページ）を参照してください。
– ボイスコントロールの現在のアナウンスを終了します。
– アナウンスを次のパートにスキップします。
– 現在の会話を中止します。

i インフォメーション

– 会話中は、ナビゲーション案内および交通情報が中断されます。
– ボイスコントロールが有効のとき、リスト項目をボイスコントロール、ロータリー・プッシュ・ボタン、またはタッチスクリーンによって選択することができます。
– 発声されたボイス・コマンドが理解できない場合、または意味が解釈できなかった場合、ボイスコントロールは**もう一度お願いします**と応答するので、再度ボイス・コマンドを繰り返してください。2回目以降はPCMが操作を支援します。
– 選択したメニュー言語によっては（NAVボタン ▸ メニュー**目的地入力**で）、必要に応じて目的地入力時に目的地の綴りを発声する必要があります。

ボイスコントロールによる対話を円滑に行うために、以下の点に注意してください。
- 通常通りの声量で、はっきりと分かりやすく発話してください。高速走行時は少し大きな声で発話してください。
- 長い間をおかずにむらなくボイス・コマンドを強調してください。
- ボイスコントロールがアナウンスをしているときは発話しないでください。
- ドア、ウインドウを閉じ、混乱の原因となる雑音を低減してください。
- ハンズフリー・マイクはドライバー側に向いているため、ドライバーのみがボイスコントロールを操作してください。

ボイスコントロールの調節

1. CARボタン ▸ **Set（設定）** ▸ **システム** ▸ **ボイスコントロール**
2. 以下から希望の設定を選択してください。

- **ショートダイアログ**：この機能が有効のときは、音声応答に短いアナウンスが含まれます。
- **ヘルプテキスト**：この機能が有効のとき、発話可能なコマンドが表示されます。

ヘルプの呼び出し

文字による入力支援の呼び出し

1. 操作レバーのを押してください（220ページ図169）。
   コマンド例のリストがPCMに表示されます。
2. PCM のフッターのアイコンを選択してください。
3. 各メイン・メニューでコマンド例を表示させるには、PCMの該当するメイン・メニューのアイコンまたはコマンド例を選択してください。

インフォメーション

ヘルプテキスト機能が無効になっている場合は、ヘッドラインのアイコンで視覚的な入力支援を表示することができます。

▷ 「ボイスコントロールの調節」（221ページ）を参照してください。

音声による入力支援の呼び出し

✓ ボイスコントロールが作動している

▸ **ヘルプ**と発声してください。
または
ヘルプボイスコマンドと発話してください。
または
例えば以下のように話しかけてください。
ラジオのヘルプ、ヘルプ メディア
各メイン・メニューで入力支援が得られます。

ボイス・コマンドの発話

基本的に、使用可能なボイス・コマンドは3種類あります。
- グローバル・ボイス・コマンド
- 一般ボイス・コマンド
- ダイアログ関連ボイス・コマンド

表示されるボイス・コマンドは使用可能なすべてのコマンド集です。システムは同義語でも認識します。例えば、**山田太郎に電話する**と言う代わりに、**電話する山田**または**ダイヤル山田**と発声することもできます。

▷ ボイス・コマンドの例は（223ページ）を参照してください。

グローバル・ボイス・コマンドの発話

特定の機能を呼び出すために使用可能なすべてのボイス・コマンドは、グローバル・ボイス・コマンドです。グローバル・ボイス・コマンドは、選択したメイン・メニューに関係なく、いつでも使用することができます。これによって、対応するメイン・メニューに事前に切り替える必要なく、任意の機能を直接呼び出すことができます。例えば、**ナビゲーション**メイン・メニューが表示されているときに、ボイス・コマンド**放送局**、**ラジオ放送局XY** と発声しても放送局が呼び出されます。
以下はグローバル・ボイス・コマンドの例です。
- **電話する**（例）**山田**

一般ボイス・コマンドの発話

一般ボイス・コマンドは会話中にいつでも発話することが可能です。

以下は一般ボイス・コマンドの例です。

- **新規項目**：ボイスントロールを再開します。
- **修正**：例えば、電話番号をいくつかのブロックに分けて発話した場合（0711 911など）、ボイス・コマンドは最後に発話したブロックを取り消します。
- **ヘルプ**：可能なボイス・コマンドを示す入力支援が表示されます。
- **キャンセル**：会話を中断します。

ダイアログ関連ボイス・コマンドの発話

ダイアログ関連ボイス・コマンドは、PCMとの会話が開始されるとすぐに必要になります。例えば、これには以下のボイス・コマンドが含まれています。

- **行 1**
- **次のページ/前のページ**
- **はい/いいえ**

音声でリストを使用する

リストをブラウズする

▸ リストを前 / 後にブラウズするには、**次のページ/前のページ**と発声してください。
または
タッチスクリーンまたはロータリー・プッシュ・ボタンでリストを使用します。

リスト項目の発話

青いリスト項目を発話することができます。別の方法として、リスト項目を青い行番号で呼び出すこともできます。

▸ ボイス・コマンド**行1**と発声してください。

ラジオのボイス・コマンド

運転者が何をしたいか？	どのように発話するのか？	知識
受信範囲を切り替える	**チューナー**（例）**FM/AM/TV**	
放送局を選択する	**選択放送局**	現在受信が可能な放送局のみを発話することができます。
現在受信が可能な放送局を選局する	**放送局**（例）**放送局　XY（選局）**	現在受信が可能な放送局のみを発話することができます。
周波数を入力する	**周波数帯**（例）**91.1（選択）**	必要な場合は、周波数の直接選択により、受信範囲が変更されます。
ヘルプの呼び出し	**ラジオのヘルプ**	チューナー機能で役に立つ音声ヘルプです。

メディアのボイス・コマンド

運転者が何をしたいか？	どのように発話するのか？	知識
メディア・ソースを変更する	**選択**（例）**ディスク/SDカード/USB/AUX/Jukebox/Bluetooth**	
アーティストを直接選択する	**再生するアーティスト**（例）**Allan Taylor**	有効なメディア・ソース内にあるアーティスト/アルバム/トラック/ジャンルのみを発話することができます。
アルバムを直接選択する	**再生するアルバム**（例）**Songs for the Road**	
トラックを直接選択する	**再生するトラック**（例）**Let the Music Flow**	
ジャンルを直接選択する	**再生するジャンル**（例）**ロック**	
現在再生している曲と類似の音楽を選択する	**同じようなもの**	
ヘルプの呼び出し	**ヘルプメディア**	メディア機能で役に立つ音声ヘルプです。

電話のボイス・コマンド

✓ 電話がPCMに接続されている

▷ 「電話」(168ページ) を参照してください。

運転者が何をしたいか？	どのように発話するのか？	知識
リダイヤル機能を開く	**リダイヤル**	
電話番号を入力する	**番号をダイヤル**	次のステップでは、システムが電話番号を尋ねます。
ボイスメールに電話する	**電話ボイスメール**	
保存されている連絡先に発信する	**電話連絡先/電話帳を表示**	次のステップでは、システムが連絡先の名前を尋ねます。
通話履歴の呼び出し	**通話履歴**	ボイス・コマンドは、選択または通話が可能な項目から通話履歴全般を表示します。
保存されている連絡先に発信する	**電話連絡先**	連絡先が1つ以上の場合、このコマンドにより会話が開始します。名、姓、またはその両方を発話することができます。連絡先の特定の電話番号を選択することも可能です。
Eメール/テキスト・メッセージを読み上げる	**(新しい) Eメールを読み上げる/(新しい) SMSを読み上げる**	✓ 接続された携帯電話がBluetooth®メッセージ・アクセス・プロファイルに対応している ✓ 有効なデータ接続が利用可能なこと ▷ 「データ接続を確立する (接続)」(136ページ) を参照してください。
ヘルプの呼び出し	**ヘルプ (電話)|(電話) ヘルプ**	電話機能で役に立つ音声ヘルプです。

ナビゲーションのボイス・コマンド

運転者が何をしたいか？	どのように発話するのか？	知識
新しい目的地を入力する	**目的地を入力**	選択した国によって、**ルート案内**を一文で、または順次言うことでナビゲーションを使用することができます。
ポルシェ・コンシェルジュ・サービスを呼び出す	**コンシェルジュ・サービス**	
前回の目的地を選択する	**前回の目的地/保存した目的地**	
目的地として自宅/職場を選択する	**自宅へ帰る/会社へ行く**	保存されている住所へのナビゲーションが開始されます。住所の保存方法に関するインフォメーション： ▷ 「目的地の保存（お気に入り）」（189ページ）を参照してください。
目的地または施設情報を検索する	**検索（施設情報）**例えば**ポルシェ・サービス**	ブランド名や施設情報のカテゴリーを発話することができます（例えば、検索 施設情報 空港）。
目的地をオンライン検索する	**オンライン検索/インターネット検索**	✓ 有効なデータ接続が利用可能なこと ▷ 「データ接続を確立する（接続）」（136ページ）を参照してください。 これらのサービスはすべての言語およびマーケットで利用できるわけではありません。
市町村を選択する	**都道府県を入力**	
レストラン/休憩所/トイレ/ATM/ガソリン・スタンドを検索する	**次のレストラン/休憩所/トイレ/ガソリンスタンド**	近隣のそれぞれの検索基準を表示します。
ルート案内を開始/終了する	**ルート案内開始/終了**	
残りの燃料を計算する	**走行可能距離れもヴぇ**	
到着時間を要求する	**到着時間**	✓ ルート案内を開始している
ヘルプの呼び出し	**ヘルプ（ナビゲーション｜ナビ）｜（ナビゲーション｜ナビ）ヘルプ**	最も重要なナビゲーション機能の音声ヘルプを呼び出します。

ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント（PASM）

PASMはショック・アブソーバーをアクティブに調整します。アジャスタブル・ダンパー・システムは、走行状態や条件に応じて各タイヤの適切なダンパー・レベルを選択します。走行安全性、俊敏性、および快適性が最適化されます。

ボタンの操作で、2種類のシャーシ設定を選択できます：

– 「ノーマル・シャーシ」
– 「スポーツ・シャーシ」

ノーマル・モードでは、車両はスポーティーで快適な設定となります。

スポーツ・モードでは、ショック・アブソーバーの調整が非常にスポーティーなものになります（例：レース・サーキットでの走行などに最適な設定）。

走行状況に合わせて、マニュアル・モードに加えて、PASMもショック・アブソーバーを調整し、スポーティーまたは快適な走行を可能にします。

PASMモードの選択

図170: センター・コンソールのPASMボタン

1. イグニッションをONにしてください。
2. ボタンを押してください。

「ノーマル・シャーシ」（初期設定）を選択した場合、**インジケーター・ライト**は点灯しません。

「スポーツ・シャーシ」を選択した場合、インジケーター・ライトが**1つ**点灯します。

更に、選択したシャーシ設定はマルチファンクション・ディスプレイに短時間表示されます。

インフォメーション

イグニッションをOFFにすると、そのとき選択しているシャーシ設定がメモリーに保存されます。

警告メッセージへの対応

PASMの故障がマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（85ページ）を参照してください。

ポルシェ·コネクト·アプリ

ポルシェ・コネクト・アプリにより、個人的に設定したPOI（施設情報）や目的地を携帯電話の住所録やカレンダーからPCMに転送することができます。

⚠ 警告 走行時の設定と操作

運転中にアプリの設定を変更したりアプリを使用したりすると、運転に対する注意力が低下することがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 操作、設定の変更は必ず車両を停止させてから行ってください。

インフォメーション

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント（PCM）の操作に関するインフォメーション：

- ▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント（PCM）の操作」（229ページ）を参照してください。

WiFiを使用してポルシェ・コネクト・アプリをPCMに接続し、PCMで起動する

✓ ポルシェ・コネクト・アプリを携帯電話にインストールする
✓ ポルシェ・コネクト・アプリが起動されている
✓ 携帯電話でWiFiを有効にしている
✓ PCMでWiFiを有効にしている
▷ 「PCMデータ接続を利用する（WiFiホットスポット）」（137ページ）を参照してください。

図171: デバイス・マネージャーを開く

1. （接続ステータスに応じて）フッターの または を使用してデバイス・マネージャーを開いてください。
2. PCM（SIMカードがPCMドライブに挿入されています）のWiFiホットスポット（ワイヤレス・インターネット・アクセス）により接続を確立してください。
   a. デバイス・マネージャーから**Porsche Connect App** ▸ **PCMのWiFiホットスポット設定** を選択してください。
   b. 携帯電話のWiFi設定に、PCMのWiFiアクセス・データ（**ホットスポット名**および**ホットスポットパスワード**）を入力してください。
3. HOMEボタンを押してください。
4. **Apps（アプリ）** を選択してください。ポルシェ・コネクト・アプリの利用可能なコンテンツが表示されます。

インフォメーション

- PHONEボタン ▸ OPTボタン ▸ **PHONE 設定** ▸ **WiFi設定** ▸ **PCMのWiFiホットスポット設定**を順に選択して、PCMのWiFiアクセス・データを表示することもできます。
- デバイス・マネージャーに関するインフォメーション：
  ▷ 「デバイス・マネージャー」（163ページ）を参照してください。

ナビゲーション目的地およびカレンダー入力をPCMに転送する

✓ ポルシェ・コネクト・アプリがPCMに接続されている

1. アプリで、ナビゲーション目的地またはカレンダー入力を選択してください。
   a. **オンライン検索**：オンライン検索機能を使用して、目的地を選択します。
   b. **連絡先**：住所の詳細を含む連絡先を選択してください。
   c. **カレンダー**：住所の詳細を含むカレンダーを選択してください。
   d. **画像**：保存された画像を使用して、目的地を選択してください。
2. アイコンを使用して、目的地を**登録目的地**お気に入りリストに追加してください。
   お気に入りリストに追加済みの項目にはチェックマークが付きます。
3. ポルシェ・コネクト・アプリがPCMに接続されている場合は、**登録目的地**の内容がPCMに転送されます。
   必要に応じて、HOMEボタン ▸ **Apps（アプリ）**を選択してPCMディスプレイを手動で更新してください。
4. HOMEボタン ▸ **アプリ** ▸ **登録目的地**または**カレンダー**を選択してください。
   または
   NAVボタン ▸ **保存した目的地** ▸ **登録目的地**を選択してください。
5. 転送された目的地へのルート計算を開始してください。

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント（PCM）の操作

概要

この概要説明は「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント（PCM）の操作」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

図172: PCM

図173: タッチスクリーン、ホーム・メニュー

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	ページ
PCMをONにする	▸ イグニッションをONにするか、ボリューム・スイッチ**A**を押してください。	
PCMをOFFにする	▸ イグニッションをOFFにするか、ボリューム・スイッチ**A**を押し続けてください。	
音量を調節する	▸ ボリューム・スイッチ**A**を回してください。	
オーディオ・ソースのミュート	▸ ボリューム・スイッチ**A**を短く押してください。	
メイン・メニュー（ラジオなど）を開く	▸ ボタン（例：TUNER）を押してください。	
音質設定を表示する	▸ HOMEボタン ▸ OPTボタン ▸ **SOUND 設定** ▸ **Volume（音量）** または **Sound（サウンド）**	237
デバイス・マネージャーを開く/接続を確立する	▸ フッターの または（**B**を参照）を選択してください。	163
日付と時刻を変更する	▸ フッターの時刻9:34（**C**を参照）を選択してください。	230
MyScreenを開いて設定する	▸ HOMEボタン ▸ **MyScreen**	233
システム設定を変更する	▸ HOMEボタン ▸ **Set（設定）**	236
CD/DVDまたはSDカードから音楽を再生する	▸ CD/DVDまたはSDカードを挿入する ▸ SOURCEボタン ▸ 希望のメディア・ソースを選択してください。	234
外部機器から音楽を再生する	▸ 外部機器をUSB、AUXまたはBluetooth®を介して接続する ▸ SOURCEボタン ▸ 希望のメディア・ソースを選択してください。	235

操作に関する重要なインフォメーション

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント（PCM）は、ラジオ、TVチューナー、サウンド設定、ナビゲーション・システム、様々なメディアや電話を操作するためのセンター・コントロール・ユニットです。

安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

PCMの操作時に運転者や同乗者がケガをしたり、危険にさらされたりすることがないよう、常に以下の安全に関する指示を遵守してください。

⚠ 警告 事故を起こす恐れがあります

PCMを操作すると、道路状況から注意が逸らされる恐れがあります。

- 周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限ってPCMの操作を行ってください。安全を確保できない場合は、車両を適切な場所に停車してからPCMの操作を行ってください。
- 緊急車両（パトカー、救急車など）のサイレンなど、常に車外の音が聞こえる程度の音量に設定してください。

⚠ 警告 事故を起こす恐れがあります

機器を固定しなかったり不適切な位置に載せると、ブレーキやステアリングを操作したとき、急加速時または事故の際に、飛び出して乗員がケガをする恐れがあります。

- 車内に固定していない物を載せて走行しないでください。
- 走行中は必ず小物入れを閉じてください。

⚠ 注意 負傷する恐れがあります

ハウジングが開いている場合や損傷した場合は、目に見えないレーザーが照射される危険があります。

- PCMはクラス1レーザー製品です。ハウジングを分解しないでください。メンテナンス作業が必要になった場合は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。

インフォメーション

バッテリーを保護するため、PCMはイグニッションをOFFにしてから数分経過すると自動的にOFFになります。

PCMのON/OFF

図174: PCMのON/OFF

- PCMはイグニッションをONにすると作動します。
- イグニッションの位置に関係なく、ボリューム・スイッチ**A**を長押しするとPCMのON/OFFを切り替えることができます。

日付と時刻の設定

時刻表示から、日付と時刻の設定に素早くアクセスできます。

- フッターの時刻 9:34 を選択してください。

▷ 「全般的なシステム設定を変更する」（236ページ）を参照してください。

タッチスクリーンの操作ボタン

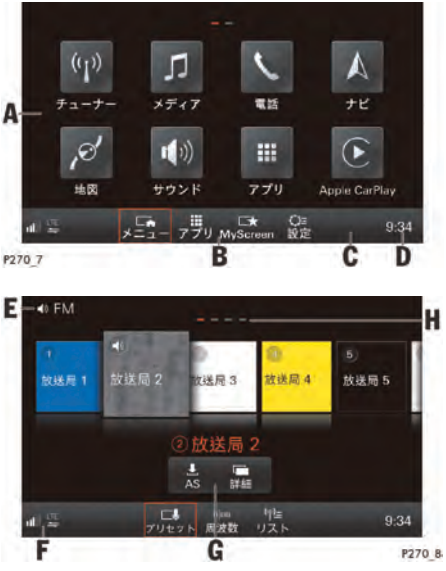


図175: タッチスクリーンの操作ボタン

A ホーム画面
HOMEボタンを押すと、使用可能な機能が表示されます。

B 有効なメイン・メニューの機能
どのメイン・メニューが有効になっているかに応じて、ツールバーには異なるメニューが表示されます。

C フッター
有効なメイン・メニューの機能、接続シンボルおよび設定可能な温度または時刻を表示します。

D 時刻または外気温ディスプレイ
▷ 「日付と時刻の設定」（230ページ）を参照してください。

E ヘッドライン
例えば、選択されたラジオまたはメディア・ソースが表示されます。

F デバイス・マネージャーを開く
（電話を接続する、WiFi設定を表示しワイヤレス・インターネット・アクセスを設定する、Bluetooth®機器を接続する、Apple®CarPlayおよびポルシェ・コネクト・アプリの接続状態を表示する）
▷ 「デバイス・マネージャー」（163ページ）を参照してください。

G コントローラー
タッチスクリーンに接近すると追加機能を表示します。

H 他のページを表示
スクロール（スワイプ）すると、他のページが開きます。

タッチスクリーンでPCMを操作する

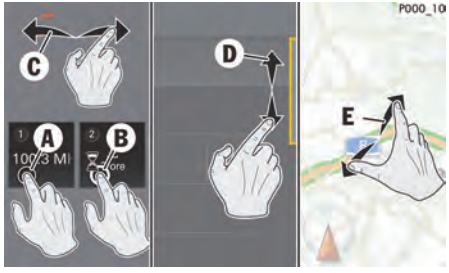


図176: タッチスクリーンでPCMを操作する

A タッチ（選択）
タッチスクリーンを指で素早くタッチしてください。例：機能を選択する、またはボックスをチェックする/チェックを外す。

B 長押し
タッチスクリーンを長くタッチしてください。例：TUNERメイン・メニューで放送局を保存する。

C スワイプ
タッチスクリーンを指で左右にスワイプしてください。例：ラジオ放送局を含む他のページを表示する。

D スクロール
タッチスクリーンを指で上下にスワイプしてください。例：リストを手動でスクロールする。

E ズーム
2本の指をディスプレイに触れたまま指を広げる、または指を狭めてください。タッチスクリーンを2回タップすると、そのセクションが拡大表示されます。例：地図を拡大表示する。

ロータリー・プッシュ・ボタンでPCMを操作する

図177: ロータリー・プッシュ・ボタン

1. 希望の機能がハイライトされるまで、ロータリー・プッシュ・ボタンを回してください。
2. ハイライトされた機能を有効にするには、ロータリー・プッシュ・ボタンを押してください。

メニューを開く

直接メイン・メニューを開く

▸ PCMのボタン（例：TUNER）を押してください。

インフォメーション

いずれかのメイン・メニューから別のメニューにいつでも切り替えることができます。メイン・メニューに戻ると、前に開いていた内容が再び表示されます。

ホーム・メニューからメイン・メニューを開く

1. HOMEボタン ▸ **Menu（メニュー）**
2. メイン・メニュー（例：**チューナー**）を選択してください。

有効な機能の設定を開く

✓ 希望のメイン・メニューが選択されている（例：TUNER）

▸ OPTボタンを押してください。
該当するメニューの設定および他の機能が表示されます。

テキストおよび文字を入力する

ナビゲーション目的地や検索語句の入力など、テキストや文字を入力する必要があるときは、入力フィールドが表示されます。

図178: タッチスクリーン・キーパッド

A 現在のカーソル位置
B キーボードを表示する/隠す
C 手書き文字認識機能（タッチスクリーンを使用してアルファベットや文字を入力する）
D キーボードの調整
E スペースを挿入する
F 入力を決定する
G 文字、数字および特殊文字の入力を切り替える
H 入力データを削除する
I Caps LockのON/OFFを切り替える（大文字と小文字を切り替える）
J 候補のリスト

テキストおよび文字を入力するには、3種類の方法があります。

キーパッドによる入力

1. 入力フィールドを選択して、タッチスクリーン・キーパッドを開いてください。
2. 希望のテキストまたは文字を入力してください。

ロータリー・プッシュ・ボタンによる入力

1. 希望のアルファベットや文字がハイライトされるまで、ロータリー・プッシュ・ボタン（図177）を回してください。
2. ロータリー・プッシュ・ボタンを押し、ハイライトされたアルファベットまたは文字を決定してください。

手書き入力

手書き入力では、手書き文字認識機能により指でテキストや文字を書くことができます。

図179: 手書き入力

1. を選択して入力フィールドを開いてください。
2. 指で希望のテキストや文字を書いてください。

- スペースを入れるには、左から右に指でスワイプしてください。
- 入力データを削除するには、右から左に指でスワイプしてください。

インフォメーション

PCMはひらがな/カタカナ/ローマ字/漢字の手書き入力に対応しており、該当する文字を表示します。
ボイスコントロールを使用して、テキストや数字を入力することも可能です（例：電話番号をダイヤルするときや、ナビゲーション目的地を入力するときなど）。

▷ 「ボイスコントロール」（220ページ）を参照してください。

デバイス・マネージャーを開く

▷ 「デバイス・マネージャー」（163ページ）を参照してください。

アプリを開く

Apps（アプリ） メニューからポルシェ・コネクト・サービスおよびポルシェ・コネクト・アプリ機能にアクセスすることができます。

- **HOME** ボタン ▸ **Apps（アプリ）**

▷ 「ポルシェ・コネクト・アプリ」（227ページ）を参照してください。

バックグラウンド・イメージを表示する

バックグランド・イメージは、**HOME** メニューで表示/非表示を切り替えることができます。

- **HOME** ボタン ▸ **OPT** ボタン ▸ **バックグラウンドイメージを表示**

MyScreenの設定

MyScreen メニューでは、様々なカテゴリー（**ナビゲーション**や**電話**など）のタッチスクリーンのコンテンツを希望により個別にグループ分けすることができます。
合計3種類のMyScreenを設定できます。

MyScreenを作成する

1. **HOME** ボタン ▸ **MyScreen** ▸ **OPT** ボタン ▸ **MyScreen 設定**
2. **MyScreen 1**、**MyScreen 2** または **MyScreen 3**を選択してください。
3. カテゴリー（**ソース**など）を選択して、選択可能なタイルのリストを開いてください。

図180: MyScreenの設定

4. 希望のタイルをクリックし、左側のプレビューにある任意のコンテナーにドラッグ&ドロップしてください。タイルは、緑色のエッジが見えるとすぐにコンテナーに挿入することができます。
5. または から、**MyScreenを設定**メニューを終了してください。

- 左側のプレビューからタイルを取り除くには、ドラッグ＆ドロップで削除したいタイルをコンテナーから取り除くか、別のタイルと入れ替えてください。

電話のお気に入りの追加に関するインフォメーション：

▷ 「MyScreenにお気に入りを追加」（173ページ）を参照してください。

MyScreenを開く

1. HOMEボタンを押してください。
2. **MyScreen** を選択してください。
   直前に有効にした **MyScreen** が表示されます。

▸ **MyScreen 1**、**MyScreen 2** および **MyScreen 3**を切り替えるには、該当するMyScreenが表示されるまで左右にスワイプしてください。

MyScreenをリセットする

1. HOMEボタン ▸ **MyScreen** ▸ OPTボタン ▸ **MyScreen 設定**
2. **MyScreenをリセット**を選択してください。
   MyScreenの2ページおよび3ページのコンテンツが削除されます。MyScreenの1ページのコンテンツが初期設定にリセットされます。

各種ドライブおよび外部接続機器に関する諸注意

対応するメディアおよびファイル形式に関するインフォメーション：

▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント（PCM）」（310ページ）を参照してください。

– 記憶媒体に多くのファイル、フォルダーまたはプレイリストが含まれている場合、最初にトラックを読み込むのに時間がかかる場合があります。
– オーディオ・ファイルの再生時は、記録された追加情報（アーティスト、タイトル、アルバム・カバーなど）が自動的に表示されます。該当する情報が媒体に記録されていない場合は、Gracenote®[1] データベースを利用します。それでも個々の追加情報が表示されない場合があります。
– USB延長ケーブルまたはアダプターを使用しないでください。性能が損なわれる原因になります。
– USBハブには対応していません。
– ポルシェ社は、ファイルやメディアの損傷や紛失に対していかなる責任も負いかねます。大切なデータは、SDカード、ジュークボックス、CD/DVDまたはポータブル・プレーヤーに決して保存しないでください。
– 外気温が異常に高いまたは低いときは、一時的にCD/DVDが再生できなくなる場合があります。CD/DVDおよび走査レーザーを保護するために、熱保護回路が搭載されています。
– PCMは、コピー・プロテクト機能付きのCD/DVDまたは規格に準拠していないCD/DVDを再生できない場合があります。
– 原則として私的使用を目的とする場合にのみ、CD/DVDのコピーを作成することが認められています。コピーされたCD/DVDを第三者に譲渡した場合は、著作権法に定められた例外の対象になりません。MP3で再生するために作成された音楽トラック、およびMP3にコピー可能な音楽トラックは、一般的に該当する国際的および国内の規制に従って著作権保護の対象となります。多くの国では、私的使用が目的であっても著作権保有者に事前の承諾なくしてコピーすることはできません。該当する著作権法を遵守してください。お客様自身が作曲およびレコーディングの著作権保有者である場合、あるいは著作権保有者によって権利を付与された場合は、これらの制約は適用されません。如何なる場合においても、現行の法的な見解が適用されます。

1) Gracenoteロゴおよび「powered by Gracenote」ロゴは、米国またはその他の国におけるGracenote Inc.の登録商標または商標です。

CD/DVDドライブにロードする

知識

CD/DVDを正しく使用しないと、PCMを損傷する恐れがあります。

▸ 直径12cmの丸型、標準タイプのCD/DVDのみを使用してください。
▸ CD/DVD に触れるときは、必ず端を持ってください。ラベルのない面を手で触れないでください。
▸ CD/DVD への汚れの付着を避け、必要な場合には清掃してください。
▸ CD/DVDには何も貼り付けないでください。
▸ CD/DVDを変形させないでください。
▸ CD/DVD をドライブに無理に押し込んだり、取り出したりしないでください。

CD/DVDを挿入する

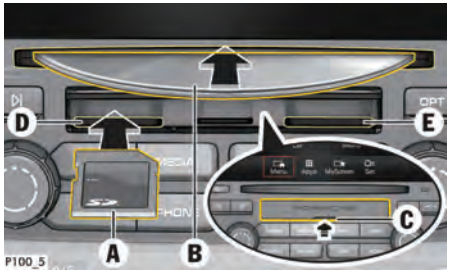


図181: CD/DVDまたはSDカードのロード

1. CD/DVD のラベル面を上にして、自動的に引き込まれるまでスロット**B**に押し込んでください。
2. SOURCEボタンを押し、希望のメディア・ソースを選択してください。

CD/DVDを取り出す

▸ ⏏ボタンを押し、CD/DVDを取り出してください。

SDカードを挿入する

知識

SDカードを正しく使用しないと、PCMを損傷する恐れがあります。

SDカード・アダプターを使用すると、振動によりSDカードがアダプターから外れて各カードがSDカード・リーダーに詰まる恐れがあります。

▸ SDカード・アダプターは使用しないでください。

SDカードを挿入する

1. 指の爪でスロット**C**のカバーを上方に開いてください。
2. SDカード**A**（図181）のラベル面を上にして、SDカード・リーダー 1（**D**参照）または2（**E**参照）にロックされるまで差し込んでください。

SDカードを取り出す

✓ SDおよびSIMカード・リーダー・カバーが開いている

1. 挿入されたカードを押して、取り出してください。
2. SDおよびSIMカード・リーダー・カバーを閉じてください。

SIMカードの挿入および取り出し

▹ 「ポルシェ専用SIMカードを使用してデータ接続を確立する」（136ページ）を参照してください。

外部機器の接続

対応するメディアおよびファイル形式に関するインフォメーション：

▹ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント（PCM）」（310ページ）を参照してください。

インフォメーション

一部の外部機器では、音量の個別調節が必要になる場合があります。

1. 外部機器の音量を調節してください。
2. PCMで希望の音量に設定してください。

USBまたはAUXを介して外部機器を接続する

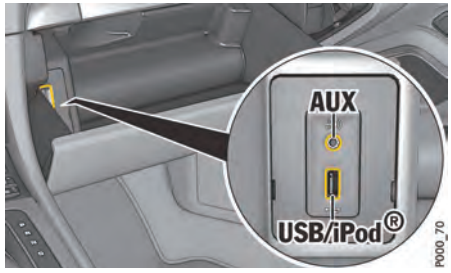


図182: グローブ・ボックスのUSBおよび汎用オーディオ（AUX）ポート

図183: センター・コンソールのUSBポート（装備仕様による）

1. グローブ・ボックスまたはセンター・アームレストを開いてください。
2. 外部機器（例：iPod®、USBフラッシュ・ドライブ）をUSBまたはオーディオ（AUX）ポートに接続してください。
3. SOURCEボタンを押し、希望のメディア・ソースを選択してください。

インフォメーション

グローブ・ボックスにはUSBおよび汎用オーディオ（AUX）ポートがあります。車両装備により、センター・コンソールのUSBポートの数が異なります。USBポートがセンター・コンソールにある場合、このUSBポートのみを使用してApple® CarPlayを利用することができます。

▷ 「Apple® CarPlay」（296ページ）を参照してください。

インフォメーション

外部機器（携帯電話など）は、USB充電ケーブルを使用して車内で充電することができます。

外部機器をBluetooth®経由で接続する

1. フッターの または を選択してください（接続状態により異なる）。
   または
   PHONE ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **デバイスマネージャー**
2. **Bluetooth オーディオ** ▸ **新しいデバイスを検索**を選択してください。
   6桁のBluetooth®コードが生成され、PCMおよび携帯電話に表示されます。
3. PCMと携帯電話に表示されたBluetooth®コードを比較してください。
4. PCMと携帯電話のBluetooth®コードが一致していれば確定してください。
   機器の接続に成功すると、機器の概要に表示されます。

Bluetooth®機器の管理に関するインフォメーション：

▷ 「Bluetooth®デバイスの削除、またはBluetooth®インフォメーションの表示」（170ページ）を参照してください。

全般的なシステム設定を変更する

1. HOME ボタン ▸ **Set（設定）** ▸ **システム**
   または
   CAR ボタン ▸ **Set（設定）** ▸ **システム**
2. 希望のオプション選択してください。

- **言語**：システム言語を選択してください。
  - **日本語**
  - **英語**
- **ボイスコントロール**：
  - **ショートダイアログ**：ボイスコントロールはショート・ボイス・コマンド・テキストを使用します。
  - **ヘルプテキスト**：アクティブ・ボイスコントロールで可能なコマンドの表示
- **工場設定**
  - **工場設定**：すべての設定値が規定値にリセットされます。個人データは保持されます。
  - **車両の引き渡し**：すべての設定値が規定値にリセットされます。住所、目的地、電話番号など、すべての個人データが削除されます。
- **単位**
  - **速度**
  - **温度**
  - **圧力**（タイヤ空気圧）
  - **燃費**
- **日付と時刻**
  - **オートタイム**：GPS信号で時刻、日付、サマータイムを同期
  - **時刻**
  - **日付**
  - **自動タイムゾーン**：オートタイム・モードでは、タイムゾーンも自動的に設定されます。
  - **タイムゾーン**
  - **時刻表示形式**
  - **日付表示形式**

PCMディスプレイの設定を変更する

1. HOMEボタン ▸ **Set（設定）** ▸ **PCMを表示**
   または
   CARボタン ▸ **Set（設定）** ▸ **PCMを表示**
2. 希望のオプションを選択してください。

- **ディスプレイを OFF にする**：次にタッチするまでタッチスクリーンがOFFになります。
- **ディスプレイの明るさ**
- **フッター**
  - **温度**：フッターに温度を表示する
  - **時刻**：フッターに時刻を表示する
- **近接センサー**：近接センサーを有効/無効にする
- **タッチ操作音**：ディスプレイにタッチした時の操作音を有効/無効にする

音量および音質の変更

音量を調節する

ボリューム・スイッチ**A**（230ページ図174）を回すと、音量を調節できます。

オーディオ・ソースのミュート

▸ ボリューム・スイッチ**A**（230ページ図174）を短く押してください。
フッターにミュートのシンボルが表示されます。
運転アドバイス、電話の会話および交通情報は聞くことができます。

▸ ミュート機能を解除するには、ボリューム・スイッチ**A**を再び短く押してください。

音質設定を変更する

1. HOMEボタン ▸ OPTボタン ▸ **SOUND 設定** ▸ **Sound（サウンド）**
2. オプションを選択して、設定を変更してください。

- **Bass**：低音域の調節
- **Treble**：高音域の調節
- **フェーダー**：前後スピーカーの音量調節
- **バランス**：左右スピーカーの音量調節

音量設定を変更する

1. HOMEボタン ▸ OPTボタン ▸ **SOUND 設定** ▸ **Volume（音量）**
2. 希望のオプションを選択してください。

- **ナビゲーション案内**：ナビゲーション案内の音量を設定
- **速度適応音量**：車速に応じた音量調節
- **AUX**：AUXオーディオ再生用の音量を設定
- **Bluetooth オーディオ**：Bluetooth® オーディオ再生用の音量を設定
- **マイク音量**：通話中のマイク音量を調整
- **着信音量**：着信音の音量を設定
- **電話中のナビゲーションをミュート**：通話中はナビゲーションアナウンスを再生しない
- **タッチ操作音**：ディスプレイにタッチした時の操作音
- **メッセージの受信音**：テキスト・メッセージおよびEメール受信時のサウンドON/OFFを切り替える

Burmester®音質設定を変更する

1. HOMEボタン ▸ OPTボタン ▸ **SOUND 設定**
2. **Burmester**を選択してください。
3. 希望のオプションを選択してください。

- **Pure**：純粋で忠実な音響設定
- **Smooth**：リラックスした長時間のリスニングに適した音響設定
- **Surround**：非常に開放感を感じる音響設定
- **Live**：ライブの臨場感を伴う広がりのある音響設定
- **ポジション**：座席別の音質調整
- **サウンドコンディショナー**：音響を周囲の音量に合わせて適応させます。

BOSE®音質設定を変更する

1. HOMEボタン ▸ OPTボタン ▸ **SOUND 設定**
2. **BOSE**を選択してください。
3. 希望のオプションを選択してください。

- **Surround**：非常に開放感を感じる音響設定
- **Linear**：低音重視の音質設定（リニア OFF）からニュートラルでバランスのよい音質（リニアON）に変更
- **オーディオパイロット®**：この機能をONにすると、車内のノイズ・レベルをモニターし、その変化に合わせて最適なオーディオ再生を行います。

ポルシェ・スタビリティ・マネージメント（PSM）

PSMは、過酷な走行条件下で車体を安定させるためのアクティブ・コントロール・システムです。エンジンが始動すると自動的に有効になります。PSMは、アンチロック・ブレーキ・システム（ABS）とエンジン・ドラッグ・トルク・コントロール・システム（MSR）の機能と同様にオートマチック・ブレーキ・ディファレンシャル（ABD）とアンチスリップ・コントロール（ASR）システムの両方を利用します。

⚠ 警告 車両コントロールの喪失

PSMを過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。PSMが装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。

PSMは危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

以下の条件でPSMコントロールの作動を知ることができます。

- インストルメント・パネルのPSM警告灯が点滅します。
- 油圧作動音が聞こえます。
- PSMがブレーキを制御することで、減速の度合いやステアリング操作力が変化します。
- エンジン出力が低下します。
- ブレーキ・ペダルが振動し、ペダルの位置が変化します。
  最大の制動力を得るため、ブレーキ・ペダルに振動を感じたら更に強く踏み込んでください。

オートマチック・ブレーキ・ディファレンシャル（ABD）

いずれかのアクスルで一方のホイールが空転し始めると、そのホイールにブレーキをかけて、反対側のホイールの駆動力を確保します。

アンチ・スリップ・コントロール（ASR）

アンチ・スリップ・コントロールがエンジン出力を制御することで、ホイールのスリップを防ぎ、直進安定性やハンドリング性能が維持されます。

エンジン・ドラッグ・トルク・コントロール（MSR）

オーバーラン時、ホイールのスリップが激しい場合、エンジン・ドラッグ・トルク・コントロールが駆動輪のロックアップを防ぎます。滑りやすい路面でシフトダウンした場合も同様です。

ステアリング・トルク・パルス

ステアリング・トルク・パルスは摩擦値が異なる路面でブレーキをかけた場合に運転者のステアリング・アシストを行います。

カウンター・ステアリング中も操舵力を追加して運転者を支援します。

PSMスポーツの作動

✓ スポーツ・クロノ・パッケージ装備車

PSMスポーツが作動すると、システムが特定のスポーツ・モードに切り替わります。

⚠ 警告 PSMサポート制限

PSMスポーツ・モードの場合、ABS制御の範囲外になるような過酷な走行状況ではPSMサポートが制限されます。

- 「通常」走行では常にPSMスポーツをOFFにすることをお勧めします。
- ボタンを短く押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトとインストルメント・パネルのPSM OFF警告灯が点灯します。
  マルチファンクション・ディスプレイにPSMスポーツが作動していることを示すメッセージが表示されます。

PSMをOFFにする

図184: センター・コンソールのPSM OFFボタン

⚠ 警告 PSMアシストの停止

PSMをOFFにすると、ABS制御の範囲外になるような過酷な走行状況でPSMサポートが行われません。

- 「通常」走行では常にPSMをONにすることを推奨いたします。

- ボタンを短く押してください（スポーツ・クロノ・パッケージ装備車：ボタンを2秒以上押してください）。
  ボタンを押してから実際にPSMがOFFになるまでには、若干の遅れがあります。
  ボタンのインジケーター・ライトとインストルメント・パネルのPSM OFF警告灯が点灯します。
  マルチファンクション・ディスプレイにPSMがOFFに切り替わったことを示す警告が表示されます。

インフォメーション

ABSコントロール範囲内でブレーキをかけた場合、PSMがOFFの状態でも車両は安定性を維持します。片方の駆動輪が空転すると、PSMをOFFにしていても空転を抑制します。

ただし次の場合は、例外として一時的にPSMをOFFにすることが有効です：
- ぬかるんだ路面、または積雪が多い場合
- スタックした車両を脱出させる場合

インフォメーション

PSMスポーツ・モードが作動しているとき、PSMを事前にONにしていた場合のみPSM OFFモードへの切り替えが可能です。

PSMを再度ONにする

- ボタンを押してください。
  直ちにPSMが復帰します。
  ボタンのインジケーター・ライトとインストルメント・パネルのPSM OFF警告灯が消灯します。
  マルチファンクション・ディスプレイにPSMがONに切り替わったことを示すメッセージが表示されます。

警告メッセージへの対応

PSM警告灯に関するインフォメーション：

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（85ページ）を参照してください。

ABSブレーキ・システム（アンチロック・ブレーキ・システム）

⚠ 警告 車両コントロールの喪失

ABSを過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。ABSが装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。

ABSは危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

ABSの特徴：
- ステアリングの操作性の確保：安定したステアリング・コントロール性能を維持します。
- 優れた走行安定性：ホイール・ロックによるスリップを回避します。
- 制動距離の短縮：ほとんどの状況で、ブレーキをかけたときの制動距離が短くなります。
- ホイール・ロックの回避：タイヤのフラット・スポットを回避できます。

機能

ABSは緊急回避が必要な状況で最も効果を発揮し、走行安定性とステアリング・コントロール性を維持します。
ABSは、あらゆる路面状況下での急ブレーキ時、車両が停止する直前までホイール・ロックを回避します。
ホイールのロック点付近でブレーキをかけたときにABSは作動し始めます。

このブレーキ・コントロールは、非常に小刻みなポンピング・ブレーキをかけるのと似た状態です。
ブレーキ・ペダルの脈動やノイズは、ドライバーが道路状況に対してスピードを調整する警告の役目をします。
最大制動力が必要な場合：

- 急ブレーキ操作が必要な場面では、ブレーキ・ペダルが振動してもしっかりとブレーキ・ペダルを踏み続けてください。ペダルを踏む力をゆるめないでください。

警告メッセージへの対応

ABS警告灯に関するインフォメーション：

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（85ページ）を参照してください。

マルチコリジョン・ブレーキング

マルチコリジョン・ブレーキングは、事故が起こった際に自動的にブレーキをかけ、衝突後の車両の横滑りや多重事故のリスクを軽減し、ドライバーを補助します。

前提条件

マルチコリジョン・ブレーキングは以下の場合にのみ作動します：
- 車両の前方、横方向および後ろからの衝突時
- エアバッグ・コントロール・ユニットが事故の際に作動しきい値を検出したとき
- 車速約 10km/h 以上で走行しているときに事故に遭ったとき

インフォメーション

事故後にPSMや電気系統に損傷がなく、作動可能な場合、PSMが自動的に油圧ブレーキを作動させます。

例外

以下の状況では事故の際に自動的にブレーキが作動しません：

- ドライバーが急激にアクセル・ペダルを踏んだとき
- ドライバーがブレーキ・ペダルを踏み込んだときのブレーキ油圧がシステムのブレーキ油圧より高いとき

ポルシェ・トラック・プレシジョン・アプリ

ポルシェ・トラック・プレシジョン・アプリを使用し、無線通信（WiFi）経由でスマートフォンを車両に接続することができます。このアプリにより、スマートフォン上で走行データの表示、保存、分析ができます。ポルシェ・トラック・プレシジョン・アプリを使用するために、SIMカード/データ接続が必要ない場合があります。

PCMでWiFi接続を確立するためのインフォメーション：

▷ 「PCMデータ接続を利用する（WiFiホットスポット）」(137ページ)を参照してください。

ポルシェ・トラック・プレシジョン・アプリのインストール、機能および管理に関する詳細情報はアプリ内から入手するか、www.porsche.com/connectまたはポルシェ正規販売店から入手できます。

⚠ 危険 車両コントロールの喪失

速度の出し過ぎや危険な操作により、車両のコントロールが失われる恐れがあります。

- 路面、天候など、周囲の交通状況と運転者のドライビング・スキルに適したスタイルで走行してください。
- ポルシェ・トラック・プレシジョン・アプリはサーキット走行するときにのみ使用してください。公道では使用しないでください。

⚠ 危険 走行時の設定と操作

運転中にアプリの設定を変更したりアプリを使用したりすると、運転に対する注意力が低下することがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

- 操作、設定は必ず車両を停止させてから行ってください。

インフォメーション

ポルシェ・トラック・プレシジョン・アプリを使用して車両固有データおよびその他の機能にアクセスすることができます。第三者の不正なアクセスからデータを保護してください。

マルチファンクション・ディスプレイ

この取扱説明書は機能の一部のみを紹介しています。ここではメニューの構成や、主な機能を例示し、操作方法をわかりやすく説明します。

⚠ 警告 走行時の設定と操作

運転中にマルチファンクション・ディスプレイ、マルチファンクション・ステアリング・ホイール、ラジオ、ナビゲーション・システム、電話などの機器の操作、設定を行うと、注意力が散漫になることがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- 周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限って運転中の操作を行ってください。
- 複雑な操作、設定は必ず車両を停止してから行ってください。

図185: マルチファンクション・ディスプレイの位置

インフォメーション

マルチファンクション・ディスプレイはイグニッションがONのときのみ操作できます。

安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

マルチファンクション・ステアリング・ホイールを使用しないマルチファンクション・ディスプレイの操作

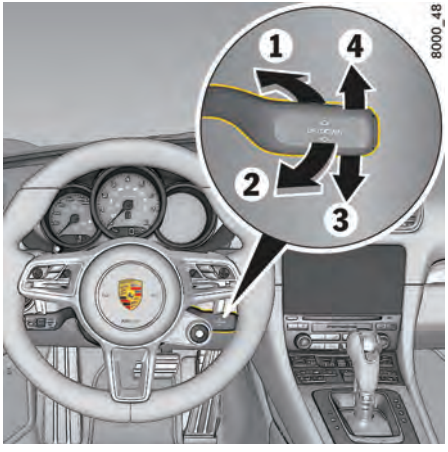


図186: ステアリング・コラム・レバーの機能

メニューおよび機能/オプションを選択する（スクロール）

- レバーを下方向**3**、または上方向**4**に押してください。

選択の決定（Enter）

- レバーを前方**1**に押してください。

1つ前、または複数前のメニューに戻る

- レバーをステアリング・ホイールの方向**2**へ1回、または数回引いてください。

電話およびラジオ一覧から希望する項目の冒頭までスキップする

- レバーを下方向**3**、または上方向**4**に押し続けてください。
  頭文字を選択する画面が表示されます。
- 任意の頭文字を選択してください。
  選択した頭文字ではじまる登録情報の、最初の項目にスキップします。

マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作

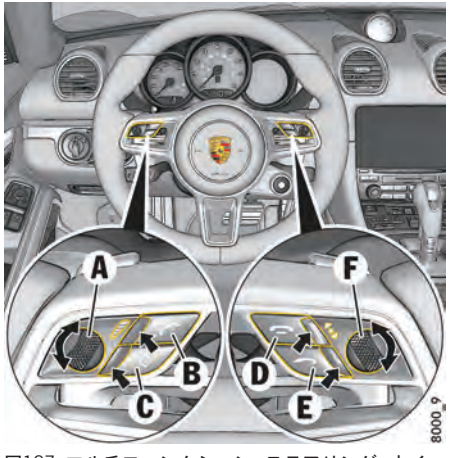


図187: マルチファンクション・ステアリング・ホイールのファンクション・ボタン

インフォメーション

マルチファンクション・ステアリング・ホイールの操作では、ポルシェ・コミュニケーション・システム＊をON/OFFできません。

音量を上げる/下げる

- ボリューム・スイッチ**A**を上方または下方に回してください。

ミュート機能のON/OFFを切り替える

- ボリューム・スイッチ**A**を押してください。

メニューおよび機能/オプションを選択する（スクロール）

- ロータリー・ノブ**F**を上方向または下方向に回してください。

電話およびラジオ一覧から希望する項目の冒頭までスキップする

- ロータリー・ノブ**F**を上方向または下方向に素早く回してください。
  頭文字を選択する画面が表示されます。
- 任意の冒頭文字を選択してください。
  選択した頭文字ではじまる登録情報の、最初の項目にスキップします。

選択の決定（Enter）

- ロータリー・ノブ**F**を押してください。

保存された機能を有効にする

- ◊ボタン**C**を押してください。

ボタンは個別に割り当てることができます。初期設定ではオーディオ・ソースの選択に設定されています。

ボタンの個別設定に関するインフォメーション:

▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールのボタンの割り当て変更」（258ページ）を参照してください。

1つ前、または複数前のメニューに戻る

- バック・ボタン**E**を押してください。

着信を受ける

- ハンドセット・ピックアップ・ボタン**B**を押してください。

通話を終了するまたは着信を拒否する

- ハンドセット・ハングアップ・ボタン**D**を押してください。

マルチファンクション・ディスプレイの表示エリア

図188: マルチファンクション・ディスプレイの表示エリア

A/D – 上部/下部ステータス・エリア

上部/下部ステータス・エリアには、コンパス、時刻、温度などの基本情報が表示されます。ステータス・エリア表示は個別の設定ができます。

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイの表示を変更する」（253ページ）を参照してください。

B – タイトル・エリア/メニュー・インジケーター

タイトル・エリアには、現在選択しているメニュー項目が表示されます。

右側のメニュー・インジケーター（灰色のバー）には、選択可能な全メニューにおける現在のメニュー項目の位置および、選択できるメニュー項目の数が表示されます。

メニュー・インジケーターの幅が広いほど、選択できるメニュー項目の数が少ないことを意味します。

C – インフォメーション・エリア

インフォメーション・エリアには、現在選択できるメニュー項目が表示されます。メニュー項目を選択した後は、そのメニュー項目に関係する情報や、その他の選択肢が表示されます。

オプションの選択および機能の有効化

各オプションの項目名の前に付いているシンボル・マークは、その項目が選択されているか、またはその機能が有効になっているかを示します。

複数のオプションから1つを選択する

◉	選択されたオプション
○	選択されていないオプション

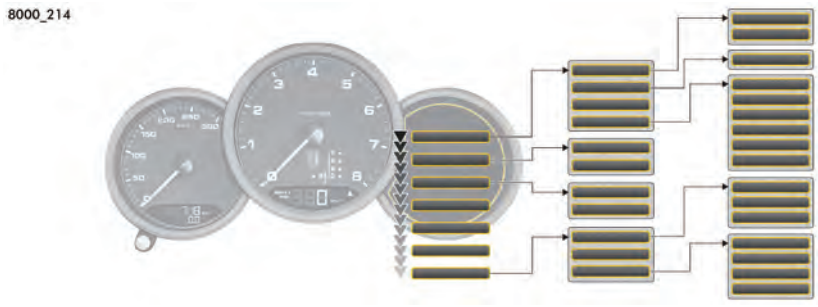
機能の作動/停止

☑	機能が作動している
☐	機能が停止している

＊ 日本仕様に設定はありません。

メニュー概要

マルチファンクション・ディスプレイでは、車両の装備に応じてオーディオ（ラジオ、CD、iPod®など）、オイル・レベル、タイヤ空気圧、ストップウォッチ、ナビゲーション・システムといった車両情報を確認することができます。また、様々な車両設定を変更することができます。
タイヤ空気圧モニタリング・システム（TPM）の設定など一部のメニューは停車中のみ利用できます。



メニュー	何ができるか	ページ
▸ **車両 ▸ 情報**	車両情報を表示する（メッセージ、サービス間隔）	246
▸ **車両 ▸ オイル レベル**	エンジン・オイル・レベルの測定と表示	246
▸ **車両 ▸ 制限**	速度制限の設定	247
▸ **車両 ▸ 設定 ▸ 表示**	マルチファンクション・ディスプレイの表示を変更する	253
▸ **車両 ▸ 設定 ▸ 日付 & 時刻**	日付と時刻の調整	255
▸ **車両 ▸ 設定 ▸ アシスタンスシステム**	アシスタンス・システムの調整	256
▸ **車両 ▸ 設定 ▸ パーソナル**	走行モードの個別設定	257
▸ **車両 ▸ 設定 ▸ ライト & ビュー**	エクステリア・ライト、インテリア・ライト、後退時のディスプレイ補助、およびフロント・ワイパー設定の調整	257
▸ **車両 ▸ 設定 ▸ ハンドル操作 ▸ ◊ボタン**	マルチファンクション・ステアリング・ホイールの◊ボタンを割り当てる	258
▸ **車両 ▸ 設定 ▸ ロック**	ロック解除/ロックの設定	259
▸ **車両 ▸ 設定 ▸ エアコン**	エアコンの設定	259
▸ **車両 ▸ 設定 ▸ 音量**	警告音およびパーキング・アシスタントの音量調節	259
▸ **車両 ▸ 設定 ▸ 単位**	車両ディスプレイ用測定単位の調整	260
▸ **車両 ▸ 設定 ▸ 言語**	言語設定	260
▸ **車両 ▸ 設定 ▸ Car Connect**	車両とポルシェ・カー・コネクト・アプリ間の通信を停止する	260
▸ **車両 ▸ 設定 ▸ リセット**	工場出荷時の設定に戻す	260

メニュー	何ができるか	ページ
▶ **オーディオ**	有効なオーディオ・ソースから放送局またはトラックを選択する	283/267
▶ **電話**	電話を使用する	173
▶ **地図**	地図画面を表示/調整する	191
▶ **ナビゲーション**	ナビゲーション・システムを使用する	188
▶ **トリップ**	走行データを表示/リセットする	
▶ **タイヤ圧力**	タイヤ空気圧を表示してタイヤ設定を調整する	248
▶ **クロノ**	ストップウォッチで時間を計る	128
▶ **シフトアシスト**	ギヤシフト・アシストを使用する	251
▶ **G-Force**	縦加速度および横加速度を表示する	252
▶ **ACC**	アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）を使用する	33
▶ **制限速度**	制限速度の表示	228

車両メニュー

メッセージの表示

▶ **車両** ▶ **情報** ▶ **メッセージ**

未解決の警告または車両メッセージが表示されます。
下部のステータス・エリアに表示される警告メッセージは、未解決の警告メッセージの数を示しています。
複数の警告メッセージが未解決の場合、メッセージ・リストで閲覧できます。

サービス・インターバルの表示

次回のサービス（点検）時期が表示されます。

1. **車両** ▶ **情報** ▶ **サービス間隔**
2. 任意のサービス・インターバルを選択してください。

エンジン・オイル・レベルの測定と表示

知識

オイル・レベルが下限マークより下にある場合、エンジンが適切に潤滑されません。これによりエンジンが損傷するおそれがあります。

- ▶ オイル・レベルを定期的に点検してください。
- ▶ オイル・レベルが下限マークを下回らないように注意してください。

エンジン・オイル・レベルの表示

インフォメーション

状況により、オイル・レベルが表示されないことがあります。以下の場合に発生します：

- エンジン冷間時
- フルスロットで高速走行後の停車時
- エンジン油温が高すぎる場合
- リヤ・ラゲッジ・コンパートメント・リッドが開いている場合

マルチファンクション・ディスプレイに該当するメッセージが表示されます。

✓ 車両を平坦な場所に駐車する
✓ エンジンが作動温度に達した状態で、1分間以上停止する

▶ **車両** ▶ **オイル レベル**

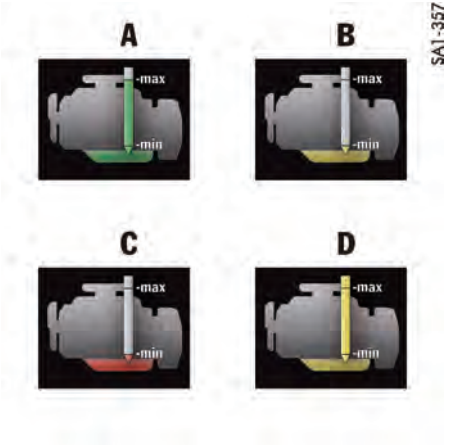


図189: オイル・レベル・ゲージ

A オイル・レベルは適正 – 上限に達している
B オイル・レベル下限に達している
C オイル・レベルが下限を下回っている
D オイル・レベルが上限を超えている

表示が緑色**A**の場合、オイル・レベルは適正です。最下部が黄色**B**で表示されている場合、オイル・レベルが下限まで低下しています。オイル・レベルが低下していることを知らせるメッセージが表示されます。

- 次の機会にマルチファンクション・ディスプレイに表示されているエンジン・オイルの量を補充してください。
- 表示された補充量以上のエンジン・オイルを補充しないでください。下限マークと上限マークの差は約1リットルです。

最下部が赤色**C**で表示されている場合は、オイル・レベルが下限を下回っています。オイル・レベルが低過ぎることを知らせるメッセージが表示されます。

- 運転を続けないでください。
- マルチファンクション・ディスプレイに表示されているエンジン・オイルの量を**直ちに**補充してください。
- 表示された補充量以上のエンジン・オイルを補充しないでください。下限マークと上限マークの差は約1リットルです。

最上部**D**まで黄色で表示されている場合、エンジン・オイルが容量の上限を超えて補充されていることを示しています。これによって車両が損傷するおそれがあります。

エンジン・オイルの補充量が多すぎたときは、オイルレベルが上限を超えていることを知らせるメッセージが表示されます。

次の機会にオイル・レベルを適正に戻してください。

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジン・オイルの補充

▷ 「エンジン・オイルの選択と補充」(62ページ) を参照してください。

故障

オイル・レベル測定が失敗した場合、オイル測定機能に不具合があることを知らせるメッセージが表示されます。

- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

制限速度の設定

制限速度を設定して機能を作動させると、その速度を超えたときに警告メッセージが表示されます。

例えば、装着しているタイヤの許容最高速度に合わせて制限速度を設定するなど、運転者に注意を喚起したいときに利用できます。

1. **車両** ▸ **制限** ▸ **制限1**または**制限2**
2. 任意の制限を選択してください。

– **実際の速度**:現在の速度を設定してください。
– **手動**:任意の速度値を設定してください。
– **有効**:
  ☑ 制限速度作動中
  ☐ 制限速度無効

車両設定の調節

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイを使用した車両設定」(253ページ) を参照してください。

オーディオ・メニュー

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイを使用して放送局を選択する」(283ページ) を参照してください。

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイを使用して、有効なオーディオ・ソースからトラックを選択する」(267ページ) を参照してください。

電話メニュー

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイで電話を使用する」(173ページ) を参照してください。

地図メニュー

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイによるマップ・ビューの表示および設定」(191ページ) を参照してください。

ナビゲーション・メニュー

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイでの目的地の入力」(188ページ) を参照してください。

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイによるルート案内の開始および停止」(188ページ) を参照してください。

トリップ・メニュー

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイにドライビング・データを表示する」(178ページ) を参照してください。

TPMメニュー – タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM)

タイヤ空気圧モニタリング・システムには次の機能があります：

– タイヤ空気圧および温度を常時監視します。
– 走行中の実際のタイヤ空気圧 (実圧力) を表示します。
– 空気圧の低下を2段階 (黄色/赤色) で警告します。
– 停車しているとき規定空気圧との差、選択されたタイヤ種類およびコンフォート・プレッシャーを表示します。

⚠ 警告 不適切なタイヤ空気圧

タイヤ空気圧が低いまたは高いと、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷を与えるだけでなく、制動距離が長くなり、事故を起こす危険が大幅に高まります。
タイヤ空気圧モニタリング・システムの有無にかかわらず、タイヤ空気圧を適切に維持し、タイヤ空気圧メニューを適切に設定することは運転者の責務です。

▸ 装着タイヤに合わせてタイヤ空気圧を調整してください。
▷ 「タイヤ空気圧」(308ページ) を参照してください。
▸ マルチファンクション・ディスプレイのタイヤ圧力 (TPM) メニューの設定が、車両に装着されているタイヤと一致していることを確認してください。
タイヤを交換したときは、タイヤ空気圧メニューの設定を更新してください。
▸ タイヤ/ホイールを交換したときは、新しく装着したタイヤ/ホイールの種類とサイズが従来と同一であっても、マルチファンクション・ディスプレイで改めて選択しなければなりません。
▸ マルチファンクション・ディスプレイへの入力情報が不足していたり、タイヤの選択を誤ると、警告とメッセージ表示の正確さに悪影響を及ぼします。

⚠ 警告 不適切なタイヤ空気圧

▸ マルチファンクション・ディスプレイに赤色のタイヤ空気圧警告が表示された場合は、速やかに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。必要に応じてパンク修理剤で応急処置を行ってください。
▷ 「パンク」(204ページ) を参照してください。
▸ 損傷したタイヤを装着したままで運転を続け**ない**でください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
▸ 空気圧を調整しても短時間で空気が抜ける場合、そのタイヤでの運転を続けないでください。ポルシェ正規販売店で点検を受けてください。
ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

i インフォメーション

タイヤ空気圧モニタリング・システムは、自然放散による空気圧低下や、タイヤに異物が刺さったときなどの空気圧のゆっくりとした低下を検出して警告します。
突発的な外的要因によるタイヤのパンクなど、急激な空気圧の低下は検出できず、警告しません。

タイヤ空気圧モニタリング・システムの故障

故障が発生すると、タイヤ空気圧モニタリング・システムはタイヤ空気圧の監視を行うことができません。

インストルメント・パネルのタイヤ空気圧警告灯(!)が点灯し、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

- 故障が継続する場合：ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

以下の場合は監視が不完全になる場合があります：

- タイヤ空気圧モニタリング・システムが故障している場合
- タイヤ空気圧モニタリング・システム用のホイール・トランスミッターが取り付けられていない場合
- タイヤの設定を更新した直後の登録プロセス中
- ホイールを交換した後、設定を更新しなかった場合
- タイヤの温度が高すぎる場合

▷「警告およびインフォメーション・メッセージ」(85ページ) を参照してください。
▷「警告灯および表示灯」(43ページ) を参照してください。

タイヤ空気圧の確認

インフォメーション

イグニッションをONにした後、車両の速度が約25km/hを超えたときのみタイヤ空気圧が「登録」されて表示されます。空気圧を表示するまではダッシュ記号「-.-」を表示します。
イグニッションをOFFにするか再度ONにした場合、または車両を約10分以上停止した場合、タイヤ空気圧は表示されなくなります。
タイヤに0.1bar以上の空気を補充した場合、該当するタイヤ空気圧が更新されて表示されます。

8070_7

図190: タイヤ空気圧表示

▶ **タイヤ圧力メニューを選択してください。**

この空気圧表示は、情報としてのみ利用してください。タイヤ空気圧は温度によって変化します。

- いかなる場合も、この表示を元にタイヤ空気圧を調整しないでください。

充填情報を見る

8070_8

図191: 圧力差の例

✓ 停車しているとき

▶ **タイヤ圧力 ▸ 充填情報**

該当するホイールの規定圧との差が表示されます。
例：右リヤ・ホイールの位置に「**–0.1bar**」と表示された場合は、このタイヤに0.1barの空気を補充してください。
表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

- タイヤ空気圧を補正するときは、充填情報ディスプレイまたは該当するタイヤ空気圧警告に表示される圧力差を必ず使用してください。

タイヤをまだ登録していない場合、現在の圧力差の代わりに、新しい規定空気圧が表示されます。

▷ 「タイヤ空気圧モニタリング・システムの登録」(250ページ) を参照してください。

タイヤ種類の選択 (装着タイヤの種類とサイズ)

インフォメーション

利用できる項目は、車両のモデル・タイプにより異なります。このため本書で説明している選択項目の中には、マルチファンクション・ディスプレイで利用できないものが含まれることがあります。

- マルチファンクション・ディスプレイに登録されていないサイズのタイヤを装着するときは、そのタイヤを装着する前に、マルチファンクション・ディスプレイに不足情報を追加する必要があります。
  ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ポルシェ社が承認したタイヤのみを使用してください。

✓ 停車しているとき

▸ **タイヤ圧力** ▸ **タイヤ種類**

選択できる設定と略語:

- 18" サマー: **18" (S)**
- 18" ウィンター: **18" (W)**
- 19" サマー: **19" (S)**
- 19" ウィンター: **19" (W)**
- 20" サマー: **20" (S)**

タイヤ圧力メイン・メニューの**タイヤ種類**の行に選択された設定の略語が表示されます。

コンフォートまたは標準プレッシャーの選択

✓ 停車しているとき

▸ **タイヤ圧力** ▸ **コンフォート**

- ☑ **コンフォート**:
  コンフォート・プレッシャーが選択されます。
- ☐ **コンフォート**:
  標準プレッシャーが選択されます。

インフォメーション

タイヤ空気圧は乗り心地の快適性を向上させるために減圧することができます。
「コンフォート」を選択した場合、空気圧モニタリング・システムは空気圧をモニターして自動的に低いプレッシャー値を使用します。

- コンフォート・プレッシャーまたは標準プレッシャーにタイヤ空気圧を調整してください。

▷ 「充填情報を見る」(249ページ) を参照してください。

▷ 「270 km/hの速度までに適用するコンフォート・タイヤ空気圧」(309ページ) を参照してください。

タイヤ空気圧速度警告

設定したコンフォート・プレッシャーの制限速度を超えたり、タイヤ空気圧が危険限界を下回ると、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

⚠ 警告 コンフォート・プレッシャーでの制限速度を超過して走行する

コンフォート・プレッシャーでの制限速度を超過して走行するとタイヤおよびホイールの損傷につながります。

- 表示された最大速度まで車速を落としてください。
- 高速走行するときは、タイヤ空気圧を標準タイヤ空気圧まで充填してください。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(85ページ) を参照してください。

タイヤ空気圧モニタリング・システムの登録

タイヤ/ホイールを交換、ホイール・トランスミッターを交換、またはタイヤの設定を更新すると、タイヤ空気圧モニタリング・システムがタイヤの登録を開始します。このプロセスによって、タイヤ空気圧モニタリング・システムが各タイヤとその装着位置を認識します。タイヤ空気圧モニタリング・システムが各タイヤの装着位置を割り当てると、直ちにタイヤの位置と空気圧情報が表示されます。

登録中に冷間時のタイヤ (20°C) の規定圧力が充填情報に表示され、メッセージ**監視無タイヤ圧システム学習25km/h以上**がマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

すべてのタイヤの登録が完了するまで、インストルメント・パネルのタイヤ空気圧警告灯 (!) が点灯したままになります。

▷ 「警告灯および表示灯」(43ページ) を参照してください。

タイヤ空気圧警告

インストルメント・パネルのタイヤ空気圧警告灯、およびマルチファンクション・ディスプレイの警告メッセージは、空気圧低下の程度に応じて2段階（黄色/赤色）で異常を知らせます。

インフォメーション

タイヤ空気圧を適正値に調整すると、タイヤ空気圧警告灯が消灯します。

車両を停止してイグニッションをOFFにする、または再びイグニッションをONにすると黄色のタイヤ空気圧警告が約10秒間表示されます。
イグニッションをONにすると黄色のタイヤ空気圧警告を確認できます。
赤色の空気圧警告は走行中でも表示され、異常を知ることができます。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（85ページ）を参照してください。

クロノ・メニュー

▷ 「スポーツ・クロノ・ストップウォッチ」（127ページ）を参照してください。

ギヤシフト・アシスト・メニュー

✓ マニュアル・トランスミッション装備車

図192: ギヤ・シフト・アシストの例

▶ **シフトアシストメニューを選択してください。**

性能を重視した走行中にドライバーをアシストするため、シフトアップ・インジケーターが表示されます。ギヤ・シフト・アシストは、次のギヤへのシフト操作のタイミングをセグメントが増加するグラフィックによって事前にドライバーにお知らせします。セグメントが増加するにしたがって、表示色が白、黄色、赤の順番に変化します。

図193: 例：ギヤのシフトアップ

すべてのセグメントが赤で表示されると、+サインが現在のギヤ段数の横に表示され、次のギヤへのシフトを促します。

G-Forceメニュー

図194: 加速度の例

▶ **G-Forceメニューを選択してください。**

現在の横および縦加速度が円グラフで表示されます。

最大縦加速度および横加速度を表示する

▶ **G-Force** ▶ **G-Force 最大**

最大縦加速度および横加速度をリセットする

▶ **G-Force** ▶ **G-force 最大** ▶ **リセット**

ACCメニュー

▷ 「アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）」（33ページ）を参照してください。

マルチファンクション・ディスプレイを使用した車両設定

モデル、国別仕様および装備仕様に応じて、様々な車両設定を調整できます。ここではすべての車両設定について記載していますが、これらがすべてのモデル、国別仕様および装備仕様に対して利用可能なわけではありません。安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

車両設定はイグニッションをOFFにしても保存され続けます。

メモリー・パッケージ装備車では、この設定をキーや運転席ドアのメモリー・ボタンに保存することができます。

▷ 「パーソナル設定」(198ページ) を参照してください。

オプションの選択および機能の有効化

▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールを使用しないマルチファンクション・ディスプレイの操作」(243ページ) を参照してください。

▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作」(243ページ) を参照してください。

各オプションの項目名の前に付いているシンボル・マークは、その項目が選択されているか、またはその機能が作動しているかを示しています。

複数のオプションから1つを選択する

◉ 選択されたオプション

○ 選択されていないオプション

機能の作動/停止

☑ 機能が作動します

☐ 機能が停止します

PCMを介した車両設定

特定の車両設定はPCMからも行うことができます。

▸ CARボタン ▸ **Set（設定）** ▸ **車両機能**

マルチファンクション・ディスプレイの表示を変更する

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイの表示エリア」(244ページ) を参照してください。

上部のステータス・エリアの表示を変更する

▸ **車両** ▸ **設定** ▸ **表示** ▸ **上のライン** ▸ **残りの距離**

機能が有効になると走行可能距離が表示されます。

情報エリアを変更する

図195: 情報エリアの構成例

A フィールド 1：ブースト圧
B フィールド 2：冷却水温度
C フィールド 3：エンジン油温
D フィールド 4：エンジン油圧

様々な車両情報の中から4つを選択して、フィールド1、2、3および4に表示できます。車両情報の1つの項目を複数のエリアに同時に割り当てることはできません。

B – 冷却水温度

バーが左側にあるとき – エンジン冷間時

▶ エンジンを高回転域まで回さないでください。また、大きな負荷をかけないでください。

バーが中央にあるとき – エンジン通常作動温度

外気温が高いときにエンジンに大きな負荷をかけた場合、ポインターがレッド・ゾーンを示すことがあります。

バーがレッド・ゾーンにあるとき – 作動温度が高すぎる

知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

冷却水温度が異常に高くなると、水温計の指針が最高温度マークまで動きます。エンジン温度が高いことを示す警告メッセージがマルチファンクション・ディスプレイに表示され、警告灯が点灯または点滅します。

▶ レッド・ゾーンに達した場合は、直ちに安全な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。運転を続けないでください。

▶ 必要な措置を講じて、冷却水温度を低下させてください。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(85ページ) を参照してください。

クーラント・レベルが低い場合、急な坂道など車両が急角度で傾いたり、円状に走行するなどして長いカーブで横加速度が発生したりすると、警告メッセージが表示されることがあります。車両が「通常」の状態に戻ったときに警告メッセージが消えない場合、クーラント・レベルを点検してください。

▷ 「クーラント・レベルの点検と補充」(81ページ) を参照してください。

C – エンジン油温

エンジン油温が高温になりすぎると、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

▶ 直ちにエンジンの回転数を下げ、エンジンの負荷を軽減してください。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(85ページ) を参照してください。

D – エンジン油圧

エンジン油圧は、エンジンの作動状態に応じて制御されており、エンジン回転数が5,000rpmのときに少なくとも3.5barでなければなりません。

エンジン油圧は、エンジンの回転数や油温、エンジンの負荷によって変化します。

知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

オイル圧力が低くなりすぎると、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

▶ オイル圧力が低すぎる場合は、直ちに安全な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。運転を続けないでください。

▶ 必要な措置を講じて、オイル圧力を上昇させてください。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(85ページ) を参照してください。

1. **車両** ▶ **設定** ▶ **表示** ▶ **車両メニュー** ▶ **フィールド 1** または **フィールド 2** または **フィールド 3** または **フィールド 4**
2. 希望の表示項目を選択してください：

- **Veh. voltage**
- **Turboch.press.**
- **オイル圧力**：エンジン油圧
- **オイル温度**：エンジン油温
- **冷却水温度**：冷却水温度
- **Rem.fuel rng.（残可走距離）**
- **Dest.：到着**：目的地または立ち寄り地への到着時刻および距離
- **Dest.：走行時間**：目的地または立ち寄り地までの走行時間および距離
- **コンパス**
- **GPS 高さ**：車両の海抜標高
- **時刻**
- **日付**
- **放送局/曲**：現在のラジオ放送局または音楽トラック
- **Phone info**：信号の強さ/ネットワーク名
- **表示なし**：空白

下部ステータス・エリアの表示を変更する

1. **車両** ▶ **設定** ▶ **表示** ▶ **下のライン**
2. 希望の表示項目を選択してください。

- **時刻**
- **温度**
- **時間 & 温度**

メイン・メニューを変更する

メイン・メニューの特定の項目を必要に応じて表示する/非表示にすることができます。

1. **車両** ▸ **設定** ▸ **表示** ▸ **メニュー種類**
2. 希望の表示項目を選択してください。

- **オーディオ**
- **電話**
- **地図**
- **ナビゲーション**
- **トリップ**
- **タイヤ圧力**
- **クロノ**
- **シフトアシスト**
- **G-Force**
- **速度制限**
- **ACC**

マルチファンクション・ディスプレイにPCM情報を一時的に表示する

1. **車両** ▸ **設定** ▸ **表示** ▸ **PCM 表示**
2. 希望するPCM情報を選択してください。

- **Zoom intersect.**：ナビゲーション情報を利用すると、ナビゲーション地図が自動的に表示されます。
- **Turn-off instr.**：ナビゲーション情報を利用すると、進行方向を示す矢印が自動的に表示されます。
- **Phone info**：着信/発信電話の情報が表示されます。
- **音声操作**：ボイスコントロール・ボタンを押すとヘルプ・テキストが表示されます。
- **速度制限**：制限速度が表示されます。

インフォメーション

制限速度表示装備車の場合、**速度制限**メニュー項目は表示されず、制限速度が自動的に表示されます。

オーディオ・メイン・メニューを変更する

1. **車両** ▸ **設定** ▸ **表示** ▸ **オーディオ**
2. 希望の表示項目を選択してください。

- **ラジオ局一覧**：現在受信可能なすべての放送局のリスト

▷ 「ラジオ」(282ページ)を参照してください。

マルチファンクション・ディスプレイの明るさを調節する

1. **車両** ▸ **設定** ▸ **表示** ▸ **明るさ**
2. 希望の明るさを選択してください。

メニュー項目のヘルプ・テキストの表示/非表示

▸ **車両** ▸ **設定** ▸ **表示** ▸ **ヘルプテキスト**

機能が有効になっているときにメニュー項目を選択すると、ヘルプ・テキストが数秒間表示されます。

日付と時刻の設定

事前設定された日付と時刻の表示は、車両のすべてのディスプレイに採用されます。

時刻の設定

1. **車両** ▸ **設定** ▸ **日付 & 時刻** ▸ **時刻** ▸ **時間/分**
2. 任意の時刻を設定してください。

時刻表示の設定

1. **車両** ▸ **設定** ▸ **日付 & 時刻** ▸ **時刻** ▸ **形式**
2. 任意の時刻表示形式を選択してください。

- **12h**：12時間表示
- **24h**：24時間表示

GPS信号により自動的に時刻を同期する

▶ **車両 ▶ 設定 ▶ 日付 & 時刻 ▶ 時刻 ▶ 自動時刻調整**

機能が有効なときは、時刻はGPS信号と同期されます。

インフォメーション

時刻をGPS信号と同期させるよう設定した場合、日時を手動で設定することはできません。衛星電波の受信状態により、いくつかの設定オプションが一時的に利用できないことがあります。

ダッシュボードのストップウォッチの時刻表示

▶ **車両 ▶ 設定 ▶ 日付 & 時刻 ▶ 時刻 クロノ**

機能が有効なとき、ダッシュボードのストップウォッチに時刻が表示されます。

日付の設定

1. **車両 ▶ 設定 ▶ 日付 & 時刻 ▶ 日付 ▶ 日付**
2. 任意の日付を設定してください。

日付形式の設定

1. **車両 ▶ 設定 ▶ 日付 & 時刻 ▶ 日付 ▶ 形式**
2. 希望の日付表示形式を選択してください。

– **DD.MM.YYYY**
– **MM/DD/YYYY**
– **YYYY/MM/DD**

アシスタンス・システムの設定

インフォメーション

設定はイグニッションのON/OFFを切り替えても保存され続けます。

ポルシェ・アクティブ・セーフ（PAS）のON/OFF

✓ アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）装備車

▶ **車両 ▶ 設定 ▶ アシストシステム ▶ アクティブセーフ ▶ システムオン**

機能が有効なときは、すべてのポルシェ・アクティブ・セーフ機能がONになります。

すべてのポルシェ・アクティブ・セーフ機能をOFFにすると、マルチファンクション・ディスプレイのステータス・エリアに灰色のシンボルが表示されます。

▷ 「アクティブ・セーフティー – ポルシェ・アクティブ・セーフ(PAS)」（40ページ）を参照してください。

ポルシェ・アクティブ・セーフ（PAS）のON/OFFを切り替える前の事前警告

✓ アダプティブ・クルーズ・コントロール（ACC）装備車

インフォメーション

潜在的まおよび予期警告機能は初期設定ではOFFになっています。緊急警告機能は有効になっており、解除できません。

▶ **車両 ▶ 設定 ▶ アシストシステム ▶ アクティブセーフ ▶ 事前警告 オン**

機能が有効なとき、ポルシェ・アクティブ・セーフの潜在的および事前警告機能がONになります。

▷ 「アクティブ・セーフティー – ポルシェ・アクティブ・セーフ(PAS)」（40ページ）を参照してください。

レーン・チェンジ・アシスト（LCA）のON/OFF

▶ **車両 ▶ 設定 ▶ アシストシステム ▶ 車線変更アシスト ▶ システム オン**

機能が有効なとき、レーン・チェンジ・アシストのインフォメーションおよび警告ステージがONになります。

ドア・ミラーのレーン・チェンジ・アシスト（LCA）の警告表示の明るさを設定する

インフォメーション

警告インジケーター（インフォメーションおよび警告ステージ）は周囲の明るさによって自動的に調節されます。

1. **車両 ▸ 設定 ▸ アシストシステム ▸ LCA ▸ 明るさ**
2. 希望の明るさを選択してください。

– **暗い**
– **標準**
– **明るい**

設定作業中に新しく設定する明るさが短時間表示されます。これはインフォメーション・ステージで表示される明るさのレベルです。
警告ステージの明るさはインフォメーション・ステージの明るさに基づきます。

▸ インフォメーション・ステージの明るさは、ドア・ミラーを見た際に警告インジケーターの点灯がはっきりと確認でき、まっすぐ前方を見ているときには気を取られないように設定してください。

▹ 「レーン・チェンジ・アシスト（LCA）」（287ページ）を参照してください。

パーソナル・モードの調整

様々な車両設定をパーソナル・モードで調整することができます。

1. **車両 ▸ 設定 ▸ パーソナル**
2. 希望のオプションを選択してください。

– **スポーツ**：機能が有効になると、スポーツ・モードが有効になります。
– **スポーツプラス**：機能が有効になると、スポーツプラス・モードが有効になります。
– Ⓐ：機能が有効になると、オート・スタート/ストップ機能が有効になります。
– **スポーツシャシ**：機能が有効になると、「スポーツ・シャーシ」設定が有効になります。
– ：機能が有効になると、スポーツ・エキゾースト・システムが有効になります。
– **スポイラー**：機能が有効になると、リヤ・スポイラーが展開します。

ライト、フロント・ワイパーおよびミラーの調整

ウェルカム・ホーム/エントリー機能の外部ライト遅延消灯の調整

1. **車両 ▸ 設定 ▸ ライト/ビュー ▸ 外部ライト ▸ ライトオン**
2. 任意の遅延消灯を設定してください。

▹ 「オートマチック・カミング・ホーム・ライトをONにする」（271ページ）を参照してください。

左側/右側通行でヘッドライトを切り替える

✓ ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム（PDLS）またはポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス（PDLSプラス）装備車両
✓ 停車しているとき

1. **車両 ▸ 設定 ▸ ライト/ビュー ▸ 外部ライト ▸ 左/右側通行**
2. 希望のオプションを選択してください。

– **標準**：日本仕様では左側通行に最適な位置になります。
– **反転**：日本仕様では右側通行に最適な位置になります。

インフォメーション

ヘッドライトの位置を**反転**に設定すると、イグニッションまたはロー・ビームをONにするたびに、マルチファンクション・ディスプレイにライトが反転されたことを示すメッセージが表示されます。

ダイナミック・ハイ・ビームの作動/停止

✓ ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス（PDLS Plus）装備車

▸ **車両 ▸ 設定 ▸ ライト/ビュー ▸ 外部ライト ▸ 動的前方照明**

機能が有効なとき、ダイナミック・ハイ・ビームを使用することができます。

▹ 「ダイナミック・ハイ・ビーム」（272ページ）を参照してください。

ドアを開いたときのインテリア・ライト自動点灯の有効/無効

▸ **車両** ▸ **設定** ▸ **ライト/ビュー** ▸ **内部ライト** ▸ **の明るさ**

機能が有効なときは、ドアを開くとインテリア・ライトが点灯します。

オリエンテーション・ライトの明るさを調節する

1. **車両** ▸ **設定** ▸ **ライト/ビュー** ▸ **内部ライト** ▸ **進路指示**
2. 希望の明るさを選択してください。

アンビエント・ライトの明るさ調節

1. **車両** ▸ **設定** ▸ **ライト/ビュー** ▸ **内部ライト** ▸ **明るさ調整**
2. 希望の明るさを選択してください。

インテリア・ライトの遅延消灯モードを設定する

1. **車両** ▸ **設定** ▸ **ライト/ビュー** ▸ **内部ライト** ▸ **消灯遅延**
2. 任意の遅延消灯を設定してください。

リバース（後退）ギヤ選択時のリヤ・ワイパーの作動設定

1. **車両** ▸ **設定** ▸ **ライト/ビュー** ▸ **ワイパー** ▸ **リアワイパー**
2. 希望のオプション選択してください。

– **自動**：雨天時にリバース・ギヤを選択すると、リヤ・ワイパーが自動的に作動します。
– **手動**：リバース（後退）ギヤを選択しても、リヤ・ワイパーが自動的に作動しません。

リバース・ギヤ選択時に助手席ドア・ミラーを下向きにする

✓ メモリー・パッケージ装着車

▸ **車両** ▸ **設定** ▸ **ライト/ビュー** ▸ **後退オプション** ▸ **ミラーの降下**

機能が有効なとき、リバース・ギヤが締結すると助手席側のドア・ミラーが下向きになります。

マルチファンクション・ステアリング・ホイールのボタンの割り当て変更

マルチファンクション・ステアリング・ホイールの◊ ボタンに、マルチファンクション・ディスプレイまたはPCMの任意の機能を割り当てることができます。

1. **車両** ▸ **設定** ▸ **Steering wheel** ▸ **◊ ボタン** ▸ **PCM 機能**または**Inst.clus. fun.**
2. 希望のオプション選択してください。

PCM機能：

– **オーディオ**：オーディオを切り替えます。
– **音声操作**：ボイスコントロールを有効にします。
– **音声案内繰返**：ナビゲーションの音声案内を繰り返します。
– **放送局/曲 <**：前の放送局または曲を選択します。
– **放送局/曲 >**：次の放送局または曲を選択します。
– **地図**：PCM にナビゲーション地図を表示します。

組み合わせ機能：

– **計時開始 / 停止**：計時を開始または停止します。
– **車両メニュー**：車両メニューを表示します。
– **オーディオ設定**：オーディオ・メニューを表示します。
– **電話メニュー**：電話メニューを表示します。
– **地図メニュー**：マルチファンクション・ディスプレイにナビゲーション地図を表示します。
– **ナビメニュー**：ナビゲーション・メニューを表示します。
– **トリップメニュ**：トリップ・メニューを表示します。
– **RDKメニュ**：TPMメニューを表示します。
– **クロノメニュー**：スポーツ・クロノ・メニューを表示します。
– **ACCメニュー**：ACCメニューを表示します。
– **G-Force メニュー**：G-Force メニューを表示する
– **シフトアシスト**：ギヤシフト・アシスト・メニューを表示します。
– **速度制限メニュー**：交通標識を表示します。

インフォメーション

制限速度表示装備車の場合、「速度制限」メニュー項目は表示されません。制限速度が自動的に表示されます。

ドア・ロック機能を設定する

ドアのロック解除機能の設定

1. **車両** ▸ **設定** ▸ **ロック** ▸ **ロック解除**
2. 希望のオプション選択してください。

– **すべてのドア**：車両のロックを解除すると、すべてのドアのロックが解除されます。
– **運転席ドア**：車両のロックを解除すると、運転席ドアのロックが解除されます。

ドアのロック機能の設定

1. **車両** ▸ **設定** ▸ **ロック** ▸ **ドアロック**
2. 希望のオプション選択してください。

– **オフ**：乗車後にドアは自動でロックされません。
– **After ign. on**：イグニッションをと、ドアが自動的にロックされます。
– **ハッシンゴ**：車両を発進させると、ドアが自動的にロックされます。

ドア・ミラーの自動格納のON/OFF

▸ **車両** ▸ **設定** ▸ **ロック** ▸ **ミラー引き戻す**

機能を有効にすると、車両をロックしたときにドア・ミラーが自動的に格納します。

イージー・エントリーのON/OFF

▸ **車両** ▸ **設定** ▸ **ロック** ▸ **Easy Entry**

機能を有効にすると、運転者の乗降性を高めるために運転席シートとステアリング・ホイールを自動的に遠ざけることができます。

オート・メモリーのON/OFF

▸ **車両** ▸ **設定** ▸ **ロック** ▸ **オートメモリ**

この機能が有効な場合、車両をロックしたときにパーソナル設定が自動的にキーに保存されます。

▹ 「パーソナル設定の保存と呼び出し」（199ページ）を参照してください。

エアコンの設定

✓（2ゾーン・エアコン装備車）

送風の強さと送風量を調節する

1. **車両** ▸ **設定** ▸ **エアコン** ▸ **エアフロー**
2. 希望の項目を選択してください。

– **ソフト**：エア・ベントからの送風が和らぎます。空気の流れに敏感な乗員に適しています。
– **ノーマル**：標準の設定です。
– **ストロング**：車内への送風が強くなります。風の流れをはっきりと感じられるようになります。

アッパー・ベンチレーション・パネルのON/OFF

▸ **車両** ▸ **設定** ▸ **エアコン** ▸ **換気フィールド**

機能を有効にすると、ダッシュボードのアッパー・ベンチレーション・パネルがONになります。

内気循環モードのON/OFF

▸ **車両** ▸ **設定** ▸ **エアコン** ▸ **自動内気循環**

機能を有効にすると、空気の状態に応じて自動的に外気導入と内気循環を切り替えます。

警告音量およびパーキング・アシスタントの調節

1. **車両** ▸ **設定** ▸ **音量** ▸ **駐車アシスト**または**警告トーン**
2. 希望の項目を選択してください。

– **高**
– **標準**
– **低**

単位の設定

スピードメーターの単位の設定

1. **車両 ▸ 設定 ▸ 単位 ▸ タコメータ**
2. 希望の項目を選択してください。

– **km / km/h**
– **マイル / mph**

インフォメーション

単位は以下のディスプレイで調整されます。
– 積算距離計/トリップ・メーター
– デジタル・スピードメーター
– マルチファンクション・ディスプレイ
– PCM

温度計の単位の設定

1. **車両 ▸ 設定 ▸ 単位 ▸ 温度**
2. 希望の項目を選択してください。

– **°C**
– **°F**

インフォメーション

単位は以下のディスプレイで調整されます。
– マルチファンクション・ディスプレイ
– PCM

圧力計の単位の設定

1. **車両 ▸ 設定 ▸ 単位 ▸ クウキアツ**
2. 希望の項目を選択してください。

– **bar**
– **psi**

インフォメーション

単位は以下のディスプレイで調整されます。
– マルチファンクション・ディスプレイ
– PCM

平均燃費の表示単位の設定

1. **車両 ▸ 設定 ▸ 単位 ▸ 消費量**
2. 希望の項目を選択してください。

– **L/100 km**
– **mpg（米国）**
– **mpg（英国）**
– **km/l**

インフォメーション

単位は以下のディスプレイで調整されます。
– マルチファンクション・ディスプレイ
– PCM

言語設定

1. **車両 ▸ 設定 ▸ 言語**
2. 任意の言語を選択してください。

インフォメーション

マルチファンクション・ディスプレイの言語が調整されます。

工場出荷時の設定に戻す

インフォメーション

工場出荷時の設定に戻すと、マルチファンクション・ディスプレイで選択した**すべての**設定が削除されます。

▸ **車両 ▸ 設定 ▸ リセット ▸ 工場設定 ▸ はい**

ミラー

ドア・ミラーの使用

後方視野を広くするため、助手席ドア・ミラーは凸面形、運転席ドア・ミラーは非球面形になっています。

⚠ 警告

ドア・ミラーに映る周囲の様子は、実際の大きさより小さく、距離が離れているように見えます

凸面形ミラーでは、車両や物が小さく写るため、実際の距離よりも遠く感じられます。

- 後続車との距離を判断するときや、後退して駐車するときなどは、歪みを念頭に置いてください。
- 距離の判断はルーム・ミラーと併用して行ってください。

⚠ 注意

自動防眩ミラーのガラスが破損すると、電解液が漏れ出すことがあります

ミラーのガラスが破損すると、電解液が漏れ出す恐れがあります。この液体には皮膚や目への刺激性があります。

- 電解液が目や皮膚に触れた場合は、速やかにきれいな水で洗い流してください。
- 必要に応じて医師の診察を受けてください。

知識

塗装面、本革部品、プラスチック部品および着衣などに損傷を与える恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

- 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

知識

洗車機で洗車を行う場合にドア・ミラーを損傷する恐れがあります。

- 洗車機を使用する前にドア・ミラーを格納してください。

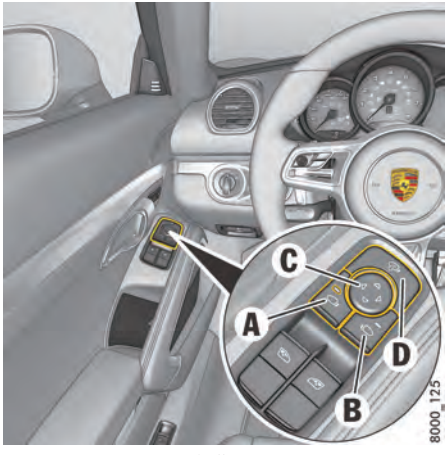


図196: ドア・ミラーの操作

A ドア・ミラーの選択 – 運転席側
B ドア・ミラーの選択 – 助手席側
C ドア・ミラーの調節
D ドア・ミラーの格納/復帰

ドア・ミラーの調節

図197: ドア・ミラーの調節

✓ イグニッションがONのとき
または
✓ イグニッションをOFFにして、運転席ドアまたは助手席ドアをまだ開けていない状態（最大10分以内）

1. 運転席側のドア・ミラーを調節するときはボタン**A**を、助手席側を調節するときはボタン**B**を押してください。
   選択したボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
2. 調節ボタン**C**を操作して、ドア・ミラーの角度を希望の位置に調節してください。

電動調節機能が故障した場合

- ミラー表面を手で押して角度を調節してください。

ドア・ミラーの格納/復帰

ドア・ミラーの手動格納

▸ ミラー・ハウジングを手でいっぱいまで上方に回転させてください。

ドア・ミラーの手動復帰

▸ ミラー・ハウジングを手でいっぱいまで下方に回転させてください。

ドア・ミラーの電動格納/復帰

✓ 速度が50km/h 以下のとき

▸ ボタン**D**を押してください (261ページ図196)。
両方のドア・ミラーが格納または復帰します。

電動格納機能が故障した場合

▸ ドア・ミラーを手で格納または展開してください。

車外からのドア・ミラーの格納/復帰

車両をロックするときに、ドア・ミラーを自動的に格納することができます。

▸ キーの🔒ボタンを少なくとも1秒間押し続けてください。
ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車：運転席側のドア・ハンドルのタッチ・センサーに1秒以上触れてください。
ドア・ミラーが格納されます。

ドア・ミラーの自動復帰

▸ イグニッションをONにしてください。
ドア・ミラーが自動的に復帰します。

ドア・ミラーの自動的な格納/復帰

✓ 機能が作動している

▹ 「ドア・ミラーの自動格納のON/OFF」(259ページ) を参照してください。

ドア・ミラーの自動格納

▸ 車両をロックしてください。
ドア・ミラーが自動的に格納します。

ドア・ミラーの自動復帰

▸ イグニッションをONにしてください。
ドア・ミラーが自動的に復帰します。

インフォメーション

ボタン**D**を押して手動でドア・ミラーを格納した場合は、イグニッションをONにした後、自動的に元の位置に復帰しません (261ページ図196)。

ドア・ミラー設定の保存

メモリー・パッケージ装備車では、個々のドア・ミラーの設定を、そのとき使用しているキーや運転席ドアのメモリー・ボタンに保存することができます。

▹ 「パーソナル設定」(198ページ) を参照してください。

ドア・ミラーの自動防眩機能のON/OFF

ルーム・ミラーの自動防眩機能の切り替えに合わせて、ドア・ミラーの防眩機能が作動します。

▹ 「ルーム・ミラーの自動防眩機能のON/OFF」(263ページ) を参照してください。

駐車時の助手席ドア・ミラー下向き自動切り替え

メモリー・パッケージ装備車では、リバース (後退) ギヤを選択すると、**助手席側**ドア・ミラーが自動的に少し下向きになり、助手席側の車両後方下部にある障害物を視認しやすくなります。

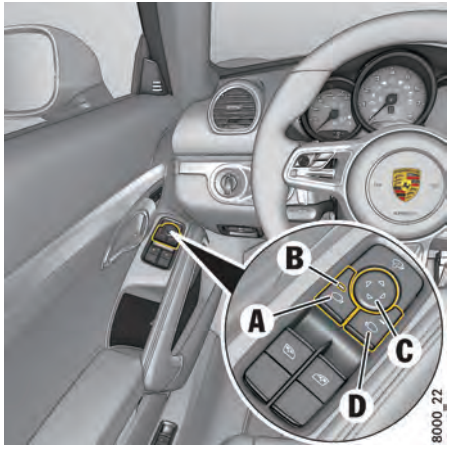


図198: 駐車時の助手席ドア・ミラー下向き自動切り替え

ドア・ミラーを自動で下向きにする

✓ イグニッションがONのとき

✓ 機能が作動している

▹ 「リバース・ギヤ選択時に助手席ドア・ミラーを下向きにする」(258ページ) を参照してください。

ドア・ミラーを手動で下向きにする

1. ギヤをリバース（後退）に入れてください。
   運転席ドア・ミラーを調節するためのボタン**A**のインジケーター・ライト**B**が点灯します。
2. 助手席側ドア・ミラーを調節するにはボタン**D**を押してください。
   助手席のドア・ミラーが下向きになります。

ドア・ミラーの下向き角度の個別調整：

- 調節ボタン**C**を操作して、ドア・ミラーの角度を希望の位置に調節してください。

メモリー・パッケージ装備車では、この設定をそのとき使用しているキーや運転席ドアのメモリー・ボタンに保存することができます。
復帰および車両設定の保存に関するインフォメーション：

▷ 「パーソナル設定」(198ページ) を参照してください。

ドア・ミラーを通常位置に戻す

次の場合、ドア・ミラーが通常の位置に戻ります：

– リバース（後退）以外のギヤを選択してから一定時間が経過した後、または
– 速度が15km/h以上になったとき

手動操作で助手席のドア・ミラーを通常位置に戻す：

- 運転席ドア・ミラーのボタン**A**を押してください。

ルーム・ミラー防眩機能の手動操作

図199: ルーム・ミラー防眩機能の手動操作

ミラーを調節するときは、防眩機能のレバー**A**を車内側に向けてください。

- 基本設定 – レバーを車内側に向けます。
- 防眩位置 – レバーをフロント・ウィンドウ側に向けます。

ルーム・ミラーの自動防眩機能のON/OFF

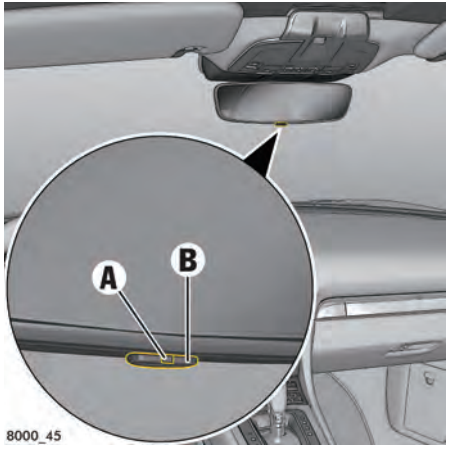


図200: ルーム・ミラーの自動防眩機能

自動防眩機能をONにする

- ボタン**B**を押します
  インジケーター・ライト**A**が点灯します。
  光の強さに応じて防眩機能が自動的に作動し、ルーム・ミラーが暗くなったり、明るくなったりします。

インフォメーション

リバース・ギヤに入れた場合、**または**インテリア・ライトが点灯している場合は、ルーム・ミラーの自動防眩機能は作動しません。

自動防眩機能をOFFにする

- ボタンBを押します
  インジケーター・ライトAが消灯します。

⚠ 注意

自動防眩ミラーのガラスが破損すると、電解液が漏れ出すことがあります

ミラーのガラスが破損すると、電解液が漏れ出す恐れがあります。この液体には皮膚や目への刺激性があります。

- 電解液が目や皮膚に触れた場合は、速やかにきれいな水で洗い流してください。
- 必要に応じて医師の診察を受けてください。

知識

塗装面、本革部品、プラスチック部品および着衣などに損傷を与える恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

- 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

インフォメーション

ルーム・ミラーに投射する光を妨げないでください。（リヤ・ウィンドウにステッカーを貼り付けたり、後方視界を妨げるほど大きな荷物をラゲッジ・コンパートメントまたはラゲッジ・コンパートメント・カバーに積むなど）。同様に、フロント・ウィンドウを通ってフロント照度センサーに当たる光をステッカー等で妨げないようにしてください。

メディア

概要

この概要説明は「メディア」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作」(229ページ) を参照してください。

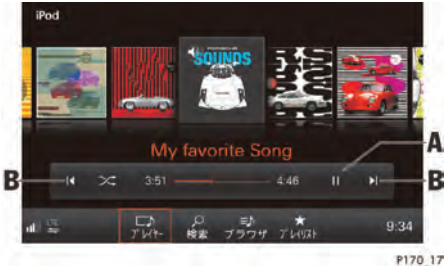


図201: メディア・ソース、iPod®など

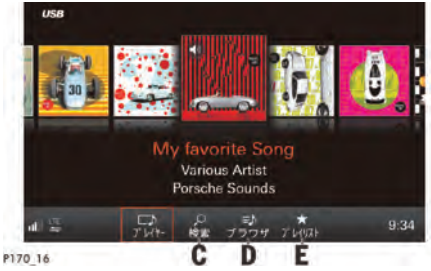


図202: メディア・ソース、USBなど

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	ページ
メディア・ソースから音楽やビデオ・ファイルを再生する	▸ CD/DVDを挿入してください。 ▸ メディア・コンテンツをジュークボックス（内部メモリー）にインポートしてください。 ▸ SDカードを挿入してください。 ▸ 外部機器をUSBまたはAUX経由で接続してください。 ▸ 外部デバイスをBluetooth®経由で接続してください。 ▸ オンライン・ラジオ・サービスをポルシェ・コネクト・アプリで開いてください。	234 268 235 235 236 227
メディア・ソースを選択する	▸ SOURCE ボタン ▸ 希望のメディア・ソースを選択してください。 **または** MEDIA ボタンを繰り返し押してください。	266
音楽を再生/一時停止する	▸ MEDIA ボタン ▸ **Player (プレイヤー)** ▸ ▶ または ⏸ を選択してください (**A**を参照)。	266
再生中に次の/前のトラックの頭出しをする	▸ MEDIA ボタン ▸ **Player (プレイヤー)** ▸ ⏮ または ⏭ を選択してください (**B**を参照)。	266
メディア・ライブラリー内を検索する	▸ MEDIA ボタン ▸ **Search (検索)** (**C**を参照) または **Browse (ブラウズ)** (**D**を参照) を選択してください。	267
プレイリストを開く	▸ MEDIA ボタン ▸ **Playlist (プレイリスト)** ★ (**E**を参照) を選択してください。	268
類似の音楽を聴く	▸ MEDIA ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **似たテイストの曲を再生**	267
オーディオ/ビデオ・ファイルをジュークボックスにインポートする	▸ MEDIA ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **Jukeboxへコピー**	268

メディア・ソースの挿入/接続

- ▹ 「CD/DVDドライブにロードする」(234ページ) を参照してください。
- ▹ 「SDカードを挿入する」(235ページ) を参照してください。
- ▹ 「外部機器の接続」(235ページ) を参照してください。

メディア・ソースの選択

- ▸ SOURCEボタンを押し、希望のメディア・ソースを選択してください。

または

- ▸ 希望のメディア・ソースが選択されるまでMEDIAボタンを押してください。

または

1. ヘッドラインに表示されたメディア・ソースを押してください。
   選択可能なソースが表示されます。
2. メディア・ソースを選択してください。

メディアの再生

メディア機能を使用して再生するには、オーディオおよびビデオ・フォーマットが特定の要件を満たしている必要があります。対応するメディアおよびファイル形式に関するインフォメーション：

- ▹ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM)」(310ページ) を参照してください。

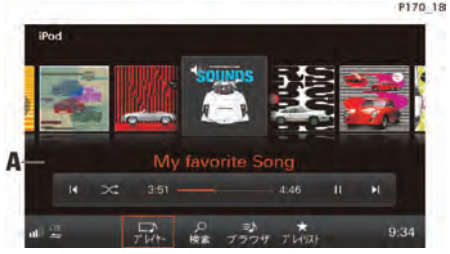


図203: 音楽の再生

図204: ビデオの再生

機能	ボタン
メディアを再生する	▶
メディアを一時停止する	⏸
次のトラック/チャプターへ進む	⏭
前のトラック/チャプターに戻る	⏮
音楽をランダムに再生する	🔀
カバーフロー・ビューを表示する	
ビデオをフルスクリーン・モードで表示する	
カバーフロー・ビューまたは用意されたビデオ・ソースを開く	
ビデオ・メイン・メニューに戻る	

音楽を再生する

✓ オーディオ・ソースが選択されている

1. MEDIAボタン ▸ **Player (プレイヤー)**
2. カバーフロー・ビュー **A** (図203) で、希望のアルバムが中央に拡大表示されるまで左または右にスワイプしてください。
   または
   アルバムを再生するには、▶を選択してください。
   または
   ロータリー・プッシュ・ボタンを押してください。
   または
   アルバムおよび希望の楽曲を選択してください。
   オーディオ・ソースを選択すると、メディアの最初の曲が自動的に再生されます。ジュークボックスを使用する場合は、最近再生された曲が再生されます。

次の/前のトラックの頭出しをする

✓ メディア・ソースが選択されている

- 前にスキップするには、⏮を選択するか ⏮ ボタンを押してください。
  トラックの再生が始まった直後であれば、前のトラックの先頭に戻ります。トラックの再生が始まって3秒以上経過していれば、再生中のトラックの先頭に戻ります。
- 次にスキップするには、⏭を選択するか ⏭ ボタンを押してください。

早送り/早戻し

✓ メディア・ソースが選択されている

- 希望の位置になるまで ⏮ / ⏭ または ⏮ / ⏭ ボタンを押し続けてください。
  または
  タイム・バーを希望の位置までスライドさせてください。

ランダム再生のON/OFF

✓ メディア・ソースが選択されている

- 🔀を選択してください。
  ランダム再生がONになります。
- ランダム再生をOFFにするには、もう一度ボタンを押してください。

類似の音楽を表示する

1. OPT ボタンを押してください。
2. **似たテイストの曲を再生**を選択してください。

曲を繰り返し再生する

✓ メディア・ソースが選択されている
✓ アルバムまたはプレイリストが選択されている

1. OPT ボタンを押してください。
2. **リピートON**を選択してください。
   ヘッドラインに**リピート**が表示されます。

- リピート・モードをOFFにするには、OPT ボタンを押して**リピートOFF**を選択してください。

ビデオの再生

✓ ビデオ・ソースが選択されている

- ▶ を選択してください。
  または
  希望するビデオを選択してください。
  または
  🎬 および希望のチャプターを選択してください。
- ビデオのメイン・メニューに戻るには、☰を選択してください。

マルチファンクション・ディスプレイを使用して、有効なオーディオ・ソースからトラックを選択する

マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション：

- 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールを使用しないマルチファンクション・ディスプレイの操作」（243ページ）を参照してください。
- 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作」（243ページ）を参照してください。

1. **オーディオ**メニューを選択してください。
2. 有効なオーディオ・ソース（ディスクなど）からトラックを選択してください。

メディア・ソースの検索

トラックまたはビデオを検索する

✓ メディア・ソースが選択されている

1. **Search（検索）** 🔍 を選択してください。
2. **検索**を選択し、テキスト検索フィールドに希望のトラックを入力してください。
   または
   検索に使用するカテゴリー （**ジャンル**、**アーティスト**、**アルバム**、**トラック**、**ビデオ**）を選択してください。
3. 希望のトラックを選択してください。

メディアの閲覧

✓ メディア・ソースが選択されている

1. **Browse（ブラウズ）** 🎵 を選択してください。
2. 希望のフォルダーおよびメディア・トラックを選択してください。

- フォルダー構成に戻るには、ヘッドラインにある希望のメディア・フォルダーを選択してください。

プレイリストを開く

選択したメディア・ソースに応じて、追加のプレイリストを使用してメディアを再生できます。

プレイリストを開く

✓ オーディオ・ソースが選択されている

1. **Playlist (プレイリスト)** ★ を選択してください。
2. 希望のオプション選択してください。

– **現在の再生リスト**：選択したソースのフォルダー構成またはトラック/チャプター・リストが表示されます。
– **最近再生された曲**
– **再生回数が多い曲**
– 星評価を含むトラック

ジュークボックスのオーディオ / ビデオ・ファイルのインポートおよび削除

USBフラッシュ・ドライブまたはSDカードのオーディオおよびビデオ・ファイルをジュークボックスにインポートすることができます。

現在のトラックまたはアルバム

✓ ジュークボックスにコピーするトラックまたはアルバムが含まれるメディア・ソースを選択している
✓ 希望のトラックまたはアルバムが選択されている

1. OPT ボタン ▸ **Jukeboxへコピー**
2. **現在のトラックをコピー**または**現在のアルバムをコピー**を選択してください。
   トラックまたはアルバムがインポートされます。

フォルダーまたはファイル

✓ メディア・ソースが選択されている

1. OPT ボタン ▸ **Jukeboxへコピー**
2. **ファイル/フォルダをコピー**を選択してください。
   使用可能なすべてのフォルダーおよびファイルが表示されます。
3. **選択/選択解除**により、希望のファイルまたはフォルダーを選択してください。
4. メディアのインポートを開始するには、**コピー**を選択してください。

ジュークボックスからメディア・コンテンツを削除する

✓ ジュークボックスがメディア・ソースとして選択されている

1. MEDIA ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **Jukebox設定**
2. 希望のオプション選択してください。

– **現在のトラックを消去**
– **現在のアルバムを消去**
– **ファイル/フォルダを消去：選択/選択解除**によりファイルまたはフォルダーを選択し、**消去**を押して決定してください。

記憶容量（空き領域/使用領域）を表示する

✓ ジュークボックスがメディア・ソースとして選択されている

1. MEDIA ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **Jukebox設定**
2. **ソースの詳細**を選択してください。

設定の変更

全般的なメディア設定

1. MEDIA ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **MEDIA 設定**
2. 希望のオプション選択してください。

– **Apple CarPlay**：USBで接続されたスマートフォンを管理します。
– **AUX**：汎用オーディオ・インターフェース（AUX）のON/OFFを切り替えます。
– **Bluetooth オーディオ**：Bluetooth® 接続のON/OFFを切り替えます。
– **Gracenote Online**：この機能が作動していてデータ接続が有効になっているときは、Gracenote® Onlineからアルバム・カバーがダウンロードされます。
– **Bluetooth**：Bluetooth® 機能およびデバイスを管理します。
  ▷ 「Bluetooth®デバイスの削除、または Bluetooth®インフォメーションの表示」（170ページ）を参照してください。

ビデオの設定

✓ ビデオ・ファイルを含むDVDが挿入されている

1. MEDIA ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **DVD設定**
2. 希望のオプションを選択してください。

– **画面比率**：アスペクト比を設定します。
– **字幕**：この機能を有効にすると、字幕が表示されます（利用可能な場合）。
– **音声トラック**：サウンドトラックおよび音質を設定します。
– **チャイルドロック**：番組の再生を制限するには、パスワードを入力し、**OK**を選択して確定してください（デフォルトのパスワード：1234）。
  – **ディスクのセーフティーレベル**：セーフティ・レベルを選択してください。セーフティ・レベル5を選択すると、セーフティ・レベル1～5のすべてのDVDが再生されます。セーフティ・レベルがこれより高いDVDの再生はブロックされます。セーフティ・カテゴリーが不要な場合は、**レベル0**を選択してください。
  – **パスコードを変更**：チャイルド・ロック用の新しいパスワードを入力することができます。

インフォメーション

– チャイルド・ロックは挿入されたDVDによってON/OFFを切り替えることができます。
– 誤ったチャイルド・ロック用パスワードを3回入力した場合：
▸ ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ライト

ライト・スイッチの設定

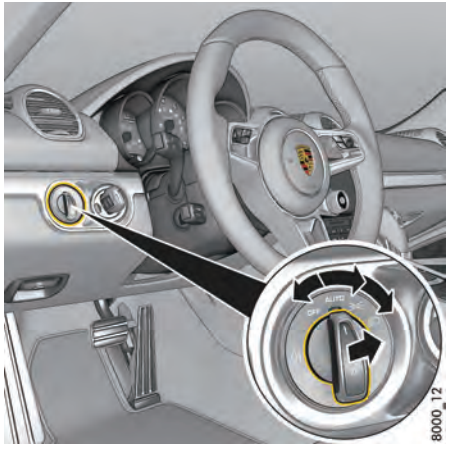


図205: ライト・スイッチ

ライト・スイッチ

OFF **ライトの消灯**

AUTO **オートマチック・ドライビング・ライト・アシスタント**

車幅灯
ライセンス・ライト、インストルメント・ライトおよび車幅灯が点灯します。

ロー・ビーム/ドライビング・ライト
イグニッションがONのときのみ作動。フォグ・ライト、モーターウェイ・ライト、およびダイナミック・ハイ・ビームが非作動となります。

リヤ・フォグ・ライト
ロー・ビーム位置でスイッチを引いてください。インジケーター・ライトが点灯します。

インフォメーション

灯火類が点灯した状態でキーを抜いてドアを開くと、警告音が鳴り、バッテリー上がりを防止します。
国によって異なる場合があります。

ロー・ビーム/ドライビング・ライト

ライト・スイッチを**AUTO**の位置にすると、次の状況でヘッドライト・ロー・ビームが自動的に点灯します：

- 夕暮れ時
- 夜間
- トンネル内走行時
- 雨天時
- 高速走行（ポルシェ・ダイナミック・ライト・システムPDLS装備車）

ロー・ビームの点灯時には、スピードメーター内のインジケーター・ライトが点灯します。

インフォメーション

オートマチック・ヘッドライトは、霧を感知することができません。

- 霧が発生したときは、手動でドライビング・ライトを点灯させてください。

日中の高速道路走行時の作動

周囲が明るいときは、速度が約140km/hを超えるとドライビング・ライトが点灯します。その後、周囲の明るさに応じて、速度が約65km/h以下になると約4分後にドライビング・ライトが消灯します。

雨天時の作動

ワイパーを連続作動に切り替えてから5秒が経過すると、ドライビング・ライトが自動的に点灯します。
周囲が明るくワイパーが約4分間使用されない状態が続くと、ドライビング・ライトが消灯します。

オートマチック・ドライビング・ライト・アシスタント

この車両のドライビング・ライト（ロー・ビーム）は、周囲の明るさに応じて自動的に点灯/消灯します。
オートマチック・ヘッドライト機能は、デイタイム・ライト、オートマチック・カミングホーム・ライトおよびダイナミック・コーナリング・ライト（装備仕様による）を制御します。
オートマチック・ドライビング・ライト・アシスタントを有効にするには：

- ライト・スイッチを**AUTO**の位置に回してください。

インフォメーション

なおドライビング・ライト・アシスタントを作動させているときも、法律等を遵守し、ライト・スイッチの手動操作によってドライビング・ライトを点灯/消灯することは運転者の責務です。
ドライビング・ライト・アシスタント機能によるヘッドライトの点灯は、運転者を支援するためのものであり、ドライビング・ライトの操作は運転者が正しく行わなければなりません。

⚠ 警告 無灯火での走行

ライトを点灯しないで走行すると、ドライバーの視界を大きく制限するのみでなく、他のドライバーに対する視認性を大きく妨げることになります。

- オートマチック・ドライビング・ライトの作動状況を常に監視してください。

オートマチック・カミング・ホーム・ライトをONにする

- ライト・スイッチを**AUTO**にしてください。

一定時間、次のライトが点灯したままになり、車両に乗降するときの足元を明るく照らして安全性を高めます：

- カミングホーム・ライト
- ドア・ミラーのカーテシー・ライト（電動格納式ドア・ミラー装備車）
- リヤの車幅灯
- ライセンス・ライト

ウェルカム・ホーム機能（遅延消灯）

車両をロックすると、マルチファンクション・ディスプレイで設定した遅延消灯時間の間、ライトが点灯したままになり、遅延消灯時間が経過すると自動的に消灯します。

エクステリア・ライトの遅延消灯時間設定に関するインフォメーション：

▷ 「ウェルカム・ホーム/エントリー機能の外部ライト遅延消灯の調整」（257ページ）を参照してください。

エントリー/イグジット機能

車両をロック解除すると、マルチファンクション・ディスプレイで設定した遅延消灯時間の間、車両の周囲が照らされます。
以下の場合は、ライトが消灯します：

- イグニッションがONのとき
- ライト・スイッチを**AUTO**の位置から動かしたとき

エクステリア・ライトの遅延消灯時間設定に関するインフォメーション：

▷ 「ウェルカム・ホーム/エントリー機能の外部ライト遅延消灯の調整」（257ページ）を参照してください。

ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム（PDLS）

ダイナミック・コーナリング・ライトおよび夜間の高速道路機能を作動させるには：

- ライト・スイッチを**AUTO**の位置に回してください。

ダイナミック・コーナリング・ライト

約8km/h以上の速度で走行している場合、そのときの速度やステアリグ・ホイールの切れ角によって、コーナーの先に向けてロー・ビームが向きを変え、進行方向の路面を照らします。ダイナミック・コーナリング・ライトが故障した場合、インストルメント・パネルのPDLS警告灯が点滅します。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（85ページ）を参照してください。

夜間の高速道路走行時の作動

夜間は速度が約130km/hを超えるとドライビング・ライトの配光特性が変化します。
このときドライビング・ライトは、より遠くが見渡せるように照射距離を長くします。

フォグ・ライト

速度が約70km/h以下でリヤ・フォグ・ライトが点灯している場合、ドライビング・ライトの配光特性が変化します。
このときドライビング・ライトは、眩しさを抑えるように照射され、より広範囲が見えるように照射エリアが広がります。

ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス（PDLS Plus）

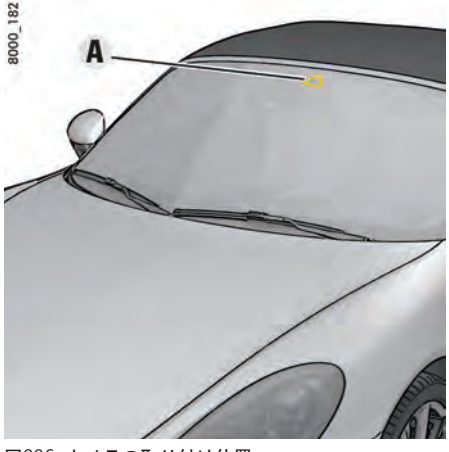


図206: カメラの取り付け位置

ダイナミック・ハイ・ビーム

ダイナミック・ハイ・ビーム装備車では、ルーム・ミラー付近に取り付けられたカメラ**A**で前方の走行車および対向車の光源を検知し、ドライビング・ライトの遮光ポイントをハイ・ビームからロー・ビームの間で段階的に調節します。ドライビング・ライトの遮光ラインは、検出された車両が認識できるように調節されます。

周囲が暗い状態で以下の条件が揃うと、この機能が作動します：

✓ ライト・スイッチの**AUTO**位置が選択されている

✓ 速度が約60km/h以上

✓ マルチファンクション・ディスプレイでダイナミック・ハイビームを有効にする

▷ 「ダイナミック・ハイ・ビームの作動/停止」（257ページ）を参照してください。

✓ ダイナミック・ハイ・ビームがONになっている

▷ 「ハイ・ビームの作動」（273ページ）を参照してください。

市街地走行時にハイ・ビームに切り替わらないようにするため、ダイナミック・ハイ・ビームは約35km/h以下の速度では作動しません。

また、カメラが複数の街路灯を検出した場合も自動的にハイ・ビームからロー・ビームに切り替わります。

⚠ 警告 集中力の低下

ダイナミック・ハイ・ビームを過信せず、走行時の周囲の明るさ、視界、交通状況に応じてハイ・ビームを手動で調節し、責任ある運転を心がけてください。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時には細心の注意を払ってください。次のような場合には手動での設定が必要になることがあります：

– 雨、霧、雪、氷、または多量の水しぶきなどの悪天候時
– 対向車を確認しにくい道路（高速道路など）
– 明るさが弱いライトの他車（自転車など）が走行している場合
– 急カーブ、起伏の激しい路面、坂道
– 明かりが少ない市街地
– 光を強く反射する物体（看板など）がある道路
– フロント・ウィンドウのカメラの視界が曇り、汚れ、凍結、またはステッカーで覆われている

▸ 十分注意して運転してください。

▸ 交通状況と車両周囲には常に注意を払ってください。

▸ 必要な場合、ハイ・ビームを周囲の明るさ、視界、交通状況に合わせて手動で調節してください。

インフォメーション

▸ カメラの作動を干渉する物がないことを確認してください：
ルーム・ミラーのカメラの視界（271ページ図206）をステッカーなどで遮らないでください。

▸ 正常な機能を維持するために、カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などを取り除いてください。

▷ 車両のお手入れについて：「お手入れ」（69ページ）を参照してください。

方向指示灯/ハイ・ビーム・レバーの操作

このレバーを使用して、方向指示灯およびハイ・ビームに加えて、パーキング・ライトおよびヘッドライト・パッシングも操作できます。

図207: 方向指示灯およびハイ・ビーム操作レバー

1 方向指示灯、左
2 方向指示灯、右
3 ハイ・ビーム、ダイナミック・ハイ・ビーム
4 ヘッドライト・パッシング

方向指示灯の操作

- 操作レバーを**1**または**2**段階目まで押してください。
  方向指示灯は、操作レバーを手動で初期位置に戻すか、ステアリング・ホイールを回したときに自動的に初期位置に戻るまで、作動したままになります。
- 操作レバーを**1**または**2**段階目まで1回動かしてください。
  方向指示灯が3回点滅します。

ハイ・ビームの作動

ハイ・ビームの点灯/消灯（ダイナミック・ハイ・ビーム非装備車）

- **点灯**：操作レバーを**3**段階目まで1回動かしてください。
  インジケーター・ライトが点灯します。
- **消灯**：操作レバーを**4**段階目まで1回動かしてください。

ダイナミック・ハイ・ビームの作動/停止

ダイナミック・ハイ・ビームを作動させるには、次の条件を満たさなければなりません：

✓ 夜間
✓ ライト・スイッチの**AUTO**位置が選択されている
✓ 速度が約60km/h以上
✓ マルチファンクション・ディスプレイでダイナミック・ハイビームを有効にする
  ▷ 「ダイナミック・ハイ・ビームの作動/停止」（257ページ）を参照してください。

- **作動**：操作レバーを**3**段階目まで1回動かしてください。
  インジケーター・ライトが点灯します。
  ロー・ビームとハイ・ビームの間で段階的に配光が自動調節されます。
  ハイ・ビームの一時的な点灯時または完全な点灯時には、インジケーター・ライトが点灯します。
- **停止**：操作レバーを**4**段階目まで1回動かしてください。
  インジケーター・ライトが点灯しているときのみダイナミック・ハイ・ビームを解除できます。

ダイナミック・ハイ・ビームの手動点灯/消灯

ダイナミック・ハイ・ビームを解除した場合、または作動条件が満たされなかった場合、手動でハイ・ビームの点灯/消灯を切り替えることができます。
以下の条件を満たさなければなりません：

✓ 夜間
✓ ライト・スイッチの**AUTO**位置が選択されている

- **点灯**：操作レバーを**3**段階目まで2回動かしてください。
  インジケーター・ライトが点灯します。
- **消灯**：操作レバーを**4**段階目まで1回動かしてください。

ヘッドライト・パッシングの操作

- 操作レバーを**4**段階目まで1回動かしてください。
  インジケーター・ライトが短時間点灯します。

パーキング・ライトの点灯/消灯

✓ イグニッションがOFFのとき
- 操作レバーを上方向**2**または下方向**1**に押すと右または左側のパーキング・ライトが点灯します。

パーキング・ライトが点灯している場合は、イグニッションをOFFにしてドアを開くとマルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。
▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」（85ページ）を参照してください。

ハザード・ライトのON/OFF

図208: センター・コンソールのハザード・ライト・ボタン

ハザード・ライトはイグニッションがOFFのときでも機能します。

ハザード・ライトのON/OFF

- センター・コンソールのハザード・ライト・ボタンを押してください。
  すべての方向指示灯とボタンのインジケーター・ライトが同時に点滅します。

緊急ブレーキ後のハザード・ライトの解除

約70km/h以上の速度で走行中、目前に渋滞の最後尾が現れたとき、停車するために急ブレーキをかけると、制動中にブレーキ・ライトが点滅し、車両の停車後にハザード・ライトが自動的に作動します。

- センター・コンソールのボタンを押して、ハザード・ライトを停止させてください。
  車両が動き出すと、ハザード・ライトが自動的に停止します。

事故後のハザード・ライトの解除

衝突時、ハザード・ライトが自動的に作動します。

- ハザード・ライトを停止するためには、イグニッションをOFFにした後、再度イグニッションをONにしてください。

発光ダイオード（LED）とロングライフ・バルブの交換

デイタイム・ライト、フロント・サイド・ライト、方向指示灯、バイキセノン・ヘッドライトのガス・ディスチャージ・バルブ、テール・ライト、ライセンス・ライト、ハイマウント・ブレーキ・ライトおよびルーム・ライトには、発光ダイオード（LED）とロングライフ・バルブを採用しています。

LEDは個別に交換できません。

ロングライフ・バルブの交換には専門知識が必要です。

- 発光ダイオード（LED）とロングライフ・バルブの交換はポルシェ正規販売店にお任せください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ラゲッジ・コンパートメント

荷物の積載

⚠ 警告 積載時の車両の操縦性の変化

車両の操縦性は積載量によって変化します。

- ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。

▷ 「重量（メーカー発表値）」（304ページ）を参照してください。

停止表示板の取り外し＊

停止表示板は、ラゲッジ・コンパートメントの裏側（図209の**A**）に収納されています（国別仕様により異なります）。

応急処置セットの固定および取り外し＊

応急処置セットは、フロント・ラゲッジ・コンパートメント内のカーペット（マジック・テープ図210の**B**）に固定することができます（国別仕様により異なります）。

タイヤ・シーラント/工具セットの取り外しおよび収納

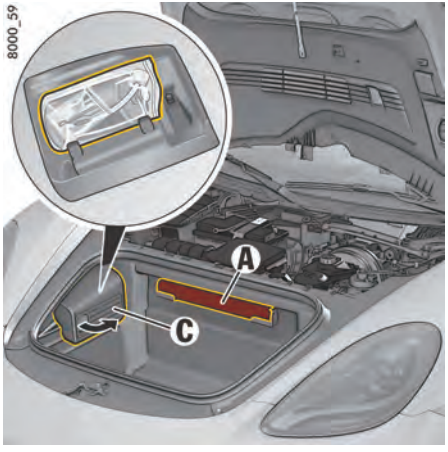


図209: **タイヤ・シーラント**を収納したプラスチック・ボックス**C**

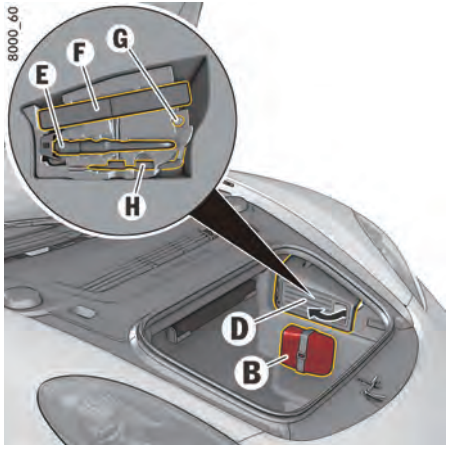


図210: **車載工具**を収納したプラスチック・ボックス**D**

E けん引フック
F 車載工具
G 盗難防止ホイール・ボルト・アダプター
H コンバーチブル・トップの緊急操作用キー（718 Boxster）

タイヤ・シーラント/工具セットの取り外し

- プラスチック・ボックスの取っ手をつかんで、取り外してください。

タイヤ・シーラント/工具セットの収納

1. 後部のラグを挿入してください。
2. プラスチック・ボックスの前部をはめ込んでください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

タイヤ充填コンプレッサーの取り外しおよび収納

タイヤ充填コンプレッサーの取り外し

図211: プラスチック・カバーの取り外し

1. プラスチック・カバー**A**の取っ手（**矢印**）を持って持ち上げ、ラッチを外してください（外れる音が聞こえます）。
2. プラスチック・カバーを少し前方に引き、前部を持ち上げてください。

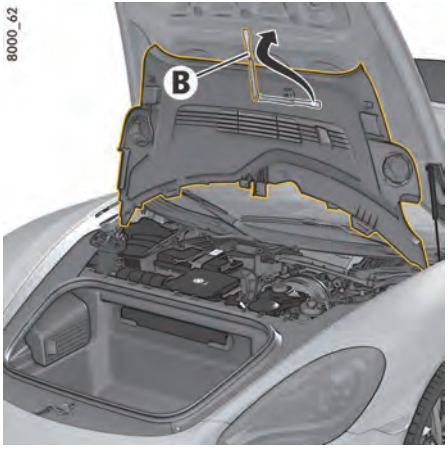


図212: プラスチック・カバーの取り付け

3. プラスチック・カバー下側の固定ストラップ**B**を外し、ラゲッジ・コンパートメント・リッドに取り付けてください。

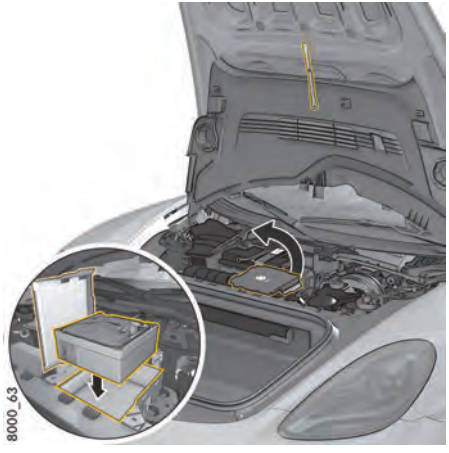


図213: タイヤ充填コンプレッサーの収納ボックスを開く

4. タイヤ充填コンプレッサーの収納ボックスを開いてください（図213）。
5. タイヤ充填コンプレッサーを収納スペースから取り出してください。

タイヤ充填コンプレッサーの収納

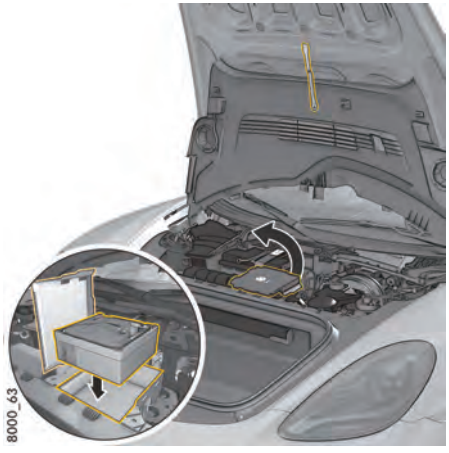


図214: タイヤ充填コンプレッサーの交換

1. タイヤ充填コンプレッサーを収納ボックスに入れてください（図214）。
2. 収納ボックスのカバーを閉じてください。

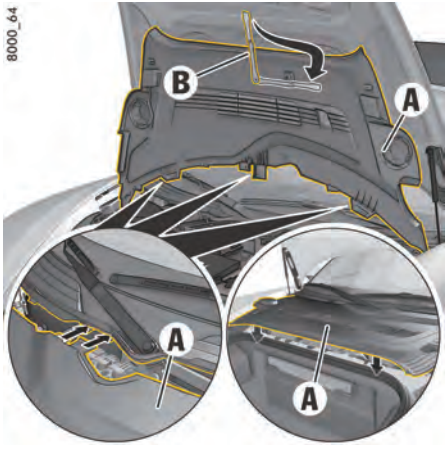


図215: プラスチック・カバーを閉じる

3. 固定ストラップ**B**を外し、プラスチック・カバーにはめ込んでください。
4. プラスチック・カバー **A**の後端部をガイドに差し込み、ホルダー上に置いてください。プラスチック・カバーの前部を下げてください。
5. カバー下側のセンタリング・ピンが各ガイドにはまっていることを確認してください。ラッチのはまる音が聞こえるまで、カバーの取っ手部分を下に押してください。

ラゲッジ・カバーの取り外し/取り付け

✓ 718 Cayman

ラゲッジ・カバーはラゲッジ・コンパートメント内の荷物を直射日光や人目から覆い隠します。

知識

ラゲッジ・カバーは鋭利な物や滑った荷物によって損傷する恐れがあります。

- ラゲッジ・カバーを損傷する恐れのある荷物を積み込むときは、ラゲッジ・カバーを取り外してください。

ラゲッジ・カバーを取り外す

図216: ラゲッジ・カバーを取り外す

1. 片手でラゲッジ・カバーを押さえながら、両方のロックを反時計回りに回してください。
2. 両手でラゲッジ・カバーを取り外してください。

ラゲッジ・カバーを取り付ける

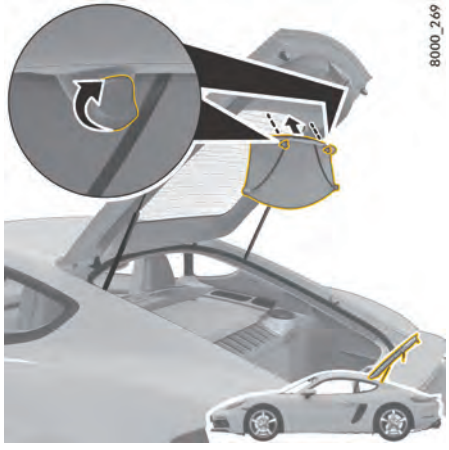


図217: ラゲッジ・カバーを取り付ける

- 両手でラゲッジ・カバーをマウントに差し込み、片手で押さえながら両方のロックを時計回りに回してください。

ラゲッジ・コンパートメント・リッド

ラゲッジ・コンパートメント・リッドの開閉操作とロック

車内のボタンでフロント・ラゲッジ・コンパートメント・リッドを開く

知識

ラゲッジ・コンパートメント・リッドまたはフロント・ワイパーを損傷する恐れがあります。

- ラゲッジ・コンパートメント・リッドを開くときは、ワイパーが起きていないことを確認してください。
- ラゲッジ・コンパートメント・リッドを開く前に、必ずフロント・ワイパーをOFF（ワイパー・レバーを**0**の位置）にしてください。

▷「フロント・ワイパーの操作」（216ページ）を参照してください。

インフォメーション

バッテリーが上がってしまった場合、外部電源を接続すればフロント・ラゲッジ・コンパートメント・リッドを開くことができます。

▷「ラゲッジ・コンパートメント・リッドの緊急解除」（281ページ）を参照してください。

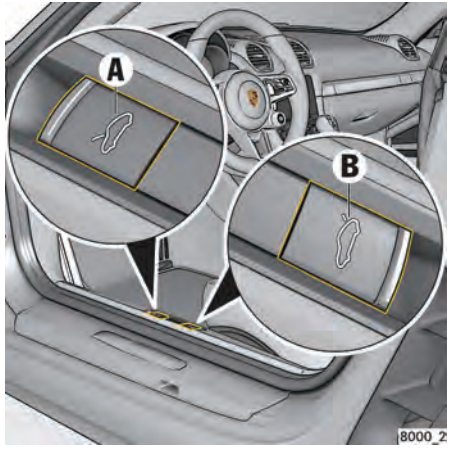


図218: フロント・ラゲッジ・コンパートメント・リッドのロック解除

A フロント・ラゲッジ・コンパートメント・リッド・ボタン
B リヤ・ラゲッジ・コンパートメント・リッド・ボタン

1. ボタン**A**を引いてください。
   リッドがロック解除されます。

図219: フロント・ラゲッジ・コンパートメント・リッドのロック解除

2. リッドを少し持ち上げ、セーフティー・ラッチ（**矢印**）を解除してください。
3. リッドを完全に開いてください。

車内のボタンでリヤ・ラゲッジ・コンパートメント・リッドを開く

1. ボタン**B**を引いてください。
   リッドがロック解除されます。
2. リッドをわずかに持ち上げ、それから完全に開いてください。

リア・ラゲッジ・コンパートメント・リッドのロック

✓ 718 Cayman

ラゲッジ・コンパートメント・リッドは、2箇所の位置で開いたままロックすることができます。

- **位置1**：ラゲッジ・コンパートメント・リッドを抵抗がある位置まで持ち上げてください。
- **位置2**：ラゲッジ・コンパートメント・リッドを抵抗がある位置から更に持ち上げてください。

キーでラゲッジ・コンパートメント・リッドを開く

図220: キーでラゲッジ・コンパートメント・リッドを開く

1. または ボタンを押してください。
   リッドがロック解除されます。
2. リッドを少し持ち上げてください。
3. フロント・ラゲッジ・コンパートメント・リッド：セーフティ・キャッチを解除してください。
4. リッドを完全に開いてください。

インフォメーション

キーを使用してラゲッジ・コンパートメント・リッドのロックを解除すると、車両ドアのロックも解除されます。

ポルシェ・エントリー＆ドライブ（キーレス）でフロント・ラゲッジ・コンパートメント・リッドを開く

図221: ポルシェ・エントリー＆ドライブでフロント・ラゲッジ・コンパートメント・リッドを開く

✓ キーが車両の前部にある

1. Porsche Crestとライセンス・プレートの間に手をかざしてください（図221）。
   リッドがロック解除されます。
2. リッドを少し持ち上げ、セーフティー・ラッチを解除してください。
3. リッドを完全に開いてください。

ポルシェ・エントリー＆ドライブ（キーレス）でリヤ・ラゲッジ・コンパートメント・リッドを開く

図222: ポルシェ・エントリー＆ドライブでリヤ・ラゲッジ・コンパートメント・リッドを開く

✓ キーが車両の後部にある

1. リヤ・スポイラーとナンバー・プレートの間に手を置いてください（図222）。
   リッドがロック解除されます。
2. リッドをわずかに持ち上がり、開くことができます。

ラゲッジ・コンパートメント・リッドを閉じる

1. リッドが閉じる直前まで手で引き下げ、そこで手を放してリッドを落とし、ロックしてください。ロック部分の真上付近を手のひらで押して、リッドを確実にロックしてください。
2. リッドが確実にロックされていることを確認してください。
3. リッドが正しく閉じていない場合、走行時にマルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

ラゲッジ・コンパートメント・リッドの緊急解除

バッテリー上がりの場合、フロント・ラゲッジ・コンパートメント・リッドを開くには外部バッテリーを使用する必要があります。

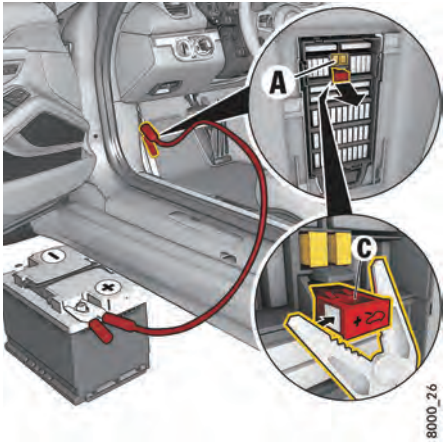


図223: ラゲッジ・コンパートメント・リッドの緊急解除 – プラス端子の接続

A プラスチック・リムーバー（黄色）
C プラス端子（赤色）

1. エマージェンシー・キーを使用して、ドア・ロックを解除してください。
▷ 「エマージェンシー・キーを使用する場合」（76ページ）を参照してください。
▷ 「緊急ドア・ロック解除」（145ページ）を参照してください。
2. 左側ヒューズ・ボックスのプラスチック・カバーを取り外してください。
3. ヒューズ・リムーバー**A**（黄色）を使用して、ヒューズ・ボックスのプラス端子**C**（赤色）を引き出してください。
4. 赤いジャンパー・ケーブルを使用して、外部バッテリーのプラス端子と、ヒューズ・ボックスのプラス端子**C**を接続してください。

インフォメーション

車両がロックされていた場合、マイナス端子を接続したときに警報システムのホーンが鳴ります。

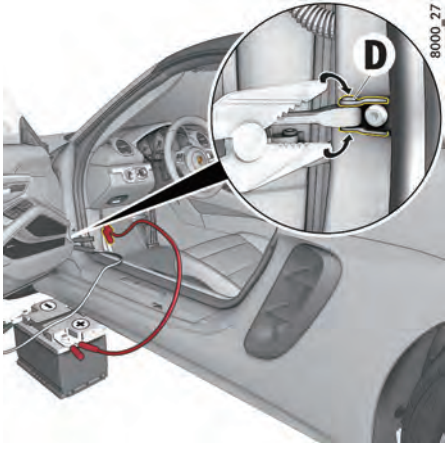


図224: ラゲッジ・コンパートメント・リッドの緊急解除 – マイナス端子の接続

5. 黒色のジャンパー・ケーブルを使用して、外部バッテリーのマイナス端子と、ドア・ラッチ**D**を接続してください。
6. キーのボタンを約2秒間押し続けてください。
フロント・ラゲッジ・コンパートメント・リッドがロック解除され、警報システムがOFFになります。
7. マイナス・ケーブルを先に外し、次にプラス・ケーブルを外してください。
8. プラス端子**C**（図223）をヒューズ・ボックスに押し込み、ヒューズ・ボックスのプラスチック・カバーを取り付けてください。

ラジオ

概要

この概要説明は「ラジオ」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の操作に関するインフォメーション:

▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント（PCM）の操作」（229ページ）を参照してください。

図225: FM周波数帯

運転者が何をしたいか？	操作方法	ページ
周波数帯を設定する	▸ TUNER ボタンを押して希望する周波数帯（**AM**または**FM**）をヘッドラインに表示させてください。	283
放送局リストから放送局を選択する	▸ TUNER ボタン ▸ **List（リスト）** ▸ 放送局を選択してください。	283
スキップ・ボタンで選局する	▸ ボタンまたは ボタンを希望の放送局が流れるまで何度か押してください。	
放送局リストから放送局を保存する	▸ TUNER ボタン ▸ **List（リスト）** ▸ 放送局を選択 ▸ **Store（保存）** ▸ 放送局ボタンを選択してください。	284
保存した局を選択する	▸ TUNER ボタン ▸ **Presets（プリセット）** ▸ 希望の放送局ボタンを選択してください（**A**を参照）。	283
放送局の詳細を表示する	▸ TUNER ボタン ▸ **Presets（プリセット）** ▸ **詳細**を選択してください。	284

周波数帯を設定する

1. SOURCEボタンを押してください。
2. AMまたはFMを選択してください。

または

- TUNERボタンを繰り返し押して希望する周波数帯（AMまたはFM）をヘッドラインに表示させてください。

または

1. TUNERボタンを押してください。
2. ヘッドラインに表示された周波数帯を選択してください。
3. SOURCEメニューから希望する周波数帯AMまたはFMを選択してください。

選局

保存した放送局を表示および選択する（プリセット）

図226: 放送局ボタン（プリセット）

1. TUNERボタン ▸ **Presets（プリセット）**
2. 放送局を選択してください。
   選択した放送局ボタン（例：**A**）がハイライトされます。

計20の放送局ボタン（プリセット）を使用して、放送局を割り当てることができます。
最初の3ページにある放送局ボタンを自由に割り当てることができます（現在選択されているページを表示させるには、**B**を参照）。受信電波の最も強い5つのラジオ放送局が、自動的に4ページの放送局ボタンに割り当てられます（「ベストFMレベル」）。

スキップ・ボタンで選局する

- 選択したメイン・メニューに関わらず、◀◀および▶▶スキップ・ボタンを使用して選局することができます。
  放送局一覧の次/前の放送局、利用可能な周波数、またはアンサンブルが設定されます。

手動で選局する

✓ FMまたはAM周波数帯を設定する

1. TUNERボタン ▸ **Tune（周波数）**
2. 周波数バーを使用して周波数を選択してください。

放送局リストから放送局を選択する

1. TUNERボタン ▸ **List（リスト）**
2. 放送局を選択してください。
   受信可能なすべての放送局が放送局リストに表示されます（最高100局まで）。

放送局のスキャンと選局

1. TUNERボタン ▸ OPTボタン
2. **スキャン開始**を選択してください。
   周波数帯の各放送局のスキャンには約5秒かかります。
3. スキャンした放送局で停止するには、コントローラーで**Stop（停止）**を選択してください。
   または
   OPTボタン ▸ **スキャンを停止**を選択してください。

マルチファンクション・ディスプレイを使用して放送局を選択する

マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション：

- ▷「マルチファンクション・ステアリング・ホイールを使用しないマルチファンクション・ディスプレイの操作」（243ページ）を参照してください。
- ▷「マルチファンクション・ステアリング・ホイールでのマルチファンクション・ディスプレイの操作」（243ページ）を参照してください。

1. **オーディオ**メニューを選択してください。
2. 放送局リストから放送局を選択してください。

放送局の保存

選局した放送局を保存する

1. TUNER ボタン ▸ **Presets（プリセット）**
2. 希望の放送局ボタンを3秒間押してください。

または

1. TUNER ボタン ▸ OPT ボタン
2. **放送局を保存** ▸ 放送局ボタンを選択してください。

または

1. TUNER ボタン ▸ **Tune（周波数）** / **List（リスト）**
2. 放送局を選択して、を選択してください。
3. 希望の放送局ボタンを選択してください。

放送局を自動で保存する

1. TUNER ボタン ▸ **Presets（プリセット）**
2. **AS**を1秒以上押し続けてください。
   検索が開始されます。受信電波の最も強い5つのラジオ放送局が、選択されているページに保存され、最も強い電波で受信された放送局が設定されます。

放送局情報の表示

放送局の詳細を表示する

1. TUNER ボタンを押してください。
2. **Presets（プリセット）** ▸ **詳細**を選択してください。

または

List（リスト） ▸ OPT ▸ **放送局の詳細**を選択してください。
プログラム関連情報が表示されます。

設定の変更

1. TUNER ボタン ▸ OPT ボタン ▸ **AM設定/FM 設定**
2. 希望のオプション選択してください。

- **ラジオテキスト**（FM）：ラジオ・テキストのON/OFFを切り替えます。
- **放送局トラッキング**（FM）：機能が有効でFM周波数帯の電波品質が低い場合、チューナーが自動的に選局した放送局の代替周波数への切り替えを試みます。
- **リージョン適応**（FM）：地域によって、FM周波数帯のプログラムは一部異なっており、内容は地域別のプログラムでそれぞれ配信されています。この機能をONにすると、その地域の代替周波数帯に切り替えることができません。
- **ソート条件**
  - **放送局名**（FM）：放送局リストがアルファベット順に並び替えられます。
  - **周波数帯**（FM、AM）：放送局リストは周波数帯内の放送局の順番で並び替えられます。
  - **ジャンル**（FM）：放送局リストはプログラムの種類、またはジャンルによって並び替えられます。(例:ポップス、ロック)
  - **電信品質**（FM、AM）：放送局リストは放送局の電波の強さによって並び替えられます。受信状態の良い放送局がリストの最上部に表示されます。
- **放送局表示**（FM）
  - **放送局名**：放送局名が表示されます。
  - **周波数帯**:放送局の周波数が表示されます。
- **ステーションイメージデータベース**（FM）：
  - **ステーションイメージの地域**：放送局のロゴを選択する地域の調整
  - **ステーションイメージを有効にする**：放送局ロゴの表示/非表示を切り替えます。

放送局名の固定

1. TUNER ボタン ▸ OPT ボタン
2. **選曲名**を選択してください。
   現在表示されている放送局名を固定することができます。このときラジオ局のテキスト放送は表示できなくなります。
   ▸ テキストをもう一度スクロールするには、**リリース名**を選択してください。

リヤ・ウィンドウ・ヒーター/ドア・ミラー・ヒーター

リヤ・ウィンドウ・ヒーターおよびドア・ミラー・ヒーター

図227: リヤ・ウィンドウ・ヒーター/ドア・ミラー・ヒーター

リヤ・ウィンドウ・ヒーターおよびドア・ミラー・ヒーターをONにする

✓ エンジンを作動状態にする

▸ ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

外気温度によって、約5～20分後にリヤ・ウィンドウ/ドア・ミラー・ヒーターのスイッチが自動的にOFFになります。

再度ONにする

▸ ボタンをもう一度押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

リヤ・ウィンドウ・ヒーターおよびドア・ミラー・ヒーターをOFFにする

▸ ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

インフォメーション

バッテリー電圧が低すぎると、まずリヤ・ウィンドウ・ヒーター/ドア・ミラー・ヒーターの作動が制限され、その後OFFになります。

リヤ・スポイラー

リヤ・スポイラーは高速走行時の走行安定性を向上させます。

オートマチック・モード

リヤ・スポイラーは約125km/hを超えると自動的に展開し、約80km/hを下回ると格納します。
オート・コントロール・システムに不具合があると、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

▷ 「警告およびインフォメーション・メッセージ」(85ページ) を参照してください。

⚠ 警告 格納式リヤ・スポイラーの故障

格納式リヤ・スポイラーが故障すると、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。高速走行時にリヤ・アクスルが浮き気味になるために走行安定性が妨げられます。

- この状態を配慮した走行スタイルと速度で運転を行ってください。
- ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。
  ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

マニュアル・モード

図228: センター・コンソールのリヤ・スポイラー操作ボタン

リヤ・スポイラーは、イグニッションをONにして、センター・コンソールのボタンを操作することにより、手動で展開/格納することができます。
リヤ・スポイラーがマニュアル・モードの場合、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

手動でのリヤ・スポイラーの展開

- ボタンを短く押してください。
  リヤ・スポイラーが展開します。
  ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
  リヤ・スポイラーはマニュアル・モードに切り替わります。

手動での格納

0～15km/h：

- ボタンのインジケーター・ライトが消灯するまで、ボタンを押し続けてください。

15km/hを超える速度：

- ボタンを短く押してください。
  ボタンを押した後、すぐにインジケーター・ライトは消灯します。
  リヤ・スポイラーはオートマチック・モードに切り替わります。

⚠ 注意 リヤ・スポイラーの展開/格納

車両を停車させてリヤ・スポイラーを手動で展開/格納するときは、動いているスポイラーと車両の固定部分との間に身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- リヤ・スポイラーが稼動する範囲に人や物がないことを確認してください。

知識

リヤ・スポイラーを損傷する危険があります。

- リヤ・スポイラーを持って車両を動かさないでください。

レーン・チェンジ・アシスト（LCA）

レーン・チェンジ・アシスト（LCA）は、後方から接近する車両や死角にある車両をドライバーに警告します。これは、他車を追い越すときや追い越されるときにも作動します。危険な状況や車線変更が不可避な状況を検出すると、両側のドア・ミラー取付部フィニッシャーに一体化されている警告インジケーターが直ちに点灯します。

図229: ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーター **A**

⚠ 警告 集中力の低下

レーン・チェンジ・アシストが装備されていても、走行中は周囲の状況に注意し、責任ある運転を心がけてください。車線変更の際は、特に注意を払ってください。

- ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

⚠ 警告 レーダー・センサーの視界の妨げ

レーダー・センサーの視界は急カーブ、急勾配への接近、および悪天候（雨、雪、氷、強い水しぶき）では低下することがあります。車両を正しく検出できないことや、まったく検出できなくなることがあります。

- ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

⚠ 警告 車両が検出されない

- レーン・チェンジ・アシストは高速で後方から接近する車両や遠ざかる車両に対しては、タイミング良く警告できない場合があります。
- レーン・チェンジ・アシストは急カーブ（半径約100m未満のカーブ）では機能しません。
- レーン・チェンジ・アシストは約30km/h以上の速度で走行しているときにのみ、接近車両や死角エリアの車両をドライバーに警告します。

- ハンドルをしっかり持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

一般的なインフォメーション

- システムは約30km/h～250km/hでの走行中に機能します。
- この警告インジケーターはドライバーがドア・ミラー取付部フィニッシャーを一目見ただけで気づくよう設計されています。
- レーン・チェンジ・アシストのレーダー・センサーが覆われていることをシステムが検出した場合は、レーン・チェンジ・アシストは利用できません。
- レーダー・センサーは車両以外の他の障害物（高いまたは隆起した中央分離帯など）を検出することがあります。

i インフォメーション

- 衝突修理後などレーダー・センサーの位置が変更された場合は、安全上の理由から必ずポルシェ正規販売店でレーン・チェンジ・アシスト・システムを点検してください。

レーン・チェンジ・アシストの作動/停止

レーン・チェンジ・アシストはマルチファンクション・ディスプレイで作動/停止します。

▷ 「レーン・チェンジ・アシスト（LCA）のON/OFF」（256ページ）を参照してください。

i インフォメーション

レーン・チェンジ・アシストを適切に機能させるには：

- リヤ・バンパーのレーダー・センサー部（図230）をステッカーなどで覆わないでください。この周囲から汚れや雪、氷も取り除いてください。
- ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターをステッカーなどで覆わないでください。

図230: リヤ・バンパー内のレーダー・センサー

作動原理

レーン・チェンジ・アシストは、リヤ・バンパー内に組み込まれたレーダー・センサーを使用して、自車と検出した車両との距離および速度差を測定します。レーダー・センサーは後方約70mの範囲および死角を監視しています。

レーン・チェンジ・アシストがその速度差および距離から車線変更が危険と判断した場合、該当するドア・ミラー取付部フィニッシャーに表示します。

車両の右側および左側は個別に表示されます。例えば、左ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターはドライバーが左車線に車線変更する際に役立ちます。

危険と判断された車両が方向指示灯を操作した場合、該当するドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。

他車をゆっくり（速度差約15km/h未満）と追い越す場合、他車が死角エリアに入ったことをレーン・チェンジ・アシストが検出すると、直ちに警告インジケーターが点灯します。速度差がそれ以上の場合、ドア・ミラーには表示されません。

インフォメーション

レーダー・センサーは左右の隣接する車線を検出します。その他の車線は、レーダー・センサーで**検出されません**。

インフォメーションおよび警告ステージ

レーン・チェンジ・アシストには方向指示灯を操作するかしないかによって、2段階の警告インジケーター作動ステージがあります。

インフォメーション・ステージ

ドライバーが方向指示灯を操作していない場合、レーン・チェンジ・アシストは、検出した車両が車線変更の際に危険となりうると判断すると、ドライバーに知らせます。レーン・チェンジ・アシストが検出した車両との速度差および距離を危険と判断すると、該当するドア・ミラーの警告インジケーターが**弱い**光で点灯します。

警告ステージ

レーン・チェンジ・アシストは、ドライバーが方向指示灯を操作した側に危険と見なされる車両を検出した場合、検出した側のドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが**明るく**点滅を開始します。警告ステージが数回明るく点滅する場合、ドア・ミラーを見るかまたは肩越しに確認するなど、再度周囲の交通状況を確認するよう促しています。

インフォメーション

ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターの明るさは変更可能です。

▷ 「ドア・ミラーのレーン・チェンジ・アシスト（LCA）の警告表示の明るさを設定する」（256ページ）を参照してください。

インフォメーション

– 車両がより高速で接近してくると、ドア・ミラーの警告インジケーターはより早いタイミングで点灯します。レーン・チェンジ・アシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも「死角エリア」に入るまでにドライバーに警告されます。
– ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターがまだ表示されていなくても、高速で接近する車両がある場合は、車線変更は危険であると考えられます。

運転状況：

起こりうるケースとそれに関連するレーン・チェンジ・アシストの警告インジケーターを、運転状況に応じて以下に説明します。

運転状況 – 高速で接近する車両

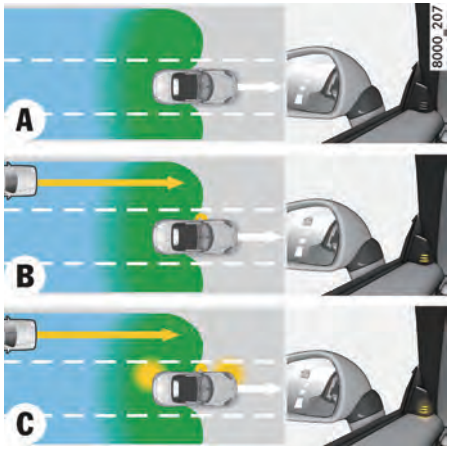


図231: 高速で接近する車両

A – ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが点灯していない

センサーは車両を検出していません。ドア・ミラーの警告インジケーターは点灯しません。

B – 警告インジケーターがインフォメーション・ステージで点灯する

センサーが高速で接近する車両を検出しました（図の例は左車線を示しています）。車両との距離はまだ離れていますが、著しい速度差があるため、この車両はすでに車速変更を行うには危険と判断されます。ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが点灯します。

C – 警告インジケーターが警告ステージで点滅する

運転状況**B**でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。レーン・チェンジ・アシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

運転状況 – ゆっくりと接近する車両

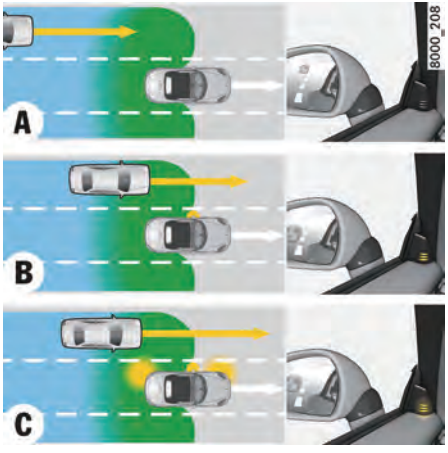


図232: ゆっくりと接近する車両

A – ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが点灯していない

センサーがゆっくりと接近する車両を検出しました（図の例は左車線を示す）。速度差が小さくて車間距離が長い場合は、ドア・ミラー取付部フィニッシャーに表示されません。

B – 警告インジケーターがインフォメーション・ステージで点灯する

車両がゆっくりと接近してきています。ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが点灯します。

レーン・チェンジ・アシストがその速度差および距離から車線変更は危険と判断する場合のみ、ドア・ミラー取付部フィニッシャーに表示されます。レーン・チェンジ・アシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも「死角エリア」に入るまでにドライバーに警告されます。

C – 警告インジケーターが警告ステージで点滅する

運転状況**B**でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。レーン・チェンジ・アシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

運転状況 – ゆっくりと遠ざかる車両

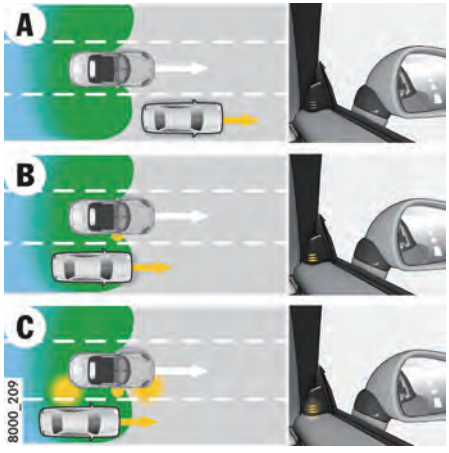


図233: ゆっくりと遠ざかる車両

A – ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターは点灯していない

レーン・チェンジ・アシストは追い越される車両をまだ検出していません。ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターの表示はありません。

B – 警告インジケーターがインフォメーション・ステージで点灯する

この例では、レーン・チェンジ・アシストはゆっくりと遠ざかる車両（速度差約15km/h未満）を右側車線で検出しました。ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが点灯します。

C – 警告インジケーターが警告ステージで点滅する

運転状況**B**でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。レーン・チェンジ・アシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

運転状況 – 高速で遠ざかる車両

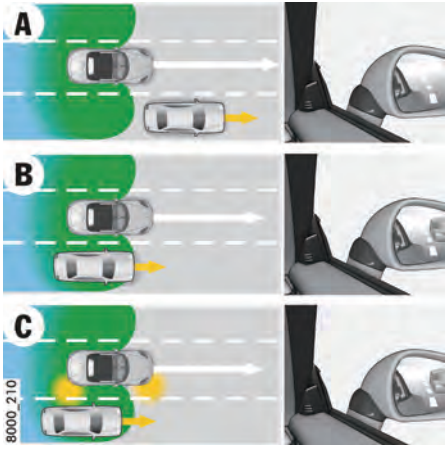


図234: 高速で遠ざかる車両

A – ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが点灯していない

レーン・チェンジ・アシストは追い越される車両をまだ検出していません。ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターの表示はありません。

B – ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターは点灯していない

この例では、レーン・チェンジ・アシストは高速で遠ざかる車両（速度差約15km/h以上）を右側車線で検出しますが、高速で遠ざかっているため車線変更を行う際の危険とはみなされません。ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターの表示はありません。

C – ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが点灯していない

運転状況**B**でドライバーが方向指示灯を操作しても、ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターは点灯しません。

カーブを走行する

カーブを走行する場合、レーン・チェンジ・アシストは1つ離れた車線を走行する車両に反応し、ドア・ミラーの警告インジケーターを点灯することがあります。

レーン・チェンジ・アシストは急カーブでは車両を検出できません（約100m未満の半径のカーブ）。

- カーブを走行するとき、および標準的な幅でない車線を走行するときは特に注意してください。

車線の幅

標準的な幅の車線の場合、ドライバーが車線の中央部または車線の端を走行しているかに関わらず、レーン・チェンジ・アシストの検出エリアには隣接した車線（左/右）が含まれます。狭い車線を走行する場合、検出エリアにはより多くの車線が含まれることがあります（特に車線の端を走行している場合）。このような状況では1つ離れた車線を走行する車両が検出されることもあり、レーン・チェンジ・アシストがインフォメーションまたは警告ステージに切り替わる可能性があります。

同様に、非常に幅の広い車線の場合、隣の車線の車両であっても、検出エリアの範囲外であれば検出されないことがあります。

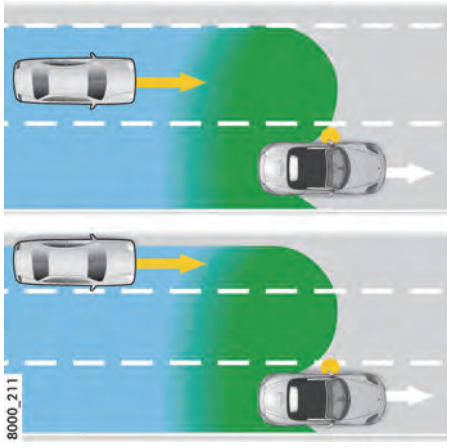


図235: 車線の幅と検出エリア

ドア・ミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターの明るさの設定

警告インジケーター（インフォメーションおよび警告）は周囲の明るさによって自動的に調節されます。

必要に応じて、基本となる明るさをマルチファンクション・ディスプレイで調節することもできます：

▷ 「ドア・ミラーのレーン・チェンジ・アシスト（LCA）の警告表示の明るさを設定する」（256ページ）を参照してください。

インフォメーション

明るさを調整している間はレーン・チェンジ・アシストが作動しません。警告インジケーターは明るさ設定の補助として短時間のみ点灯します。

ログブック

概要

この概要説明は「ログブック」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント (PCM) の操作」(229ページ) を参照してください。

図236: ログブックの表示

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	ページ
ログブックの表示	▸ CAR ボタン ▸ **Trip (トリップ)** ▸ **ログブック**ページを閲覧 (スワイプ) する	
ログブックの有効化	▸ CAR ボタン ▸ **Trip (トリップ)** ▸ **ログブック**ページを閲覧 (スワイプ) する ▸ OPT ボタン ▸ **ログブック設定** ▸ **ログブックを作動**	293
トリップ・カテゴリーの選択	▸ CAR ボタン ▸ **Trip (トリップ)** ▸ **仕事**、**オフィス**または**プライベート**を選択する	293
最後のトリップを継続	▸ CAR ボタン ▸ **Trip (トリップ)** ▸ **Continue (継続)** ▸ **継続**を選択する	
給油地の追加	▸ CAR ボタン ▸ **Trip (トリップ)** ▸ **Stop (停車)** ▸ **保存**を選択する	293
現在のトリップ・データの編集	▸ CAR ボタン ▸ **Trip (トリップ)** ▸ **Edit (編集)** ▸ 希望の項目を選択する	293
標準トリップを設定	▸ CAR ボタン ▸ **Trip (トリップ)** ▸ **ログブック** ▸ OPT ボタン ▸ **ログブック設定** ▸ **標準トリップを設定**	294
キーまたはコントロール・ユニットをドライバーに割り当てる	▸ CAR ボタン ▸ **Trip (トリップ)** ▸ **ログブック** ▸ OPT ボタン ▸ **ログブック設定** ▸ **ドライバーを編集** ▸ **キーの割り当て** ▸ ドライバーを一覧から選択する ▸ **現在のキーを割り当てる**	294
保存したトリップを表示する	▸ CAR ボタン ▸ **Trip (トリップ)** ▸ **ログブック** ▸ OPT ボタン ▸ **トリップ一覧を表示**	294
保存したトリップを外部記憶装置に転送	▸ CAR ボタン ▸ **Trip (トリップ)** ▸ **ログブック** ▸ OPT ボタン ▸ **トリップを移動**	294
保存したトリップを削除	▸ CAR ボタン ▸ **Trip (トリップ)** ▸ **ログブック** ▸ OPT ボタン ▸ **トリップを削除** ▸ **移動したトリップを消去**または**すべてのトリップを消去**	294

ログブック

ログブックは自動的にすべてのトリップを記録し、以下のデータとともに保存します。

- カテゴリー（ビジネス、仕事、またはプライベート・トリップ）
- 日付と時刻
- ドライバー
- 目的地（ビジネス・トリップ）
- 目的（ビジネス・トリップ）
- 連絡先（仕事）
- 備考
- 出発地および目的地での走行距離

ログブックの有効化および無効化

1. CARボタン ▸ **Trip（トリップ）**

図237: ログブックの有効化

2. **ログブック**ページを閲覧（スワイプ）してください。
3. OPTボタン ▸ **ログブック設定**を選択してください。
4. **ログブックを起動**を選択してください。
   ☑ ログブック有効
   ☐ ログブック無効

記録の開始

✓ イグニッションがONのとき
✓ ログブックが有効になっている
▸ システムが自動的にトリップを記録し始めます。トリップが新しくなるたびに、別の記録が作成されます。

最後のトリップを継続する

▸ CARボタン ▸ **Trip（トリップ）** ▸ **ログブック** ▸ **Continue（継続）**
▸ **継続**を選択してください。
最後のトリップを継続します。

インフォメーション

走行距離が100mに満たない場合は、記録されることなく次のトリップに追加されます。

現在のトリップのカテゴリーの変更

✓ ログブックが有効になっている

1. CARボタン ▸ **Trip（トリップ）** ▸ **ログブック**
2. **仕事**、**オフィス**または**プライベート**を選択してください。
   トリップの目的に応じて、様々なドライビング・データが用意されています。
   初期設定では、**標準トリップを設定**で定義されたカテゴリーが有効になります。
   ▹ 「標準トリップを設定する」(294ページ)を参照してください。

給油地の追加

1. CARボタン ▸ **Trip（トリップ）** ▸ **ログブック** ▸ **Stop（給油地）**
2. **保存**を選択してください。
   日付と時刻および走行距離が保存されます。

現在のトリップの編集

1. CARボタン ▸ **Trip（トリップ）** ▸ **ログブック** ▸ **Edit（編集）**
2. 希望のカテゴリーを選択してください。
   - **ドライバー**
   - **目的地**
   - **目的**
   - **連絡先**
   - **備考**
3. 現在の項目を選択または追加するには、**追加**を選択してください。

キーを抜き取るまでの間、現在のトリップを編集することができます。キーを抜くと、記録は停止し、保存されます。
(ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車：運転席ドアを開くまで)。

ログブックの設定

標準トリップを設定する

1. CARボタン ▸ Trip(トリップ) ▸ **ログブック**
2. OPTボタン ▸ **ログブック設定** ▸ **標準トリップを設定**を選択してください。
3. トリップ開始時に初期設定で使用するカテゴリーを選択してください。

- **出張**
- **通勤**
- **プライベートトリップ**
- **前回のトリップ**

キーをドライバーに割り当てる/割り当てを削除する

1. CARボタン ▸ Trip(トリップ) ▸ **ログブック**
2. OPTボタン ▸ **ログブック設定** ▸ **ドライバーを編集** ▸ **キーの割り当て**
3. リストからドライバーを選択してください。
4. **現在のキーを割り当てる**を選択してください。
   または
   キーを消去を選択してください。

キーまたはコントロール・ユニット(ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車)をドライバーに割り当てると、そのキーまたはコントロール・ユニットを使用した際にドライバーの名前が自動的にログブックで選択されます。

新しいドライビング・データを追加する、データ名を変更する、または削除する

1. CARボタン ▸ Trip(トリップ) ▸ **ログブック**
2. OPTボタン ▸ **ログブック設定**
3. 希望のカテゴリーを選択してください。
   - **ドライバー**
   - **目的地**
   - **目的**
   - **連絡先**
4. 希望の機能を選択してください。

- **追加**
- **名前の変更**
- **消去**

保存したトリップの表示

最大1,500件のトリップを保存できます。

1. CARボタン ▸ Trip(トリップ) ▸ **ログブック**
2. OPTボタン ▸ **トリップ一覧を表示**
3. 希望の項目を選択してください。
4. 詳細ビューで次のトリップを表示するには、矢印ボタンを押してください。

保存したトリップの移動

付属のソフトウェアを使用して、ログブックのデータをPCに表示し編集することができます。

✓ SDカードが挿入されている、またはUSBメモリーが接続されている

1. CARボタン ▸ Trip(トリップ) ▸ **ログブック**
2. OPTボタン ▸ **トリップを移動**
3. **SD**または**USB**を選択して、保存したトリップを記憶装置に移動してください。
4. **エクスポート**を選択してください。
   保存したすべてのトリップがエクスポートされます。

保存したトリップの削除

1. CARボタン ▸ Trip(トリップ) ▸ **ログブック**
2. OPTボタン ▸ **トリップを消去**
3. **移動したトリップを消去**を選択してください。
   または
   PCMに保存されたすべてのトリップを消去するには、**すべてのトリップを消去**を選択してください。

リマインダーのON/OFF

1. CARボタン ▸ Trip(トリップ) ▸ **ログブック**
2. OPTボタン ▸ **ログブック設定**
3. PCM の起動時にリマインダーを数秒間表示するには、**リマインダーを表示**を選択してください。
   a. リマインダーを閉じるには、**OK**を選択してください。
   b. ログブックを開くには、**編集**を選択してください。

ワイパー・ブレード

知識

ワイパー・アームが不意に倒れるとフロント・ウィンドウを損傷する恐れがあります。

- ワイパー・ブレードを交換する場合は、ワイパー・アームをしっかりと保持してください。

知識

フロント・ワイパーは低温で凍結することがあります。

- 走行前にワイパーの凍結を溶かしてください。

知識

不適切な清掃をすると、フロント・ウインドウ・ワイパーのグラファイト層が損傷する恐れがあります。

- 高圧洗浄水をワイパー・ブレードに向けて直接噴射しないでください。
- ワイパー・ブレードは布やスポンジで清掃しないでください。
- ワイパー・ブレードは**必ず**きれいな水で洗浄してください。

フロント・ウインドウ・ワイパーのお手入れ

良好な視界を確保するためには、完全な状態のワイパー・ブレードが不可欠です。

- ウィンドウ・クリーナーを使用してフロント・ウィンドウを定期的に清掃してください（「ウィンドウの清掃」（71ページ）を参照してください。）。特に洗車機を使用した後は清掃してください。
  ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー・ケア用品を使用することを推奨いたします。
- 汚れがひどい場合（虫の残骸などによって）、スポンジまたは布を使用してフロント・ウインドウを清掃してください。

フロント・ワイパーの交換

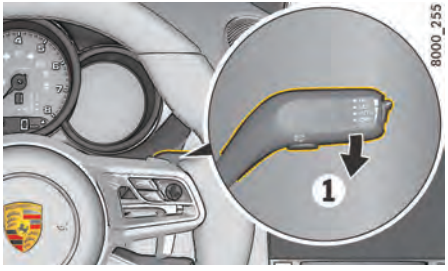


図238: ワイパー・レバー

知識

ワイパー・ブレードを交換したときに、ブレードが確実に取り付けられていないと、走行中に脱落することがあります。

- ワイパー・ブレードは、ワイパー・アームに正しく固定されていなければなりません。
- ワイパー・ブレードがしっかり取り付けられているか確認してください。

ワイパー・ブレードは1年に2回（冬季の前後）またはワイパーの払拭性能が低下したときや、ワイパー・ブレードが損傷した場合に交換してください。

✓ イグニッションをOFFにする

1. ワイパー・レバーを下方向（図238の1）に1回、動かしてください。
   フロント・ワイパーが上方に約45 °移動します。
2. ワイパー・ブレードの交換は、ワイパー・ブレードに付属の取扱説明書を参照してください。ワイパー・ブレードを交換する場合は、左右でワイパー・ブレードの長さが異なるので注意してください。

インフォメーション

必要な場合は、ポルシェ正規販売店で交換作業を行ってください。
ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

Apple® CarPlay

PCMでApple® CarPlayを開く

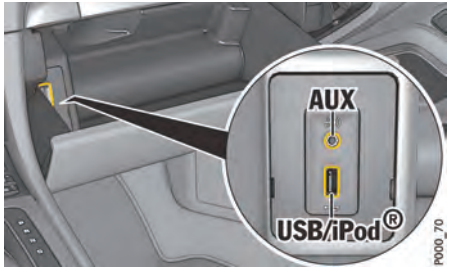


図239: グローブ・ボックス内のUSBポート

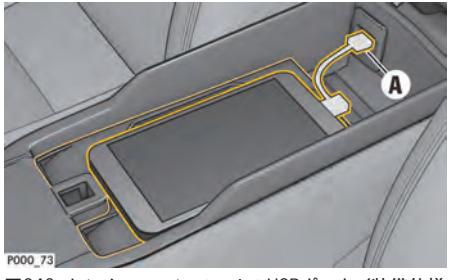


図240: センター・コンソールのUSBポート（装備仕様による）

✓ iPhone®5 以降、iOS®7.1以上
✓ Siri®およびApple® CarPlayがお使いのiPhone®の設定で有効になっている
✓ iPhone®がグローブ・ボックス内のUSBポート（図239を参照）または、センター・コンソール内のUSBポート（装備により異なる。図240の**A**）に接続されている
▷ 「USBまたはAUXを介して外部機器を接続する」（235ページ）を参照してください。

1. Apple® CarPlayの使用を希望していることを確認してください。
利用可能なアプリが表示されます。
2. HOMEボタン ▸ **Menu（メニュー）** ▸ **スマホインテグレーション**

インフォメーション

– 最新バージョンのiOS®をインストールすることをお勧めします。
– Apple® CarPlayに対応しているiPhone® 内のアプリのみが表示されます。対応アプリに関するインフォメーション：
▷ www.apple.com/ios/carplay を参照してください。
– Apple® CarPlayの表示コンテンツおよび機能は、接続済みのiPhone®でのみ提供されます。
– Apple® CarPlayをご使用の場合、通話に使用できるのは接続されているiPhone®のみになります。PCMにBluetooth®経由で接続された携帯電話は、自動的に接続が切断されます。
– 一部のアプリは、有効なデータ接続を必要とします。お使いの携帯電話の料金体系に応じて、追加料金が発生する場合があります。定額データ・プランのご利用をお勧めします。

インフォメーション

グローブ・ボックスにはUSBおよび汎用オーディオ（AUX）ポートがあります。車両装備により、センター・コンソールのUSBポートの数が異なります。USBポートがセンター・コンソールにある場合のみ、このポートを使用してApple® CarPlayを利用することができます。

インフォメーション

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント（PCM）の操作に関するインフォメーション：
▷ 「ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント（PCM）の操作」（229ページ）を参照してください。

PCMでApple® CarPlayを操作する

利用可能なすべてのアプリは、PCMのタッチスクリーン、ロータリー・プッシュ・ボタンおよびバック・ボタンで使用できます。

▸ **Apple CarPlay**のメイン・メニューを開くには、PCMのタッチスクリーンでHome button（ホーム・ボタン）を押してください。

▸ PCMのメイン・メニューに切り替えるには、HOMEボタン ▸ **Porsche**を押してください。
または
いずれかのワンタッチ・キー（例：TUNER）を押してください。

Siri®音声認識機能を使用してApple® CarPlayを操作する

Siri®を有効にする

✓ Siri®がお使いのiPhone®の設定で有効になっている
✓ イグニッションおよびPCMをONにしている
✓ 通話していない
✓ パーキング・エイドを使用していない
✓ PCMボイスコントロールを無効にしている

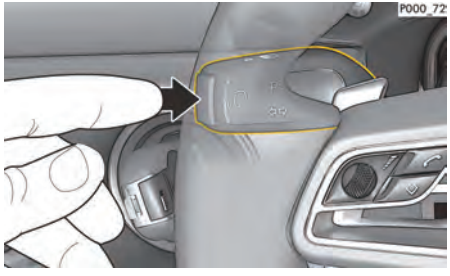


図241: 操作レバーのボイスコントロール・ボタン

1. 操作レバーのボタンを押し続けてください。
   または
   PCMタッチスクリーンのHome Button（ホーム・ボタン）を押し続けてください。
2. 希望のボイス・コマンドを発話してください。

Siri®を解除する

✓ 音声認識が有効で、ボイス・コマンドを待機している

▸ 操作レバーのボタンを押してください。
終了音が鳴ります。
または
ボイス・コマンド**キャンセル**または**ストップ**を発話してください。
または
PCMの任意のボタンを押してください。
該当する機能が開きます。

インフォメーション

操作レバーのボタンを素早く押すと、PCMの音声認識機能が有効になります。

▹ 「ボイスコントロール」(220ページ) を参照してください。

iPhone®をiPod®として使用する場合およびApple® CarPlayモードで使用する場合の切り替え

iPhone® をセンター・コンソールまたはグローブ・ボックスのUSBポートに接続した後にiPod®として接続した場合、Apple® CarPlayは使用できません。
デバイス・マネージャーを使用して、iPhone®をiPod®として使用するか、またはApple® CarPlayモードで使用するかを切り替えることができます。

図242: デバイス・マネージャーを開く

1. フッターのまたはを選択してください（接続状態により異なる）。
2. **スマホインテグレーション**を選択してください。
3. ご使用中のiPhone®を選択してください。
4. **iPodとして使用を選択してください。**
   または
   Apple CarPlayモードで使用を選択してください。

HOLD機能：発進アシスタント、停止制御

HOLD機能は、上り坂での停車時や発進時にドライバーの運転操作を支援します。
この機能により、車両の思わぬ後退を自動的に防ぎます。
HOLD機能が作動すると、インストルメント・パネルの HOLD インジケーター・ライトが点灯します。
アダプティブ・クルーズ・コントロールが正常に機能している場合、HOLD機能は自動ブレーキの後、停止した車両を保持します。
HOLD機能の作動中にドライバーが運転席シート・ベルトを外し、運転席ドアを開いた場合、エレクトリック・パーキング・ブレーキが自動的に作動します。

発進アシスタントを使用した発進操作

✓ マニュアル・トランスミッション装備車
✓ エンジンが作動している

1. フット・ブレーキをかけて坂道で停車してください。
2. クラッチ・ペダルをいっぱいに踏み込んでください。
3. 坂道を登るために適切なギヤに変速します（1速またはリバース・ギヤ）。
4. クラッチ・ペダルを踏んだまま、フット・ブレーキから足を放してください。
   このとき発進アシスタントが作動して、車両は坂道での停車状態を維持し、後退を防いで発進を容易にします。
5. 通常の運転操作で発進してください。

インフォメーション

車両がエレクトリック・パーキング・ブレーキで坂道に停止している場合、通常の運転操作で発進します。
エレクトリック・パーキング・ブレーキはドライバーの発進操作を検出し、パーキング・ブレーキを自動解除します。

▷ 「ブレーキ」（211 ページ）を参照してください。

インフォメーション

次のような場合は、発進アシスタントは機能しません。

– クラッチを踏んでいないとき
– 車両が停止していないとき
– エンジンが作動していないとき
– 坂道の勾配率が5 %以下のとき
– ブレーキ・ペダルの踏力が弱すぎるとき

停止制御を使用した発進操作

✓ PDK装備車

この機能により、ブレーキ・ペダルを踏んでいないときでも、車両の思わぬ後退を自動的に防ぎます。
このHOLD機能は動力伝達可能なトランスミッション・レンジ（**P**や**N**以外）でのみ使用できます。

インフォメーション

車両が停止している間に素早くブレーキ・ペダルを踏み込むと、勾配に関係なくHOLD機能が作動します。この機能により、ブレーキ・ペダルを踏んでいないときでも、車両が動き出すことを防ぎます。この場合、PDKセレクターレバーを素早く操作しても、HOLD機能は解除されません。

⚠ 警告 上り坂での車両の後退

ブレーキを使用せずに急な上り坂で停車する場合、HOLD機能が作動する前に車両がわずかに後退する恐れがあります。このような状況では、ドライバーはフット・ブレーキを踏んで後退を抑制することができます。

▸ フット・ブレーキをかけて制動力を上げることで、車両の停止維持を補助してください。

インフォメーション

HOLD機能が作動したときは、ブレーキ・ペダルの感触が変化したり、ブレーキ・システムの油圧作動音が聞こえることがあります。
これはシステムの正常な作動であり、故障ではありません。

⚠ 警告 車両コントロールの喪失

上り坂で発進するときは、HOLD機能を過信せず、常に責任ある運転を心がけてください。

HOLD機能によるアシスタントは、滑りやすい路面（凍結路やぬかるみなど）で停止および発進するときは役立たないことがあります。この場合、発進時に車両がスリップする恐れがあります。

- 常に路面状況や車両負荷に応じた適切な運転を心がけてください。必要に応じてフット・ブレーキを使用してください。

発進アシスタントが機能していない場合、坂道での発進時に運転操作を支援しません。

- フット･ブレーキをかけて停車してください。

テクニカル・データ

以降のページには、車両に関するテクニカル・
データが掲載されています。

テクニカル・データ

車両の識別データ

車台番号

図243: 車台番号

車台番号はフロント・ウィンドウ枠の左下と助手席シートの下にあります。

- スペア・パーツの注文をする場合は、必ず車台番号を明示してください。

ビークル・プレート

図244: ビークル・プレート固定位置

ビークル・プレートは助手席側ドア・シル（ドア開口部）に取り付けられています。

タイヤ空気圧プレート

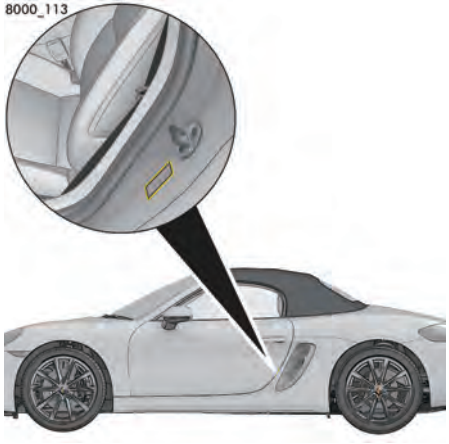


図245: タイヤ空気圧プレート固定位置

タイヤ空気圧プレートは運転席側ドア・シル（ドア開口部）に貼られています。

データ・バンク

車両の大切な情報が記載されているデータ・バンクは、整備手帳の中に添付されています。

データ・バンクは紛失したり、破損したりしても再注文することはできません。

エンジン・データ（メーカー発表値）

	718 Boxster、718 Cayman	718 Boxster S、718 Cayman S
シリンダー数	4	4
総排気量	1,988 cm^3	2,497 cm^3
最高出力（ECE-R 85）	220 kW（300 hp）	257 kW（350 hp）
エンジン回転数	6,500 rpm	6,500 rpm
最大トルク（ECE-R 85）	380 Nm	420 Nm
エンジン回転数	1,950～4,500 rpm	1,900～4,500 rpm
エンジン・オイル消費量	0.8 L/1,000 km以下	0.8 L/1,000 km以下
エンジン許容最高回転数	7,500 rpm	7,500 rpm

充填容量

▸ ポルシェ社が承認したフルード、燃料のみを使用してください。詳細なインフォメーションについては：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

エンジン・オイル	交換オイル量（オイル・フィルターを含む）：約5.7 L ポルシェ・エンジン・オイル規格 A40、SAE 0W-40, SAE 5W-40, SAE 5W-50 ▹ 「エンジン・オイルの選択と補充」（62ページ）を参照してください。
燃料	**718 Boxster、718 Cayman：**約54 L（オプション：約64 L）予備用の約8 Lを含む **718 Boxster S、718 Cayman S：**約64 L（予備用の約8 Lを含む） この車両のエンジンは、**金属系添加物を含まない、オクタン価が98RON/88MONの無鉛プレミアム・ガソリン**を使用したときに、最高の性能と燃費を達成するように設計されています。 ▹ 「燃料の給油」（80ページ）を参照してください。
フロント・ウィンドウ/ヘッドライト・ウォッシャー液	約2.5リットル（ヘッドライト・ウォッシャー付きは約5リットル）

燃料消費量とCO_2排出量

記載されている値は規定の測定方法（現在有効なバージョンの（EC）715/2007、ECE-R 83およびECE-R 101の基準）を使用して算出されています。このデータは、すべての仕様の車両に合致するものではありません。また、メーカーがそれを保証するものでもありません。これらのデータは各仕様別のモデル比較のための情報です。個々の車両に関する詳細なインフォメーション：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

車両タイプ	市街地走行 (L/100 km)	ハイウェイ走行 (L/100 km)	累積 (L/100 km)	CO_2 総排気量（g/km）
		Euro 6		
718 Boxster（マニュアル・トランスミッション装備車）	9.9 – 10.0	6.0 – 6.1	7.4 – 7.5	168 – 170
718 Boxster（PDK装備車）	9.0 – 9.1	5.7 – 5.8	6.9 – 7.0	158 – 160
718 Boxster S（マニュアル・トランスミッション装備車）	10.7 – 10.8	6.5 – 6.6	8.1 – 8.2	184 – 186
718 Boxster S（PDK装備車）	9.5 – 9.6	6.0 – 6.1	7.3 – 7.4	167 – 169
718 Cayman（マニュアル・トランスミッション装備車）	9.9 – 10.0	5.9 – 6.1	7.4 – 7.5	168 – 170
718 Cayman （PDK装備車）	9.0 – 9.1	5.7 – 5.8	6.9 – 7.0	158 – 160
718 Cayman S （マニュアル・トランスミッション装備車）	10.7 – 10.8	6.5 – 6.6	8.1 – 8.2	184 – 186
718 Cayman S （PDK装備車）	9.5 – 9.6	6.0 – 6.1	7.3 – 7.4	167 – 169
		Euro 5		
718 Boxster（マニュアル・トランスミッション装備車）	9.9	5.9	7.3	170
718 Boxster（PDK装備車）	8.9	5.5	6.8	158
718 Boxster S（マニュアル・トランスミッション装備車）	10.7	6.4	7.9	184
718 Boxster S（PDK装備車）	9.4	5.7	7.2	167
718 Cayman （マニュアル・トランスミッション装備車）	9.9	5.9	7.3	170
718 Cayman （PDK装備車）	8.9	5.5	6.8	158
718 Cayman S （マニュアル・トランスミッション装備車）	10.7	6.4	7.9	184
718 Cayman S （PDK装備車）	9.4	5.7	7.2	167

重量（メーカー発表値）

EU規格1230/2012に基づく空車重量（運転者1名＋荷物分 （75kg）を含む）

- 最大総重量と最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。追加アクセサリーなどが装備されている場合は、それに応じて積載重量が減少します。

	718 Boxster（マニュアル・トランスミッション装備車）	718 Boxster（PDK装備車）	718 Boxster S（マニュアル・トランスミッション装備車）	718 Boxster S（PDK装備車）
空車重量（装備仕様により異なる）				
DIN 70020規格	1,335 kg ～ 1,435 kg	1,365 kg ～ 1,465 kg	1,355 kg ～ 1,445 kg	1,385 kg ～ 1,475 kg
EC規格1230/2012に基づく	1,410 kg ～ 1,510 kg	1,440 kg ～ 1,540 kg	1,430 kg～1,520 kg	1,460 kg ～ 1,550 kg
最大軸荷重、フロント	775 kg	775 kg	780 kg	785 kg
最大軸荷重、リヤ	915 kg	940 kg	915 kg	940 kg
最大総重量	1,655 kg	1,685 kg	1,665 kg	1,695 kg

	718 Cayman（マニュアル・トランスミッション装備車）	718 Cayman（PDK装備車）	718 Cayman S（マニュアル・トランスミッション装備車）	718 Cayman S（PDK装備車）
空車重量（装備仕様により異なる）				
DIN 70020規格	1,335 kg ～ 1,435 kg	1,365 kg ～ 1,465 kg	1,355 kg ～ 1,445 kg	1,385 kg ～ 1,475 kg
EC規格1230/2012に基づく	1,410 kg ～ 1,510 kg	1,440 kg ～ 1,540 kg	1,430 kg～1,520 kg	1,460 kg ～ 1,550 kg
最大軸荷重、フロント	765 kg	770 kg	775 kg	780 kg
最大軸荷重、リヤ	930 kg	955 kg	930 kg	955 kg
最大総重量	1,655 kg	1,685 kg	1,665 kg	1,695 kg

車両寸法

	718 Boxster、718 Boxster S	718 Cayman、718 Cayman S
全長（装備仕様により異なる）	4,379 mm	4,379 mm
全幅	1,801 mm	1,801 mm
ドア・ミラーを含む全幅	1,994 mm	1,994 mm
DIN規格空車重量での車高 装備によって異なります	1,261 mm ～ 1,281 mm	1,275 mm ～ 1,295 mm
DIN規定空車重量時の地上高 装備によって異なります	112 mm ～ 131 mm	113 mm ～ 133 mm

動力性能（メーカー発表値）

DIN規定の空車重量で計測しています。なお動力性能を損なう付加装置（特殊タイヤなど）は使用していません。

車両タイプ	最高速度	0～100 km/h発進加速 （括弧内の数値はスポーツ・プラス・モード）
718 Boxster（マニュアル・トランスミッション装備車）	275 km/h	5.1秒
718 Boxster（PDK装備車）	275 km/h	4.9秒（4.7秒）
718 Boxster S（マニュアル・トランスミッション装備車）	285 km/h	4.6秒
718 Boxster S（PDK装備車）	285 km/h	4.4秒（4.2秒）
718 Cayman （マニュアル・トランスミッション装備車）	275 km/h	5.1秒
718 Cayman （PDK装備車）	275 km/h	4.9秒（4.7秒）
718 Cayman S （マニュアル・トランスミッション装備車）	285 km/h	4.6秒
718 Cayman S （PDK装備車）	285 km/h	4.4秒（4.2秒）

タイヤとホイール

タイヤ/ホイール・サイズ

ポルシェ社が承認したタイヤにより、この車両に最適な走行性能が得られます。記載されている荷重指数（「94」など）と速度記号（「Y」など）以上の性能のタイヤを使用してください。新しいタイヤを装着するときやタイヤ交換時は：

▷ 「タイヤとホイール」（147ページ）を参照してください。

- スノー・チェーンは適切なマークが付いたタイヤ/ホイール・サイズにのみ、またリヤ・ホイールにのみ装着してください。
  スノー・チェーンを装着したときの最高速度については各国の法規に従ってください。
  ポルシェ社が認可したファインリンク・エッジ・チェーンのみを使用してください。
- 交換するタイヤ/ホイールがEU規格に適合しているか確認してください。必要であればホイール/タイヤの組み合わせがこの車両に適合するか参照してください。詳細なインフォメーションについては：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

タイヤ種類	タイヤ・サイズ	ホイール・サイズ	スノー・チェーンの装着
718 Boxster、718 Cayman			
サマー・タイヤ	FA：235/45 ZR 18（94Y） RA：265/45 ZR 18（101Y）	FA：8J x 18、RO 57 RA：9.5J x 18、RO 49	不可
	FA：235/40 ZR 19（92Y） RA：265/40 ZR 19（98Y）	FA：8J x 19、RO 57 RA：10J x 19、RO 45	不可
	FA：235/35 ZR 20（88Y） RA：265/35 ZR 20（95Y）	FA：8J x 20、RO 57 RA：10J x 20、RO 45	不可
	FA：235/35 ZR 20（88Y） RA：265/35 ZR 20（95Y）	FA：8.5J x 20、RO 57 RA：10.5J x 20、RO 47	不可
ウインター・タイヤ	FA：235/45 R 18 94V M+S RA：265/45 R 18 101V M+S	FA：8J x 18、RO 57 RA：9.5J x 18、RO 49	可
	FA：235/40 R 19 92V M+S RA：265/40 R 19 98V M+S	FA：8J x 19、RO 57 RA：10J x 19、RO 45	不可

タイヤ種類	タイヤ・サイズ	ホイール・サイズ	スノー・チェーンの装着
718 Boxster S、718 Cayman S			
サマー・タイヤ	FA：235/40 ZR 19（92Y） RA：265/40 ZR 19（98Y）	FA：8J x 19、RO 57 RA：10J x 19、RO 45	不可
	FA：235/35 ZR 20（88Y） RA：265/35 ZR 20（95Y）	FA：8J x 20、RO 57 RA：10J x 20、RO 45	不可
	FA：235/35 ZR 20（88Y） RA：265/35 ZR 20（95Y）	FA：8.5J x 20、RO 57 RA：10.5J x 20、RO 47	不可
ウインター・タイヤ	FA：235/45 R 18 94V M+S RA：265/45 R 18 101V M+S	FA：8J x 18、RO 57 RA：9.5J x 18、RO 49	可
	FA：235/40 R 19 92V M+S RA：265/40 R 19 98V M+S	FA：8J x 19、RO 57 RA：10J x 19、RO 45	不可

FA = フロント・アクスル、RA = リヤ・アクスル、RO = リム・オフセット

タイヤ空気圧

これらの標準およびコンフォート・タイヤ空気圧は、冷間時のタイヤ空気圧（20 °C）として、ポルシェ社が認可したメーカーおよび仕様のタイヤのみに適用します。

▶ マルチファンクション・ディスプレイで、コンフォート・プレッシャー /標準空気圧を選択してタイヤ空気圧を調整してください。

▷ 「TPMメニュー – タイヤ空気圧モニタリングシステム（TPM）」（248ページ）を参照してください。

▷ 「タイヤとホイール」（147ページ）を参照してください。

標準タイヤ空気圧

タイヤ	718 Boxster、718 Cayman		718 Boxster S、718 Cayman S	
	FA	RA	FA	RA
サマー・タイヤ 235/45 ZR 18 / 265/45 ZR 18	2.0bar 200 kPa 29 psi	2.0bar 200 kPa 29 psi	–	–
サマー・タイヤ 235/40 ZR 19 / 265/40 ZR 19	2.0bar 200 kPa 29 psi	2.1 bar 210 kPa 30 psi	2.0bar 200 kPa 29 psi	2.1 bar 210 kPa 30 psi
サマー・タイヤ 235/35 ZR 20 / 265/35 ZR 20	2.3 bar 230 kPa 33 psi	2.3 bar 230 kPa 33 psi	2.3 bar 230 kPa 33 psi	2.3 bar 230 kPa 33 psi
ウインター・タイヤ 235/45 R 18 / 265/45 R 18	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi
ウインター・タイヤ 235/40 R 19 / 265/40 R 19	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi

270 km/hの速度までに適用するコンフォート・タイヤ空気圧

✓ マルチファンクション・ディスプレイで「コンフォート・プレッシャー」を設定した車両
✓ 20インチ・サマー・タイヤ装備車

⚠ 警告 タイヤ空気圧の不足

「コンフォート」メニューは仕向け国によって異なるため、すべての国別仕様に適用されるわけではありません。
タイヤ空気圧が低い状態で高速走行すると、タイヤが破損します。

▸ マルチファンクション・ディスプレイで「コンフォート・プレッシャー」を設定した車両にのみ、コンフォート・タイヤ空気圧を設定してください。

タイヤ	FA	RA
サマー・タイヤ 235/35 ZR 20 / 265/35 ZR 20	2.1 bar 210 kPa 30 psi	2.1 bar 210 kPa 30 psi

FA = フロント・アクスル、RA = リヤ・アクスル

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント（PCM）

	テクニカル・データ：オーディオおよびビデオ・ファイル
対応するメディア	**SDカード**（最大128 GB） **DVDドライブ**オーディオCD（最大80分）、CD-ROM（最大700 MB）、DVD±R/RW、標準ビデオDVD、DVDオーディオ互換ビデオDVD **ポータブル・プレーヤー** MTPプレーヤー、USBスティック、専用ドライバー・ソフトウェア不要のUSB MP3プレーヤー、外部USBフラッシュ・メモリーなどの「USBデバイス・サブクラス1および6」のUSB2.0デバイスおよびハード・ディスク
ファイル・システム	**SD/SDHC/SDXC/MMC** メモリー・カード **USB大容量記憶装置**exFAT、FAT、またはFAT32、NTFSファイル・システム（最大4パーティション） **DVDドライブ** ISO9660、Joliet、UDF
フォーマット	MPEG-1/-2 Layer-3：Windows Media Audio 9および10；MPEG-2/-4；FLAC、MPEG-1/-2；ISO-MPEG4；DivX 3、4および5；Xvid；ISO-MPEG4 H.264 （MPEG4 AVC）M；Windows Media Video 9
ファイル拡張子	.mp3；.wma；.asf；.m4a；.m4b；.aac；.flac；.mpg；.mpeg；.avi；.mp4；.m4v；.mov；.wmv
プレイリスト	.M3U；.PLS；.WPL；.M3U8；.ASX
特徴	最大 320 kbit/s および 48 kHzサンプリング周波数；最大 2,000 kbit/s および 720x576 px.（最大 25 fps時）
ファイル数	**DVDドライブ** 最大1,000ファイル DVD **Jukebox**（最大10 GB ストレージ容量）最大3,000ファイルをコピー可 **USB大容量記憶装置**および**メモリー・カード** 最大10,000ファイル/メディア
メタデータ	アルバム・カバー最大800 x 800ピクセル；GIF、JPG、およびPNGフォーマット、またはGracenote®データベース経由
ビデオDVDリージョン・コード	コード1：USA、カナダおよび米国自治領 コード2：ヨーロッパ、グリーンランド、南アフリカ、エジプトおよび中東、日本 コード3：東南アジア、韓国、香港、インドネシア、フィリピン、台湾 コード4：オーストラリア、ニュージーランド、メキシコ、中央アメリカ、南アメリカ コード5：ロシアおよび他の旧ソ連諸国、東ヨーロッパ、インド、アフリカ コード6：中華人民共和国 コード8：国際領土（船舶、航空機）

テクニカル・データ：接続	
携帯ネットワーク	GSM/GPRS/EDGE：デュアル・バンド、900 MHz/1800 MHz UMTS/HSPA+：トリプル・バンド、900 MHz （Band VIII）/1800 MHz （Band III）/2100 MHz （Band I） LTE：クワッド・バンド、800 MHz （Band 20）/900 MHz （Band 8）/1800 MHz （Band 3）/2600 MHz （Band 7）
WiFi	IEEE 802.11a/b/g/n （2.4 GHz）
Bluetooth®	Bluetooth® 2.1、IEEE 802.15.1、クラス2、通信範囲約10 m
SIMカード	ミニSIM、寸法25 x 15 mm

テクニカル・データ：ラジオ	
周波数範囲/規格	UKW （FM）：87.5～108 MHz（100 kHzごとの手動調節） MW （AM）：531～1,602 KHz（1 kHzごとの手動調節）
自動選局付きチューニング・グリッド	UKW（FM）：100 kHz MW（AM）：9 kHz

テクニカル・データ：TV	
規格	12セグTVまたはワンセグTVで暗号化されていない地上波デジタルISBD放送TVチャンネル

テクニカル・データ：CD/DVDドライブ	
一般的なインフォメーション	製造時に、このレーザー製品はドイツ/国際規格DIN EN 60825-1に準拠して製造されています：2008-05およびDHHSルール21 CFR Subchapter J、クラス1レーザー製品として分類されています。クラス1レーザー製品のレーザー光線は、通常の作動条件下では危険を生じない程度の弱いものです。この製品は、レーザー光線がデバイス内部に完全に密閉されるように設計されています。
レーザー光線出力	DVD：0.68 mW CD：0.85 mW
レーザー光線波長	DVD：665 nm CD：795 nm

ライセンスについて	
Bluetooth®	Bluetooth®マークおよびロゴはは Bluetooth SIG, Inc.の登録商標で、AISIN AW CO., LTD.は認可を受けてこれらを使用しています。他の登録商標および商品名はそれぞれの所有者により所有されています。
Dolby Digital	Dolby Laboratoriesのライセンスの下で製作DolbyおよびダブルDシンボルはDolby Laboratoriesの登録商標です。
DTS Digital Surround	DTS特許については、http://patents.dts.comを参照してください。DTS Licensing Limitedのライセンスの下で製作DTS、シンボル、およびDTSとシンボルの組み合わせは登録商標として登録されています。DTS Digital SurroundはDTS, Inc.の登録商標です。 © DTS, Inc. 全権利は保護されています。
Gracenote	Gracenoteロゴおよび「powered by Gracenote」ロゴは、米国またはその他の国におけるGracenote Inc.の登録商標または商標です。

エンド・ユーザー・ライセンス合意

Gracenote®

このアプリケーションまたは機器にはGracenote, Inc.（カルフォルニア州エメリービル）（「Gracenote」）のソフトウエアが含まれています。このアプリケーションはGracenoteのソフトウェア（「Gracenote Software」）を利用し、ディスクおよび/またはファイルを識別し、名前、、アーティスト名、トラック名、タイトル情報など音楽関連の情報（「Gracenote Data」）をオンライン・サーバーまたは実装データーベース（総称として「Gracenote Servers」）から入手するとともに、その他の機能も実現しています。このアプリケーションまたは機器の本来のエンド・ユーザー機能によってのみGracenoteデータを使用することができます。

Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを個人目的および非営利目的でのみ使用することに同意するものとします。GracenoteソフトウェアおよびGracenoteデータを第三者に譲渡、コピー、転送または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、または Gracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

これらの制限に反した場合は、Gracenoteデータ、GracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの通常使用権約が解除されることに同意するものとします。ライセンスが停止すると、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェアまたは Gracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。全所有権を含めたGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェアまたは Gracenoteサーバーについての全ての所有権を含む、全ての権利をGracenoteが保有します。いかなる状況においてもGracenoteはお客様が提供した情報についてお客様に対して支払いの責任を持ちません。Gracenote, Inc.が自己の名義をもってお客様に対してこの合意に基づいた権利を行使できることに同意するものとします。

Gracenoteサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用します。ランダムに割り当てた数字による識別子の目的はGracenoteサービスが質問者については何も情報を得ないでクエリをカウントすることを可能にします。より詳細な情報については、GracenoteサービスのGracenoteプライバシー・ポリシーのウェブ・ページを参照してください。

GracenoteソフトウェアおよびGracenoteデータの各アイテムは、お客様に対して「現状のままで」提供され、使用が許諾されるものとします。GracenoteはGracenoteサーバーからのGracenoteデータの正確性について、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。GracenoteソフトウェアおよびGracenoteサーバーにエラーがない、またはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能が中断しないことは保証されていません。GracenoteはGracenoteが提供可能な新しい拡張または追加データ・タイプまたはカテゴリーを提供する義務を持ちません。またいつでもサービスを中断することができます。

Gracenoteは明示的または暗示的にかかわらず、商品性および特定目的に対する適合性、所有権および非侵害などで暗示されている保証も含め（限定はしない）、いかなる 保証も行いません。Gracenoteは、お客様がGracenoteソフトウェアおよびGracenoteサーバーを使用することにより入手した結果について保証しません。結果的なまたは付随的な損害、または利益や収益の損失について、Gracenoteは一切責任を負いません。

© 2000 to present Gracenote, Inc.

検査マークおよび適合宣言書

欧州連合 （EU）

ポルシェ社では、当社車両に装着されているラジオおよびレーダー・システムが、用途に基づいて使用する場合、指令2014/53/ECの基本要件および他の関連規約に適合していることを宣言します。

オーストラリア

ブラジル

香港

HKCA 1035: Automotive radar: radio equipment exempted from licensing.

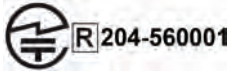
インドネシア

21962/SDPPI/2011
34538/SDPPI/2014

イスラエル

Model name: TSSRE4Dg
Manufacturer: Huf Electronics Bretten

日本



Japanese Radio Law Compliance. This device is granted pursuant to the Japanese Radio Law. This device should not be modified (otherwise the granted designation number will become invalid).

ヨルダン

Type Approval No.: TRC/LPD/2009/15
Type Approval No.: TRC/LPD/2014/73

マレーシア

Continental
28416032 / 28416031
RAAW/33A/0512/S（12-0755）

モロッコ

AGREE PAR L'ANRT MAROC
Numéro d'agrément : MR 5371 ANRT 2010
Date d'agrément : 02/02/2010
Numéro d'agrément : MR 9186 ANRT 2014
Date d'agrément : 22/04/2014

メキシコ
Radar de largo alcance, 77GHz,
MARCA: BOSCH, MODELO: LRR3,
MoldaCOFETEL: (RCPBOLR09-0828)
IFETEL: RCPBOMP14-0922

モルドバ

オマーン
Oman - TRA/TA-R/2609/15

フィリピン

カタール
Approval Ref.: CRA/SA/2015/R-4714

セルビア

シンガポール
Complies with IDA Standards DB01752.
Complies with IDA Standards DB03227.

南アフリカ

韓国

This equipment has been approved under EMC Registration as a Class B device (for domestic use) and can be used in both residential and commercial areas.

台湾
CCAB10LP3800T1
CCAK15LP0801T1
Regulations for the low-power radio wave radiation devices:
Without permission, for the approved low-power radio-frequency devices, any companies, firms or users are not allowed to change the frequency band, increase the power or change the specifications and functionality of the original design.
The low power radio-frequency devices are not allowed to influence aircraft safety or interfere any legal communications. In case any interference phenomenon is detected, the use of this device should stop immediately, and it is allowed to continue to use until it is improved to be without interference any more.
The term legal communications stated in last paragraph refers to the operating radio communication system which is in compliance with the Regulations for the Telecommunications.
The low power radio-frequency devices should be able to tolerate the interferences from any legal communications or industrial, scientific and medical radio wave radiation devices or equipment.

ウクライナ

アラブ首長国連邦
TRA REGISTERED No: 0016889/09,
DEALER No: 0014972/08
TRA REGISTERED No: 0016889/09,
DEALER No: DA36785/14
TRA REGISTERED No: ER39135/15,
DEALER No: DA36785/14
TRA REGISTERED No: ER38964/15,
DEALER: HUF ELECTRONICS GmbH

Bluetooth®認証（抜粋）

- Albania
- Andorra
- Angola
- Aruba
- Australia
- Austria
- Bahamas
- Bahrain
- Barbados
- Belarus
- Belgium
- Belize
- Bolivia
- Bonaire
- Bosnia and Herzegovina
- Brazil
- Brunei
- Bulgaria
- Burkina Faso
- Canada
- Chile
- China
- Colombia
- Costa Rica
- Croatia
- Curacao
- Cyprus
- Czech Republic
- Denmark
- Dominican Republic
- Ecuador
- Egypt
- El Salvador
- Estonia
- Ethiopia
- Finland
- France
- French Guyana
- French Polynesia
- Gabon
- Germany
- Ghana
- Gibraltar
- Guadeloupe
- Guatemala
- Greece
- Greenland
- Hong Kong
- Hungary
- Iceland
- India
- Indonesia
- Ireland
- Iraq
- Israel
- Italy
- Ivory Coast
- Jamaica
- Japan
- Jordan
- Kenya
- Kosovo
- Kuwait
- Latvia
- Lebanon
- Lesotho
- Liberia
- Libya
- Liechtenstein
- Lithuania
- Luxembourg
- Macau
- Macedonia
- Madagascar
- Malaysia
- Malta
- Martinique
- Mauritius
- Mexico
- Monaco
- Mongolia
- Morocco
- Mozambique
- Netherlands
- New Caledonia
- New Zealand
- Nigeria
- Norway
- Oman
- Pakistan
- Panama
- Peru
- Poland
- Portugal
- Puerto Rico
- Qatar
- Reunion
- Romania
- Russia
- San Marino
- Saudi Arabia
- Senegal
- Serbia
- Singapore
- Slovakia
- South Africa
- Spain

- St. Lucia
- Sweden
- Switzerland
- Tahiti
- Taiwan
- Thailand
- United Arab Emirates
- United Kingdom
- Uruguay
- USA
- Venezuela
- Vietnam
- Yemen
- Zimbabwe

リサイクル

車両の廃車

EU加盟国のみ：

廃車されたポルシェ車両は、環境に優しい方法でポルシェ社が無償でリサイクル処理します。

車両の返還および対応する廃棄証書の発行について：

▸ ポルシェ正規販売店にご相談ください。

エアバッグおよびシート・ベルト・テンショナー・ユニット

未作動のガス発生器、エアバッグが付いたままの車両、エアバッグ・ユニット、シート・ベルト・テンショナー・ユニットは、一般の廃棄物やスクラップとして処分できません。

適切な廃棄に関する詳細情報について：

▸ ポルシェ正規販売店にご相談ください。

使用済みバッテリー

使用済みバッテリーは、一般の廃棄物やスクラップとして処分できません。

▸ 地域の廃棄指示を遵守してください。

▸ 使用済みバッテリーは、適切な廃棄場にて廃棄してください。

適切な廃棄に関する詳細情報について：

▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。

索引

記号

◊ボタンの設定 258

字母

A/C MAXボタン
エアコン・システム 54,58
A/Cボタン
エアコン・システム 53,58
ABS（アンチロック・ブレーキ・システム）
機能説明 240
ACC
アダプティブ・クルーズ・コントロール 33
Apple® CarPlay
PCMで開く 296
Siri® 297
Assist. systems（アシスタンス・システム）
Porsche Active Safe（ポルシェ・アクティブ・セーフ）の設定 256
レーン・チェンジ・アシスト（LCA）設定 256
AUTO（ライト・スイッチ） 270
ドライビング・ライト・アシスタント 270
Bluetooth®
電話を接続する 169
Bluetooth®を管理する
デバイス 170
Boxster
ウィンド・デフレクター 110
コンバーチブル・トップ 70
コンバーチブル・トップの開閉 109
CarPlay®
PCMで開く 296
Siri® 297
CD/DVDドライブを読み込む 234
ETC受信機 123
Eメール
作成 174
G-Forceディスプレイ 252
Google® Street Viewの起動 191
HOLD機能 66,83,298
ISOFIXシステム
規定のチャイルド・シート取り付け方向 154
助手席エアバッグのON/OFF 159
推奨するチャイルド・シート 157
MyScreen（PCM）
設定（PCM） 233
電話のお気に入りを追加する（PCM） 173
OFF/ONの切り替え（PCM） 230
ON/OFFの切り替え（PCM） 230
PADM 184
PASM（ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント）
シャーシ設定の選択 226
PCCB（ポルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ）
一般的なインフォメーション 212
PCM
CD/DVDドライブを読み込む 234
MyScreenの設定 233
SDカードの挿入および取り出し 235
お手入れの諸注意 74
外部機器の接続 235
システム設定 236
パーキング・アシスタント 195
PCM＊
Apple® CarPlay 296
接続（データ接続） 136
テレビ 164
電話 168
ドライビング・データ（トリップ情報）を表示する 178
ナビゲーション 185
ボイスコントロール 220
ポルシェ・コネクト・アプリ 227
メディア 265
ラジオ 282
ログブック 292
PCMシステム設定 236
PCM設定
概要 236
PCMドライブ
CD/DVDを読み込む 234
SDカードの挿入および取り出し 235
外部機器の接続 235
知識 234
PCMドライブに関する諸注意 234
PCMにドライビング・データを表示する 178
PCMにバックグラウンド・イメージを表示する 233
PCMの設定
音量および音質 237
地図 193
テレビ 166
電話 175
ナビゲーション 193
日付と時刻 230
メディア 268
ラジオ 284
PCMの操作
ON/OFF 230
タッチスクリーンで 231
タッチスクリーンの要素 231
テキストおよび文字を入力する 232
ボイスコントロール 220
ロータリー・プッシュ・ボタンで 232
PDK 179,180
シフトアップ・インジケーター 182
ステアリング・ホイールでのギヤ・シフト 181
Porsche Connect
ログイン 137
Porsche Doppelkupplung（PDK） 179
ステアリング・ホイールでのギヤ・シフト 181
セレクター・レバー・ポジション 180
PSM（ポルシェ・スタビリティ・マネージメント）
OFFにする 239
機能説明 239
PSMスポーツ 239
ONにする 239,240
PTV 184
SDカードの挿入および取り出し 235
Siri® 297
TPM（タイヤ空気圧モニタリング） 248
WiFi（PCM）
PCMのワイヤレス・インターネット・アクセスを利用する 137
WiFiを使用してポルシェ・コネクト・アプリをPCMに接続する 227

＊ 日本仕様に設定はありません。

あ

アームレスト
収納ボックスを開く 124
アイス/サン・シールドの装着 216
アダプティブ・クルーズ・コントロール 33
ON/OFF 35
機能説明 33
クルーズ・コントロールの中断/再開 38
車間距離の設定 36
操作ステータス 35
操作方法 34
速度の設定/設定速度の変更 36
ポルシェ・アクティブ・セーフ 40
レーダー・センサー 33
例外 39
アダプティブ・ライト・システム、ドライビング・ライト・アシスタント 270
アッパー・ベンチレーション・パネル
エアコン・システム 53
圧力
タイヤ 307
アプリ
Porsche Connect 227
デバイス・マネージャー 163
安全に関する指示
警告ラベル台湾のみ 1
アンチロック・ブレーキ・システム（ABS）
機能説明 240

い

イグニッション・ロック
キーの緊急操作 77
機能説明 64
移動データ（接続） 136
イモビライザー
機能説明 177
インジケーター・ライト 43
インストルメント・パネル
オドメーター（積算距離計） 42
概要 42
クーリング・システム、水温計 254
警告灯および表示灯 43
スピードメーター 42
積算距離計/トリップ・メーター 42
タコメーター（回転計） 42
燃料計 43
油温計 254
ライト調節 45
インストルメント・ライト 45
ディスプレイの明るさを調節する 42
インターネット
データ接続を確立する（PCM） 136
インテリア・ライト
ON/OFF 45
オリエンテーション・ライト 46

う

ウインター・タイヤ
一般的なインフォメーション 149
タイヤ交換 151
ウィンド・デフレクター
取り外し/取り付け 110
ウィンドウ
お手入れの諸注意 71
キーによる開閉操作（リモート・コントロール） 48
停止位置の保存 48
ウェルカム・ホーム機能
ONにする 271
ウォッシャー液
充填容量 302
不凍液 49
補充 49
運転席
オドメーター（積算距離計） 42
クーリング・システム、水温計 254
警告灯および表示灯 43
スピードメーター 42
積算距離計/トリップ・メーター 42
タコメーター（回転計） 42
燃料計 43
油温計 254
ライト調節 45
運搬（鉄道、船舶など）
車両の固定 107

え

エア・ベント
開閉操作 53,57
調整 53,57
エアコン・コンプレッサー 51,56
エアコン・システム
A/C MAXモードのON/OFF 54,58
A/Cモードの ON/OFF 53,58
アッパー・ベンチレーション・パネル 53
エアコン・コンプレッサーに関するインフォメーション 51,56
エアコン・コンプレッサーのON/OFF 53,58
オート・モードのON/OFF 51
温度の設定 52,56
自動内気循環モードの設定 54
送風量の設定 52,57
内気循環モードのON/OFF 54,58
バッテリー電圧低下時の自動OFF 51,56
フロント・ウィンドウ・デフロスター 55,59
冷房機能のON/OFF 53,58
エアバッグ
安全に関する注意事項 60
お手入れの諸注意 73
機能 60
タコメーターの警告灯 60
取り付け位置 60
廃棄 317
エキゾースト・システム
スポーツ 126
エマージェンシー・キー 76
エミッション・コントロール（チェック・エンジン）
機能説明 44
エミッション・コントロール警告灯 44
エミッション値 303
エレクトリック・パーキング・ブレーキ
解除する 211
緊急ブレーキ機能 211
警告灯 211
操作 211
発進時のパーキング・ブレーキ自動解除 211
ブレーキ・テスト・スタンドでの測定 162
エンジン
オイル・レベル・ゲージ 246
オイル・レベルの測定と表示 246
オイルの補充 62
クーリング・システム 254
始動 65
自動停止（オート・スタート/ストップ機能） 66
停止 65
テクニカル・データ 302
エンジン・オイル
圧力計 254
一般的なインフォメーション 62
温度計 254
給油口 63
交換容量 302
燃料消費量 302
補充 62
マルチファンクション・ディスプレイでのオイル圧力の警告 92
マルチファンクション・ディスプレイのオイル・レベル・ゲージ 247
レベル・ゲージ 246

レベルの点検 246
エントリー＆ドライブ
ポルシェ・エントリー＆ドライブによるドアのロック 143
作動原理 141
エントリー機能、乗車時のカーテシー・ライトの点灯 271

お

オート・エアコン 51
オート・スタート/ストップ機能
ON/OFF 67
エンジンの自動始動 66
エンジンの自動停止 66
作動原理 66
前提条件 66
表示 68
例外 66
オートマチック・カミング・ホーム・ライト 271
オートマチック・ドライビング・ライト・アシスタント 270
オートマチック・トランスミッション 179
オイル
圧力計 254
一般的なインフォメーション 62
温度計 254
給油口 63
交換容量 302
燃料消費量 302
補充 62
マルチファンクション・ディスプレイでのオイル圧力の警告 92
マルチファンクション・ディスプレイのオイル・レベル・ゲージ 247
レベル・ゲージ 246
レベルの点検 246
応急処置セット 275
お手入れ
Alcantara® 73
アンダーコーティング 71
ウィンドウ 71
エアバッグ 73
革製品 72
軽合金製ホイール 72
警告 69
高圧洗浄機の使用 69
シート・ベルト 73
シール 72
車両の保管 74
洗車 69
塗装 71
ファブリック・ライニング 73
ヘッドライト、プラスチック製部品 72
ホイール・ボルト 151
お手入れの諸注意
Alcantara® 73
PCM 74
アンダーコーティング 71
ウィンドウ 71
エアバッグ 73
カーペット 73
革製品 72
軽合金製ホイール 72
シート・ベルト 73
シール 72
車両の保管 74
洗車 69
塗装 71
ファブリック・ライニング 73
フロア・マット 73
ホイール・ボルト 151
オドメーター（積算距離計）
表示 42
リセット 42
オフロード・モード
ナビゲーション 192
オリエンテーション・ライト 46
オルタネーター
車両エレクトリカル・システムの警告 95
音楽（PCM）
CD/DVDをロード 234
SDカードの挿入および取り出し 235
外部機器の接続 235
再生 266
ジュークボックスに入れる 268
設定 268
対応するメディア形式 310
プレイリストを開く 268
メディア・ソースの検索 267
メディア・ソースの選択 266
音質と音量の調節（PCM） 237
温度の設定
エアコン・システム 52,56
オンライン・サービス
データ接続を確立する（PCM） 136
音量と音質の調節（PCM） 237

か

カーテシー・ライト、エントリー機能 271
会議（電話） 172
外部機器（PCM）の接続 235
開閉操作
ウィンドウ 47
コンバーチブル・トップ 109
開閉操作とロック
概要 140
キーによるドア・ロックの解除（リモート・コントロール） 141
車内からのドアの開閉操作とロック 144
ポルシェ・エントリー＆ドライブによるドアのロック 143
ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車 143
概要
ドアの開閉 140
格納式リヤ・スポイラー
展開/格納 286
カップ・ホルダー 75

き

キー 76
エマージェンシー・キーを取り外す 76
キー 76
コンバーチブル・トップの開閉 110
スペア・キー 78
ドアのロック 142
ドアのロック解除 141
パーソナル設定の保存と呼び出し 198
キー（リモート・コントロール）
イグニッション・ロック内のキー／コントロール・ユニットの緊急操作 77
ウィンドウの開閉（ポルシェ・エントリー＆ドライブ非装備車） 48
コンバーチブル・トップの開閉 110
ドアのロック解除 141
バッテリーの交換 76
規格との適合 314
ギヤ・シフト・インジケーター
PDKトランスミッション 43
ギヤ・ポジション・ディスプレイ 43
ギヤシフト
ギヤシフト・アシスト 251
シフトアップ・インジケーター 42
ギヤシフト・アシスト 251

給油 79
フィラー・フラップの位置の表示 43
曲の再生（PCM） 266
緊急解除
ラゲッジ・コンパートメント・リッド 281
緊急操作
コンバーチブル・トップ 111
フィラー・フラップ（燃料給油口カバー） 80
緊急ブレーキ機能 211

く

クーラント（冷却水）
不凍液 81
レベルの点検 81
クーリング・システム
マルチファンクション・ディスプレイの警告 93
クラッチ
マニュアル・トランスミッション 179
クルーズ・コントロール
OFFにする 84
ONにする 83
機能説明 83
速度の設定 83
中断操作 83
グローブ・ボックス
閉じる 123
開く 123
ロック 123

け

軽合金製ホイール
お手入れの諸注意 72
警告およびインフォメーション・メッセージ
安全性 85
エンジン 91
車両 95
ドライビング・システム 101
警告灯 43
警告メッセージ
タイヤ空気圧 251
警告ラベル
台湾のみ 1
携帯電話
接続ステータスの表示 171
携帯電話を接続する
Bluetooth®を使用 169
警報システム
ON/OFF 105
機能説明 105
室内モニタリング・システムおよび
傾斜センサー＊をOFFにする 105
言語
PCMの設定 236
マルチファンクション・ディスプレイで変更
する 260
検査マーク
ラジオ・システム 314
けん引
一般的なインフォメーション 106
けん引フック 107
けん引ロープまたはけん引バーの使用 106
けん引フック
工具セット内 275

こ

コーナリング・ライト
ダイナミック 271
高圧洗浄機
取扱説明書 69
工具セット
取り外しおよび収納 275
交通（交通情報の表示） 191
交通情報の表示（ナビゲーション、PCM） 191
故障
イグニッション・ロック内のイグニッション・
キー /コントロール・ユニットの緊急操作 77
ウィンドウ停止位置の保存 48
緊急時のフィラー・フラップの操作 80
警告およびインフォメーション・メッセージ 85
コンバーチブル・トップ 111
パワー・ウィンドウ 48
故障診断用ソケット 20,108
小物入れ
シート後方、開く 124
コントロール・システム
概要（PSM、PASM、PADM、PTV） 184
コンバーチブル・トップ
ウィンド・ディフレクターの取り外し/
取り付け 110
お手入れ 70
開閉操作 109
キーによる開閉操作
（リモート・コントロール） 110
緊急操作 111
コンフォート・プレッシャー
選択 250
速度警告 250
テクニカル・データ 309

さ

サマー・タイヤ
収納スペース 150
タイヤ交換 151
サン・バイザー 114

し

シート
シート位置の調節 115
シート位置の保存/呼び出し 198
推奨するチャイルド・シート 155
チャイルド・シート 153
バックレストを前方または後方へ倒す 117
フロント・シート位置の調節 115
ベビー・シート、ベビー・キャリア 159
シート・ヒーターをON/OFFする 118
シート・ベルト
お手入れの諸注意 73
警告メッセージ 119
シート・ベルト・プリテンショナー 119
シート・ベルトを外す 120
タコメーターの警告灯 119
知識 119
着用 120
シート・ベルト・プリテンショナー 119
廃棄 317
シート・ベンチレーターをON/OFFする 118
シート・メモリー 198
シート位置の調節 115
シーラント/シーラント・セット
パンクしたタイヤ用 204
シール、車両のお手入れ 72
シガー・ライター 135
施設情報の入力（ナビゲーション、PCM） 187
始動
エンジン 65
自動内気循環モードの設定
エアコン・システム 54
自動防眩機能のON/OFF 263
シフトアップ・インジケーター 42
締め付けトルク
ホイール・ボルト 151
シャーシ・コントロール・システム
概要（PSM、PASM、PADM、PTV） 184
シャーシ設定
選択 226
シャーシ番号、位置 301

＊ 日本仕様に設定はありません。

ジャッキ
　車両のリフト・アップ 121
車幅灯
　ONにする 270
車両情報
　マルチファンクション・ディスプレイの
　呼び出し 246
車両設定
　アシスタンス・システムの設定 256
　エアコン設定 259
　キーへの保存 198
　警告音量およびパーキング・アシスタントの
　調節 259
　言語設定 260
　工場出荷時の設定に戻す 260
　個別モードの調整 257
　単位の設定 260
　ドア・ロック機能を設定する 259
　パーソナル・ボタンへの保存 198
　日付と時刻の設定 255
　ポルシェ・アクティブ・セーフの設定 256
　マルチファンクション・ステアリング・
　ホイールのボタンの割り当て変更 258
　マルチファンクション・ステアリング・
　ホイールのボタンの割り当て変更＊ 258
　マルチファンクション・ディスプレイの調節 253
　マルチファンクション・ディスプレイの
　表示を変更する 253
　ライト、フロント・ワイパーおよびミラーの
　調整 257
　レーン・チェンジ・アシスト（LCA）設定 256
車両データ 301
車両ドア
　キーよるロック（リモート・コントロール） 142
　緊急ロック 145
　車内からの開閉操作とロック 144
　車内からのロック 144
　車内からのロック解除 144
　開く 144
　ポルシェ・エントリー＆ドライブによるロック
　（キーレス操作） 143
車両の洗浄 69
車両の保管 74
車台番号、位置 301
ジャンパー・ケーブルによる始動、外部電源 122
ジュークボックスに入れ管理する（PCM） 268
渋滞メッセージ 191
充填容量
　ウォッシャー液 302
　エンジン・オイル 302
　クーラント（冷却水） 302
　燃料 302
　フルードおよび燃料の概要 302
収納
　収納オプション 123
　フロント・アームレストの小物入れを開く 124
収納スペース
　グローブ・ボックス 123
　シート後方の小物入れを開く 124
収納ボックス
　グローブ・ボックス 123
　収納 123
　フロント・アームレスト、開く 124
重量（メーカー発表値）
　テクニカル・データ 304
出力
　テクニカル・データ 302
助手席エアバッグOFF警告灯 61
助手席ミラー
　格納/復帰する 262
　調整 261
　パーキング・エイドの調節 262

す

スタート/ストップ機能 66
ステアリング・コラム・ロック 177
ステアリング・ホイール
　◊ボタンの設定 258
　ステアリング・ロック 64
　調整 125
　ヒーターのON/OFF 125
ステアリング・ホイール・ヒーターのON/OFF 125
ステアリング・ロック 177
ストップウォッチ 127
スノー・チェーン
　一般的なインフォメーション 150
スピードメーター 42
スペア・キー 78
スポーツ・エキゾースト・システム・ボタン 126
スポーツ・クロノ
　PCMにスポーツ・クロノ・ストップウォッチを
　表示 129
　スポーツ・クロノ・ストップウォッチ 127
　スポーツ・レスポンスの作動 131
　モード・スイッチでモードを選択する 131
スポーツ・プラス 131
スポーツ・モード
　ON/OFF 134
スポーツ・レスポンスの作動 131
スマートフォン
　接続ステータスの表示 171
スマートフォンを接続する
　Bluetooth®を使用 169
スモーカーズ・パッケージ 135

せ

セーフロック 142
積算距離計/トリップ・メーター
　表示 42
　リセット 42
接続
　ポルシェ・コネクト・アプリ 227
接続ステータスの表示 （PCM） 171
接続する
　デバイス・マネージャー 163
　ポルシェ・コネクトへのログイン 137
設定
　MyScreen（PCM） 233
　キーへの保存 198
　車両ドアを開いたときに呼び出す 199
　パーソナル設定の保存 198
　マルチファンクション・ディスプレイの調節 253
セレクター・レバー・ポジション・
ディスプレイ 43,180
セレクター・レバーの緊急解除 138
選局（テレビ） 165
選局（ラジオ） 283
洗車 69
センター・アームレスト
　収納ボックスを開く 124
セントラル・ロック
　概要 140
　キーによるドア・ロックの解除
　（リモート・コントロール） 141
　キーによるドアのロック解除
　（リモート・コントロール） 142
　機能説明 141
　車内からのドアの開閉操作とロック 144
　ポルシェ・エントリー＆ドライブによるドアの
　ロック 143
　セーフロック 142

＊ 日本仕様に設定はありません。

そ

ソース（PCMメディア）の選択 266
ソースの検索（PCMメディア） 267
走行距離の表示 178
走行時間の表示 178
総排気量
　テクニカル・データ 302
送風量の設定
　エアコン・システム 52,57
ソケット（12V） 167

た

ダイナミック・コーナリング・ライト 271
タイヤ
　ウインター・タイヤ
　（一般的なインフォメーション） 149
　交換 151
　コンフォートまたは標準プレッシャーの選択 250
　シーラント 204
　収納スペース 150
　スノー・チェーン
　（一般的なインフォメーション） 150
　タイヤ空気圧プレート 147,301
　タイヤ空気圧モニタリング・システム（TPM）
　に新しいタイヤを登録する 250
　タイヤ交換（一般的なインフォメーション） 149
　タイヤ表記 148
　パンク修理 204
　ホイール・ボルトの締め付けトルク 151
　ホイール表記 148
　マルチファンクション・ディスプレイで種類
　およびサイズを設定する 250
タイヤ・シーラント
　取り外しおよび収納 275
タイヤ・シーラント/シーラント・セット
　パンクしたタイヤ用 204
タイヤ・バルブ 149
タイヤ空気圧
　警告 251
　現在の設定 248
　コンフォート・プレッシャー 250
　システムの登録 250
　車速警告 250,251
　速度警告 250
　タイヤ空気圧プレート 301
　テクニカル・データ 308
　マルチファンクション・ディスプレイの
　呼び出し 248
タイヤ空気圧警告灯 43
タイヤ空気圧プレート 301
タイヤ空気圧モニタリング（TPM） 248
　登録 250
タイヤ充填コンプレッサー
　取り外し 276
　荷物 277
タイヤの速度記号 148
タコメーター（回転計）
　表示 42
縦方向の加速度
　表示 252

ち

チェック・エンジン（エミッション・コントロール）
　機能説明 44
遅延消灯
　ONにする 271
地図（ナビゲーション、PCM）
　Google® Street Viewの起動 191
　設定 193
　地図からの目的地入力 187
　マップ・ビューを開いて設定する 190
　マルチファンクション・ディスプレイの
　マップ・ビューの設定 191
チャイルド・シート 153
　ISOFIXチャイルド・シートの取り付け 161
　助手席エアバッグのON/OFF 159
　推奨するチャイルド・シート 155
着信に応答する/通話を終了する（電話） 172
駐車
　PDK 180
　機能説明、パーキング・アシスタント 195

つ

通話の保留 172
通話履歴（電話） 172

て

データ・バンク 301
データ接続（PCM）
　WiFiホットスポットの使用 136
　確立する 136
　設定 175
　デバイス・マネージャー 163
停止
　エンジン 65
　エンジンの自動停止（オート・スタート/
　ストップ機能） 66
停止表示板 275
テキスト・メッセージ
　作成 174
　メッセージの消去 174
テクニカル・データ
　エンジン 302
　コンフォート・プレッシャー 309
　重量（メーカー発表値） 304
　タイヤ、ホイール 306
　動力性能（メーカー発表値） 305
　燃料消費量 303
デジタル・スピードメーター 42
テスト・スタンド
　ブレーキ・テスト 162
デバイス・マネージャー 163
テレビ
　呼び出し 165
　設定の変更 166
　選局 165
　プログラム・ガイド（EPG）の呼び出し 166
　放送局の保存 165
電話
　接続ステータスの表示 171
　通話の保留 172
　通話履歴 172
　ボイスメールを聞く 171
　メッセージの表示および消去 174
　連絡先 173
電話　（PCM）
　設定 175
電話を使用する
　会議 172
　着信に応答する/通話を終了する 172
　番号をダイヤルする 171
電話を接続する
　Bluetooth®を使用 169

と

ドア
　キーによるロック解除
　（リモート・コントロール） 141
　キーよるロック（リモート・コントロール） 142
　緊急ロック 145
　車内からの開閉操作とロック 144
　車内からのロック解除 144
　開く 144
　ポルシェ・エントリー＆ドライブによるロック
　（キーレス操作） 143

ドア・ミラー
格納/復帰する ... 262
設定の保存（メモリー） ... 262
調整 ... 261
パーキング・エイドの調節 ... 262
ドア・ミラー・ヒーターのON/OFFを切り替える ... 285
盗難防止ホイール・ボルト用ソケット・レンチ
使用 ... 151
盗難を防止するために ... 177
イモビライザー、ステアリング・コラム・
ロック ... 105,177
動力性能、テクニカル・データ ... 305
時計
スポーツ・クロノ・ストップウォッチ ... 127
閉じる
車内からのドア・ロック ... 144
車両ドアとポルシェ・エントリー＆ドライブ
（キーレス操作） ... 143
ドア・ハンドルのタッチ・センサーでウィンド
ウを閉じる（ポルシェ・エントリー＆ドライブ
装備車） ... 48
ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車 ... 143
塗装
お手入れの諸注意 ... 71
傷の補修 ... 71
つや出し（ポリッシュ） ... 71
保護する ... 71
汚れ、染みの除去 ... 71
塗装面のお手入れ ... 71
ドライビング・ライト・アシスタント
ONにする ... 270
ダイナミック・コーナリング・ライト ... 271
ロー・ビーム ... 270
ドア
ポルシェ・エントリー＆ドライブによるロック
（キーレス操作） ... 143
トランスミッション
Porsche Doppelkupplung（PDK） ... 179
マニュアル・トランスミッション ... 179
トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・
システム
概要（PSM、PASM、PADM、PTV） ... 184
トリップ・メーター
表示 ... 42
リセット ... 42
トルク
ホイール・ボルトの締め付けトルク ... 151
トルク、テクニカル・データ ... 302

な

内気循環ボタン ... 54,58
ナビゲーション
Google® Street Viewの起動 ... 191
オフロード・モード ... 192
交通情報の表示 ... 191
設定 ... 193
地図からの目的地入力 ... 187
マップ・ビューを開いて設定する ... 190
マルチファンクション・ディスプレイの
マップ・ビューの設定 ... 191
目的地住所の入力 ... 187
目的地の検索（検索、オンライン検索） ... 186
目的の保存および使用（お気に入り） ... 189
ルート情報の表示 ... 189
施設情報の入力 ... 187
前回の目的地の使用 ... 187

に

荷物
荷物 ... 275

ね

燃料
オクタン価 ... 79
給油 ... 79
燃料計 ... 43
燃料残量警告灯 ... 43
燃料消費量 ... 303
燃料タンクの容量 ... 302
品質 ... 79

は

パーキング・アシスタント
機能説明 ... 195
パーキング・エイド
ドア・ミラー下向き切り替え ... 262
パーキング・ブレーキ
解除する ... 211
操作 ... 211
ブレーキ・テスト・スタンドでの測定 ... 162
パーキング・ブレーキ（エレクトリック・
パーキング・ブレーキ）
自動解除 ... 211
手動解除 ... 211
操作 ... 211
ハイ・ビーム・ヘッドライト
スイッチ ... 273
ハイ・ビーム操作レバー ... 273
廃棄
エアバッグ ... 317
シート・ベルト・プリテンショナー ... 317
灰皿
掃除する ... 135
開く ... 135
排出ガス ... 303
バケット・シート ... 116
ハザード・ライトのON/OFF ... 274
バックレストを前方または後方へ倒す ... 117
発進
PDKトランスミッションの停止制御 ... 298
上り坂発進時のアシスタンス ... 298
ローンチ・コントロール ... 183
バッテリー
ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動 ... 122
一般的なインフォメーション ... 201
交換 ... 201
車両エレクトリカル・システムの警告 ... 95
充電 ... 201
接続後の作業 ... 203
取り付け位置 ... 201
バッテリーの注意事項 ... 202
バニティー・ミラー ... 114
バルブの交換 ... 274
パワー・ウィンドウ
キーによるウィンドウの開閉
（リモート・コントロール） ... 48
停止位置の保存 ... 48
ドア・ハンドルのタッチ・センサーでウィンド
ウを閉じる（ポルシェ・エントリー＆ドライブ
装備車） ... 48

ひ

ビークル・プレート、位置 ... 301
左側通行（ヘッドライトの切り替え） ... 219
日付と時刻の設定（PCM） ... 230
日付と時刻の設定（マルチファンクション・
ディスプレイ） ... 255
ビデオの再生（PCM） ... 266
ヒューズ
ヒューズの交換 ... 207

ふ

ファン設定
エアコン・システム 52,57
フィラー・フラップ、緊急操作 80
フィラー・フラップ（燃料給油口カバー）
フィラー・フラップの位置の表示 43
フット・ブレーキ
安全に関する注意事項 212
不凍液
ウォッシャー液の割合 49
クーラント内 81
フルードおよび燃料
ウォッシャー液 302
エンジン・オイル 302
燃料 302
ブレーキ
テスト・スタンド 162
フット・ブレーキ 212
ブレーキ・パッドの警告メッセージ 212
マルチコリジョン・ブレーキング 240
ブレーキ・パッド
警告メッセージ（ブレーキ） 212
ブレーキ・フルード 214
フロント・ウィンドウ・ウォッシャー・システム
ウォッシャー液の補充 49
充填容量 302
不凍液 49
フロント・ウィンドウ・デフロスター 55,59
エアコン・システム 55
フロント・シート
調整 115
バックレストを前方または後方へ倒す 117
フロント・ワイパー 215,216
お手入れの諸注意 295
フロント・ワイパー /ウォッシャー・システム 216
リヤ・ワイパー 218
レイン・センサーを 216
ワイパー・ブレードの交換 216
ワンタッチ機能 216
フロントガラス・デフロスター
エアコン・システム 59

へ

平均速度の表示 178
平均燃費の表示 178
ヘッドライト
ウォッシャー・システムの操作 217,218
お手入れの諸注意 72
左側/右側通行の切り替え 219
ベビー・シート 159
規定の取り付け方向 154
助手席エアバッグのON/OFF 159
推奨するチャイルド・シート 155
ベンチレーション・パネル
アッパー 53

ほ

ホーン 20
ホイール
ウインター・タイヤ（一般的なインフォメーション） 149
概要 306
交換 151
サイズ 306
締め付けトルク 151
収納スペース 150
スノー・チェーン（一般的なインフォメーション） 150
タイヤ・シーラント 204
タイヤ空気圧 307
タイヤ空気圧プレート 147,301
タイヤ交換（一般的なインフォメーション） 149
タイヤ表記 148
盗難防止ホイール・ボルト（ソケット・レンチ） 151
パンク修理 204
ホイール・バランス 150
ホイール表記 148
リム・オフセット 306
ホイール・ボルト 151
ホイールのお手入れ 72
ボイスコントロール
Siri® 297
電話のボイス・コマンド 224
ナビゲーションのボイス・コマンド 225
メディアのボイス・コマンド 223
ラジオのボイス・コマンド 223
ボイスメール（電話）を聞く 171
方向指示灯操作レバー 273
放送局情報の表示（ラジオ） 284
放送局の保存（テレビ） 165
放送局を保存する（ラジオ） 284
保存
パーソナル設定 198
ホットスポット
PCMのワイヤレス・インターネット・アクセスを利用する 137
ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント（PASM）
機能説明 226
ポルシェ・アクティブ・セーフ 40
ポルシェ・エントリー &ドライブ
作動原理 141
車両のロック 143
ポルシェ・コネクト・アプリ 227
デバイス・マネージャー 163
ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント（PCM）の操作
概要 229
ポルシェ・スタビリティ・マネージメント（PSM）
OFFにする 239
機能説明 239
ポルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ（PCCB）
一般的なインフォメーション 212
ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス（PDLS Plus） 271
ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム（PDLS） 271
ポルシェ・トラック・プレシジョン・アプリ 242

ま

マニュアル・トランスミッション
シフトアップ・インジケーター 179
マルチコリジョン・ブレーキング
機能説明 240
マルチファンクション・ステアリング・ホイール
◊ボタンの設定 258
マルチファンクション・ステアリング・ホイールのボタンの割り当て変更＊ 258

＊ 日本仕様に設定はありません。

マルチファンクション・ディスプレイ
オイル・レベルの点検 246
オプションの選択および機能の有効化 244
項目数の多いリストの閲覧 243
作動原理 243
車両情報の呼び出し 246
スポーツ・クロノ 127
タイヤ空気圧警告 251
タイヤ空気圧モニタリング 248
電話の使用 173
ドライビング・データの表示（トリップ情報） 178
表示エリア 244
マップ・ビュー 191
マルチファンクション・ステアリング・ホイールの操作 243
メニュー概要 245
ラジオ放送局の選択 283
マルチファンクション・ディスプレイのドライビング・データ 178
万一のときは
けん引 106
パンクしたとき 204

み

右側通行（ヘッドライトの切り替え） 219
ミラー
自動防眩機能のON/OFF 263
ドア・ミラー・ヒーター 285
ドア・ミラー設定の保存（メモリー機能） 262
ドア・ミラーの格納/復帰 262
ドア・ミラーの調節 261
パーキング・エイド使用時のドア・ミラーの調節 262
バニティー・ミラー 114

め

メッセージ
作成 174
メッセージの表示および消去 174
メディア（PCM）
CD/DVDを読み込む 234
SDカードの挿入および取り出し 235
外部機器の接続 235
再生 266
ジュークボックスに入れる 268
設定 268
対応するメディア形式 310
プレイリストを開く 268
メディア・ソースの検索 267
メディア・ソースの選択 266
メモリー 198
メモリー・パッケージ 198
メンテナンス
ウォッシャー液の補充 49
エンジン・オイル・レベルの点検 246
エンジン・オイルの補充 62
クーラント・レベルの点検と補充 81
メンテナンス位置 216

も

モード・スイッチ 131
目的地住所の入力（ナビゲーション、PCM） 187
目的地の検索（ナビゲーション、PCM） 186
目的地の保存および使用（お気に入り）（ナビゲーション、PCM） 189

よ

横方向の加速度
表示 252

ら

ライト
雨天時の作動 270
お手入れの諸注意 72
高速道路走行時の機能 270
車両から離れるときに点灯する 271
乗車時に点灯 271
乗車時のカーテシー・ライトの点灯 271
バルブの交換 274
ヘッドライト・パッシング 273
ライト・スイッチ
AUTO機能 270
概要 270
ラゲッジ・カバー 277
ラゲッジ・カバーの取り外し/取り付け 277
ラゲッジ・コンパートメント・リッド 279
緊急解除 281
閉じる 280
開く 279
ラジオ（PCM）
周波数帯を設定する 283
設定 284
放送局情報の表示 284
放送局の保存 284
ラジオ・システム
検査マーク 314

り

リモート・コントロール 76
コンバーチブル・トップの開閉 110
ドアのロック 142
ドアのロック解除 141
リヤ・ウィンドウ・ヒーターのON/OFFを切り替える 285
リヤ・スポイラー
作動原理 286
リヤ・フォグ・ライト
ONにする 270
ドライビング・ライトの調節 271
リヤ・ワイパー 218
リレー
交換 207
履歴（電話） 172

る

ルート情報の表示（ナビゲーション、PCM） 189
ルーム・ミラー
減光 263
自動防眩機能のON/OFF 263
調整 263

れ

レーダー・センサー 33
レーン・チェンジ・アシスト（LCA） 287
ドア・ミラーの警告表示の明るさを調節する 256
冷房機能
エアコン・システム 53,58
レイン・センサー作動 217
連絡先（電話） 173

ろ

ローンチ・コントロール 183
ログブック（PCM）
作動/停止 293
設定 294
ロック
キーによるドアのロック解除（リモート・コントロール） 142
車内からのドア・ロック 144
車両ドアとキー（リモート・コントロール） 142
車両ドアとポルシェ・エントリー＆ドライブ（キーレス操作） 143
ポルシェ・エントリー＆ドライブによるドアのロック 143

ロック解除
キーからパーソナル設定を呼び出す 198
キーによるドア・ロックの解除（リモート・コントロール） 141
車内からのドア・ロックの解除 144
ラゲッジ・コンパートメント・リッドのロックを解除してリッドを開く 279

わ

ワイパー 216
ワイパー・ブレード
お手入れの諸注意 295
交換 295
ワイパー作動間隔の調整 217

- 車両の仕様およびオプションの変更により、この取扱説明書の内容の一部が車両と一致しない場合があります。
- 説明図は一部日本仕様と異なる点があります。
- この取扱説明書に関してのお問い合わせは下記までお願い致します。

ポルシェ・カスタマーケアセンター

フリーダイヤル：0120-846-911

車両受領証
（販売店で保管）

VIN：車両識別ナンバー

エンジンナンバー

上記車両については、取扱説明書および整備手帳に記載されている車両の取扱い、および保証内容、並びに納車点検内容の説明を受け了承の上、車両およびツールキットを完全な状態で受領しました。

販売店スタンプ

日時　　お客様の署名